

令和7年度 主要事業 成果説明書

【一般会計 下巻】
(労働費～教育費・その他)



駒ヶ根市

目 次

勞 働 費	2
農林水産業費	4
商 工 費	56
土 木 費	78
消 防 費	128
教 育 費	136
災害復旧費	214
公 債 費	216
諸 支 出 金	222
職員人件費集計表.....	224

款	5	労働費	項	1	労働諸費	目	1	労働諸費	事業	2
事務事業名		労政総務事務								
主管		商工観光課								
事業の概要		・雇用対策や人材の確保を図る。 ・勤労者の生活の安定、福利厚生 の推進を図る。								
対象		市内事業者、市民								
意図 (対象をどのようにしたいか)		地域の労働力の安定供給、円滑化を図るとともに、女性、高齢者、障がい者など多様な人材の活用とワーク・ライフ・バランスのとれた誰もが働きやすい職場環境づくりを図る。								

No.	事業指標	指標の算式	5 年度	6 年度	評価年度（7 年度）		備考
			実績値	実績値	目標値	実績値	
1	勤労者互助会会員数		2,261人	2,225人	2,300人	2,214人	
2							
3							

◆事業の構成（細事業）と実績◆			7 年度予算	7 年度決算	6 年度決算	決算前年度比	
事業費の合計（千円）と前年度比（％）			8,648	8,597	8,284	3.8	
枝番号	3 力年対象	新規・拡充	事業費（千円）※予算は現額			指標	目標値
			7 年度予算	7 年度決算	6 年度決算	事務・事業・費用の備考	実績値
1			243	200	198		
2			500	500	500	雇用対策協議会会員事業所数	50社 50社
3			400	400	0		
4			3,000	3,000	3,000		
5			4,445	4,445	4,539		
6			60	52	47		
7							
8							
9							
10							
11							
12							
13							
14							
15							
特定財源の内容	(諸) 勤労者貸付預託金元金収入		3,000	3,000	3,000	【特定財源の費目の略称】 (分): 分担金及び負担金 (使): 使用料及び手数料 (国): 国庫支出金 (県): 県支出金 (財): 財産収入 (寄): 寄付金 (繰): 繰入金 (諸): 諸収入 (償): 市債	
一般財源			5,648	5,597	5,284		

◆評価◆

事業指標の分析と 事業の成果・課題	事業実施による成果は。また、事業指標の実績値からどのような課題を読み取ることができるか。 ※表や図は左ページの空いた部分か、この欄に記載。	
1. 事業指標の分析 雇用対策や人材の確保、並びに市内事業所に勤務する勤労者の生活の安定と福利厚生を推進を図るための事業を実施した。 地域職業相談室の運営支援やふるさと人「財」確保事業を通じ、求職者の就業支援や若年労働者を中心とした人材確保に一定の成果を上げた。 2. 事業の課題 勤労者互助会育成事業において、各種給付事業や福利厚生事業を実施し、市内勤労者及び事業主の福利厚生の上に寄与した。一方で、勤労者互助会の会員数は2,214人（前年度比11人減）と近年減少傾向にあり、今後の安定的な運営に向けた会員の確保・拡大が課題である。		
	細事業の実績に関する分析	
	細事業の目標達成状況は。どのような成果や課題があるか。 ■枝番号1：職業相談室運営支援事業 来客者数は4,434人（前年比90.9%）、相談者数は3,554人（前年比93.6%）、就職決定者数は442人（前年比92.3%）となり、いずれも前年度を下回る結果となった。 ■枝番号2：ふるさと人「財」確保事業 雇用対策協議会の活動を通じて地元企業の人材確保に取り組み、会員事業所数は50社（前年度47社）となった。 ■枝番号3：障がい者雇用奨励金事業 障がい者を常用労働者として雇用した事業主に対する奨励金の交付実績は4件となり、前年度（0件）から増加した。 ■枝番号5：勤労者互助会育成事業 給付件数は264件（前年比134.7%）、給付金額は3,468千円（前年比76.1%）となった。実績数値は減少したものの、食事券や入浴無料券などの福利厚生事業は引き続き多くの会員に利用されている。	
目標に対する 達成度	事業指標の実績値／目標値 ※指標が複数ある場合は平均値。細事業の指標は算入しない。 A 目標をおおむね達成できている（90%以上105%未満） 【凡例】 S：105%以上 A：90%以上105%未満 B：70%以上90%未満 C：70%未満 ー：目標設定なし	

◆改善に向けた取り組み◆

事業の意図の達成や課題解決のための改善案	
■枝番号1：職業相談室運営支援事業 ■枝番号2：ふるさと人「財」確保事業 関係機関等との連携を継続し、求職者の就業支援や労働者をはじめとする多様な人材の確保に向けた取組を一層推進していく。 ■枝番号3：障がい者雇用奨励金事業 障がい者雇用奨励金については、引き続き制度の積極的な周知を行い、障がい者の雇用機会の創出および社会参加の促進を図っていく。 ■枝番号5：勤労者互助会育成事業 勤労者互助会育成事業については、会員減少に歯止めをかけるため、理事による積極的なPR活動やダイレクトメールの活用等を通じ、新規加入の促進と会員層の拡大を図っていく。	

款	6	農林水産業費	項	1	農業費	目	1	農業委員会費	事業	1
事務事業名		農業委員会事務								
主管		農林課								
事業の概要		農地の集積・集約の促進、遊休農地の発生防止・解消を図り、農地利用の最適化を推進する。								
対象		農家								
意図 (対象をどのようにしたいか)		農地を適正管理し、集積・集約化を進めることにより、遊休農地の発生防止を図る。								

No.	事業指標	指標の算式	5年度	6年度	評価年度（7年度）		備考
			実績値	実績値	目標値	実績値	
1	農地集積		△26ha	△3ha	10ha	3ha	
2	遊休農地の解消		△0.1ha	△0.2ha	1.8ha	0.2ha	
3							

◆事業の構成（細事業）と実績◆			7年度予算	7年度決算	6年度決算	決算前年度比	
事業費の合計（千円）と前年度比（％）			21,330	20,976	19,892	5.4	
枝番号	3 力 年 対 象	新規・ 拡 充	事業費（千円）※予算は現額			指標	目標値
			7年度予算	7年度決算	6年度決算	事務・事業・費用の備考	実績値
1			12,608	12,594	11,930	総会開催数 委員給与、最適化活動報酬	12回 12回
2			3,790	3,774	3,562	総会開催数 委員給与、最適化活動報酬	12回 12回
3			2,392	2,292	2,224	農地利用状況調査、利用意向調査 人件費、タブレット端末経費等	1回 1回
4			2,540	2,316	2,176	消耗品費、使用料、負担金ほか	
5							
6							
7							
8							
9							
10							
11							
12							
13							
14							
15							
特定財源の内容	(県) 農業委員会交付金		2,327	3,359	3,255	【特定財源の費目の略称】 (分):分担金及び負担金 (使):使用料及び手数料 (国):国庫支出金 (県):県支出金 (財):財産収入 (寄):寄付金 (繰):繰入金 (諸):諸収入 (償):市債	
	(県) 農業委員会費補助金		589	954	589		
	(県) 農地利用最適化交付金		4,000	3,941	3,072		
	(諸) 農業者年金取扱事務費交付金		468	582	425		
一般財源			13,946	12,140	12,551		

◆評価◆

事業指標の分析と
事業の成果・課題

事業実施による成果は。また、事業指標の実績値からどのような課題を読み取ることができるか。
※表や図は左ページの空いた部分か、この欄に記載。

認定農業者等の人数に大きな変動はないものの、全体として高齢化が進んでいることもあり集積が停滞している。

中山間地域において遊休農地が微増しているため、目標値を下回る結果となった。

① 農地法許可件数等

	R5		R6		R7	
	許可件数	面積(ha)	許可件数	面積(ha)	許可件数	面積(ha)
3条	27	6.5	33	6.0	40	5.7
4条	15	0.8	14	0.9	4	0.1
5条	69	7.3	53	5.2	40	4.6
その他	15	0.9	8	1.2	6	0.2
合計	126	15.5	108	13.3	90	10.6

② 農地集積面積

	R5	R6	R7
面積(ha)	1,192	1,189	1,193

③ 耕作放棄地利用状況調査

	R5	R6	R7
調査筆数	775	793	377
調査面積(ha)	67.3	54	16
利用意向調査面積(ha)	16.7	16.9	16.5

細事業の実績に関する分析

細事業の目標達成状況は。どのような成果や課題があるか。

委員の最適化活動により、農地の利用調整を実施した。

農地利用状況調査の結果に基づき、原野・山林化した農地の非農地判定を実施し、農地台帳を整備した。

事業指標の実績値／目標値

※指標が複数ある場合は平均値。細事業の指標は算入しない。

目標に対する
達成度

C

目標を大きく下回った（70%未満）

【凡例】 S：105%以上 A：90%以上105%未満 B：70%以上90%未満 C：70%未満 ー：目標設定なし

◆改善に向けた取り組み◆

事業の意図の達成や課題解決のための改善案	
・地域計画の見直しにおける各地区の協議により、認定農業者等への農地集約化を図る。 ・農業委員会の農地利用の最適化活動により、農地集積・集約化、遊休農地の発生防止を図る。 ・市農地バンクを活用し、農地の有効利用・適正利用を図る。	

款	6	農林水産業費	項	1	農業費	目	3	農業振興費	事業	1
事務事業名		農業振興事業								
主管		農林課								
事業の概要		一般的な農業振興に関する事業を推進するとともに、地域における6次産業化・環境保全型農業への取組や、収入保険への加入促進の支援をする。								

対象	市内農家、市民
意図 (対象をどのようにしたいか)	農産物加工センターの指定管理、旧駒ヶ根市公設地方卸売市場の跡地利用の検討、有害鳥獣駆除対策協議会への補助、環境保全型農業・6次産業化・収入保険加入促進支援を行う。

No.	事業指標	指標の算式	5年度	6年度	評価年度(7年度)		備考
			実績値	実績値	目標値	実績値	
1	旧卸売市場解体実施設計業務委託の進捗率		-	-	100%	100%	
2	収入保険加入者		42件	45件	45件	50件	
3	環境保全型農業取組み面積		15.6ha	16.4ha	24ha	17.9ha	

◆事業の構成（細事業）と実績◆				7年度予算	7年度決算	6年度決算	決算前年度比	
事業費の合計（千円）と前年度比（％）				29,047	22,713	22,715	△ 0.0	
枝番号	3 力 年 対 象	新規・ 拡充	事務・事業・費用名	事業費（千円）※予算は現額			指標	目標値
				7年度予算	7年度決算	6年度決算	事務・事業・費用の備考	実績値
1			農産物加工センター指定管理料	1,000	1,000	1,000	進捗状況達成率	100% 100%
2			長野県農業共済組合補助金	70	43	57	支援農家数	24件 14件
3	★		有害鳥獣被害対策事業	4,000	4,000	4,000	被害金額	2,900千円 4,218千円
4			農村女性ネットワーク駒ヶ根補助金	50	50	50	補助率	100% 100%
5			農政組合等事務費交付金	2,000	1,814	1,858	農政組合等交付金支援率	100% 100%
6			環境保全型農業支援対策	1,806	1,381	1,325	環境保全型農業取組み面積	24ha 17.9ha
7	★		6次産業化推進	1,000		543	取組み農家	2件 0件
8			集出荷貯蔵施設整備負担金	1,082	1,080	942	JA果実選果場に係る負担金	
9			収入保険加入促進補助金	2,150	873	1,779	収入保険加入者	45件 50件
10			その他	574	571	441	消耗品、燃料費、負担金等	
11	★	新	旧卸売市場解体実施設計業務委託	4,890	3,426		進捗状況達成率 実施設計業務委託	100% 100%
12			施設型農家応援金事業	7,580	5,730	5,830	燃油・飼料価格高騰対策支援41件	
13			畜産農家経営支援事業	1,470	1,370	1,410	燃油・飼料価格高騰対策支援6件	
14			きのこ培地資材価格高騰緊急対策事業			2,325		
15			旧卸売市場不動産鑑定業務委託			1,155		
16			高原直売所雨漏り工事	1,375	1,375			
特定財源の内容	(県)		環境保全型農業支援交付金	1,354	1,036	994	【特定財源の費目の略称】 (分):分担金及び負担金 (使):使用料及び手数料 (国):国庫支出金 (県):県支出金 (財):財産収入 (寄):寄付金 (繰):繰入金 (諸):諸収入 (債):市債	
	(債)		公共施設等適正管理推進事業債	4,500	3,000			
	(繰)		ふるさとづくり基金繰入金	4,000	4,000	10,000		
	(県)		農畜産業振興事業県補助金			2,325		
	(国)		物価高騰対策重点支援地方創生臨時交付金		7,100	7,240		
一般財源				19,193	7,577	2,156		

◆評価◆

事業指標の分析と
事業の成果・課題

事業実施による成果は。また、事業指標の実績値からどのような課題を読み取ることができるか。
※表や図は左ページの空いた部分か、この欄に記載。

・旧卸売市場については、次年度の解体に向け、予定どおり実施設計業務が完了した。

・農業収入保険（農業共済）への加入については、支援金の効果により、着実に増加しており、農業者のリスク対策意識の向上と制度活用が進んでいることが伺える。

・環境保全型農業直接支払事業への取組については、面積の拡大が図られているものの、目標値には至っていない。取組団体は当初から3団体で変化がなく、新規参加が進んでいないことが課題となっており、化学肥料・化学農薬の低減などの実施要件や、作業負担の増加、収量・品質への影響に対する懸念など、ハードルが高いことが要因として考えられる。

【事業実績】

○環境保全型農業直接支払交付金（令和7年度）

・（株）北の原ファーム 面積：9.97ha 作物：水稻 取組：緑肥の施用

・（株）アグリコ 面積：2.19ha 作物：たまねぎ 取組：有機農業

・駒ヶ根市環境保全型農業推進農業者会議 面積：5.79ha 作物：にんじん・水稻 取組：堆肥の施用、有機農業

細事業の実績に関する分析

細事業の目標達成状況は。どのような成果や課題があるか。

・長野県農業共済組合を通じて、果樹農家に対する農業共済加入支援を行っているが、高齢化や後継者不足により農業者が減少している。

・有害鳥獣被害対策は有害鳥獣駆除対策連絡協議会や鳥獣被害対策実施隊（猟友会）を中心に捕獲や防除対策に取り組んでおり、令和5年度の被害額は2,948千円となったが、ツキノワグマの目撃増加など新たな課題も生じており、年度により被害額の増減が見られる。

鳥獣の種類	駆除捕獲数の推移						
	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7
イノシシ	24	15	12	8	38	25	18
ニホンジカ	454	546	614	467	342	245	243
カラス	12	96	39	16	0	0	18
ニホンザル	22	95	17	33	1	23	7
タヌキ	59	42	29	17	32	7	11
ハクビシン	14	16	15	14	4	6	6

鳥獣の種類	品目	被害の状況			
		被害金額（千円）			
		令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
イノシシ	水 稻	0	0	4	453
	野 菜	0	0	0	14
	果 樹（りんご・梨等）	0	0	0	0
	その他（麦・大豆・そば等）	0	0	0	11
	イノシシ 計	0	0	4	478
ニホンジカ	水 稻	638	864	1,078	985
	野 菜	13	20	101	29
	果 樹（りんご・梨等）	165	72	79	54
	その他（麦・大豆・そば等）	216	538	290	674
	ニホンジカ 計	1,032	1,494	1,548	1,742
カラス	水 稻	9	0	0	0
	野 菜	62	154	120	217
	果 樹（りんご・梨等）	216	292	1,228	135
	その他（麦・大豆・そば等）	0	3	21	0
	カラス 計	287	449	1,369	352
ニホンザル	水 稻	137	163	127	106
	野 菜	49	40	28	686
	果 樹（りんご・梨等）	66	15	34	17
	その他（麦・大豆・そば等）	44	61	21	105
	ニホンザル 計	296	279	210	914
合計 (その他鳥獣含)	水 稻	1,485	1,050	1,266	1,602
	野 菜	176	418	747	1,008
	果 樹（りんご・梨等）	1,067	876	2,003	792
	その他（麦・大豆・そば等）	259	604	344	816
	合計	2,987	2,948	4,360	4,218

目標に対する
達成度

A

目標をおおむね達成できている（90%以上105%未満）

【凡例】 S：105%以上 A：90%以上105%未満 B：70%以上90%未満 C：70%未満 ー：目標設定なし

事業指標の実績値／目標値

※指標が複数ある場合は平均値。細事業の指標は算入しない。

◆改善に向けた取り組み◆

事業の意図の達成や課題解決のための改善案	
・農業収入保険（農業共済）への加入は青色申告者が対象であることから加入対象者が限定されており、今後の急激な増加は見込みにくい状況にあるが、農業者の経営安定化と負担軽減に資する支援金の継続的な実施が必要である。 ・環境保全型農業への取組については、既存団体の継続的取組を支援するとともに、普及にあたっては、コストや販路確保、生産リスクなどの課題を踏まえ、実情に応じた調査・研究が必要である。 ・有害鳥獣被害対策については、年度による被害額の変動が見られるため、実情に応じて、関係機関や鳥獣被害対策実施隊との連携による捕獲体制の強化や防除対策の推進など、継続的かつ効果的な対策に取り組む必要がある。	

款	6	農林水産業費	項	1	農業費	目	3	農業振興費	事業	2
事務事業名		米生産調整推進事業								
主管		農林課								
事業の概要		米の生産調整に係る事務を行う。								
対象		市内水田農家								
意図 (対象をどのようにしたいか)		長野県農業再生協議会から示される、駒ヶ根市内の米の生産数量目安値内に収めることにより、需要以上の過剰作付けを防ぎ米価を安定させる。								

No.	事業指標	指標の算式	5年度	6年度	評価年度（7年度）		備考
			実績値	実績値	目標値	実績値	
1	生産数量目安値内の水稻栽培		683ha	680ha	691ha	728ha	
2							
3							

◆事業の構成（細事業）と実績◆			7年度予算	7年度決算	6年度決算	決算前年度比	
事業費の合計（千円）と前年度比（％）			10,367	10,318	10,108	2.1	
枝番号	3 力 年 対 象	新規・拡充	事業費（千円）※予算は現額			指標	目標値
			7年度予算	7年度決算	6年度決算	事務・事業・費用の備考	実績値
1	★		会計年度任用職員(直接支払推進事業事務)	2,252	2,213	2,141	1名
2	★		情報センター負担金	1,060	1,060	935	
3	★		営農組合生産調整事務交付金	1,000	1,000	1,000	交付率
4	★		駒ヶ根市地域農業再生協議会交付金	6,000	6,000	6,000	交付率
5	★		事務費等	55	45	32	消耗品費
6							
7							
8							
9							
10							
11							
12							
13							
14							
15							
特定財源の内容	(県) 経営所得安定対策推進事業補助金		5,684	3,440	3,203	【特定財源の費目の略称】 (分): 分担金及び負担金 (使): 使用料及び手数料 (国): 国庫支出金 (県): 県支出金 (財): 財産収入 (寄): 寄付金 (繰): 繰入金 (諸): 諸収入 (償): 市債	
一般財源			4,683	6,878	6,905		

◆評価◆

事業指標の分析と
事業の成果・課題

事業実施による成果は。また、事業指標の実績値からどのような課題を読み取ることができるか。
※表や図は左ページの空いた部分か、この欄に記載。

・令和6年度までは水稲生産目安値内の水稲作付となっていたが、令和7年度は水稲生産目安値（目安面積）703haに対し、728haの作付となり目安値を上回る結果となった。理由として、米価の上昇や供給不足により、水稲の生産に対する関心が高まったことが挙げられる。

年度	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7
基本水田面積（ha）	1,308	1,301	1,294	1,297	1,288	1,286	1,279
水稲作付目安面積（ha）	752	745	727	703	692	691	703
水稲作付実施面積（ha）	738	732	721	690	683	680	728
比較	-14	-13	-6	-13	-9	-11	25

細事業の実績に関する分析

細事業の目標達成状況は。どのような成果や課題があるか。

目標に対する
達成度

事業指標の実績値／目標値

※指標が複数ある場合は平均値。細事業の指標は算入しない。

A

目標をおおむね達成できている（90%以上105%未満）

【凡例】 S：105%以上

A：90%以上105%未満

B：70%以上90%未満

C：70%未満

－：目標設定なし

◆改善に向けた取り組み◆

事業の意図の達成や課題解決のための改善案

・駒ヶ根市地域農業再生協議会においては、令和８年度から農業者自らの経営判断を尊重しつつ、需要量に見合った生産を基本とし、目安値は引き続き提示するものの、これを上回った場合でも特段の調整は行わず、需要に応じた生産を推進していく方針である。また、水田活用の直接支払交付金制度の見直しが行われ、令和９年度から新たな制度が創設される予定であることから、今後、国・県の動向を注視しつつ、制度内容の周知や適切な対応を図り、地域の実情に応じた水田農業のあり方を検討していく。

款	6	農林水産業費	項	1	農業費	目	3	農業振興費	事業	3
事務事業名		農業制度資金利子補給事業								
主管		農林課								
事業の概要		各種制度資金のあっせん・利子補給を行う。								
対象		市内農家								
意図 (対象をどのようにしたいか)		畜産農家への利子補給を行う財政支援により、安定した営農を続けていく。								

No.	事業指標	指標の算式	5年度	6年度	評価年度（7年度）		備考
			実績値	実績値	目標値	実績値	
1	支援農家数		2件	2件	2件	2件	
2							
3							

◆事業の構成（細事業）と実績◆			7年度予算	7年度決算	6年度決算	決算前年度比	
事業費の合計（千円）と前年度比（％）			80	79	86	△ 8.1	
枝番号	3 力年 対象	新規・ 拡充	事業費（千円）※予算は現額			指標	目標値
			7年度予算	7年度決算	6年度決算	事務・事業・費用の備考	実績値
1			畜産経営維持緊急支援資金利子助成（0.175％）1件	29	29	33	支給率 ----- 100%
2			大家畜特別支援資金利子助成（0.250％）1件	51	50	53	支給率 ----- 100%
3							-----
4							-----
5							-----
6							-----
7							-----
8							-----
9							-----
10							-----
11							-----
12							-----
13							-----
14							-----
15							-----
特定財源の内容							【特定財源の費目の略称】 (分):分担金及び負担金 (使):使用料及び手数料 (国):国庫支出金 (県):県支出金 (財):財産収入 (寄):寄付金 (繰):繰入金 (諸):諸収入 (債):市債
一般財源			80	79	86		

◆評価◆

事業指標の分析と事業の成果・課題		事業実施による成果は。また、事業指標の実績値からどのような課題を読み取ることができるか。 ※表や図は左ページの空いた部分か、この欄に記載。
・交付要綱に基づき、JA上伊那を通じて、畜産農家2件に対する支援を行った。		
（空欄）		
細事業の実績に関する分析		
細事業の目標達成状況は。どのような成果や課題があるか。		
（空欄）		
目標に対する達成度	事業指標の実績値／目標値 ※指標が複数ある場合は平均値。細事業の指標は算入しない。	
	A	目標をおおむね達成できている（90%以上105%未満）
	【凡例】 S：105%以上 A：90%以上105%未満 B：70%以上90%未満 C：70%未満 ー：目標設定なし	

◆改善に向けた取り組み◆

事業の意図の達成や課題解決のための改善案
・年次計画に基づき、引き続き畜産農家2件の支援を行う。
（空欄）

款	6	農林水産業費	項	1	農業費	目	3	農業振興費	事業	4
事務事業名		担い手育成推進事業								
主管		農林課								
事業の概要		集落営農組織の効率的な地域生産体制の整備を図るための支援及び、新規就農者や担い手農業者等の育成支援を行う。								
対象		就農希望者								
意図 (対象をどのようにしたいか)		駒ヶ根市へ新規就農する農家を増やす。								

No.	事業指標	指標の算式	5年度	6年度	評価年度（7年度）		備考
			実績値	実績値	目標値	実績値	
1	新規就農者の増加		2件	3件	3件	4件	
2							
3							

◆事業の構成（細事業）と実績◆			7年度予算	7年度決算	6年度決算	決算前年度比	
事業費の合計（千円）と前年度比（％）			33,432	16,232	204	7856.9	
枝番号	3 力 年 対 象	新規・拡充	事業費（千円）※予算は現額			指標	目標値
			7年度予算	7年度決算	6年度決算	事務・事業・費用の備考	実績値
1	★		農業インターン事業補助金 1名分	1,050			就農者 1件 0件
2			農・工・商連携に基づく情報発信等	220	15		就農相談会への参加 2回 1回
3			新規就農者準備校の開催（3回予定）	85	27	64	開催回数 3回 2回
4			農業人フェアへの参加	277			出展回数 2回 0回
5	★		新規就農者育成総合対策事業補助 経営開始資金・経営開始型	15,150	12,900		件数 10件 8件
6	★		新規就農者育成総合対策事業補助 経営発展支援	16,500	3,150		件数 3件 2件
7			その他	150	140	140	関係団体負担金等
8							
9							
10							
11							
12							
13							
14							
15							
特定財源の内容	(財) 農業後継者育成基金利子		17	19	3	【特定財源の費目の略称】 (分): 分担金及び負担金 (使): 使用料及び手数料 (国): 国庫支出金 (県): 県支出金 (財): 財産収入 (寄): 寄付金 (繰): 繰入金 (諸): 諸収入 (債): 市債	
	(県) 新規就農者育成総合対策事業補助金		31,650	16,050			
一般財源			1,765	163	201		

◆評価◆

事業指標の分析と 事業の成果・課題	事業実施による成果は。また、事業指標の実績値からどのような課題を読み取ることができるか。 ※表や図は左ページの空いた部分か、この欄に記載。																						
・新規就農者数については、着実に増加しており、令和7年度の目標値3件を達成している。関係機関と連携した就農支援や情報発信の効果により、新規就農者の確保が一定程度進んでいるものと評価できる。なお、決算前年度比が増加しているが、令和6年度は、新規就農者育成総合対策事業を「事務事業：地域営農推進事業」において実施していたためである。																							
<table border="1"> <tr> <td>年度</td><td>R1</td><td>R2</td><td>R3</td><td>R4</td><td>R5</td><td>R6</td><td>R7</td></tr> <tr> <td>新規就農者数累計（人）</td><td>38</td><td>42</td><td>44</td><td>53</td><td>55</td><td>58</td><td>62</td></tr> </table>								年度	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7	新規就農者数累計（人）	38	42	44	53	55	58	62
年度	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7																
新規就農者数累計（人）	38	42	44	53	55	58	62																
細事業の実績に関する分析																							
細事業の目標達成状況は。どのような成果や課題があるか。 ・就農相談会や農業人フェアなどへの出展が少ない状況にあり、就農希望者への情報発信やきっかけづくりが十分とは言えない。今後はこれらの機会への積極的な参加を図るとともに、地域農業の魅力や支援制度などを広くPRし、新規就農希望者の掘り起こしにつなげていく必要がある。																							
目標に対する 達成度	事業指標の実績値／目標値 ※指標が複数ある場合は平均値。細事業の指標は算入しない。																						
	S	目標を大きく上回った（105%以上）																					
【凡例】 S：105%以上 A：90%以上105%未満 B：70%以上90%未満 C：70%未満 ー：目標設定なし																							

◆改善に向けた取り組み◆

事業の意図の達成や課題解決のための改善案
・新規就農者の確保は一定程度進んでいるものの、地域農業の担い手確保という観点からは十分とは言えない状況である。今後は、就農希望者の掘り起こしや受入体制の強化に加え、研修から就農後まで切れ目のない支援を行い、新規就農者の確保と定着の両面を推進していく必要がある。

款	6	農林水産業費	項	1	農業費	目	3	農業振興費	事業	5
事務事業名		スマート農業推進事業								
主管		農林課								
事業の概要		スマート農業の導入により、省力化・効率化による経営規模拡大、高品質な農産物生産、誰もが取り組みやすい農業の実現を図る。								
対象		市内農家								
意図 (対象をどのようにしたいか)		スマート農業機器を導入し、作業負担を減らしてもらう。								

No.	事業指標	指標の算式	5年度	6年度	評価年度（7年度）		備考
			実績値	実績値	目標値	実績値	
1	スマート農業機器導入農家		4件	6件	5件	4件	
2							
3							

◆事業の構成（細事業）と実績◆			7年度予算	7年度決算	6年度決算	決算前年度比	
事業費の合計（千円）と前年度比（％）			12,141	6,987	6,178	13.1	
枝番号	3 力 年 対 象	新規・ 拡 充	事業費（千円）※予算は現額			指標	目標値
			7年度予算	7年度決算	6年度決算	事務・事業・費用の備考	実績値
1	★	拡	スマート農業導入支援補助金	5,000	2,037	3,953	支援農家数 5件 4件
2			スマート農業研究・実験事業等	1,000	343	343	実証試験 1件 1件
3			信州農業生産力強化対策事業	6,141	4,607	1,882	申請4件に対し3件採択（6月・12月補正対応） 4件 3件
4							
5							
6							
7							
8							
9							
10							
11							
12							
13							
14							
15							
特定財源の内容	(県) 信州農業生産力強化対策事業補助金		6,141	4,607		【特定財源の費目の略称】 (分): 分担金及び負担金 (使): 使用料及び手数料 (国): 国庫支出金 (県): 県支出金 (財): 財産収入 (寄): 寄付金 (繰): 繰入金 (諸): 諸収入 (債): 市債	
一般財源			6,000	2,380	6,178		

◆評価◆

事業指標の分析と 事業の成果・課題	事業実施による成果は。また、事業指標の実績値からどのような課題を読み取ることができるか。 ※表や図は左ページの空いた部分か、この欄に記載。	
	・市スマート農業導入支援補助金により、スマート農業機器の導入は進んでいるものの、令和7年度の目標値5件には達していない。要因として、機器導入に係る初期投資の負担が大きいことや、操作・運用に対する不安などに加え、補助制度の内容も影響している。令和7年度は申請者9件に対し、事業費が予算を上回ったことから補助率を引き下げた結果、5件の辞退が生じており、農業者の自己負担増が導入見送りの一因となっている。	
細事業の実績に関する分析	細事業の目標達成状況は。どのような成果や課題があるか。	
目標に対する 達成度	事業指標の実績値／目標値 ※指標が複数ある場合は平均値。細事業の指標は算入しない。 B 目標をやや達成できなかった（70%以上90%未満） 【凡例】 S：105%以上 A：90%以上105%未満 B：70%以上90%未満 C：70%未満 ー：目標設定なし	

◆改善に向けた取り組み◆

事業の意図の達成や課題解決のための改善案 ・スマート農業導入支援事業補助金については、補助制度の見直しを検討し、安定的な運用や予算確保に努める必要がある。あわせて、省力化や効率化につながっているかを検証し、その結果を踏まえ支援の充実を図る必要がある。	
---	--

款	6	農林水産業費	項	1	農業費	目	3	農業振興費	事業	6
事務事業名		竜東振興拠点施設整備事業								
主管		農林課								
事業の概要		農業振興に係る拠点施設（農産物直売所及び農産物加工所等）の整備								
対象		市民、観光客								
意図 (対象をどのようにしたいか)		竜東地域（新宮川岸地区）に農業振興を踏まえた新たな交流拠点を整備し、今後、駒ヶ根高原エリアや中心市街地エリアと有機的につなげることで、駒ヶ根市全体の賑わい、活性化につなげる。								

No.	事業指標	指標の算式	5年度	6年度	評価年度（7年度）		備考
			実績値	実績値	目標値	実績値	
1	竜東振興拠点施設整備 基本設計業務委託の進捗率		—	—	100%	100%	
2							
3							

◆事業の構成（細事業）と実績◆			7年度予算	7年度決算	6年度決算	決算前年度比		
事業費の合計（千円）と前年度比（％）			26,639	96	6	1500.0		
枝番号	3 力 年 対 象	新規・ 拡充	事業費（千円）※予算は現額			指標	目標値	
			7年度予算	7年度決算	6年度決算	事務・事業・費用の備考	実績値	
1	★		竜東振興拠点施設整備	25,000		—	進捗状況達成率 R7→R8繰越	100%
2	★		その他 （人件費、車借上げ、消耗品）	1,639	96	6		
3								
4								
5			【令和7年度→令和8年度繰越】				繰越額	
6			＜事業の内容＞				25,000	
7			竜東振興拠点施設整備事業 基本設計業務委託					
8			＜特定財源の内容＞				12,100	
9			（分）新宮川岸地区竜東振興土地改良基盤整備事業負担金					
10								
11								
12								
13								
14								
15								
特定財源の内容	（分）新宮川岸地区竜東振興土地改良基盤整備事業負担金		12,100				【特定財源の費目の略称】 （分）：分担金及び負担金 （使）：使用料及び手数料 （国）：国庫支出金（県）：県支出金 （財）：財産収入（寄）：寄付金 （繰）：繰入金（諸）：諸収入 （債）：市債	
一般財源			14,539	96	6			

◆評価◆

事業指標の分析と 事業の成果・課題	事業実施による成果は。また、事業指標の実績値からどのような課題を読み取ることができるか。 ※表や図は左ページの空いた部分か、この欄に記載。	
	- 基本設計業務委託については、9月補正第5号にて繰越明許を設定した。 - 目標としていた基本設計業務委託について、11月10日に八州・エーシーエ設計のJVと業務委託契約を締結した。 - 拠点施設の運営予定者と施設検討を順調に進めている。 - 課題は資材高騰による事業費の算出。基本設計業務の中で施設規模などの調整が必要である。	
細事業の実績に関する分析	細事業の目標達成状況は。どのような成果や課題があるか。	
目標に対する 達成度	事業指標の実績値／目標値 ※指標が複数ある場合は平均値。細事業の指標は算入しない。 A 目標をおおむね達成できている（90%以上105%未満） 【凡例】S：105%以上 A：90%以上105%未満 B：70%以上90%未満 C：70%未満 ー：目標設定なし	

◆改善に向けた取り組み◆

事業の意図の達成や課題解決のための改善案 - 地域未来交付金の申請に向け、令和8年度前半に申請書類の精査。 - 地域に新たな魅力と活気を生み出す施設にするため、施設運営者と協議を進めていく。 - 持続可能な施設運営を目指すため、先進事例の施設を視察して導入設備等を検討していく。 - 飛び地の北西部分を県事業（信州のいい川づくりモデル事業）で護岸整備していくため、県と連携を図っていく。 - 飛び地の埋立をJR側で夏季以降に開始するため、JRと連携を図っていく。	
---	--

款	6	農林水産業費	項	1	農業費	目	5	農地費	事業	1
事務事業名		農業集落排水事業会計繰出事務								
主管		上下水道課								
事業の概要		資本費や維持管理費等を地方公営企業繰出基準に基づき、一般会計から農業集落排水事業会計へ繰り出す補助金。								

対象	農業集落排水事業
意図 (対象をどのようにしたいか)	一般会計で負担すべき額（交付税措置対象分）を農業集落排水事業の収益に充てるもの。

No.	事業指標	指標の算式	5年度	6年度	評価年度（7年度）		備考
			実績値	実績値	目標値	実績値	
1							
2							
3							

◆事業の構成（細事業）と実績◆				7年度予算	7年度決算	6年度決算	決算前年度比	
事業費の合計（千円）と前年度比（％）				247,489	237,432	246,877	△ 3.8	
枝番号	3 力 年 対 象	新規・ 拡充	事務・事業・費用名	事業費（千円）※予算は現額			指標	目標値
				7年度予算	7年度決算	6年度決算	事務・事業・費用の備考	実績値
1			農業集落排水事業会計繰出事務	247,489	237,432	246,877	—	
2								
3								
4								
5								
6								
7								
8								
9								
10								
11								
12								
13								
14								
15								
特定財源の内容							【特定財源の費目の略称】 (分):分担金及び負担金 (使):使用料及び手数料 (国):国庫支出金 (県):県支出金 (財):財産収入 (寄):寄付金 (繰):繰入金 (諸):諸収入 (債):市債	
一般財源				247,489	237,432	246,877		

◆評価◆

事業指標の分析と 事業の成果・課題	事業実施による成果は。また、事業指標の実績値からどのような課題を読み取ることができるか。 ※表や図は左ページの空いた部分か、この欄に記載。	
細事業の実績に関する分析	細事業の目標達成状況は。どのような成果や課題があるか。	
目標に対する 達成度	事業指標の実績値／目標値 ※指標が複数ある場合は平均値。細事業の指標は算入しない。	
	— 目標設定なし	
【凡例】 S : 105%以上 A : 90%以上105%未満 B : 70%以上90%未満 C : 70%未満 — : 目標設定なし		

◆改善に向けた取り組み◆

事業の意図の達成や課題解決のための改善案

款	6	農林水産業費	項	1	農業費	目	5	農地費	事業	2
事務事業名		新宮川岸地区 竜東振興土地改良基盤整備事業								
主管		農林課								
事業の概要		リニア工事発生土を活用した土地改良事業を施行し、農地の整形や非農用地の創出を行う。 新宮川岸地区 8.1ha								
対象		地権者、ＪＲ東海、市民、観光客								
意図 (対象をどのようにしたいか)		リニア工事発生土を活用した土地改良事業を施行し、良好な農地の形成を行う。また、非農用地を創出し、竜東振興拠点施設用の土地として活用を図る。								

No.	事業指標	指標の算式	5年度	6年度	評価年度（7年度）		備考
			実績値	実績値	目標値	実績値	
1	土地改良基盤整備の進捗率	年度計画に対する進捗率	100%	100%	100%	10%	R9年度完了に変更
2							
3							

◆事業の構成（細事業）と実績◆			7年度予算	7年度決算	6年度決算	決算前年度比
事業費の合計（千円）と前年度比（％）			156,500	94	97	△ 3.1

枝番号	3 力 年 対 象	新規・拡充	事務・事業・費用名	事業費（千円）※予算は現額			指標	目標値
				7年度予算	7年度決算	6年度決算	事務・事業・費用の備考	実績値
1	★		土地改良基盤整備事業	156,000			進捗状況達成率 R6年度～R9年度 継続費	100% 0%
2	★		その他	500	94	97	県有地借地料、消耗品	
3			【令和6年度→令和9年度継続費】 〈事業の内容〉 新宮川岸地区竜東振興土地改良基盤整備事業	年 割 額				総額
4				令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	
5				0	156,000	69,000	116,000	341,000
6				繰越後の年割額	0	225,000	116,000	
7				支出（決算）額	0	0		0
8			次年度への繰越額	0	156,000			
9								
10								
11								
12								
13								
14								
15								
特定財源の内容	(分) 新宮川岸地区竜東振興土地改良基盤整備事業負担金			156,500			【特定財源の費目の略称】 (分):分担金及び負担金 (使):使用料及び手数料 (国):国庫支出金 (県):県支出金 (財):財産収入 (寄):寄付金 (繰):繰入金 (諸):諸収入 (債):市債	
一般財源				0	94	97		

◆評価◆

事業指標の分析と 事業の成果・課題	事業実施による成果は。また、事業指標の実績値からどのような課題を読み取ることができるか。 ※表や図は左ページの空いた部分か、この欄に記載。						
	・土地造成工事及び耕土等の搬入は、東海旅客鉄道株式会社（JR東海）が施工して、圃場整備工事は市が施工するが、土地造成工事及び耕土等の搬入が遅延しており、それに伴い圃場整備工事にも遅れが生じている。圃場整備工事は発注しているが、工事着手できておらず、事業進捗に遅れをきたしている。						
細事業の実績に関する分析	細事業の目標達成状況は。どのような成果や課題があるか。 ・圃場整備工事の設計、入札、業者決定までは完了しているが、土地造成工事及び耕土等の搬入の遅延により、圃場整備工事には着手できていない。 ・圃場整備工事完成の遅延により、事業工程を再度見直し、耕作開始時期の延長等含めて地権者の合意を得ることができた。 ・県有地借地事務は予定通り実施できた。						
	<table border="1"> <tr> <td data-bbox="379 1447 464 1480">事業指標の実績値／目標値</td><td data-bbox="464 1447 1473 1480">※指標が複数ある場合は平均値。細事業の指標は算入しない。</td></tr> <tr> <td data-bbox="379 1480 464 1541">C</td><td data-bbox="464 1480 1473 1541">目標を大きく下回った（70%未満）</td></tr> <tr> <td colspan="2" data-bbox="379 1541 1473 1574">【凡例】 S：105%以上 A：90%以上105%未満 B：70%以上90%未満 C：70%未満 ー：目標設定なし</td></tr> </table>	事業指標の実績値／目標値	※指標が複数ある場合は平均値。細事業の指標は算入しない。	C	目標を大きく下回った（70%未満）	【凡例】 S：105%以上 A：90%以上105%未満 B：70%以上90%未満 C：70%未満 ー：目標設定なし	
事業指標の実績値／目標値	※指標が複数ある場合は平均値。細事業の指標は算入しない。						
C	目標を大きく下回った（70%未満）						
【凡例】 S：105%以上 A：90%以上105%未満 B：70%以上90%未満 C：70%未満 ー：目標設定なし							

◆改善に向けた取り組み◆

事業の意図の達成や課題解決のための改善案
・東海旅客鉄道株式会社（JR東海）との調整を図り事業進捗を図る。 ・地権者と耕作開始時期を調整して、耕作に支障がないよう圃場整備工事を進める。 ・非農用地に計画している竜東振興拠点施設事業に遅延が生じないように圃場整備工事を完了させる。

款	6	農林水産業費	項	1	農業費	目	5	農地費	事業	3
事務事業名		農地事業								
主管		農林課								
事業の概要		農業用施設の管理、多面的機能支払交付金及び農業用水路等における公共水域の維持管理を行う。								
対象		市民、農業用施設管理者（土地改良区、水利組合等）								
意図 (対象をどのようにしたいか)		農業用施設が健全な状態で活用できるよう各事業実施を図る。								

No.	事業指標	指標の算式	5年度	6年度	評価年度（7年度）		備考
			実績値	実績値	目標値	実績値	
1	多面的機能支払交付金事業 活動団体数		6団体	6団体	6団体	6団体	
2							
3							

◆事業の構成（細事業）と実績◆			7年度予算	7年度決算	6年度決算	決算前年度比	
事業費の合計（千円）と前年度比（％）			106,951	95,236	125,791	△ 24.3	
枝番号	3 力 年 対 象	新規・ 拡充	事業費（千円）※予算は現額			指標	目標値
			7年度予算	7年度決算	6年度決算	事務・事業・費用の備考	実績値
1	★		多面的機能支払交付金事業	95,746	87,367	80,996	6団体 6団体
2	★		市単農業土木事業	1,216	1,216		
3	★		市単緊急農地防災事業	800	621	794	
4	★		公共水域維持管理事業	30		865	
5	★		用地測量	2,200	75	246	
6			その他	1,239	536	8,240	地すべり地区管理委託、各負担金 ほか
7			農業水路等長寿命化・防災減災事業	5,720	5,421		負担金 R6→R7繰越
8			緊急浚渫推進事業負担金			34,650	
9							
10							
11							
12							
13							
特定財源の内容		(国) 多面的機能支払交付金	47,873	43,683	40,778	【特定財源の費目の略称】 (分): 分担金及び負担金 (使): 使用料及び手数料 (国): 国庫支出金 (県): 県支出金 (財): 財産収入 (寄): 寄付金 (繰): 繰入金 (諸): 諸収入 (債): 市債	
		(県) 多面的機能支払交付金	23,936	21,841	20,249		
		(県) 水利施設管理強化事業	13	13	13		
		(県) 地すべり地区管理受託金	236	231	214		
		(債) 緊急浚渫推進事業債			34,600		
		(債) 公共事業等債		4,800			
		(財) ふるさと水と土基金利子	15	16	3		
	(諸) 農地耕作条件改善事業補助金返還金			3,373			
一般財源			34,878	24,652	26,561		

◆評価◆

事業指標の分析と
事業の成果・課題

事業実施による成果は。また、事業指標の実績値からどのような課題を読み取ることができるか。
※表や図は左ページの空いた部分か、この欄に記載。

多面的機能支払交付金事業について竜西地区3組織、竜東地区3組織の計6組織において活動を実施した。

活動組織	農地維持支払		資源向上支払 (共同)		資源向上支払 (長寿命化)	
	地目	面積(a)	地目	面積(a)	地目	面積(a)
大田切地区農地・水環境 保全管理協定	田・畑	43,570	田・畑	43,570	田・畑	43,570
駒ヶ根竜東ファーム	田	5,536	田	5,536	田	5,536
下平地域水土里を守る会	田・畑	15,481	田・畑	15,481	田・畑	15,481
中田切井自然環境を守る会	田・畑	8,993	田・畑	8,993	田・畑	8,993
栗林河原を守る会	田	1,549	田	1,549	田	1,549
駒ヶ根東部地域広域協定	田・畑	33,523	田・畑	33,523	田・畑	33,523
面積合計(a)		108,652		108,652		108,652
交付金額(千円)		32,077		15,770		39,520

細事業の実績に関する分析

細事業の目標達成状況は。どのような成果や課題があるか。

市単緊急農地防災事業として市街地水路等の改修を4箇所実施した。

公共水域維持管理事業として県単事業等の土地改良区実施事業の補助を5件実施した。

目標に対する
達成度

事業指標の実績値／目標値

※指標が複数ある場合は平均値。細事業の指標は算入しない。

A

目標をおおむね達成できている(90%以上105%未満)

【凡例】S: 105%以上 A: 90%以上105%未満 B: 70%以上90%未満 C: 70%未満 —: 目標設定なし

◆改善に向けた取り組み◆

事業の意図の達成や課題解決のための改善案

多面的機能支払交付金において6組織において事業実施しており、農振農用地面積のカバー率は59.0%となっている。地区外の農業用施設の改修等をどのように進めていくか、大型の土地改良施設(幹線水路、頭首工等)の改修をどのように実施していくか検討していく必要がある。

款	6	農林水産業費	項	1	農業費	目	5	農地費	事業	4
事務事業名		農村環境改善センター管理事業								
主管		農林課								
事業の概要		農村環境改善センター（一心館）の管理を行う。								
対象		施設利用者								
意図 (対象をどのようにしたいか)		施設が安心・安全に利用できるように維持管理を行う。								

No.	事業指標	指標の算式	5年度	6年度	評価年度（7年度）		備考
			実績値	実績値	目標値	実績値	
1	洋式トイレ化 予定箇所への導入率		0	0	100%	100%	
2							
3							

◆事業の構成（細事業）と実績◆			7年度予算	7年度決算	6年度決算	決算前年度比	
事業費の合計（千円）と前年度比（％）			3,333	2,699	1,211	122.9	
枝 番 号	3 力 年 対 象	新 規 ・ 拡 充	事業費（千円）※予算は現額			指標	目標値
			7年度予算	7年度決算	6年度決算	事務・事業・費用の備考	実績値
1	★	新	洋式トイレ化工事	1,913	1,913		進捗状況達成率 100% 100%
2			A E D レンタル料	43	43	36	
3			消防用設備点検・防火対象物点検	59	59	52	
4			その他	1,318	684	1,123	燃料費、光熱水費、修繕料 ほか
5							
6							
7							
8							
9							
10							
11							
12							
13							
14							
15							
特定財源の内容	(使) 農村環境改善センター使用料		50	78	78	【特定財源の費目の略称】 (分):分担金及び負担金 (使):使用料及び手数料 (国):国庫支出金 (県):県支出金 (財):財産収入 (寄):寄付金 (繰):繰入金 (諸):諸収入 (償):市債	
	(償) 緊急防災・減災事業債		1,900	1,500			
	(諸) 雑入		120	120	120		
一般財源			1,263	1,001	1,013		

◆評価◆

事業指標の分析と 事業の成果・課題	事業実施による成果は。また、事業指標の実績値からどのような課題を読み取ることができるか。 ※表や図は左ページの空いた部分か、この欄に記載。		
・事業指標である予定箇所の洋式トイレ化については令和7年度工事を実施して完了することができ、目標値である予定箇所導入率100%を達成することができた。			
・施設を安心・安全に利用できるように維持管理することができた。			
・予定箇所の洋式トイレ化は完了したため、新たに事業指標を設定する必要がある。			

◆改善に向けた取り組み◆

事業の意図の達成や課題解決のための改善案	
・今後さらに、施設を快適に利用することができるように照明のLED化を進めていく。	

款	6	農林水産業費	項	1	農業費	目	5	農地費	事業	5
事務事業名		基盤整備促進事業								
主管		農林課								
事業の概要		老朽化した農業用施設の改修を実施する。								
対象		竜東土地改良区、施設利用者								
意図 (対象をどのようにしたいか)		老朽化した施設を改修し、安全に利用できるように水路工事を実施する。								

No.	事業指標	指標の算式	5年度	6年度	評価年度（7年度）		備考
			実績値	実績値	目標値	実績値	
1	水路工事進捗率	年度計画に対する進捗率	—	100%	100%	100%	R6年度～R10年度
2							
3							

◆事業の構成（細事業）と実績◆			7年度予算	7年度決算	6年度決算	決算前年度比	
事業費の合計（千円）と前年度比（%）			12,400	12,199	495	2364.4	
枝番号	3 力 年 対 象	新規・拡充	事業費（千円）※予算は現額			指標	目標値
			7年度予算	7年度決算	6年度決算	事務・事業・費用の備考	実績値
1	★		6,800	6,776	495	進捗状況達成率	100%
						測量設計費、工事請負費	100%
2			5,600	5,423		R6→R7繰越	100%
3							
4							
5							
6							
7							
8							
9							
10							
11							
12							
13							
14							
特定財源の内容		(県) 団体営基盤整備事業県補助金	4,160	3,840	316	【特定財源の費目の略称】 (分): 分担金及び負担金 (使): 使用料及び手数料 (国): 国庫支出金 (県): 県支出金 (財): 財産収入 (寄): 寄付金 (繰): 繰入金 (諸): 諸収入 (債): 市債	
		(債) 一般補助施設整備等事業債	1,200	1,100			
		(分) 農業基盤整備促進事業負担金	975	1,147	74		
		【令和6年度→令和7年度繰越】					
		(県) 団体営基盤整備事業県補助金	3,395	3,395			
		(債) 一般補助施設整備等事業債	800	800			
		(分) 農業基盤整備促進事業負担金	795	795			
一般財源			1,075	1,122	105		

◆評価◆

事業指標の分析と事業の成果・課題		事業実施による成果は。また、事業指標の実績値からどのような課題を読み取ることができるか。 ※表や図は左ページの空いた部分か、この欄に記載。
・竜東土地改良区内の老朽化した農業用施設を5箇年で計画的に改修する。 ・令和6年度繰越水路改修工事、令和7年度水路改修工事を行った。		
細事業の実績に関する分析		
細事業の目標達成状況は。どのような成果や課題があるか。 ・水路改修工事の実施設計・河川法許可申請・改修工事を予定どおり完了することができた。		
目標に対する達成度	事業指標の実績値／目標値	※指標が複数ある場合は平均値。細事業の指標は算入しない。
	A	目標をおおむね達成できている（90%以上105%未満）
【凡例】 S：105%以上 A：90%以上105%未満 B：70%以上90%未満 C：70%未満 ー：目標設定なし		

◆改善に向けた取り組み◆

事業の意図の達成や課題解決のための改善案
・継続して老朽化した農業用施設を改修して安心して利用できるよう、土地改良区と協議して水路整備を促進する。

款	6	農林水産業費	項	1	農業費	目	5	農地費	事業	6
事務事業名		農村災害対策整備事業								
主管		農林課								
事業の概要		雨水排水等の安全対策を行う。								
対象		市民								
意図 (対象をどのようにしたいか)		豪雨により水路からの溢水が多数確認されているため、雨水排水対策を行う。								

No.	事業指標	指標の算式	5年度	6年度	評価年度（7年度）		備考
			実績値	実績値	目標値	実績値	
1	雨水排水対策の進捗率	年度計画に対する進捗率		100%	100%	100%	
2							
3							

◆事業の構成（細事業）と実績◆			7年度予算	7年度決算	6年度決算	決算前年度比	
事業費の合計（千円）と前年度比（％）			15,000	13,220	20,470	△ 35.4	
枝番号	3 力 年 対 象	新規・拡充	事業費（千円）※予算は現額			指標	目標値
			7年度予算	7年度決算	6年度決算	事務・事業・費用の備考	実績値
1	★		雨水排水対策調査費	5,000	3,938	3,916	進捗状況達成率 100% 100%
2			中央道水路橋耐震補強工事負担金			560	
3			ため池地震耐性評価	10,000	9,282	15,004	R6→R7繰越
4			護岸改修工事			990	亀沢井
5							
6							
7							
8							
9							
10							
11							
12							
13							
14							
15							
特定財源の内容	（債）公共事業等債				550	【特定財源の費目の略称】 （分）:分担金及び負担金 （使）:使用料及び手数料 （国）:国庫支出金（県）:県支出金 （財）:財産収入（寄）:寄付金 （繰）:繰入金（諸）:諸収入 （債）:市債	
	（繰）ふるさとづくり基金繰入金		2,000	2,000			
	【令和6年度→令和7年度繰越】						
	（県）ため池地震耐性評価県支出金		9,500	9,000	14,700		
一般財源			3,500	2,220	5,220		

◆評価◆

事業指標の分析と 事業の成果・課題		事業実施による成果は。また、事業指標の実績値からどのような課題を読み取ることができるか。 ※表や図は左ページの空いた部分か、この欄に記載。	
事業指標としていた雨水排水対策事業として、令和6・7年度で竜西地区の雨水排水対策検討業務を実施した。 検討業務において、過去の越水箇所や対策工事箇所の検討を行った。 今後対策事業について検討していく必要がある。			
細事業の実績に関する分析		細事業の目標達成状況は。どのような成果や課題があるか。	
繰越事業であるため池地震耐震調査について完了した。 ため池地震耐震調査については防災重点農業用ため池10か所中9か所の耐震調査を完了した。残り1か所についても計画的に実施していく必要がある。			
目標に対する 達成度	事業指標の実績値／目標値 ※指標が複数ある場合は平均値。細事業の指標は算入しない。		
	A	目標をおおむね達成できている（90%以上105%未満）	
	【凡例】 S：105%以上 A：90%以上105%未満 B：70%以上90%未満 C：70%未満 ー：目標設定なし		

◆改善に向けた取り組み◆

事業の意図の達成や課題解決のための改善案
・近年多発する風水害対応として、農業用施設は重要な役割を担っており、各関係機関等の中で意識を高め、連携して対応策を協議していく必要がある。

款	6	農林水産業費	項	1	農業費	目	7	地域農政推進費	事業	1
事務事業名		農業振興地域整備事業								
主管		農林課								
事業の概要		農業振興地域整備計画に沿って、農振除外箇所の調整を行い、農業振興地域の適正利用を推進する。								
対象		農家・事業計画者								
意図 (対象をどのようにしたいか)		優良農地を確保するため、除外地の選定や除外面積の適正化を図る。								

No.	事業指標	指標の算式	5年度	6年度	評価年度（7年度）		備考
			実績値	実績値	目標値	実績値	
1	農業振興地域からの除外		3ha	2ha	4ha	3ha	
2							
3							

◆事業の構成（細事業）と実績◆

事業費の合計（千円）と前年度比（％）		7年度予算	7年度決算	6年度決算	決算前年度比
		251	164	198	△ 17.2

枝番号	3 力 年 対 象	新規・ 拡充	事務・事業・費用名	事業費（千円）※予算は現額			指標	目標値
				7年度予算	7年度決算	6年度決算	事務・事業・費用の備考	実績値
1			農政協議会委員報酬	251	164	198	協議会開催数 委員報酬	3回 3回
2								
3								
4								
5								
6								
7								
8								
9								
10								
11								
12								
13								
14								
15								
特定 財源 の 内 容							【特定財源の費目の略称】 (分):分担金及び負担金 (使):使用料及び手数料 (国):国庫支出金 (県):県支出金 (財):財産収入 (寄):寄付金 (繰):繰入金 (諸):諸収入 (債):市債	
一般財源				251	164	198		

◆評価◆

事業指標の分析と 事業の成果・課題	事業実施による成果は。また、事業指標の実績値からどのような課題を読み取ることができるか。 ※表や図は左ページの空いた部分か、この欄に記載。			
・地域計画に基づき、除外箇所・除外面積の適正化を図ることにより、除外面積を目標値以内とし、優良農地を確保することができた。				
		R5	R6	R7
除外審査	件数	33	17	17
	面積(ha)	3.0	1.3	3.2
編入審査	件数	1	1	0
	面積(ha)	0.2	0.1	0.0
細事業の実績に関する分析		細事業の目標達成状況は。どのような成果や課題があるか。		
農政協議会を開催し、申請案件について適正な審議を行った。				
目標に対する 達成度	事業指標の実績値／目標値 ※指標が複数ある場合は平均値。細事業の指標は算入しない。			
	B	目標をやや達成できなかった（70%以上90%未満）		
		【凡例】 S：105%以上 A：90%以上105%未満 B：70%以上90%未満 C：70%未満 －：目標設定なし		
◆改善に向けた取り組み◆				
事業の意図の達成や課題解決のための改善案				
・認定農業者等の農地の集積・集約化を支援し、集団的な農振農用地を維持する必要がある。				

款	6	農林水産業費	項	1	農業費	目	11	営農センター費	事業	1
事務事業名		地域営農推進事業								
主管		農林課								
事業の概要		農地中間管理事業により、農地の貸し借りをを行う。また、地域農業推進のため営農センターの支援を行う。								
対象		市内農家								
意図 (対象をどのようにしたいか)		農地中間管理事業について、新規の農地の賃貸借及び契約の更新が円滑に行われるようサポートを行い、農地をしっかりと管理していただくことで荒廃農地が増えないようにする。								
No.	事業指標		指標の算式	5年度 実績値	6年度 実績値	評価年度（7年度） 目標値 実績値		備考		
1	農地中間管理事業 集積面積（計画面積）			73.9ha	93.6ha	95ha 89.4ha				
2										
3										

◆事業の構成（細事業）と実績◆				7年度予算	7年度決算	6年度決算	決算前年度比	
事業費の合計（千円）と前年度比（％）				5,465	3,503	29,979	△ 88.3	
枝番号	3 力 年 対 象	新規・ 拡充	事務・事業・費用名	事業費（千円）※予算は現額			指標	目標値
				7年度予算	7年度決算	6年度決算	事務・事業・費用の備考	実績値
1			会計年度任用職員（農地中間管理事業）	2,142	2,073	1,948	1名	
2			営農センター交付金（運営費、信州駒黒管理業務）	605	605	605	交付率	100% 100%
3			農地中間管理機構集積協力金	300				
4			直接支払推進事業費補助金	2,189	762	662	補助率	100% 100%
5			地域計画作成事業			2,167	-	-
6			その他	229	63	112	旅費、使用料	
7			農業次世代人材投資資金事業			4,050		
8			新規就農者育成総合対策事業（経営発展支援）			3,131		
9			新規就農者育成総合対策事業（経営開始資金）			12,750		
10			農地利用効率化等支援事業			4,554		
11								
12								
13								
14								
15								
特定財源の内容			（県）農地中間管理機構集積協力金	300			【特定財源の費目の略称】 （分）：分担金及び負担金 （使）：使用料及び手数料 （国）：国庫支出金 （県）：県支出金 （財）：財産収入 （寄）：寄付金 （繰）：繰入金 （諸）：諸収入 （債）：市債	
			（県）経営所得安定対策推進事業補助金	2,189	762	662		
			（県）地域営農基盤強化総合対策事業補助金			4,554		
			（諸）受託事業収入（農地中間管理事業）	2,013		950		
			（県）新規就農者育成総合対策事業費補助金			19,931		
			（県）地域計画策定推進緊急対策事業			2,125		
一般財源				963	2,741	23,813		

◆評価◆

事業指標の分析と 事業の成果・課題	事業実施による成果は。また、事業指標の実績値からどのような課題を読み取ることができるか。 ※表や図は左ページの空いた部分か、この欄に記載。	
	・農地中間管理事業による集積面積は、令和6年度に93.6haと増加したものの、令和7年度は89.4haと減少し、目標値95haには達していない。契約更新のタイミングや合意形成に時間を要するケースがあることに加え、担い手不足や高齢化により受け手の確保が難しい状況が影響していると考えられる。	
細事業の実績に関する分析	細事業の目標達成状況は。どのような成果や課題があるか。	
目標に対する 達成度	事業指標の実績値／目標値 ※指標が複数ある場合は平均値。細事業の指標は算入しない。 A 目標をおおむね達成できている（90%以上105%未満） 【凡例】 S：105%以上 A：90%以上105%未満 B：70%以上90%未満 C：70%未満 ー：目標設定なし	

◆改善に向けた取り組み◆

事業の意図の達成や課題解決のための改善案 ・今後は関係機関と連携し、貸し手・借り手双方への調整や情報提供により契約更新の円滑化と新規集積を図るとともに、地域計画と連動した農地の集積・集約化を進め、農地の適正管理と荒廃農地の未然防止につなげていく必要がある。	
--	--

款	6	農林水産業費	項	1	農業費	目	13	中山間地振興費	事業	1
事務事業名		シルクミュージアム運営事業								
主管		農林課								
事業の概要		郷土の養蚕と製糸の歴史を学ぶ場として、駒ヶ根シルクミュージアムの管理運営と、生涯学習の場として体験工房の管理運営事業を行う。								
対象		観光客、市民								
意図 (対象をどのようにしたいか)		竜東地域振興の拠点施設であることから、多くの方に来館してもらい、駒ヶ根の魅力を感じてもらい、地域の活性化を図る。								

No.	事業指標	指標の算式	5年度	6年度	評価年度（7年度）		備考
			実績値	実績値	目標値	実績値	
1	来館者数		4,930人	5,619人	5,200人	6,080人	
2							
3							

◆事業の構成（細事業）と実績◆			7年度予算	7年度決算	6年度決算	決算前年度比	
事業費の合計（千円）と前年度比（％）			47,058	39,383	36,383	8.2	
枝番号	3カ年対象 新規・拡充	事務・事業・費用名	事業費（千円）※予算は現額			指標	目標値
			7年度予算	7年度決算	6年度決算	事務・事業・費用の備考	実績値
1	★	会計年度任用職員（館長）	4,182	4,182	4,279	1名	
2	★	会計年度任用職員（施設職員）	6,489	5,919	6,248	3名	
3	★	シルクミュージアム特別展	1,544	153	453	4・5月の来館者数	850人 1,006人
4	★	まゆクラフト、織り、染めの各種体験の実施	4,070	3,378	3,988	体験者数	2,500人 3,408人
5	★	施設運営・管理費	18,181	16,388	17,414	R6決算は施設運営・管理費の合計	
6	★	信州大学繊維学部との連携事業	99				
7	★	レストラン菜々ちゃん指定管理料	2,000	1,651	2,000		
8	★	糸平フェスティバル事業	300	298	348	小中学校啓発教材配布	100% 100%
9	★	カイコプロジェクト 【バイオ医薬品への活用事業】	534	518	1,653	カイコ飼育数	50,000頭 34,000頭
10	★ 新	カイコプロジェクト 【動態展示事業】	4,325	2,266		動態展示用改修基本設計	100% 100%
11	★	地域おこし協力隊	5,334	4,630		1名	
12							
13							
14							
15							
特定財源の内容	(使)シルクミュージアム観覧料		2,000	1,310	1,133	【特定財源の費目の略称】 (分):分担金及び負担金 (使):使用料及び手数料 (国):国庫支出金 (県):県支出金 (財):財産収入 (寄):寄付金 (繰):繰入金 (諸):諸収入 (償):市債	
	(使)体験工房利用料		800	549	466		
	(使)広域総合交流促進施設使用料		4				
	(諸)シルクミュージアム雑入		4,036	2,367	2,147		
一般財源			40,218	35,157	32,637		

◆評価◆

事業指標の分析と
事業の成果・課題

事業実施による成果は、また、事業指標の実績値からどのような課題を読み取ることができるか。
※表や図は左ページの空いた部分か、この欄に記載。

・シルクミュージアムの来館者数は、着実に増加しており、令和7年度の目標値5,200人を達成している。一方で、依然としてコロナ禍前の水準には回復しておらず、来館者数のさらなる増加に向けた取組が課題となっている。

【事業実績】

○シルクミュージアム利用者数
右表参照

○第64回特別展（まゆクラフト作品展）
会期：4月17日～5月20日 出展数：34

○糸平フェスティバル
地域の歴史・文化への理解と郷土愛の醸成を目的に、「天下の糸平」をテーマとした教材チラシを作成し、小学3年生から中学3年生に配布

○カイコプロジェクト
ミニミニ養蚕：個人・団体延べ38組
出荷数：34,000頭

区分		R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7
観覧者	観覧者数（人）	8,724	3,526	4,101	4,621	4,930	5,619	6,080
	対前年比（％）	75.2	40.4	116.3	112.7	106.7	114.0	108.2
	観覧料（千円）	1,558	671	668	896	979	1,133	1,311
	対前年比（％）	69.3	43.1	99.6	134.1	109.3	115.7	115.7
体験者	体験者数（人）	4,325	1,407	2,053	2,092	2,359	3,641	3,408
	対前年比（％）	114.6	32.5	145.9	101.9	112.8	154.3	93.6
	体験料（千円）	662	184	321	356	372	466	547
	対前年比（％）	107.8	27.8	174.5	110.9	104.5	125.3	117.4
レストラン利用者	利用者数（人）	32,371	9,379	13,447	17,542	22,671	26,467	24,368
	対前年比（％）	94.5	29.0	143.4	130.5	129.2	116.7	92.1
	売上げ（千円）	39,729	11,695	17,200	23,446	32,174	38,105	36,699
	対前年比（％）	101.7	29.4	147.1	136.3	137.2	118.4	96.3
売店・直売所利用者	利用者数（人）	13,580	5,613	7,049	7,290	8,600	9,555	8,660
	対前年比（％）	84.5	41.3	125.6	103.4	118.0	111.1	90.6
	売上げ（千円）	15,325	6,698	6,665	8,375	9,830	11,716	11,529
	対前年比（％）	86.2	43.7	99.5	125.7	117.4	119.2	98.4

細事業の実績に関する分析

細事業の目標達成状況は、どのような成果や課題があるか。

事業指標の実績値／目標値

※指標が複数ある場合は平均値。細事業の指標は算入しない。

目標に対する
達成度

S

目標を大きく上回った（105％以上）

【凡例】S：105％以上 A：90％以上105％未満 B：70％以上90％未満 C：70％未満 ー：目標設定なし

◆改善に向けた取り組み◆

事業の意図の達成や課題解決のための改善案
・カイコプロジェクトによる動態展示や体験型プログラムの充実により来館のきっかけをつくるとともに、繭の安定供給を含めた生産体制の確立やリターン繭の有効活用、技術者の確保・育成を進め、持続可能な運営体制の構築を通じて来館者数の増加につなげていく必要がある。

款	6	農林水産業費	項	1	農業費	目	13	中山間地振興費	事業	2
事務事業名		駒ヶ根ふるさとの家運営事業								
主管		農林課								
事業の概要		駒ヶ根ふるさとの家の運営事業を行い、農林業体験の実施や都市と農村の交流を推進する。								
対象		観光客、市民								
意図 (対象をどのようにしたいか)		多くの方にふるさとの家を利用してもらい、自然あふれる駒ヶ根市を楽しんでもらう。								

No.	事業指標	指標の算式	5年度	6年度	評価年度（7年度）		備考
			実績値	実績値	目標値	実績値	
1	施設利用者		1,678人	2,229人	1,700人	2,439人	
2							
3							

◆事業の構成（細事業）と実績◆			7年度予算	7年度決算	6年度決算	決算前年度比	
事業費の合計（千円）と前年度比（％）			10,776	10,511	12,027	△ 12.6	
枝番号	3 力 年 対 象	新規・ 拡充	事業費（千円）※予算は現額			指標	目標値
			7年度予算	7年度決算	6年度決算	事務・事業・費用の備考	実績値
1	★		ふるさとの家指定管理料	8,460	8,250	10,100	
2	★		その他ふるさとの家管理運営事業	2,316	2,261	1,927	消耗品、修繕費、負担金等
3	★		ふれあい農園補助				
4							
5							
6							
7							
8							
9							
10							
11							
12							
13							
14							
15							
特定財源の内容						【特定財源の費目の略称】 (分):分担金及び負担金 (使):使用料及び手数料 (国):国庫支出金 (県):県支出金 (財):財産収入 (寄):寄付金 (繰):繰入金 (諸):諸収入 (債):市債	
一般財源			10,776	10,511	12,027		

◆評価◆

事業指標の分析と事業の成果・課題		事業実施による成果は。また、事業指標の実績値からどのような課題を読み取ることができるか。 ※表や図は左ページの空いた部分か、この欄に記載。						
・駒ヶ根ふるさとの家の施設利用者数は、着実に増加しており、令和7年度の目標値1,700人を達成している。これは、子どもを対象とした企画の実施や、教育旅行・企業研修の積極的な受け入れ、体験プログラムの充実などによるものと考えられる。 ・宿泊利用者の増加により事業収入は増加した。一方で、水道光熱費については、光熱水費の高騰に加え、冬季の暖房費や凍結防止対策に係る経費が増加したことから支出が増となった。特に、食堂・事務室のエアコン故障によりストーブの使用台数や稼働頻度が増えたことが、水道光熱費増加の要因となっている。		施設利用実績						
		区分		R3	R4	R5	R6	R7
		営業日数（日）		183	323	315	288	276
		宿泊	宿泊利用者数（人）	769	648	1,116	623	799
			対前年比（％）	165.4%	84.3%	172.2%	55.8%	128.3%
		施設	施設利用者数（人）	690	1,577	1,678	2,229	2,439
			対前年比（％）	445.2%	228.6%	106.4%	132.8%	109.4%
		合計利用者数		1,459	2,225	2,794	2,852	3,238
		プログラム利用実績						
		区分		R3	R4	R5	R6	R7
		体験	利用者数（人）	20	81	127	337	366
			対前年比（％）	—	405.0%	156.8%	265.4%	108.6%
		研修	参加者数（人）	138	360	1,449	2,538	1,459
			対前年比（％）	—	260.9%	402.5%	175.2%	57.5%
		主催事業	参加者数（人）	0	194	328	357	184
			対前年比（％）	—	—	—	—	—
事業収支実績								
区分		R3	R4	R5	R6	R7		
収入	事業収入計（千円）①	11,541	15,943	19,460	15,094	15,232		
	対前年比（％）	57.5	138.1	122.1	77.6	100.9		
	指定管理料	6,187	8,250	10,750	10,100	8,250		
支出	事業支出（千円）②	8,195	13,601	14,337	13,674	14,139		
	人件費（千円）③	3,060	3,100	4,943	4,300	2,488		
	支出計	11,255	16,701	19,280	17,974	16,627		
	対前年比（％）	51.6	148.4	115.4	93.2	92.5		
収支差額 ①－②－③		286	-758	180	-2,880	-1,395		
細事業の実績に関する分析		細事業の目標達成状況は。どのような成果や課題があるか。						
目標に対する達成度		事業指標の実績値／目標値 ※指標が複数ある場合は平均値。細事業の指標は算入しない。						
		S	目標を大きく上回った（105％以上）					
		【凡例】 S：105％以上 A：90％以上105％未満 B：70％以上90％未満 C：70％未満 —：目標設定なし						
◆改善に向けた取り組み◆								
事業の意図の達成や課題解決のための改善案								
・ 今後は、これらの取組を継続・強化するとともに、さらなる誘客に向けた情報発信や受入体制の充実を図り、利用者数の一層の増加につなげていく必要がある。								

款	6	農林水産業費	項	1	農業費	目	13	中山間地振興費	事業	3
事務事業名		中山間地域等直接支払制度事業								
主管		農林課								
事業の概要		中山間地域で集落協定が締結された農地に交付金の支払いを行うことにより、農業生産活動を将来に向けて維持する地域の活動を支援する。								
対象		市内農家								
意図 (対象をどのようにしたいか)		中山間地域等直接支払制度事業を活用することにより、耕作不利な農地を維持し、農村を守っていく。								

No.	事業指標	指標の算式	5年度	6年度	評価年度（7年度）		備考
			実績値	実績値	目標値	実績値	
1	対象面積		344.9ha	345.2ha	345ha	329.9ha	
2							
3							

◆事業の構成（細事業）と実績◆			7年度予算	7年度決算	6年度決算	決算前年度比	
事業費の合計（千円）と前年度比（％）			71,470	64,261	71,487	△ 10.1	
枝番号	3 力 年 対 象	新規・拡充	事業費（千円）※予算は現額			指標	目標値
			7年度予算	7年度決算	6年度決算	事務・事業・費用の備考	実績値
1	★		中山間地域等直接支払制度事業 （5集落協定 面積345ha）	71,200	63,999	71,192	協定件数 5件 5件
2			その他	270	262	295	消耗品費、郵送料等
3							
4							
5							
6							
7							
8							
9							
10							
11							
12							
13							
14							
15							
特定財源の内容	(県) 中山間地域農業直接支払事業県補助金		50,945	45,570	50,813	【特定財源の費目の略称】 (分):分担金及び負担金 (使):使用料及び手数料 (国):国庫支出金 (県):県支出金 (財):財産収入 (寄):寄付金 (繰):繰入金 (諸):諸収入 (償):市債	
一般財源			20,525	18,691	20,674		

◆評価◆

事業指標の分析と 事業の成果・課題	事業実施による成果は。また、事業指標の実績値からどのような課題を読み取ることができるか。 ※表や図は左ページの空いた部分か、この欄に記載。	
	・当事業の活用により、中山間地域における農地の維持管理や農業生産活動の継続が図られ、地域ぐるみで農地や農村環境を守る体制の維持につながっている。一方で、対象面積（協定面積）は、令和5年度344.9ha、令和6年度345.2haとほぼ横ばいで推移したものの、令和7年度は329.9haと減少し、目標値345haには達していない。要因としては、高齢化や担い手不足に加え、宅地転用等による農地の減少が影響していると考えられる。 【事業実績】 ○指定地区（中沢、東伊那の一部） 178.1ha（田：175.6ha、畑：2.4ha） ○特認地区（東伊那、南割、北割2光前寺、市場割宮の前） 151.8ha（田：151.8ha）	
細事業の実績に関する分析	細事業の目標達成状況は。どのような成果や課題があるか。	
目標に対する 達成度	事業指標の実績値／目標値 ※指標が複数ある場合は平均値。細事業の指標は算入しない。 A 目標をおおむね達成できている（90%以上105%未満） 【凡例】 S：105%以上 A：90%以上105%未満 B：70%以上90%未満 C：70%未満 ー：目標設定なし	

◆改善に向けた取り組み◆

事業の意図の達成や課題解決のための改善案 ・今後は集落内での話し合いの促進や関係機関と連携した担い手の確保・育成を進めるとともに、制度の周知を図り、協定面積の維持につなげていく必要がある。	
--	--

款	6	農林水産業費	項	2	林業費	目	1	林業総務費	事業	2
事務事業名		林業総務事務								
主管		農林課								
事業の概要		鳥獣対策事業や緑の基金事業、森林整備や各協議会等負担金の支払等を行う。								
対象		市民、森林所有者、鳥獣被害対策実施隊								
意図 (対象をどのようにしたいか)		鳥獣対策を実施し、市民生活の安全・安心確保を図る。緑の基金事業や森林整備を実施することで、森林や木に興味や親しみを持つ機会を増やす。								

No.	事業指標	指標の算式	5年度	6年度	評価年度（7年度）		備考
			実績値	実績値	目標値	実績値	
1	緑の少年団活動団体数		2団体	2団体	2団体	2団体	
2	狩猟免許取得の補助		1人	0人	8人	3人	
3							

◆事業の構成（細事業）と実績◆			7年度予算	7年度決算	6年度決算	決算前年度比
事業費の合計（千円）と前年度比（％）			47,412	45,178	38,905	16.1

枝番号	3 力 年 対 象	新規・拡充	事務・事業・費用名	事業費（千円）※予算は現額			指標	目標値
				7年度予算	7年度決算	6年度決算	事務・事業・費用の備考	実績値
1	★		古城公園整備	5,197	5,197	6,371		
2	★		森林整備 駒ヶ根高原	1,600	1,210	3,045		
3			緑の基金事業	1,100	735	989		
4			森林整備意向調査			1,320		
5			各協議会等負担金	1,035	807	2,768		
6			狩猟免許取得補助	188	17			8人 3人
7			鳥獣対策事業	1,212	940	1,554	実施隊報酬、実施隊保険、ツキノワグマ学習放獣	
8			森林環境譲与税基金積立金	26,779	26,779	16,608		
9			その他	7,001	6,534	6,250	会計年度任用職員報酬、消耗品 ほか	
10			森林整備 ライフライン保全対策	3,300	2,959			
11								
12								
13								
特定財源の内容		(県) 野生鳥獣総合管理対策事業県補助金	406	307	382	【特定財源の費目の略称】 (分):分担金及び負担金 (使):使用料及び手数料 (国):国庫支出金 (県):県支出金 (財):財産収入 (寄):寄付金 (繰):繰入金 (諸):諸収入 (債):市債 (他):その他		
		(繰) ふるさとづくり基金繰入金			1,000			
		(繰) 森林環境譲与税繰入金	15,000	7,177	9,042			
		(財) 黒川平共有地借地料	393	393	393			
		(財) 森林環境譲与税基金利子	3	34	4			
		(諸) 緑の募金還元金	1,100	871	878			
		(他) 森林環境譲与税	2,330	26,779				
		(県) 森林づくり県民税活用事業県補助金	2,980	2,980	2,100			
		(諸) 行政財産使用料等		5	5			
一般財源			25,200	6,632	36,248			

◆評価◆

事業指標の分析と 事業の成果・課題	事業実施による成果は。また、事業指標の実績値からどのような課題を読み取ることができるか。 ※表や図は左ページの空いた部分か、この欄に記載。																		
	・緑の少年団活動団体は中沢小学校、東伊那小学校で継続して活動を行っている。 ・狩猟免許取得補助については、近年取得者が減少しており、令和7年度については目標8人に対して補助3人と目標を下回った。鳥獣対策として猟友会会員の減少は深刻な問題であり、担い手不足解消に取り組む必要がある。																		
細事業の実績に関する分析	細事業の目標達成状況は。どのような成果や課題があるか。 ・森林整備意向調査については、令和4年度より実施しており、予定より調査が進捗したため、令和7年度は実施しなかった。令和7年度に駒ヶ根市森林経営管理制度実施方針を一部改正して調査予定箇所を前倒しして意向調査を進めていく。 ・有害鳥獣駆除捕獲数 <table border="1" data-bbox="145 1142 1037 1276"> <thead> <tr> <th></th><th>令和3年度</th><th>令和4年度</th><th>令和5年度</th><th>令和6年度</th><th>令和7年度</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>ニホンジカ（頭）</td><td>848</td><td>539</td><td>354</td><td>387</td><td>243</td></tr> <tr> <td>ニホンザル（頭）</td><td>14</td><td>32</td><td>1</td><td>23</td><td>7</td></tr> </tbody> </table>		令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	ニホンジカ（頭）	848	539	354	387	243	ニホンザル（頭）	14	32	1	23	7
	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度														
ニホンジカ（頭）	848	539	354	387	243														
ニホンザル（頭）	14	32	1	23	7														
目標に対する 達成度	事業指標の実績値／目標値 ※指標が複数ある場合は平均値。細事業の指標は算入しない。 C 目標を大きく下回った（70%未満） 【凡例】 S：105%以上 A：90%以上105%未満 B：70%以上90%未満 C：70%未満 ー：目標設定なし																		
◆改善に向けた取り組み◆	事業の意図の達成や課題解決のための改善案																		
	・鳥獣対策として猟友会会員の減少は深刻な問題であり、担い手不足解消に取り組む必要がある。																		

款	6	農林水産業費	項	2	林業費	目	2	林業振興費	事業	1
事務事業名		森林整備促進対策事業								
主管		農林課								
事業の概要		林業事業体が実施する森林整備を促進させる事業を行う。								
対象		林業事業体、森林所有者								
意図 (対象をどのようにしたいか)		森林整備を実施する林業事業体に対し、森林整備促進のための支援を行う。								

No.	事業指標	指標の算式	5年度	6年度	評価年度（7年度）		備考
			実績値	実績値	目標値	実績値	
1							
2							
3							

◆事業の構成（細事業）と実績◆			7年度予算	7年度決算	6年度決算	決算前年度比	
事業費の合計（千円）と前年度比（％）			2,140	861	421	104.5	
枝番号	3 力 年 対 象	新規・ 拡充	事業費（千円）※予算は現額			指標	目標値
			7年度予算	7年度決算	6年度決算	事務・事業・費用の備考	実績値
1	★	新	森林整備地域活動支援事業	640	560		
2	★		森林整備促進対策事業	1,500	301	421	
3							
4							
5							
6							
7							
8							
9							
10							
11							
12							
13							
14							
15							
特定財源の内容	(県) 森林整備地域活動支援交付金		480	420		【特定財源の費目の略称】 (分): 分担金及び負担金 (使): 使用料及び手数料 (国): 国庫支出金 (県): 県支出金 (財): 財産収入 (寄): 寄付金 (繰): 繰入金 (諸): 諸収入 (債): 市債	
一般財源			1,660	441	421		

◆評価◆

事業指標の分析と事業の成果・課題		事業実施による成果は。また、事業指標の実績値からどのような課題を読み取ることができるか。 ※表や図は左ページの空いた部分か、この欄に記載。						
・森林所有境界が不明確な森林が多く、森林整備の推進の加速化を鈍らせており、森林整備面積について年々減少傾向にある。								
年度	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7	
森林整備面積 (ha)	43.96	40.68	44.68	41.62	30.90	25.63	14.24	
細事業の実績に関する分析		細事業の目標達成状況は。どのような成果や課題があるか。						
・森林整備地域活動支援事業として森林経営計画作成補助を1件実施した。								
・森林整備促進対策事業として森林整備事業に嵩上げ補助金を交付した。								
目標に対する達成度		事業指標の実績値／目標値 ※指標が複数ある場合は平均値。細事業の指標は算入しない。						
—		目標設定なし						
		【凡例】 S : 105%以上 A : 90%以上105%未満 B : 70%以上90%未満 C : 70%未満 — : 目標設定なし						

◆改善に向けた取り組み◆

事業の意図の達成や課題解決のための改善案	
・森林整備面積が年々減少しており、林業事業体や森林所有者に継続的に整備促進していく必要がある。	
・森林経営管理制度に基づき、森林所有者に意向調査を実施して、林業事業体に間伐等を委託する等による森林整備を推進していく。	

款	6	農林水産業費	項	2	林業費	目	2	林業振興費	事業	2
事務事業名		松くい虫対策事業								
主管		農林課								
事業の概要		松くい虫被害の拡大防止対策を実施する。								
対象		市民、山林所有者								
意図 (対象をどのようにしたいか)		松枯損木処理や薬剤空中散布、薬剤樹幹注入購入補助等を行い、松くい虫被害の拡大防止を図る。								

No.	事業指標	指標の算式	5年度	6年度	評価年度（7年度）		備考
			実績値	実績値	目標値	実績値	
1	松枯損木処理		625本	353本	900本	348本	
2							
3							

◆事業の構成（細事業）と実績◆			7年度予算	7年度決算	6年度決算	決算前年度比	
事業費の合計（千円）と前年度比（％）			44,500	37,156	24,958	48.9	
枝番号	3 力 年 対 象	新規・ 拡充	事業費（千円）※予算は現額			指標	目標値
			7年度予算	7年度決算	6年度決算	事務・事業・費用の備考	実績値
1	★		枯損木処理委託	32,970	29,540	16,953	900本 348本
2	★		薬剤空中散布	8,578	5,214	5,599	
3	★		ドローン調査	1,300	1,078	1,078	調査方法 2業務 2業務
4	★		樹幹注入材購入補助	200	33	32	補助件数 40戸 10戸
5			その他	1,452	1,291	1,296	負担金、報酬、消耗品
6							
7							
8							
9							
10							
11							
12							
13							
14							
15							
特定財源の内容			(県) 森林病害虫等防除事業県補助金	27,496	23,127	16,415	【特定財源の費目の略称】 (分): 分担金及び負担金 (使): 使用料及び手数料 (国): 国庫支出金 (県): 県支出金 (財): 財産収入 (寄): 寄付金 (繰): 繰入金 (諸): 諸収入 (債): 市債 (他): その他
			(繰) 森林環境譲与税繰入金		1,628		
			(諸) 雑入	1,000	533	449	
			(他) 森林環境譲与税	1,300			
			(県) 信州の森林づくり事業補助金	2,226	2,226		
一般財源			12,478	9,642	8,094		

◆評価◆

事業指標の分析と事業の成果・課題		事業実施による成果は。また、事業指標の実績値からどのような課題を読み取ることができるか。 ※表や図は左ページの空いた部分か、この欄に記載。					
・松枯損木処理について目標値900本に対して実績値は348本と下回った。原因として国からの補助金額減少と道路や住宅付近の処理が増えてクレーンを使用するなど1本あたりの処理費が高く処理本数が減っている。							
・枯損木処理状況							
年度	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7
材積(m³)	942	924	989	1,022	912	484	657
本数	814	913	602	956	625	353	348
</							

款	6	農林水産業費	項	2	林業費	目	2	林業振興費	事業	3
事務事業名		森林の里親促進事業								
主管		農林課								
事業の概要		各企業と森林の里親協定を締結し、市内山林の森林整備等を実施する。								
対象		森林の里親協定企業								
意図 (対象をどのようにしたいか)		森林の里親協定企業との共同による森林整備等を実施し、森林に対する愛着等の意識向上を図る。また、森林の里親協定企業からの寄付金を活用した森林整備を行う。								

No.	事業指標	指標の算式	5年度	6年度	評価年度（7年度）		備考
			実績値	実績値	目標値	実績値	
1	森林整備実施回数		1回	1回	1回	1回	
2							
3							

◆事業の構成（細事業）と実績◆			7年度予算	7年度決算	6年度決算	決算前年度比	
事業費の合計（千円）と前年度比（％）			483	308	350	△ 12.0	
枝番号	3力年対象	新規・拡充	事業費（千円）※予算は現額			指標	目標値
			7年度予算	7年度決算	6年度決算	事務・事業・費用の備考	実績値
1	★		400	303	286	森林整備実施回数	1回 1回
2			83	5	64	講師謝礼、消耗品 ほか	
3							
4							
5							
6							
7							
8							
9							
10							
11							
12							
13							
14							
15							
特定財源の内容	(寄) 農林水産業費寄付金		300	300	99	【特定財源の費目の略称】 (分): 分担金及び負担金 (使): 使用料及び手数料 (国): 国庫支出金 (県): 県支出金 (財): 財産収入 (寄): 寄付金 (繰): 繰入金 (諸): 諸収入 (債): 市債	
一般財源			183	8	251		

◆評価◆

事業指標の分析と 事業の成果・課題	事業実施による成果は。また、事業指標の実績値からどのような課題を読み取ることができるか。 ※表や図は左ページの空いた部分か、この欄に記載。		
・ 企業 4 社と森林の里親実施協定を締結している。			
・ 森林の里親協定企業 1 社からの支援金500, 000円を森林整備の費用に充て市有林の間伐作業を実施した。			

◆改善に向けた取り組み◆

事業の意図の達成や課題解決のための改善案		
・森林の里親企業は減少傾向にあり、新たな企業と協定を締結するため、周知、募集を行っていく必要がある。 ・協定企業も森林CO₂吸収量を上げることを希望しており、支援金で行う森林整備について、効果的に森林CO₂吸収量を上げる方法を検討していく必要がある。		

款	6	農林水産業費	項	2	林業費	目	3	造林費	事業	1
---	---	--------	---	---	-----	---	---	-----	----	---

事務事業名	市有林造成事業									
主管	農林課									

事業の概要	市有林の維持管理を行う。									
-------	--------------	--	--	--	--	--	--	--	--	--

対象	市有林									
意図 (対象をどのようにしたいか)	市有林の整備、維持管理を行う。									

No.	事業指標	指標の算式	5年度	6年度	評価年度(7年度)		備考
			実績値	実績値	目標値	実績値	
1	森林整備回数		1回	1回	1回	1回	
2							
3							

◆事業の構成(細事業)と実績◆			7年度予算	7年度決算	6年度決算	決算前年度比
事業費の合計(千円)と前年度比(%)			558	546	557	△ 2.0

枝番号	3 力 年 対 象	新規・拡充	事務・事業・費用名	事業費(千円)※予算は現額			指標	目標値
				7年度予算	7年度決算	6年度決算	事務・事業・費用の備考	実績値
1	★		市有林整備	400	396	407	整備回数	1回 1回
2			その他	158	150	150	ため池管理(市有林内)、消耗品 ほか	
3								
4								
5								
6								
7								
8								
9								
10								
11								
12								
13								
14								
15								
特定財源の内容			(寄) 農林水産業費寄付金	200	200	401		
一般財源				358	346	156		

【特定財源の費目の略称】

(分): 分担金及び負担金

(使): 使用料及び手数料

(国): 国庫支出金 (県): 県支出金

(財): 財産収入 (寄): 寄付金

(繰): 繰入金 (諸): 諸収入

(債): 市債

◆評価◆

事業指標の分析と 事業の成果・課題	事業実施による成果は。また、事業指標の実績値からどのような課題を読み取ることができるか。 ※表や図は左ページの空いた部分か、この欄に記載。	
	・目標としていた市有林整備回数を達成することができた。 ・市有林整備は寄付金を財源としており、整備回数には限りがある。	
細事業の実績に関する分析	細事業の目標達成状況は。どのような成果や課題があるか。 ・森林の里親協定企業の寄付金を充て、中沢唐山地区市有林の整備を実施した。	
目標に対する 達成度	事業指標の実績値／目標値 ※指標が複数ある場合は平均値。細事業の指標は算入しない。 A 目標をおおむね達成できている（90%以上105%未満） 【凡例】 S：105%以上 A：90%以上105%未満 B：70%以上90%未満 C：70%未満 ー：目標設定なし	

◆改善に向けた取り組み◆

事業の意図の達成や課題解決のための改善案	
・事業費に森林の里親企業からの支援金を充てており、市有林整備を促進するには新たな財源確保を検討していく必要がある。	

款	6	農林水産業費	項	2	林業費	目	4	林道費	事業	1
事務事業名		林道開設事業								
主管		農林課								
事業の概要		林道の開設工事を行う。								
対象		市民、山林所有者、林道利用者								
意図 (対象をどのようにしたいか)		新たな林道を開設し、林業の生産性、効率性向上を図る。								

No.	事業指標	指標の算式	5年度	6年度	評価年度（7年度）		備考
			実績値	実績値	目標値	実績値	
1	年度内工事進捗率		100%	100%	100%	100%	
2							
3							

◆事業の構成（細事業）と実績◆			7年度予算	7年度決算	6年度決算	決算前年度比	
事業費の合計（千円）と前年度比（%）			20,800	20,427	11,231	81.9	
枝番号	3 力 年 対 象	新規・ 拡充	事業費（千円）※予算は現額			指標	目標値
			7年度予算	7年度決算	6年度決算	事務・事業・費用の備考	実績値
1	★		測量設計委託	1,300	957	1,221	進捗率 100%
2	★		工事請負費	19,500	19,470	10,010	進捗率 100%
3							
4							
5							
6							
7							
8							
9							
10							
11							
12							
13							
14							
15							
特定財源の内容	(県) 林道開設県補助金		9,250	9,734	5,004	【特定財源の費目の略称】 (分): 分担金及び負担金 (使): 使用料及び手数料 (国): 国庫支出金 (県): 県支出金 (財): 財産収入 (寄): 寄付金 (繰): 繰入金 (諸): 諸収入 (債): 市債	
	(債) 公共事業等債		9,400	8,700	4,500		
一般財源			2,150	1,993	1,727		

◆評価◆

事業指標の分析と事業の成果・課題		事業実施による成果は。また、事業指標の実績値からどのような課題を読み取ることができるか。 ※表や図は左ページの空いた部分か、この欄に記載。																													
・林道天白高烏谷線開設工事を施工延長39m実施した。 ・林道天白高烏谷線の開設工事の累計延長 <table border="1"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>R1</th> <th>R2</th> <th>R3</th> <th>R4</th> <th>R5</th> <th>R6</th> <th>R7</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>施工延長（m）</td> <td>77</td> <td>93</td> <td>50</td> <td>44</td> <td>53</td> <td>23</td> <td>39</td> </tr> <tr> <td>開設残延長（m）</td> <td>669</td> <td>592</td> <td>499</td> <td>449</td> <td>405</td> <td>352</td> <td>329</td> </tr> </tbody> </table>								年度	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7	施工延長（m）	77	93	50	44	53	23	39	開設残延長（m）	669	592	499	449	405	352	329
年度	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7																								
施工延長（m）	77	93	50	44	53	23	39																								
開設残延長（m）	669	592	499	449	405	352	329																								
細事業の実績に関する分析		細事業の目標達成状況は。どのような成果や課題があるか。																													
・林道天白高烏谷線について、林道開設には法面保護工が必要であり、施工延長当たりの工事費が高額となってしまう。 ・地形的に標高が高く冬期間は降雪により工事不能となるため、施工期間が限られてしまう。																															
目標に対する達成度		事業指標の実績値／目標値 ※指標が複数ある場合は平均値。細事業の指標は算入しない。 A 目標をおおむね達成できている（90%以上105%未満） 【凡例】 S：105%以上 A：90%以上105%未満 B：70%以上90%未満 C：70%未満 ー：目標設定なし																													
◆改善に向けた取り組み◆		事業の意図の達成や課題解決のための改善案																													
・林道天白高烏谷線開設事業について、林業の生産性、効率性向上のため早期完成を目指す。																															

款	6	農林水産業費	項	2	林業費	目	4	林道費	事業	2
事務事業名		林道改良事業								
主管		農林課								
事業の概要		林道の改良工事を行う。								
対象		市民、山林所有者、林道利用者								
意図 (対象をどのようにしたいか)		落石対策等の工事を施行し、安心して通行できる状況とする。								

No.	事業指標	指標の算式	5年度	6年度	評価年度（7年度）		備考
			実績値	実績値	目標値	実績値	
1	年度内工事進捗率			100%	100%	100%	
2							
3							

◆事業の構成（細事業）と実績◆			7年度予算	7年度決算	6年度決算	決算前年度比	
事業費の合計（千円）と前年度比（％）			19,800	19,437	15,642	24.3	
枝番号	3 力 年 対 象	新規・ 拡充	事業費（千円）※予算は現額			指標	目標値
			7年度予算	7年度決算	6年度決算	事務・事業・費用の備考	実績値
1	★		測量設計委託	1,300	957	858	進捗率 100%
2	★		工事請負費	18,500	18,480	14,784	進捗率 100%
3							
4							
5							
6							
7							
8							
9							
10							
11							
12							
13							
14							
15							
特定財源の内容	(県) 林道改良県補助金		5,735	5,728	4,582	【特定財源の費目の略称】 (分): 分担金及び負担金 (使): 使用料及び手数料 (国): 国庫支出金 (県): 県支出金 (財): 財産収入 (寄): 寄付金 (繰): 繰入金 (諸): 諸収入 (債): 市債	
	(債) 公共事業等債		12,500	11,400	9,100		
一般財源			1,565	2,309	1,960		

◆評価◆

事業指標の分析と
事業の成果・課題

事業実施による成果は。また、事業指標の実績値からどのような課題を読み取ることができるか。
※表や図は左ページの空いた部分か、この欄に記載。

・ 林道古城線改良工事を施工延長30m実施した。

・ 林道古城線の改良工事の施工延長

年度	H29	H30	R1	R2	R6	R7
改良延長（m）	31	21	37	58	27	30

細事業の実績に関する分析

細事業の目標達成状況は。どのような成果や課題があるか。

・ 林道古城線改良工事は、落石防止対策工事であるため施工延長当たりの工事費が高額となってしまう。

・ 地形的に標高が高く冬期間は降雪により工事不能となるため、施工期間が限られてしまう。

事業指標の実績値／目標値

※指標が複数ある場合は平均値。細事業の指標は算入しない。

目標に対する
達成度

A

目標をおおむね達成できている（90%以上105%未満）

【凡例】 S：105%以上 A：90%以上105%未満 B：70%以上90%未満 C：70%未満 —：目標設定なし

◆改善に向けた取り組み◆

事業の意図の達成や課題解決のための改善案	
・林道古城線改良事業について、落石防止対策を実施して林道利用者が安心して通行できるよう改良工事を推進する。	

款	6	農林水産業費	項	2	林業費	目	4	林道費	事業	3
事務事業名		林道補修事業								
主管		農林課								
事業の概要		林道の維持管理を行う。								
対象		市民、山林所有者、林道利用者								
意図 (対象をどのようにしたいか)		林道21路線の維持管理を行い、安全に通行できる状態とする。								

No.	事業指標	指標の算式	5年度	6年度	評価年度（7年度）		備考
			実績値	実績値	目標値	実績値	
1							
2							
3							

◆事業の構成（細事業）と実績◆			7年度予算	7年度決算	6年度決算	決算前年度比	
事業費の合計（千円）と前年度比（％）			12,458	10,133	12,814	△ 20.9	
枝番号	3 力 年 対 象	新規・ 拡 充	事業費（千円）※予算は現額			指標	目標値
			7年度予算	7年度決算	6年度決算	事務・事業・費用の備考	実績値
1			委託料	7,000	6,778	6,789	
2			工事請負費	5,108	3,355	6,025	
3			その他	350			消耗品 ほか
4							
5							
6							
7							
8							
9							
10							
11							
12							
13							
14							
15							
特定財源の内容	(繰) 森林環境譲与税繰入金		2,112	7,716	1,913	【特定財源の費目の略称】 (分):分担金及び負担金 (使):使用料及び手数料 (国):国庫支出金 (県):県支出金 (財):財産収入 (寄):寄付金 (繰):繰入金 (諸):諸収入 (債):市債 (他):その他	
	(他) 森林環境譲与税		8,888				
一般財源			1,458	2,417	10,901		

◆評価◆

事業指標の分析と 事業の成果・課題		事業実施による成果は。また、事業指標の実績値からどのような課題を読み取ることができるか。 ※表や図は左ページの空いた部分か、この欄に記載。	
令和7年度林道21路線補修実績 林道維持工事实績 6箇所 林道維持委託実績 31箇所			
細事業の実績に関する分析		細事業の目標達成状況は。どのような成果や課題があるか。	
補修が必要な箇所は発見次第補修を実施している。			
路線によって通行量が少なく、補修必要箇所の発見が遅れる場合がある。			
目標に対する 達成度		事業指標の実績値／目標値 ※指標が複数ある場合は平均値。細事業の指標は算入しない。	
—		目標設定なし	
【凡例】 S：105%以上 A：90%以上105%未満 B：70%以上90%未満 C：70%未満 —：目標設定なし			

◆改善に向けた取り組み◆

事業の意図の達成や課題解決のための改善案		
- 林道パトロールを実施して、林道補修が必要な箇所の早期発見に努め、補修を実施する。 - 風水害で被災した場合は災害復旧工事の申請を検討する必要がある。		

款	7	商工費	項	1	商工費	目	2	商工業振興費	事業	1
事務事業名		企業誘致推進事業								
主管		商工観光課								
事業の概要		企業誘致を推進する。								

対象	市内外事業者
意図 (対象をどのようにしたいか)	次世代につながる付加価値の高い新たな産業の創出のため、先端分野の産業、内需型、研究開発型企業の誘致により、地域経済の活性化及び雇用の場の確保を図る。

No.	事業指標	指標の算式	5年度	6年度	評価年度（7年度）		備考
			実績値	実績値	目標値	実績値	
1	製造業の製造品出荷額	経済センサス外	2,076億円	1,944億円	1,800億円	1,944億円	
2							
3							

◆事業の構成（細事業）と実績◆				7年度予算	7年度決算	6年度決算	決算前年度比	
事業費の合計（千円）と前年度比（％）				110,225	50,367	47,128	6.9	
枝番号	3カ年対象	新規・拡充	事務・事業・費用名	事業費（千円）※予算は現額			指標	目標値
				7年度予算	7年度決算	6年度決算	事務・事業・費用の備考	実績値
1			企業誘致活動推進	2,764	1,672	6,114	工場等の立地件数 情報収集・訪問、工業団地調査・管理等	1件 0件
2	★		特定地域工場等設置補助事業	47,778	45,217	11,928	新設・増設件数	3件 5件
3	★		企業立地制度資金預託事業	55,113		25,940	企業立地資金利用件数	2件 0件
4	★		テレワーク推進事業	4,570	3,478	3,146	市民ワーカー登録者数	380人 377人
5								
6								
7								
8								
9								
10								
11								
12								
13								
14								
15								
特定財源の内容	（繰）ふるさとづくり繰入金			30,000	30,000	20,000	【特定財源の費目の略称】 （分）：分担金及び負担金 （使）：使用料及び手数料 （国）：国庫支出金（県）：県支出金 （財）：財産収入（寄）：寄付金 （繰）：繰入金（諸）：諸収入 （債）：市債	
	（諸）企業立地貸付預託金元金			55,113		25,940		
	（諸）オフィス進出企業負担金			1,431	1,340	982		
一般財源				23,681	19,027	206		

◆評価◆

事業指標の分析と 事業の成果・課題	
事業実施による成果は、また、事業指標の実績値からどのような課題を読み取ることができるか。 ※表や図は左ページの空いた部分が、この欄に記載。	
1. 事業指標の分析 ◇事業指標「製造業の製造品出荷額」は、景気動向の影響を大きく受けるものであるが、地元製造業の企業努力やこれまでの積極的な企業誘致等の成果もあって順調に推移し、目標値を上回る成果となっている。 ◇指標の元とする調査は、以下の通り。 ・R2年度まで…国の工業統計調査から算定（R2調査を最後に廃止）。 ・R3年度以降…経済センサス活動調査実施年は、経済センサスから算定。それ以外の年は、経済構造実態調査の製造業事業所調査から算定。 2. 事業の課題 ◇市内企業の出荷額向上・付加価値向上等は、市内産業振興に必要な不可欠であり、市内企業の拡張ニーズ等への対応や、事務事業「商工業振興事業」と連動した販路拡大・人材育成等への取組促進を引き続き行う必要がある。 ◇また、既存産業との相乗効果の創出や、魅力的な仕事の選択肢の増加等を図るため、市外企業の市内立地を促進することが必要である。	
細事業の実績に関する分析	
細事業の目標達成状況は、どのような成果や課題があるか。	
■枝番号1：企業誘致活動推進 ＜成果＞ ・工場等の立地件数は、コロナ禍（R2～5年度）もあって、域外企業へのアプローチが思うようにできておらず、毎年度1件の目標は達成できていない状況である。引き続き営業活動を行う。 ・R6年に実施した企業立地ニーズ把握調査の結果を受けて、誘致活動を行ったが、進展していない。 ＜課題＞ ・効率的、効果的、かつ戦略的な産業用地の確保や営業活動の実施が必要である。 ■枝番号2：特定地域工場等設置補助事業、枝番号3：企業立地制度資金預託事業 ＜成果＞ ・市外企業の市内立地または市内企業の拡張等の行動喚起に、一定の効果がある。 ＜課題＞ ・時代や企業ニーズに合わせた制度の設計や見直しが常に必要である。 ■枝番号4：テレワーク推進事業 ＜成果＞ ・H29年に掲げた「都市部から駒ヶ根市へ『人と仕事の流れ』をつくる」という目標に関しては、子育て等で就労時間に制約がある市民の皆さんも働くことができる環境をつくることでできており、一定の効果が出ている。 ＜課題＞ ・一方で、AI普及等により、企業がアウトソーシングに求める業務内容や、受託者側に求めるスキル等が変化してきている。合同会社Kotoにおいて、例えばBPO業務を受託する等の工夫がなされているが、引き続き動向を注視していく必要がある。 ・リモートワークの普及によるテレワークセンタースペース余剰については、R8年4月よりコワーキングスペースとしての試験運用を開始した。有効活用に向けて工夫を重ねる。	
目標に対する達成度	
事業指標の実績値／目標値 ※指標が複数ある場合は平均値。細事業の指標は算入しない。 S 目標を大きく上回った（105%以上） 【凡例】 S：105%以上 A：90%以上105%未満 B：70%以上90%未満 C：70%未満 —：目標設定なし	

◆改善に向けた取り組み◆

事業の意図の達成や課題解決のための改善案
■枝番号1：企業誘致活動推進 ・効率的、効果的な産業用地の確保や営業活動に向けて、R8年度より官民連携の取組を始めるなど、試行的な取組を進めていく。 ■枝番号2：特定地域工場等設置補助事業、枝番号3：企業立地制度資金預託事業 ・時代や企業ニーズに合わせた制度とすべく、引き続き情報収集や研究を行う。 ■枝番号4：テレワーク推進事業 ・テレワーク推進事業については、時代や企業ニーズ等の動向を注視しつつ、コワーキングスペースの試験運用を軌道に乗せていく。

款	7	商工費	項	1	商工費	目	2	商工業振興費	事業	2
事務事業名		商工業振興事業								
主管		商工観光課								
事業の概要		市内の商工業振興のための事業を行う。								
対象		商工業事業者								
意図 (対象をどのようにしたいか)		・活力ある地域商業の展開（まちなかの利便性向上、賑わいのあるまちなかの形成等）。 ・中小企業の経営基盤安定、強化による地域産業の活性化。 ・地域経済を支える優秀な人材の育成と確保。								

No.	事業指標	指標の算式	5年度	6年度	評価年度（7年度）		備考
			実績値	実績値	目標値	実績値	
1	空店舗を活用した事業者数		1件	1件	5件	4件	
2	創業サポート窓口相談者数		28件	31件	20件	24件	
3	販路拡大・展示会出展に伴う新規取引件数		11件	35件	15件	32件	
4	テクノネット駒ヶ根事業への参加者数		564人	592人	600人	494人	

◆事業の構成（細事業）と実績◆				7年度予算	7年度決算	6年度決算	決算前年度比	
事業費の合計（千円）と前年度比（％）				368,765	362,575	334,910	8.3	
枝番号	3 力 年 対 象	新規・拡充	事務・事業・費用名	事業費（千円）※予算は現額			指標	目標値
				7年度予算	7年度決算	6年度決算	事務・事業・費用の備考	実績値
1	★		中小企業融資促進事業	224,497	224,497	240,229	制度資金融資	50件 114件
2	★		商工会議所指導育成事業	15,000	15,000	15,000	創業サポート窓口相談件数	20件 24件
3	★		まちなか賑わいイベント事業	3,887	3,887	3,761	イベント開催数	4回 4回
4	★		商店街活性化事業	4,865	4,835	1,835	出店者数	5件 4件
5			駒ヶ根バスターミナル待合室等運営費補助事業	720	720	720		
6	★		テクノネット駒ヶ根事業	3,500	3,500	3,500	事業への参加者数	600人 494人
7	★		新たな成長戦略支援事業	5,990	5,011	4,379	新規取引件数（展示会）	15件 32件
8	★		中小企業人材確保事業	5,043	4,054	3,058	市内製造業の従業者数	5,500人 約5,200人（R2国勢調査）
9	★		地域の稼ぐ力強化・発信事業	8,000	8,000	8,000		
10			中小企業者電気料金高騰対策応援事業			14,782		
11			電気料金高騰対策事業者応援事業	23,000	22,627			
12			運送事業者等燃料高騰対策応援事業			7,370		
13			運送事業者事業継続等応援事業	8,000	7,430			
14			市民生活応援券事業	60,472	57,911	28	R 6→R 7 繰越	
15			中小企業者等エネルギーコスト削減事業			7,334	R 5→R 6 繰越	
16			飲食店応援チケット事業			14,491	R 5→R 6 繰越	
17			商店街街路灯等省エネルギー対策支援事業			7,880	R 5→R 6 繰越	
18			その他	5,791	5,103	2,543		
特定財源の内容			（県）元気づくり支援金事業	6,000	2,400	2,400	【特定財源の費目の略称】 （分）:分担金及び負担金 （使）:使用料及び手数料 （国）:国庫支出金（県）:県支出金 （財）:財産収入（寄）:寄付金 （繰）:繰入金（諸）:諸収入 （債）:市債	
			（県）地域就職学生支援事業	31				
			（諸）中小企業振興貸付預託金元金収入	200,000	200,000	225,000		
			（諸）雑入（保証料補給金返還分）外		1,902	2,214		
			（繰）ふるさとづくり基金繰入金	20,000	20,000	25,000		
			（国）物価高騰対応重点支援地方創生臨時交付金		23,817	7,398		
			（国）物価高騰対応重点支援地方創生臨時交付金（繰越）		56,576	29,705		
一般財源				142,734	57,880	43,193		

◆評価◆

事業指標の分析と事業の成果・課題

事業実施による成果は、また、事業指標の実績値からどのような課題を読み取ることができるか。
※表や図は左ページの空いた部分か、この欄に記載。

■事業指標 枝番号1：商店街活性化事業

【成果】 空き店舗等を活用した新規出店の促進により、魅力と賑わいあふれる商店街づくりを推進した。

【課題】 出店支援の実績はあったが、空き店舗を活用した事業者数目標（5件）を下回っている。まちなかへの継続的な出店による空き店舗解消が、引き続きの課題。

■事業指標 枝番号2：商工会議所指導育成事業（創業サポート窓口）

【成果】 創業サポート窓口の相談体制について、地域経済の担い手となる人材確保など一定の成果を上げている。

【課題】 相談件数が増加する中、創業希望者の事業化につなげるため、商工会議所等と連携した伴走型サポート体制が今後も求められる。

■事業指標 枝番号3：販路拡大・展示会出展に伴う新規取引件数

<成果>

・当該指標は、企業の事業戦略や景気動向等に大きく左右される指標である。コロナ禍では大きな落ち込みと

なしたが、足元では製造業を取り巻く厳しい事業環境の打破等を目的とした展示会出展が増加しており、

令和7年度は目標値を上回る成果となっている。

<課題>

・展示会出展意欲が旺盛となりつつあるため、より一層の出展機運の醸成や、出展経験のない又は浅い事業者

へのサポートや支援を行うことで、基幹産業である製造業の底上げにつなげていくことが必要である。

項目名	実績		
	R5	R6	R7
補助金支出額(千円)	3,190	4,379	5,011
延べ出展企業数(社)	16	12	14
商談成立数(件)	11	35	32
商談継続数(件)	136	325	257

■事業指標 枝番号4：テクノネット駒ヶ根事業への参加者数

<成果>

・事業者の経営基盤の強化や人材育成をより一層進展させるため、近年は企業デジタル活用研究会の設立や事業

承継研究会の見直し等を行ってきたおり、参加者数の増加に寄与している。

・一方で、国の進める働き方改革や、深刻化する人手不足等の影響もあって、企業が割り当てることのできる人員

や時間等（リソース）には上限もあり、一定数以上の増加は難しく、ここ数年はほぼ横ばいで推移してきた。

・令和7年度については、講師との日程調整が出来ず、経営講座が未開催となり、前年度と比べ減少となっている。

<課題>

・半導体やAI等が成長産業となり、地域の人材不足等も進む中で、幹事や参加社員の皆さんの声を伺いながら、

時代やニーズに合わせた研究会の立案や見直し、組織運営等が必要である。

項目名	実績		
	R5	R6	R7
開催数(回)	46	42	45
参加企業数(社)	95	152	70
参加人数(人)	564	592	494

細事業の実績に関する分析

細事業の目標達成状況は。どのような成果や課題があるか。

■枝番号1：中小企業融資促進事業

融資斡旋件数は114件（目標50件）に達した。利便性の高い小規模事業者向け「特別小口資金」が97件と全体の約85%を占めた。

■枝番号2：商工会議所指導育成事業

窓口相談者数は24件（うち創業者16件）となり、目標値（20件）を上回った。

■枝番号3：まちなか賑わいイベント事業

商店街団体等が実施する祭りや行事等に対し、経費の一部補助を行い、目標4件のイベント開催となった。

■枝番号4：商店街活性化事業

まちなかへの出店に向けた改修費や賃借料の支援を4事業者に対して実施した。

■事業指標 枝番号8：中小企業人材確保事業

<成果>

・求人活動強化支援事業（R6:18件、R7:23件）、遠距離通勤人材確保支援事業（R6:9件、R7:9件）

<課題>

・市内産業界において人手不足、人材不足が深刻化する中で、両事業とも対処療法であり、抜本的な解決策

または影響緩和策等が求められている。

■枝番号9：地域の稼ぐ力強化・発信事業

<成果>

・令和6～7年度の2年間で、29品の新商品開発、既存商品ブラッシュアップが行われ、地域の新たな付加価値の創出

につながっている。また、地元企業が専門家と共にマーケットやニーズに合わせた新たな商品づくり等を行い、

全国へ発信していくなど、企業の学びや気付き、実践の場づくり、事業者同士のつながりづくりにも一定程度寄

与できており、そのつながりから監修品が市内サービスエリアやお土産屋、旅館等に並ぶなど、効果波及している。

<課題>

・令和9年度以降の取組の方向性について、引き続き検討が必要である。

■枝番号13：市民生活応援券事業

応援券利用率は96.8%と高水準になり、約2億350万円の市内消費が生み出された。購入者の約7割を40代から70代が占めており、家計支援の目的にも大きく寄与した。

目標に対する達成度	事業指標の実績値／目標値		※指標が複数ある場合は平均値。細事業の指標は算入しない。	
	S	目標を大きく上回った（105%以上）		

		【凡例】 S：105%以上 A：90%以上105%未満 B：70%以上90%未満 C：70%未満 ー：目標設定なし		

◆改善に向けた取り組み◆

事業の意図の達成や課題解決のための改善案

■枝番号1：中小企業融資促進事業

借入金利の上昇幅を最小限に留める見直しを行うとともに、小規模事業者向け「特別小口資金」の貸付限度額拡大措置を継続。また、市が信用保証料を全額補助する「小口零細企業保証資金」など、事業者の資金繰りの中心的な役割を担っていく。

■枝番号2：商工会議所指導育成事業

■枝番号3：まちなか賑わいイベント事業

■枝番号4：商店街活性化事業

引き続き空き店舗等活用事業による支援を行うとともに、創業サポート窓口と連携し、新規出店希望者へのアプローチや伴走支援を強化する。また、回遊性向上を目指し、商店街等の主体的な賑わい創出イベントへの支援を継続して実施する。

■枝番号6：テクノネット駒ヶ根事業

・令和8年度に設立30周年を迎え、今後の在り方や展望について議論を始めている。

■枝番号7：新たな成長戦略支援事業

・出展経験のない又は浅い事業者へのサポートや支援の一環として、令和8年度に以下2点を行う予定。

①経営講座で、展示会出展の手法やコツ等を学ぶ講座を実施。②中小企業販路拡大支援事業の対象経費を拡大。

■枝番号8：中小企業人材確保事業

・令和9年度以降の事業について、引き続き検討を行う。

款	7	商工費	項	1	商工費	目	2	商工業振興費	事業	3
事務事業名		駅前ビル活性化センター管理事業								
主管		商工観光課								
事業の概要		市民にコミュニティの場の提供及び市街地の駐車場の便宜を図るため、駅前ビル及び駅前駐車場の管理を指定管理者が行う。								
対象		一般市民								
意図 (対象をどのようにしたいか)		市民の生活及び文化の向上並びに産業経済の振興を図る。								

No.	事業指標	指標の算式	5年度	6年度	評価年度（7年度）		備考
			実績値	実績値	目標値	実績値	
1	会議室利用人数		21,640人	20,566人	19,000人	20,894人	
2	駐車場利用台数		111,549台	122,303台	100,000台	110,776台	
3							

◆事業の構成（細事業）と実績◆			7年度予算	7年度決算	6年度決算	決算前年度比
事業費の合計（千円）と前年度比（％）			44,098	33,756	29,316	15.1

枝番号	3力年対象	新規・拡充	事務・事業・費用名	事業費（千円）※予算は現額			指標	目標値
				7年度予算	7年度決算	6年度決算	事務・事業・費用の備考	実績値
1			指定管理料	16,790	16,790	16,100		
2	★		駒ヶ根駅前駐車場改修工事	10,000			令和7～8年度 継続費50,000千円	
3			駒ヶ根駅前駐車場改修工事	2,059	1,886		実施設計 外	
4			LED照明工事その他整備	3,698	3,529	2,888		
5			その他管理費	11,551	11,551	10,328	共用光熱水費、土地賃借料、修繕費 外	
6								
7			【令和7年度→令和8年度継続費】 ＜事業の内容＞ 駒ヶ根駅前駐車場改修工事業			年 割 額 令和7年度 令和8年度		総額
8						10,000	40,000	50,000
9							50,000	
			繰越後の年割額 支出（決算）額			0		0
			次年度への繰越額			10,000		
10								
11								
12								
13								
14								
15								
特定財源の内容	（財）駅前ビル貸付収入			3,200	2,883	3,153	【特定財源の費目の略称】 （分）：分担金及び負担金 （使）：使用料及び手数料 （国）：国庫支出金（県）：県支出金 （財）：財産収入（寄）：寄付金 （繰）：繰入金（諸）：諸収入 （債）：市債	
	（債）公共施設等適正管理推進事業債			10,800	1,600			
	（債）脱炭素化推進事業債			3,100	1,500			
一般財源				26,998	27,773	26,163		

◆評価◆

事業指標の分析と事業の成果・課題		事業実施による成果は。また、事業指標の実績値からどのような課題を読み取ることができるか。 ※表や図は左ページの空いた部分か、この欄に記載。
1. 事業指標の分析と事業の成果 市民にコミュニティの場や駐車場を提供するため、指定管理者による駅前ビル及び駅前駐車場の管理運営を行った。 会議室利用人数は20,894人となり、目標値（19,000人）を上回り、有効に活用された。 駐車場利用台数は110,776台となり、目標値（100,000台）を大きく上回り、市街地における駐車の利便性向上を図ることができた。 2. 事業の課題 施設の老朽化が進んでおり、緊急修繕案件が増加しているため、計画的な施設維持の実施が課題である。		
細事業の実績に関する分析		細事業の目標達成状況は。どのような成果や課題があるか。
■枝番号1：指定管理料 指定管理者の適切な管理運営により、会議室利用人数は20,894人となり、前年度21,640人を下回る実績となった。市民のコミュニティ拠点として、引き続き利用者の利便性向上に取り組む。 ■枝番号2、3：駒ヶ根駅前駐車場改修工事 施設長寿命化と駐車場安全性向上を図るため、令和7～8年度継続事業（総額50,000千円）に向けた実施設計等（1,560千円）を完了した。老朽化部分（デッキスラブ等）の改修工事は現在着手しており、令和8年5月の工事完了に向けて着実に進めていく。 ■枝番号4：LED照明工事その他整備 施設安全性と快適な利用環境を維持するため、照明のLED化工事（1,716千円）をはじめ、壁面サイン乖離・目隠し工事（660千円）、昇降機改修工事（330千円）、雨水ポンプ取替工事などの一般修繕（640千円）を計画的に実施した。		
目標に対する達成度		事業指標の実績値／目標値 ※指標が複数ある場合は平均値。細事業の指標は算入しない。
S		目標を大きく上回った（105%以上）
【凡例】 S：105%以上 A：90%以上105%未満 B：70%以上90%未満 C：70%未満 ー：目標設定なし		

◆改善に向けた取り組み◆

事業の意図の達成や課題解決のための改善案
■枝番号2～5：駒ヶ根駅前駐車場改修工事外 建築から年数が経過し、突発的な緊急修繕案件が増加傾向にある。今後も利用者に安全かつ快適な環境を提供するため、現在進行している駒ヶ根駅前駐車場改修工事等を着実に進めるとともに、中長期的な視点に立った計画的な施設の修繕や改修工事を実施していくことが課題となっている。

款	7	商工費	項	1	商工費	目	2	商工業振興費	事業	4
事務事業名		市街地再生推進事業								
主管		商工観光課								
事業の概要		中心市街地の将来像を地元や関係機関と共有し、賑わいあふれるまちの再生に向けて取り組む。								
対象		地域・事業者（個店）・商店街団体など								
意図 (対象をどのようにしたいか)		1. まちなかの賑わい拠点づくりを進める。2. 交流・居場所づくり。 3. 市街地再開発事業などを活用した環境整備を進める。								

No.	事業指標	指標の算式	5年度	6年度	評価年度（7年度）		備考
			実績値	実績値	目標値	実績値	
1	中心市街地の活性化に向けた取組が行われている				2.918pt	2.86pt	
2	1年間に10回以上中心市街地に行く人の割合				46.72%	37.60%	
3							

◆事業の構成（細事業）と実績◆			7年度予算	7年度決算	6年度決算	決算前年度比		
事業費の合計（千円）と前年度比（％）			2,635	637	4,543	△ 86.0		
枝番号	3 力 年 対 象	新規・ 拡充	事業費（千円）※予算は現額			指標	目標値	
			7年度予算	7年度決算	6年度決算	事務・事業・費用の備考	実績値	
1	★		市街地再生推進業務 外		203	市民満足度調査	2.918pt 2.86pt	
2			エリアプラットフォーム	1,258	632	523	市民満足度調査	46.72pt 37.6pt
3			中心市街地再生支援事業 外	377	5	6	こまゼミの開催	6回 6回
4			地域おこし協力隊	1,000		3,811		
5								
6								
7								
8								
9								
10								
11								
12								
13								
14								
15								
特定財源の内容	(繰) ふるさとづくり基金繰入金		2,000			【特定財源の費目の略称】 (分): 分担金及び負担金 (使): 使用料及び手数料 (国): 国庫支出金 (県): 県支出金 (財): 財産収入 (寄): 寄付金 (繰): 繰入金 (諸): 諸収入 (債): 市債		
一般財源			635	637	4,543			

◆評価◆

事業指標の分析と事業の成果・課題		事業実施による成果は。また、事業指標の実績値からどのような課題を読み取ることができるか。 ※表や図は左ページの空いた部分か、この欄に記載。
1. 事業指標の分析と事業の成果 市街地の再生や賑わい拠点づくりに向け、「こまがねテラス」や「エリアプラットフォーム」を通じた官民連携の取組を推進。 店主と市民の交流事業や多様な市民とのワークショップを実施し、まちづくりに向けた機運醸成に一定の成果を上げた。 2. 事業の課題 事業指標である市民満足度調査の「中心市街地の活性化に向けた取組が行われている」の評価は2.86pt（目標2.918pt）。また、「1年間に10回以上中心市街地に行く人の割合」の実績も37.60%（目標46.72%）となり、いずれの指標も目標を下回る結果となった。イベント等を通じた一過性の集客にとどまらず、市民が日常的に市街地へ足を運ぶ「居場所」の創出が、引き続き大きな課題となっている。		
細事業の実績に関する分析（細事業の目標達成状況は。どのような成果や課題があるか。）		
■枝番号1：市街地再生推進業務 外 中心市街地の賑わい創出に向けて、各個店の店主が講師となりプロの知識や技を伝える「こまゼミ」を目標通り計6回開催、延べ104人の市民が参加した。 また、今後の活動を推進するためのこまがねテラスマネジメント会議を年4回、まちづくりについて語り合う「まちなかもんもん会議」を年2回開催し、地域の人々をつなぐ交流の場を創出した。 ■枝番号2：エリアプラットフォーム 未来ビジョンの具現化に向けた官民連携の取組として、「エリアプラットフォーム会議」を計3回（うち1回は県による補助金勉強会）開催。さらに、先進地視察（箕輪町・塩尻市）や「信州エリアプラットフォーム情報交流会」（松本市・諏訪市）への参加を通じ、他地域での事例やノウハウを収集した。年度末には「空き店舗ツアー＆こまがね未来会議」を実施し、市街地の具体的な空間活用に向けた機運醸成を図った。		
目標に対する達成度	事業指標の実績値／目標値 ※指標が複数ある場合は平均値。細事業の指標は算入しない。	
	B	目標をやや達成できなかった（70%以上90%未満）
【凡例】 S：105%以上 A：90%以上105%未満 B：70%以上90%未満 C：70%未満 ー：目標設定なし		

◆改善に向けた取り組み◆

事業の意図の達成や課題解決のための改善案	
■枝番号1：市街地再生推進業務 外 「こまがねテラス」等の活動を通じ、地域の人々が日常的に集い、交流できるような中心市街地を目指し、官民で連携して取り組んでいく。 ■枝番号2：エリアプラットフォーム 市民満足度を向上させるため、市民が思い描く中心市街地の未来ビジョン具現化を担う「駒ヶ根まちなかエリアプラットフォーム」では、民間主導型の官民連携による市街地の価値向上（空き店舗や公共空間の利活用など）に引き続き取組を進める必要がある。	

款	7	商工費	項	1	商工費	目	3	観光費	事業	1
事務事業名		観光振興事業								
主管		商工観光課								
事業の概要		魅力ある観光地域づくりを進めるため、地域の価値を高める観光地域づくりを推進し、誘客効果を高めるための事業を展開する。								
対象		駒ヶ根市を訪れる観光客、市民								
意図 (対象をどのようにしたいか)		多くの観光客が訪れる。訪れた観光客が駒ヶ根の魅力に触れ、満足して帰る。観光事業者や市民が観光による恩恵を受けられる。								
No.	事業指標		指標の算式	5年度	6年度	評価年度（7年度）		備考		
				実績値	実績値	目標値	実績値			
1	観光地延べ利用者数			95.1万人	98.5万人	105万人	103万人			
2	観光消費額			41億円	45億円	43億円	46億円			
◆事業の構成（細事業）と実績◆				7年度予算	7年度決算	6年度決算	決算前年度比			
事業費の合計（千円）と前年度比（％）				231,150	223,734	64,115	249.0			
枝番号	3 力 年 対 象	新規・ 拡充	事務・事業・費用名	事業費（千円）※予算は現額			指標	目標値		
				7年度予算	7年度決算	6年度決算	事務・事業・費用の備考	実績値		
1			観光誘客キャンペーン・イベント	2,762	2,412	1,920	来場者数	300人 1,800人		
2	★		観光関係団体の育成事業							
3			①（一社）駒ヶ根観光協会	27,590	27,590	20,000				
4			②駒ヶ根高原温泉開発株式会社							
5			・駒ヶ根高原温泉開発株式会社補助金	154,200	154,200	3,500				
6			・入湯税基金積立て	26,625	26,625	23,271				
7			③観光のまちづくり事業補助金	700	600	885	補助金申請数	5件 2件		
8			観光PRキャラクター活用事業	818	348	52	イベント来場者数	500人 500人		
9	★		駒ヶ根高原イベント事業	926	783	162	イベント来場者数	4,000人 1,500人		
10	★		観光高付加価値創造事業	2,400		189	補助金申請数	4件 0件		
11	★	新	台中市訪問事業	2,977	2,473		訪問回数	1回 1回		
12	★	新	早太郎温泉開湯30周年記念事業	800	800		イベント来場者数	300人 300人		
13			会計年度任用職員	2,022	1,919	1,956				
14	★		地域おこし協力隊	7,500	4,370	8,840	登山道整備、巡視等日数	40日 35日		
15			負担金	1,614	1,467	1,932				
16			その他経費	216	147	27				
17			観光パンフレット外国版、観光PR動画リニューアル							
18			中央アルプス魅力体感事業			1,381				
特定財源の内容			（財）温泉開発基金利子	309	375	55	【特定財源の費目の略称】 （分）：分担金及び負担金 （使）：使用料及び手数料 （国）：国庫支出金（県）：県支出金 （財）：財産収入（寄）：寄付金 （繰）：繰入金（諸）：諸収入 （債）：市債（他）：その他			
			（諸）グッズ売上げ	150	113	129				
			（諸）モンベル登録負担金	50	35	45				
			（他）入湯税	28,500	30,450	26,715				
			（繰）温泉開発基金繰入金	150,000	150,000					
			（繰）ふるさとづくり基金繰入金	10,000	10,000	30,000				
一般財源				42,141	32,761	7,171				

◆評価◆

事業指標の分析と 事業の成果・課題		事業実施による成果は。また、事業指標の実績値からどのような課題を読み取ることができるか。 ※表や図は左ページの空いた部分か、この欄に記載。
- 観光地延べ利用者数は、年々増加傾向にあるが、目標には達していない。 - 観光消費額は、目標を達成している。 - 観光消費額が伸びている一方で、来訪者数のさらなる増加に向けた取組が必要である。		
細事業の実績に関する分析		細事業の目標達成状況は。どのような成果や課題があるか。
■枝番号2 観光関係団体の育成事業 観光協会補助金27,590千円（前年度20,000千円）、温泉開発株式会社補助金154,200千円（前年度3,500千円）、観光のまちづくり補助金2件（前年度3件）、入湯税基金積立26,625千円（前年度23,271千円）で当初の計画通り実施し、魅力ある観光地域づくりを推進している。引き続き、観光関連団体育成事業に取り組む必要がある。 ■枝番号9 駒ヶ根高原イベント事業 駒ヶ根高原イベント事業は、二日間の開催予定が雨天の影響で1日のみ開催となり、来場者数1,500人（前年度中止）で目標値を下回っている。開催日の集約や開催時間の変更など、開催方法等のブラッシュアップが必要である。 ■枝番号10 高付加価値創造事業補助金 高付加価値創造事業補助金0件（前年度1件）の状況である。観光事業者を利用してもらうため、対象事業や補助率の見直しが必要である。 ■枝番号11 台中市訪問事業 台湾台中市訪問事業は、計画通りに商工・観光・農業の関係者で訪問を行い、交流を再開することができた。インバウンドや産業の交流を深化していく必要がある。 ■枝番号12 早太郎温泉30周年記念事業補助金 早太郎温泉30周年記念事業補助金は、ラジオ公開収録や記念式典に300人の来場者があり、計画通りの実績となった。 ■枝番号14 地域おこし協力隊は、山岳高原振興で1名が任務を行い、登山道整備やSNSを活用した情報発信による魅力向上につながった。		
目標に対する 達成度		事業指標の実績値／目標値 ※指標が複数ある場合は平均値。細事業の指標は算入しない。
A		目標をおおむね達成できている（90%以上105%未満）
		【凡例】S：105%以上 A：90%以上105%未満 B：70%以上90%未満 C：70%未満 ー：目標設定なし

◆改善に向けた取り組み◆

事業の意図の達成や課題解決のための改善案	
- 施設間の周遊性が低く滞在時間が伸びない課題があるため、既存の観光資源の周遊ルート設計や2次交通、案内機能の充実を図り、回遊しやすい観光環境づくりに取り組む必要がある。 - インバウンドについては、多言語対応や受入体制が十分でなく、訪日外国人旅行者の利便性が限定的であるため、多言語案内やキャッシュレス対応、情報発信の強化など、安心して滞在できる受入環境の整備を進める必要がある。	

款	7	商工費	項	1	商工費	目	3	観光費	事業	2
事務事業名		駒ヶ根ファームス運営事業								
主管		商工観光課								
事業の概要		駒ヶ根ファームスの運営を通じて、駒ヶ根市の農産物を中心とした特産品の振興及び都市と農村の交流促進を図ることにより、地域産業の振興を図る。								
対象		駒ヶ根ファームスを訪れる観光客、市民								
意図 (対象をどのようにしたいか)		多くの観光客が訪れる、施設が利用される。訪れた観光客が施設の魅力に触れ、満足して帰る。観光客による施設利用により、観光事業者が恩恵を受けられる。								

No.	事業指標	指標の算式	5年度	6年度	評価年度（7年度）		備考
			実績値	実績値	目標値	実績値	
1	観光地延べ利用者数		95.1万人	98.5万人	105万人	103万人	
2	観光消費額		41億円	45億円	43億円	46億円	
3							

◆事業の構成（細事業）と実績◆			7年度予算	7年度決算	6年度決算	決算前年度比	
事業費の合計（千円）と前年度比（％）			17,897	17,714	14,748	20.1	
枝番号	3 力 年 対 象	新規・ 拡充	事業費（千円）※予算は現額			指標	目標値
			7年度予算	7年度決算	6年度決算	事務・事業・費用の備考	実績値
1			駒ヶ根ファームス指定管理料	10,675	10,675	8,120	
2			ふるさと味わいラウンジ指定管理料	3,000	3,000	3,000	
3		新	ファームス周辺森林環境整備	360	358		
4			土地借上料	3,618	3,437	3,540	
5			施設修繕料	244	244	88	
6							
7							
8							
9							
10							
11							
12							
13							
14							
15							
特定財源の内容			（使）ファームス使用料	300		100	【特定財源の費目の略称】 （分）：分担金及び負担金 （使）：使用料及び手数料 （国）：国庫支出金（県）：県支出金 （財）：財産収入（寄）：寄付金 （繰）：繰入金（諸）：諸収入 （債）：市債
			（諸）ファームス共通経費負担金	4,015	3,042	3,377	
			（繰）ふるさとづくり基金繰入金	5,700	5,700		
一般財源			7,882	8,972	11,271		

◆評価◆

事業指標の分析と 事業の成果・課題	事業実施による成果は。また、事業指標の実績値からどのような課題を読み取ることができるか。 ※表や図は左ページの空いた部分か、この欄に記載。		
・観光地延べ利用者数は、年々増加傾向にあるが、目標には達していない。 ・観光消費額は、目標を達成している。 ・観光消費額が伸びている一方で、来訪者数のさらなる増加に向けた取組が必要である。			

◆改善に向けた取り組み◆

事業の意図の達成や課題解決のための改善案	
・施設の老朽化による、駒ヶ根高原全体の魅力低下が懸念されるため、駒ヶ根高原中核施設を中心としたエリア全体の一体的な整備に向け、中核施設のあり方を検討するとともに、周辺施設との調和を図り、駒ヶ根高原の魅力向上を図っていく必要がある。	

款	7	商工費	項	1	商工費	目	3	観光費	事業	3
事務事業名		移住交流促進事業								
主管		企画振興課								
事業の概要		UIJターン事業を推進し、地域活性化を図るため、首都圏での相談会の開催や駒ヶ根を体験してもらうためのイベントを開催。空き家利活用促進のため空き家バンクへの登録を推進。								
対象		移住・定住希望者、移住・定住者								
意図 (対象をどのようにしたいか)		駒ヶ根市をよく知ってもらい、移住していただく。								

No.	事業指標	指標の算式	5年度	6年度	評価年度（7年度）		備考
			実績値	実績値	目標値	実績値	
1	移住者数		155人	136人	150人	154人	
2							
3							

◆事業の構成（細事業）と実績◆			7年度予算	7年度決算	6年度決算	決算前年度比	
事業費の合計（千円）と前年度比（％）			53,636	45,583	41,033	11.1	
枝番号	3カ年対象 新規・拡充	事務・事業・費用名	事業費（千円）※予算は現額			指標	目標値
			7年度予算	7年度決算	6年度決算	事務・事業・費用の備考	実績値
1	★	移住交流推進事業	3,003	2,967	2,762	移住相談（来訪・電話等） 移住相談員	400件 309件
2	★	地域おこし協力隊	4,969	4,521	3,807	空き家バンク登録件数	5件 39件
3	★	移住のための広報宣伝費等 （SatoLab・SMOUT・フェア出展）	2,789	2,503	3,081	SMOUT「興味がある」数	600件 784件
4	★	お試し滞在事業	1,030	1,030	1,170	お試し滞在利用者数	100人 99人
5	★	こまがねリアル体験住宅	1,172	1,068	387	利用週数	40週 50週
6	★	空き家バンク片付け補助事業	2,121	2,121	1,192	補助金申請件数	15件 24件
7	★	空き家バンク改修補助事業	10,000	7,751	5,784	補助金申請件数	10件 17件
8	★	空き家バンク成約奨励金事業	2,500	2,300	1,900	補助金申請件数	15件 24件
9	★	物価高騰対策マイホーム支援事業	18,349	15,000	14,050	補助金申請件数	93件 52件
10	★	UIJターン就業・創業支援事業	7,000	5,700	6,900	補助金申請件数	7件 6件
11		その他移住促進事業	703	622			
12							
13							
14							
15							
特定財源の内容		（諸）こまがねリアル体験住宅利用料ほか	400	1,600	200	【特定財源の費目の略称】 （分）：分担金及び負担金 （使）：使用料及び手数料 （国）：国庫支出金（県）：県支出金 （財）：財産収入（寄）：寄付金 （繰）：繰入金（諸）：諸収入 （債）：市債	
		（県）UIJターン就業・創業支援事業	3,500	3,550	4,450		
		（国）地域少子化対策推進交付金	396	396			
		（繰）ふるさとづくり基金繰入金	25,000	25,000	30,000		
		（県）子ども・子育て応援交付金		3,000	3,175		
一般財源			24,340	12,037	3,208		

◆評価◆

事業指標の分析と事業の成果・課題		事業実施による成果は。また、事業指標の実績値からどのような課題を読み取ることができるか。 ※表や図は左ページの空いた部分か、この欄に記載。			
【事業実施の状況】 ・信州駒ヶ根暮らし推進協議会と連携して移住の推進、移住者のサポートに取り組んだ。 ・住宅取得補助金や空き家バンク補助金、UIJターン支援金等の広報・制度説明を丁寧に行い、事業推進に努めた。 ・地域おこし協力隊を中心に空き家の掘り起こしに取り組み、空き家バンクの登録を進めた。空き家を移住者などに照会し、定住につながった。 ・移住イベントに積極的に参加し、駒ヶ根をPRすることで、来訪・移住につながった。 【目標値に対する実績値の結果とその要因】 ・移住相談員を中心としたきめ細かなサポートや移住イベントへの積極的な参加が、目標値達成につながったと考える。 【課題】 ・全国的に移住が注目される中、多くの自治体が積極的に取組を進めている。その中で、変化する移住者のニーズや国の動向をとらえ事業を進めていく必要がある。					
移住者の推移		空き家バンク			
	R5	R6	R7	H23～の計	
世帯数	66	62	71	608	申請数
人数	155	136	154	1,480	登録数
うち40代以下	136	112	108	1,161	成約数
細事業の実績に関する分析 細事業の目標達成状況は。どのような成果や課題があるか。 ・空き家バンクは相談会の開催や、制度の周知を積極的に行い、目標を大きく上回る成果があった。 ・物価高騰対策支援事業は、予算時に最大値で見積もったため当初の想定件数を下回った。					
目標に対する達成度		事業指標の実績値／目標値 ※指標が複数ある場合は平均値。細事業の指標は算入しない。 A 目標をおおむね達成できている（90%以上105%未満） 【凡例】 S：105%以上 A：90%以上105%未満 B：70%以上90%未満 C：70%未満 ー：目標設定なし			
◆改善に向けた取り組み◆					
事業の意図の達成や課題解決のための改善案					
・引き続き事業の広報・周知に努める。 ・ふるさとワーキングホリデー、ふるさと住民登録制度などを通じて、駒ヶ根へ関心を寄せてくれる若者世代の増加を図る。 ・移住希望者に寄り添ったサポートができるよう、協議会との連携をさらに深めていく。 ・国県の動向に注視し、新制度や補助金などの制度を理解し財源確保に努める。					

款	7	商工費	項	1	商工費	目	3	観光費	事業	4
事務事業名		高原観光地整備事業								
主管		商工観光課								
事業の概要		高原観光地として魅力ある空間づくりを行うとともに、来客者の満足度をさらに向上するため、森林環境整備や施設改修等を実施する。								
対象		駒ヶ根高原を訪れる観光客、市民								
意図 (対象をどのようにしたいか)		多くの観光客が訪れ、施設が利用される。訪れた観光客が施設の魅力に触れ、満足して帰る。観光客による施設利用により、観光事業者が恩恵を受けられる。								

No.	事業指標	指標の算式	5年度	6年度	評価年度（7年度）		備考
			実績値	実績値	目標値	実績値	
1	観光地延べ利用者数		95.1万人	98.5万人	105万人	103万人	
2	観光消費額		41億円	45億円	43億円	46億円	
3							

◆事業の構成（細事業）と実績◆			7年度予算	7年度決算	6年度決算	決算前年度比	
事業費の合計（千円）と前年度比（％）			51,710	50,816	16,331	211.2	
枝番号	3 力 年 対 象	新規・ 拡充	事業費（千円）※予算は現額			指標	目標値
			7年度予算	7年度決算	6年度決算	事務・事業・費用の備考	実績値
1	★		観光中核拠点施設再整備事業	1,000	351		
2	★		レンタサイクル貸出業務	571	570	876	
3	★		駒ヶ根高原Wi-Fi環境運営業務	800	794	759	
4	★		駒ヶ根キャンプセンターリノベーション計画	11,555	11,443		
5	★		観光施設改修事業	30,138	30,137	12,570	
6			負担金（駒ヶ根・宮田高原を美しくする会	1,650	1,650	1,400	
7			その他経費	524	399	726	
8		新	ファームス1階業務用冷蔵庫更新	1,573	1,573		
9		新	ファームス2階冷蔵ユニット緊急修繕	1,529	1,529		
10		新	高原観光地有害鳥獣対策事業	500	500		
11			ファームス火災報知器更新工事	1,870	1,870		R 6→R 7 繰越
12							
13							
14							
15							
特定財源の内容			（他）入湯税	3,000	3,000	5,000	【特定財源の費目の略称】 （分）：分担金及び負担金 （使）：使用料及び手数料 （国）：国庫支出金（県）：県支出金 （財）：財産収入（寄）：寄付金 （繰）：繰入金（諸）：諸収入 （債）：市債（他）その他
			（国）新しい地方経済・生活環境創生交付金	5,721	5,721		
			（債）緊急防災・減災事業債	19,300			
			（債）一般補助施設整備等事業債	5,100	5,100		
			（繰）ふるさとづくり基金繰入金	6,000	6,000	10,000	
一般財源			12,589	30,995	1,331		

◆評価◆

事業指標の分析と 事業の成果・課題	事業実施による成果は。また、事業指標の実績値からどのような課題を読み取ることができるか。 ※表や図は左ページの空いた部分か、この欄に記載。	
	・観光地延べ利用者数は、年々増加傾向にあるが、目標には達していない。 ・観光消費額は、目標を達成している。 ・観光消費額が伸びている一方で、来訪者数のさらなる増加に向けた取組が必要である。 ・キャンプセンター実施設計は目標通り完了したが、限られた予算の中での改修工事及び資材価格高騰の為、工事発注時にはさらなる精査が必要である。	
細事業の実績に関する分析	細事業の目標達成状況は。どのような成果や課題があるか。	
	■枝番号5・8・9 観光施設改修事業、ファームス冷蔵庫更新、冷蔵ユニット緊急修繕 観光施設改修事業は、当初の計画通り、こまくさの湯の浴室換気設備や給湯管改修、ファームスの雨漏り対応、キャンプセンターの転落防護柵改修やコテージデッキ撤去工事など、老朽化に伴う改修工事を実施した。また、営業に支障がある冷蔵庫の更新や修繕を実施した。今後も老朽化に伴う緊急修繕も想定されるため、計画的に行う必要がある。 ■枝番号2 レンタサイクル貸出事業 駒ヶ根高原の周遊を楽しんでもらうために引き続きレンタサイクル貸出事業を行う必要がある。 ■枝番号10 高原観光地有害鳥獣対策事業 近年、高原一体において猿の被害が多く発生してきているため、猟友会において追い払いを実施した。今後も引き続き取組をしていく必要がある。	
目標に対する 達成度	事業指標の実績値／目標値 ※指標が複数ある場合は平均値。細事業の指標は算入しない。	
	A 目標をおおむね達成できている（90%以上105%未満） 【凡例】S：105%以上 A：90%以上105%未満 B：70%以上90%未満 C：70%未満 ー：目標設定なし	

◆改善に向けた取り組み◆

事業の意図の達成や課題解決のための改善案	
・観光施設の老朽化により、快適性や安全性、高原全体の魅力低下が懸念されている。計画的な改修を進めるとともに、利用者ニーズに対応した機能向上を図るなど、施設の維持向上を進めていく。	

款	7	商工費	項	1	商工費	目	3	観光費	事業	5
事務事業名		中央アルプス保全活用事業								
主管		商工観光課								
事業の概要		中央アルプスの国定公園化を契機に、「安全・安心で魅力ある山岳観光地」を形成していくため、年次の登山道整備等を実施するとともに、保全と活用のバランスを総合的に検討し、地域振興に繋げる。								
対象		中央アルプスを訪れる観光客、市民								
意図 (対象をどのようにしたいか)		多くの観光客、登山者が訪れる。訪れた観光客、登山者が施設の魅力に触れ、満足して帰る。観光客、登山者による施設利用により、観光事業者が恩恵を受けられる。								

No.	事業指標	指標の算式	5年度	6年度	評価年度（7年度）		備考
			実績値	実績値	目標値	実績値	
1	中央アルプス来訪者数		19.5万人	18.1万人	21万人	21.3万人	
2							

◆事業の構成（細事業）と実績◆			7年度予算	7年度決算	6年度決算	決算前年度比
事業費の合計（千円）と前年度比（％）			22,237	16,519	10,026	64.8

枝番号	3カ年対象	新規・拡充	事務・事業・費用名	事業費（千円）※予算は現額			指標	目標値
				7年度予算	7年度決算	6年度決算	事務・事業・費用の備考	実績値
1	★		中央アルプス駒ヶ岳保存管理委員会	307	304	359		
2	★		山岳観光推進臨時職員	1,513	1,314			
3			登山道維持管理委託	880	880	2,767		
4	★		檜尾小屋指定管理					
5			山小屋維持管理	3,882	3,832	1,535		
6	★		登山道等整備事業	6,168	1,167	3,487	R 7→R 8 繰越	
7			負担金（各種団体等）	830	765	762		
8	★		信州山の日イベント補助	500	500	500		
9			観光施設整備基金（檜尾小屋）	659	656	531		
10			自然環境整備支援事業	5,634	5,632		R 6→R 7 繰越	
11			空木岳登山道整備資材運送業務	866	866		R 6→R 7 繰越	
12			その他経費	998	603	85		
13			【令和7年度→令和8年度繰越】 〈事業の内容〉 中央アルプス保全活用事業（檜尾岳登山道整備外）				繰越額 5,000	
14								
15			〈特定財源の内容〉 （国）自然環境整備支援事業補助金 （債）防災・減災・国土強靱化緊急対策事業債				1,800 2,200	

特定財源の内容	（分）物資輸送費負担金	1,300	1,300	1,300	【特定財源の費目の略称】 （分）:分担金及び負担金 （使）:使用料及び手数料 （国）:国庫支出金（県）:県支出金 （財）:財産収入（寄）:寄付金 （繰）:繰入金（諸）:諸収入 （債）:市債
	（諸）諸収入	200	656	531	
	（財）観光施設整備基金利子	2	2		
	（繰）ふるさとづくり基金繰入金	6,400	6,400	6,000	
	（国）自然環境整備支援事業補助金	1,800			
	（債）防災・減災・国土強靱化緊急対策事業債	2,200			
	【令和6年度→令和7年度繰越】				
	（国）自然環境整備支援事業補助金	2,250	2,720	1,569	
	（債）防災・減災・国土強靱化緊急対策事業債	2,700	2,700		
	（債）一般補助施設整備等事業債	400	400		
	一般財源		4,985	2,341	

◆評価◆

事業指標の分析と 事業の成果・課題		事業実施による成果は。また、事業指標の実績値からどのような課題を読み取ることができるか。 ※表や図は左ページの空いた部分か、この欄に記載。	
		- 山岳観光推進臨時職員によるハイマツ等可能な範囲で剪定を行うことが出来た。 - 中央アルプス駒ヶ岳保存管理委員会を2回開催した。 - 登山道整備は、木陰パノラマ遊歩道維持、空木岳登山道復旧、剣ヶ峰登山道復旧工事を行うことができた。	
細事業の実績に関する分析		細事業の目標達成状況は。どのような成果や課題があるか。	
		登山道の環境維持及び整備に関する費用が今後も増加傾向にある。	
目標に対する 達成度	事業指標の実績値／目標値 ※指標が複数ある場合は平均値。細事業の指標は算入しない。		
	A	目標をおおむね達成できている（90%以上105%未満）	
	【凡例】 S：105%以上 A：90%以上105%未満 B：70%以上90%未満 C：70%未満 ー：目標設定なし		

◆改善に向けた取り組み◆

事業の意図の達成や課題解決のための改善案	
登山道整備に関する短中長期修繕計画を作成し、登山道の維持管理を推進する必要がある。 引き続き、自然環境整備支援事業を活用し、登山道の維持管理に努める。	

款	7	商工費	項	1	商工費	目	3	観光費	事業	6
事務事業名		観光施設管理運営事業								
主管		商工観光課								
事業の概要		こまくさの湯や森と水のアウトドア体験広場など、観光施設の適切な維持管理を実施する								
対象		駒ヶ根市を訪れる観光客、市民								
意図 (対象をどのようにしたいか)		訪れた観光客や市民が、安心して利用できるとともに、満足して帰る。								

No.	事業指標	指標の算式	5年度	6年度	評価年度（7年度）		備考
			実績値	実績値	目標値	実績値	
1	管理不備による事故		0件	0件	0件	0件	
2							
3							

◆事業の構成（細事業）と実績◆			7年度予算	7年度決算	6年度決算	決算前年度比	
事業費の合計（千円）と前年度比（％）			20,527	20,096	16,995	18.2	
枝番号	3力年対象	新規・拡充	事業費（千円）※予算は現額			指標	目標値
			7年度予算	7年度決算	6年度決算	事務・事業・費用の備考	実績値
1			観光施設指定管理	11,080	11,080	11,258	
2			花の庭「山野草園」管理	1,526	1,504	1,466	
3			駒ヶ根高原維持管理	5,765	5,761	2,472	
4			その他施設管理運営	2,156	1,751	1,799	
5							
6							
7							
8							
9							
10							
11							
12							
13							
14							
15							
特定財源の内容	(繰) ふるさとづくり基金繰入金		12,000	12,000	10,000	【特定財源の費目の略称】 (分): 分担金及び負担金 (使): 使用料及び手数料 (国): 国庫支出金 (県): 県支出金 (財): 財産収入 (寄): 寄付金 (繰): 繰入金 (諸): 諸収入 (債): 市債	
	(諸) 立木伐採補償料			237			
一般財源			8,527	7,859	6,995		

◆評価◆

事業指標の分析と 事業の成果・課題		事業実施による成果は。また、事業指標の実績値からどのような課題を読み取ることができるか。 ※表や図は左ページの空いた部分か、この欄に記載。	
・管理不備に伴う事故は発生していない。 ・指定管理施設の管理運営は、指定管理者と連携して引き続き行っていく必要がある。			
細事業の実績に関する分析		細事業の目標達成状況は。どのような成果や課題があるか。	
■枝番号1 観光施設指定管理 こまくさの湯指定管理料5,500千円、森と水のアウトドア体験広場指定管理料5,280千円、戸倉山キャンプ場指定管理料300千円（前年度同額）で管理運営を行っている。特にこまくさの湯の指定管理施設においては、原油価格の高騰の影響があり、適切な管理運営に支障が出ないよう、指定管理者と連携しながら管理運営を進めていく必要がある。 ■枝番号2 花の庭「山野草園」管理 山野草園の管理は、臨時職員 2 名にて森と水のアウトドア体験広場内の環境整備を適切に行い、目標を達成している。指定管理者と連携しながら施設の環境整備を行っていく。			
目標に対する 達成度	事業指標の実績値／目標値 ※指標が複数ある場合は平均値。細事業の指標は算入しない。		
	A	目標をおおむね達成できている（90%以上105%未満）	
	【凡例】 S：105%以上 A：90%以上105%未満 B：70%以上90%未満 C：70%未満 ー：目標設定なし		

◆改善に向けた取り組み◆

事業の意図の達成や課題解決のための改善案
・指定管理者による各施設の管理運営について、指定管理者と連携して適切な維持管理を実施していく。また、こまくさの湯及び駒ヶ根キャンプセンターについては、利用者数が伸びており、指定管理者の営業努力により、魅力的な施設管理が行われている。今後も指定管理者と連携しながら、管理運営を行っていく必要がある。

款	7	商工費	項	1	商工費	目	4	消費者行政費	事業	1
事務事業名		消費生活事務								
主管		生活環境課								
事業の概要		消費トラブル等に対する相談窓口の開設及び消費者の保護と消費生活の安定向上を図るための各種啓発活動を行う。								
対象		駒ヶ根市民（飯島町、宮田村、中川村住民も対象）								
意図 (対象をどのようにしたいか)		消費生活のトラブルを少なくする。								

No.	事業指標	指標の算式	5年度	6年度	評価年度（7年度）		備考
			実績値	実績値	目標値	実績値	
1	消費生活相談件数		308	317	300件	359件	
2	相談員研修参加回数		2回	2回	2回	2回	
3							

◆事業の構成（細事業）と実績◆			7年度予算	7年度決算	6年度決算	決算前年度比		
事業費の合計（千円）と前年度比（％）			4,651	4,180	3,974	5.2		
枝番号	3 力 年 対 象	新規・ 拡充	事業費（千円）※予算は現額			指標	目標値	
			7年度予算	7年度決算	6年度決算	事務・事業・費用の備考	実績値	
1	★		消費生活事務 会計年度任用職員等	4,651	4,180	3,974	消費生活相談件数	300件 359件
2								
3								
4								
5								
6								
7								
8								
9								
10								
11								
12								
13								
14								
15								
特定財源の内容	(分) 消費者行政負担金（連携町村負担分）		1,829	2,182	2,000	【特定財源の費目の略称】 (分): 分担金及び負担金 (使): 使用料及び手数料 (国): 国庫支出金 (県): 県支出金 (財): 財産収入 (寄): 寄付金 (繰): 繰入金 (諸): 諸収入 (償): 市債		
	(県) 消費者行政県補助金		30	47	36			
	(寄) 商工費寄附金				100			
一般財源			2,792	1,951	1,838			

◆評価◆

事業指標の分析と事業の成果・課題		事業実施による成果は。また、事業指標の実績値からどのような課題を読み取ることができるか。 ※表や図は左ページの空いた部分か、この欄に記載。																																																																																															
【事業実施の状況】 消費生活相談事業 ・伊南地区全域の消費生活センターとして相談業務を実施した。 ・相談件数は、目標値より20%増加となった。駒ヶ根市消費生活センターの認知度が向上してきたものと考えられる。 啓発活動の実施 ・二十歳を祝う会での啓発のほか、高齢者サロン2団体で「消費者トラブルと特殊詐欺被害防止について」出前講座を行った。																																																																																																	
【相談件数・内容の推移】																																																																																																	
県報告 市町村消費生活相談受付状況																																																																																																	
<table border="1"> <thead> <tr> <th>区 分</th> <th>R3</th> <th>R4</th> <th>R5</th> <th>R6</th> <th>R7</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="7">販 売 購 入 形 態</td> <td>店舗販売</td> <td>28</td> <td>36</td> <td>43</td> <td>22</td> <td>31</td> </tr> <tr> <td>訪問販売</td> <td>18</td> <td>25</td> <td>13</td> <td>29</td> <td>30</td> </tr> <tr> <td>通信販売</td> <td>97</td> <td>120</td> <td>99</td> <td>95</td> <td>111</td> </tr> <tr> <td>電話勧誘</td> <td>28</td> <td>33</td> <td>27</td> <td>44</td> <td>36</td> </tr> <tr> <td>その他</td> <td>17</td> <td>25</td> <td>10</td> <td>6</td> <td>5</td> </tr> <tr> <td>不明・無関係</td> <td>49</td> <td>59</td> <td>72</td> <td>65</td> <td>92</td> </tr> <tr> <td>小 計</td> <td>237</td> <td>298</td> <td>264</td> <td>261</td> <td>305</td> </tr> <tr> <td>問合せ</td> <td>23</td> <td>23</td> <td>44</td> <td>56</td> <td>54</td> </tr> <tr> <td>合 計</td> <td>260</td> <td>321</td> <td>308</td> <td>317</td> <td>359</td> </tr> </tbody> </table>		区 分	R3	R4	R5	R6	R7	販 売 購 入 形 態	店舗販売	28	36	43	22	31	訪問販売	18	25	13	29	30	通信販売	97	120	99	95	111	電話勧誘	28	33	27	44	36	その他	17	25	10	6	5	不明・無関係	49	59	72	65	92	小 計	237	298	264	261	305	問合せ	23	23	44	56	54	合 計	260	321	308	317	359	<table border="1"> <thead> <tr> <th>相談キーワード</th> <th>R3</th> <th>R4</th> <th>R5</th> <th>R6</th> <th>R7</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>インターネット</td> <td>81</td> <td>99</td> <td>81</td> <td>77</td> <td>91</td> </tr> <tr> <td>うちワンクリック</td> <td>6</td> <td>4</td> <td>2</td> <td>2</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>架空請求</td> <td>4</td> <td>6</td> <td>14</td> <td>11</td> <td>2</td> </tr> <tr> <td>還付金詐欺</td> <td>2</td> <td>4</td> <td>11</td> <td>5</td> <td>0</td> </tr> </tbody> </table>					相談キーワード	R3	R4	R5	R6	R7	インターネット	81	99	81	77	91	うちワンクリック	6	4	2	2	0	架空請求	4	6	14	11	2	還付金詐欺	2	4	11	5	0
区 分	R3	R4	R5	R6	R7																																																																																												
販 売 購 入 形 態	店舗販売	28	36	43	22	31																																																																																											
	訪問販売	18	25	13	29	30																																																																																											
	通信販売	97	120	99	95	111																																																																																											
	電話勧誘	28	33	27	44	36																																																																																											
	その他	17	25	10	6	5																																																																																											
	不明・無関係	49	59	72	65	92																																																																																											
	小 計	237	298	264	261	305																																																																																											
問合せ	23	23	44	56	54																																																																																												
合 計	260	321	308	317	359																																																																																												
相談キーワード	R3	R4	R5	R6	R7																																																																																												
インターネット	81	99	81	77	91																																																																																												
うちワンクリック	6	4	2	2	0																																																																																												
架空請求	4	6	14	11	2																																																																																												
還付金詐欺	2	4	11	5	0																																																																																												
細事業の実績に関する分析 細事業の目標達成状況は。どのような成果や課題があるか。																																																																																																	
【相談内容】 ・相談キーワードでは、インターネットを利用した消費者トラブルの相談が多い状況が続いている。また、架空請求、還付金詐欺の相談も散見される状況にある。 【課題】 ・SNSを利用した詐欺の手口は多様化、巧妙化している。こうした消費者トラブルに遭わないよう消費者自身が正しい知識を身につけ、年齢を問わず消費者としての判断力を養うことが重要である。 ・複雑多様化する相談事例への対応に向けて、相談員のスキルアップのための研修参加を継続的に実施する必要がある。																																																																																																	
目標に対する達成度		事業指標の実績値／目標値 ※指標が複数ある場合は平均値。細事業の指標は算入しない。																																																																																															
A		目標をおおむね達成できている（90%以上105%未満）																																																																																															
【凡例】 S：105%以上 A：90%以上105%未満 B：70%以上90%未満 C：70%未満 ー：目標設定なし																																																																																																	
◆改善に向けた取り組み◆																																																																																																	
事業の意図の達成や課題解決のための改善案 ・全世代向けに、市報、ホームページ等を活用したクーリングオフなど消費者保護制度の情報周知を行っていく。 ・高齢者には、サロン等での出前講座を拡充できるよう努めていく。																																																																																																	

款	8	土木費	項	1	土木管理費	目	1	土木総務費	事業	2
事務事業名		土木総務事務								
主管		建設課								
事業の概要		道路河川整備、国県要望等に関する人件費、負担金の支出外、必要な経費を執行する。								
対象		市、団体 外								
意図 (対象をどのようにしたいか)		道路河川整備、要望等を適切かつ効果的に実施する。								

No.	事業指標	指標の算式	5年度	6年度	評価年度（7年度）		備考
			実績値	実績値	目標値	実績値	
1	国、県要望活動の実施		10回	12回	11回	13回	
2							
3							

◆事業の構成（細事業）と実績◆			7年度予算	7年度決算	6年度決算	決算前年度比	
事業費の合計（千円）と前年度比（％）			10,008	8,988	8,177	9.9	
枝番号	3 力 年 対 象	新規・ 拡 充	事業費（千円）※予算は現額			指標	目標値
			7年度予算	7年度決算	6年度決算	事務・事業・費用の備考	実績値
1			道路整備期成同盟会等16団体負担金	1,613	1,282	1,366	同盟会等への参加 16団体 16団体
2			上穂沢川対策委員会外 補助金	40	40	30	団体の要望活動支援 3団体 3団体
3			会計年度任用職員	5,877	5,702	4,807	3名
4			その他事務費等	2,478	1,964	1,974	
5							
6							
7							
8							
9							
10							
11							
12							
13							
14							
15							
特定財源の内容							【特定財源の費目の略称】 (分):分担金及び負担金 (使):使用料及び手数料 (国):国庫支出金 (県):県支出金 (財):財産収入 (寄):寄付金 (繰):繰入金 (諸):諸収入 (債):市債
一般財源			10,008	8,988	8,177		

◆評価◆

事業指標の分析と事業の成果・課題		事業実施による成果は。また、事業指標の実績値からどのような課題を読み取ることができるか。 ※表や図は左ページの空いた部分か、この欄に記載。
・道路整備期成同盟会 ・上穂沢川対策委員会	外15団体へ負担金を支払い、総会などへ参加した。 外2団体へ補助金を支払い、活動を支援した。	
細事業の実績に関する分析		
細事業の目標達成状況は。どのような成果や課題があるか。 ・道路整備期成同盟会などが実施する要望活動へ参加することにより、道路・河川などの改修や工事の予算化へつながっている。		
目標に対する達成度	事業指標の実績値／目標値 ※指標が複数ある場合は平均値。細事業の指標は算入しない。 S 目標を大きく上回った（105%以上） 【凡例】 S：105%以上 A：90%以上105%未満 B：70%以上90%未満 C：70%未満 ー：目標設定なし	

◆改善に向けた取り組み◆

事業の意図の達成や課題解決のための改善案
（この欄は空欄です）

款	8	土木費	項	1	土木管理費	目	1	土木総務費	事業	3
事務事業名		地籍調査事務								
主管		建設課								
事業の概要		国土調査法に基づき、土地1筆ごとの所有者、地番及び地目の調査を行うとともに、境界確認及び地籍測量を実施し、その結果を地籍図及び地籍簿にまとめ、法務局に登録する。								
対象		市内土地所有者								
意図 (対象をどのようにしたいか)		土地一筆ごとの地籍（地番・地目・境界・面積・所有者）を明確にし、災害復旧・公共事業や土地取引の円滑化、課税の適正化を行う。 土地境界を明確にすることにより隣地との境界トラブルの防止ができる。								
No.	事業指標	指標の算式	5年度 実績値	6年度 実績値	評価年度（7年度） 目標値 実績値		備考			
1	調査対象面積		0.37Km ²	0.35Km ²	0.25km ²	0.25Km ²	R7 飯坂西2地区 0.15、 東町1地区 0.10km ² R8 東町1地区 0.10、 東町2地区 0.10km ²			
2										
◆事業の構成（細事業）と実績◆			7年度予算	7年度決算	6年度決算	決算前年度比				
事業費の合計（千円）と前年度比（％）			21,504	21,012	22,595	△ 7.0				
枝 番 号	3 カ 年 対 象	新 規 ・ 拡 充	事業費（千円）※予算は現額			指標	目標値			
			7年度予算	7年度決算	6年度決算	事務・事業・費用の備考	実績値			
1	★		地籍調査事業委託	19,998	19,998	21,551	調査対象面積	0.25km ² 0.25km ²		
2			その他事務費等	1,506	1,014	1,044				
3										
4										
5										
6										
7										
8										
9										
10										
11										
12										
13										
14										
15										
特定財源の内容	(県) 国土調査事業補助金		12,661	12,661	16,141	【特定財源の費目の略称】 (分): 分担金及び負担金 (使): 使用料及び手数料 (国): 国庫支出金 (県): 県支出金 (財): 財産収入 (寄): 寄付金 (繰): 繰入金 (諸): 諸収入 (債): 市債				
一般財源			8,843	8,351	6,454					

◆評価◆

事業指標の分析と 事業の成果・課題	事業実施による成果は。また、事業指標の実績値からどのような課題を読み取ることができるか。 ※表や図は左ページの空いた部分か、この欄に記載。	
実績値は目標どおりとなり、計画した対象地区の調査・閲覧を実施した。 【事業内容】 ・事業実施区域内の土地所有者に地籍調査事業の説明会を行った。 ・土地所有者間で行われる土地の境界確認の立会及び地目の確認を行った。（一筆地調査） ・面積測量・地籍図を作成し公告・閲覧を行った。（異議申出があった場合には再立会を行った。） 【事業実績】 ○一筆地調査：東町1地区（調査前筆数：515筆） ○閲覧：飯坂西2地区（閲覧対象者数：172名）		
細事業の実績に関する分析		
細事業の目標達成状況は。どのような成果や課題があるか。		
目標に対する 達成度	事業指標の実績値／目標値 ※指標が複数ある場合は平均値。細事業の指標は算入しない。 A 目標をおおむね達成できている（90%以上105%未満） 【凡例】S：105%以上 A：90%以上105%未満 B：70%以上90%未満 C：70%未満 ー：目標設定なし	

◆改善に向けた取り組み◆

事業の意図の達成や課題解決のための改善案 令和8年4月現在、県及び国から認証・承認を受けたものの、法務局への登記申請が待機中の調査地区が2地区となっている。 法務局による説明では、登記担当事務の職員数が不足しているため、登記処理に時間がかかり、他市町村からの申請件数も多いため、順番待ちとのこと。 法務局には迅速な対応を求めている。
--

款	8	土木費	項	2	道路橋梁費	目	1	道路橋梁総務費	事業	2
事務事業名		道路橋梁総務管理事業								
主管		建設課								
事業の概要		道路構造物・橋梁の管理に関する光熱水費、登記費等の必要な経費を支出する。								
対象		道路構造物・橋梁								
意図 (対象をどのようにしたいか)		適切に管理する。								

No.	事業指標	指標の算式	5年度	6年度	評価年度（7年度）		備考
			実績値	実績値	目標値	実績値	
1							
2							
3							

◆事業の構成（細事業）と実績◆			7年度予算	7年度決算	6年度決算	決算前年度比	
事業費の合計（千円）と前年度比（％）			13,891	11,748	11,680	0.6	
枝番号	3 力 年 対 象	新規・拡充	事業費（千円）※予算は現額			指標	目標値
			7年度予算	7年度決算	6年度決算	事務・事業・費用の備考	実績値
1			道路台帳補正業務委託	4,500	4,169	4,158	
2			用地分筆登記業務委託 未登記・用地買収 測量・登記費用	6,000	4,949	4,505	市道未登記処理 5人 22人
3			その他事務費等	3,391	2,630	3,017	
4							
5							
6							
7							
8							
9							
10							
11							
12							
13							
14							
15							
特定財源の内容	(諸) 公共物占用料		510	563	579	【特定財源の費目の略称】 (分): 分担金及び負担金 (使): 使用料及び手数料 (国): 国庫支出金 (県): 県支出金 (財): 財産収入 (寄): 寄付金 (繰): 繰入金 (諸): 諸収入 (債): 市債	
一般財源			13,381	11,185	11,101		

◆評価◆

事業指標の分析と
事業の成果・課題

事業実施による成果は。また、事業指標の実績値からどのような課題を読み取ることができるか。
※表や図は左ページの空いた部分か、この欄に記載。

・道路法に基づき、道路台帳を実際の道路現況（新設、改良、舗装変更など）に合わせて更新・修正した。

・個人名義が市道内に残ってしまっている未登記物件の処理を、随時進めている。

【事業実績】

・道路台帳補正 20箇所 2,925km

未登記物件処理数	R3	R4	R5	R6	R7
寄付済（名義）	10	1	6	10	22
（内 相続）	1	0	0	1	12
登記済（筆）	15	1	7	18	10

細事業の実績に関する分析

細事業の目標達成状況は。どのような成果や課題があるか。

・市道未登記は、名義人死亡に伴う相続対応に苦慮している。

目標に対する
達成度

事業指標の実績値／目標値

※指標が複数ある場合は平均値。細事業の指標は算入しない。

—

目標設定なし

【凡例】 S：105%以上 A：90%以上105%未満 B：70%以上90%未満 C：70%未満 —：目標設定なし

◆改善に向けた取り組み◆

事業の意図の達成や課題解決のための改善案	

款	8	土木費	項	2	道路橋梁費	目	2	道路維持費	事業	1
事務事業名		道路維持事業								
主管		建設課								
事業の概要		道路の補修、除草、街路樹剪定等の維持管理作業、冬季の除雪等を行う。								
対象		道路利用者								
意図 (対象をどのようにしたいか)		年間を通じて、安心して道路を通行できる。								

No.	事業指標	指標の算式	5年度	6年度	評価年度（7年度）		備考
			実績値	実績値	目標値	実績値	
1							
2							
3							

◆事業の構成（細事業）と実績◆			7年度予算	7年度決算	6年度決算	決算前年度比
事業費の合計（千円）と前年度比（％）			144,104	94,444	93,469	1.0

枝番号	3 力 年 対 象	新規・ 拡充	事務・事業・費用名	事業費（千円）※予算は現額			指標	目標値
				7年度予算	7年度決算	6年度決算	事務・事業・費用の備考	実績値
1	★		道路維持補修工事	14,083	14,074	20,314		
2			道路維持委託（補修）	12,784	11,493	14,356	軽易な道路補修、補修	
3			道路維持委託（剪定伐採、除草）	11,700	11,108	11,473		
4	★		道路維持委託（除雪）	37,864	32,494	33,565	除雪路線延長	110km 110km
5			除雪機械補助	1,300	980	683	自主除雪従事者数	550人 432人
6			車載式凍結防止剤散布機購入	2,456	1,864	3,318	凍結防止剤散布機の更新	1台 1台
7			路面下空洞調査業務委託	11,000	10,274			
8			その他事務費等	7,000	5,055	9,760		
9			地元要望対応工事 市道2-201号線 外	8,000	7,102		土留め工事 外 R6補正→R7繰越	8路線 8路線
10			緊急災害対応工事 市道1-488号線	37,917			兼用側溝改修工事 R7補正→R8繰越	1路線 —
11			【令和7年度→令和8年度繰越】					繰越額
12			〈事業の内容〉 道路維持事業 兼用側溝改修工事					37,917
13								
14			〈特定財源の内容〉					
15			（債）緊急自然災害防止対策事業債					25,700

特定財源の内容	（国）社会資本整備総合交付金	2,000	1,500	3,639	【特定財源の費目の略称】 （分）:分担金及び負担金 （使）:使用料及び手数料 （国）:国庫支出金（県）:県支出金 （財）:財産収入（寄）:寄付金 （繰）:繰入金（諸）:諸収入 （債）:市債
	（債）緊急自然災害防止対策事業債	30,100	1,600	3,000	
	（諸）道路占用料	15,300	15,875	16,153	
	（繰）ふるさとづくり基金繰入金	20,000			
	（債）公共施設等適正管理推進事業債	6,300	6,500	6,400	
一般財源		70,404	68,969	64,277	

◆評価◆

事業指標の分析と 事業の成果・課題	事業実施による成果は。また、事業指標の実績値からどのような課題を読み取ることができるか。 ※表や図は左ページの空いた部分か、この欄に記載。						
	・地元要望などによる、道路の維持補修工事を実施した。→ 道路維持補修工事 12箇所 ・日々の道路パトロールにより、道路の維持管理を実施した。→道路維持委託業者 5社 ・冬期の道路管理（凍結防止剤散布、業者除雪、各区の自主除雪）を実施した。 → 凍結防止剤散布業者 6社 除雪業者 14社 自主除雪 9区 ・各区で実施している自主除雪で使用する、除雪機械の修繕や購入などへの補助を行った。→ 補助件数 10件						
細事業の実績に関する分析	細事業の目標達成状況は。どのような成果や課題があるか。 ・年間を通じて、道路の安全性、快適性を確保できた。 ・維持委託、凍結防止剤散布業者の高齢化が課題である。						
目標に対する 達成度	<table border="1"> <tr> <td data-bbox="379 1447 464 1480">事業指標の実績値／目標値</td><td data-bbox="464 1447 1473 1480">※指標が複数ある場合は平均値。細事業の指標は算入しない。</td></tr> <tr> <td data-bbox="379 1480 464 1541">—</td><td data-bbox="464 1480 1473 1541">目標設定なし</td></tr> <tr> <td colspan="2" data-bbox="379 1541 1473 1576">【凡例】 S：105%以上 A：90%以上105%未満 B：70%以上90%未満 C：70%未満 —：目標設定なし</td></tr> </table>	事業指標の実績値／目標値	※指標が複数ある場合は平均値。細事業の指標は算入しない。	—	目標設定なし	【凡例】 S：105%以上 A：90%以上105%未満 B：70%以上90%未満 C：70%未満 —：目標設定なし	
事業指標の実績値／目標値	※指標が複数ある場合は平均値。細事業の指標は算入しない。						
—	目標設定なし						
【凡例】 S：105%以上 A：90%以上105%未満 B：70%以上90%未満 C：70%未満 —：目標設定なし							

◆改善に向けた取り組み◆

事業の意図の達成や課題解決のための改善案
・維持委託、凍結防止剤散布業者が業務の受託を辞退した場合の、業者変更のを検討する。

款	8	土木費	項	2	道路橋梁費	目	3	道路新設改良費	事業	1
事務事業名		市単道路改良事業								
主管		建設課								
事業の概要		生活関連道路の改良および防災対策。								
対象		生活道路								
意図 (対象をどのようにしたいか)		危険箇所や狭隘箇所を改良し、道路利用者の安全を確保する。								

No.	事業指標	指標の算式	5年度	6年度	評価年度（7年度）		備考
			実績値	実績値	目標値	実績値	
1	道路改良・防災事業の推進		8路線	9路線	7路線	9路線	
2	県事業の推進		2箇所	2箇所	2箇所	2箇所	
3							

◆事業の構成（細事業）と実績◆			7年度予算	7年度決算	6年度決算	決算前年度比	
事業費の合計（千円）と前年度比（％）			73,713	70,966	60,346	17.6	
枝番号	3 力 年 対 象	新規・ 拡充	事業費（千円）※予算は現額			指標	目標値
			7年度予算	7年度決算	6年度決算	事務・事業・費用の備考	実績値
1	★		市道改良事業 南割町線他5路線	31,198	30,365	21,536	道路改良工事の推進 4路線 6路線
2	★		市道改良事業（道路防災） 向ヶ丘線他2路線	33,902	33,902	33,086	道路防災工事の推進 3路線 3路線
3	★		県事業負担金 急傾斜地崩壊対策事業等	8,000	6,177	5,724	県事業の推進 2箇所 2箇所
4	★		市道改良事業 1-501号線小町屋	613	522		道路改良工事の推進 R6→R7繰越 1路線 1路線
5							
6							
7							
8							
9							
10							
11							
12							
13							
14							
15							

特定財源の内容	(債) 緊急自然災害防災対策事業債	31,000	33,900	31,800	【特定財源の費目の略称】 (分): 分担金及び負担金 (使): 使用料及び手数料 (国): 国庫支出金 (県): 県支出金 (財): 財産収入 (寄): 寄付金 (繰): 繰入金 (諸): 諸収入 (債): 市債
	(債) 公共事業等債		900	400	
一般財源		42,713	36,166	28,146	

◆評価◆

事業指標の分析と 事業の成果・課題		事業実施による成果は。また、事業指標の実績値からどのような課題を読み取ることができるか。 ※表や図は左ページの空いた部分か、この欄に記載。	
・生活関連道路の改良および防災対策のため、改良工事を行った。 ・地元要望箇所を補正予算により対応したため、目標値を上回った。			
【事業実績】 ○市道改良事業 6路線 ・福岡南線・南割町線・1-501号線・1-504号線・1-902号線・2-90号線 ○市道改良事業（道路防災） 3路線 ・向ヶ丘線・下街道本線・1-327号線 ○県事業負担金 2箇所 ・駒ヶ根駒ヶ岳公園線兼用側溝整備事業・下中曾倉扇場急傾斜地崩壊対策事業			
細事業の実績に関する分析		細事業の目標達成状況は。どのような成果や課題があるか。	
・南割町線南割及び、1-501号線小町屋の道路拡幅を完成させ、道路利用者の安全性が向上した。			
目標に対する 達成度		事業指標の実績値／目標値 ※指標が複数ある場合は平均値。細事業の指標は算入しない。	
S		目標を大きく上回った（105%以上）	
		【凡例】 S：105%以上 A：90%以上105%未満 B：70%以上90%未満 C：70%未満 ー：目標設定なし	

◆改善に向けた取り組み◆

事業の意図の達成や課題解決のための改善案		
・今後も、地元要望に基づき危険性・緊急性の高い箇所の改良を推進していく。 ・緊急自然災害防災対策事業債を活用し、道路構造物の改修を行い、災害の発生を予防していく。		

款	8	土木費	項	2	道路橋梁費	目	3	道路新設改良費	事業	2
事務事業名		社会資本整備総合交付金 道路改良事業								
主管		建設課								
事業の概要		国の交付金による幹線道路の改良および防災対策。								
対象		幹線道路								
意図 (対象をどのようにしたいか)		道路整備プログラムに基づき整備を進め、道路利用者の安全を確保する。								

No.	事業指標	指標の算式	5年度	6年度	評価年度（7年度）		備考
			実績値	実績値	目標値	実績値	
1	道路整備プログラムの推進		1路線	1路線	1路線	1路線	
2							
3							

◆事業の構成（細事業）と実績◆

事業費の合計（千円）と前年度比（％）		7年度予算	7年度決算	6年度決算	決算前年度比
		67,500	28,804	10,474	175.0

枝番号	3 力 年 対 象	新規・ 拡充	事務・事業・費用名	事業費（千円）※予算は現額			指標	目標値
				7年度予算	7年度決算	6年度決算	事務・事業・費用の備考	実績値
1	★		市道改良事業 本曾倉線	8,600	7,981	10,474	道路改良工事の推進	1路線
2	★		市道改良事業 本曾倉線	22,000	20,823		道路改良工事の推進	1路線
3	★		市道改良事業 本曾倉線	36,900			道路改良工事の推進	1路線
4								
5								
6			【令和7年度→令和8年度繰越】 〈事業の内容〉 社会資本整備総合交付金 道路改良事業 本曾倉線				繰越額	
7							36,900	
8								
9			〈特定財源の内容〉 (国) 社会資本整備総合交付金（防災・安全） (債) 公共事業等債 (債) 防災・減災・国土強靱化緊急対策事業債				17,919	
10							1,000	
11							13,500	
12								
13								
14								
15								
特定財源の内容			(国) 社会資本整備総合交付金（防災・安全）	22,275	4,356	3,130	【特定財源の費目の略称】 (分):分担金及び負担金 (使):使用料及び手数料 (国):国庫支出金 (県):県支出金 (財):財産収入 (寄):寄付金 (繰):繰入金 (諸):諸収入 (債):市債	
			(債) 公共事業等債	4,200	3,200	2,300		
			(債) 防災・減災・国土強靱化緊急対策事業債	13,500				
			【令和6年度→令和7年度繰越】					
			(国) 社会資本整備総合交付金（防災・安全）	10,979	10,979			
			(債) 防災・減災・国土強靱化緊急対策事業債	8,900	8,900			
一般財源				7,646	1,369	5,044		

◆評価◆

事業指標の分析と 事業の成果・課題		事業実施による成果は。また、事業指標の実績値からどのような課題を読み取ることができるか。 ※表や図は左ページの空いた部分か、この欄に記載。	
・国の交付金を活用し、道路整備プログラムに基づき幹線道路の改良工事を行った。			
【事業実績】 ○市道改良事業 1路線 ・本曾倉線 本曾倉東 工事施工延長L=105m W=5.0m 用地買収4件 物件移転補償7件			
細事業の実績に関する分析		細事業の目標達成状況は。どのような成果や課題があるか。	
目標に対する 達成度		事業指標の実績値／目標値 ※指標が複数ある場合は平均値。細事業の指標は算入しない。	
A		目標をおおむね達成できている（90%以上105%未満）	
		【凡例】 S：105%以上 A：90%以上105%未満 B：70%以上90%未満 C：70%未満 ー：目標設定なし	

◆改善に向けた取り組み◆

事業の意図の達成や課題解決のための改善案	
・引き続き、国の交付金を活用し、本曾倉線	本曾倉東の道路拡幅を進め、R8年度末の完成を目指す。

款	8	土木費	項	2	道路橋梁費	目	3	道路新設改良費	事業	3
事務事業名		新病院周辺整備事業								
主管		建設課								
事業の概要		新病院開院に向けた周辺整備の推進。								
対象		新病院へ来院する人、新病院周辺住民								
意図 (対象をどのようにしたいか)		新病院開院後に交通量が増加することから、人や車がスムーズに往来できるように整備を行う。								

No.	事業指標	指標の算式	5年度	6年度	評価年度（7年度）		備考
			実績値	実績値	目標値	実績値	
1	新病院開院までに周辺の道路整備の完了に向け測量設計に着手	進捗率	—	—	50%	0%	
2							
3							

◆事業の構成（細事業）と実績◆

事業費の合計（千円）と前年度比（%）			7年度予算	7年度決算	6年度決算	決算前年度比	
枝番号	3 力 年 対 象	新規・拡充	事業費（千円）※予算は現額			指標	目標値
			7年度予算	7年度決算	6年度決算	事務・事業・費用の備考	実績値
1	★		新病院周辺道路整備 測量設計費			新病院周辺整備の推進 路線測量及び詳細設計	50% 0%
2							
3							
4							
5							
6							
7							
8							
9							
10							
11							
12							
13							
14							
15							
特定財源の内容						【特定財源の費目の略称】 (分):分担金及び負担金 (使):使用料及び手数料 (国):国庫支出金 (県):県支出金 (財):財産収入 (寄):寄付金 (繰):繰入金 (諸):諸収入 (債):市債	
一般財源							

◆評価◆

事業指標の分析と事業の成果・課題		事業実施による成果は。また、事業指標の実績値からどのような課題を読み取ることができるか。 ※表や図は左ページの空いた部分か、この欄に記載。
新病院周辺整備に関しては、着手を延期することとしたため、令和7年度における予算執行はない。		
理由は、伊南行政で進めている新病院本体の建設スケジュールに変更があったことによる。 令和7年度末時点において、基本計画からの見直し段階にあり、想定された設計段階まで進んでいないのが現状である。		
よって、新病院周辺整備については、新病院本体の基本設計が完了し、実施設計に移行するまでの間は、着手しないことが妥当であると判断した。		
細事業の実績に関する分析		細事業の目標達成状況は。どのような成果や課題があるか。
・新病院周辺整備に係る事業については、新病院建設のスケジュールと併せて実施する。		
目標に対する達成度	事業指標の実績値／目標値 ※指標が複数ある場合は平均値。細事業の指標は算入しない。	
	—	目標設定なし
【凡例】 S : 105%以上 A : 90%以上105%未満 B : 70%以上90%未満 C : 70%未満 — : 目標設定なし		

◆改善に向けた取り組み◆

事業の意図の達成や課題解決のための改善案
・特になし

款	8	土木費	項	2	道路橋梁費	目	4	橋梁維持費	事業	1
事務事業名		橋梁維持事業								
主管		建設課								
事業の概要		市が管理している橋梁の小規模維持。								
対象		橋梁								
意図 (対象をどのようにしたいか)		橋梁の維持・修繕を行い、道路利用者の安全を確保する。								

No.	事業指標	指標の算式	5年度	6年度	評価年度（7年度）		備考
			実績値	実績値	目標値	実績値	
1	橋梁の維持		3橋	3橋	2橋	2橋	
2							
3							

◆事業の構成（細事業）と実績◆			7年度予算	7年度決算	6年度決算	決算前年度比	
事業費の合計（千円）と前年度比（％）			3,000	2,196	2,197	△ 0.0	
枝番号	3 力 年 対 象	新規・ 拡充	事業費（千円）※予算は現額			指標	目標値
			7年度予算	7年度決算	6年度決算	事務・事業・費用の備考	実績値
1	★		橋梁維持（工事）	3,000	2,196	2,197	橋梁の維持 2橋 2橋
2							
3							
4							
5							
6							
7							
8							
9							
10							
11							
12							
13							
14							
15							
特定財源の内容	（使）河川占用料		80	81	81	【特定財源の費目の略称】 （分）：分担金及び負担金 （使）：使用料及び手数料 （国）：国庫支出金（県）：県支出金 （財）：財産収入（寄）：寄付金 （繰）：繰入金（諸）：諸収入 （債）：市債	
一般財源			2,920	2,115	2,116		

◆評価◆

事業指標の分析と事業の成果・課題		事業実施による成果は。また、事業指標の実績値からどのような課題を読み取ることができるか。 ※表や図は左ページの空いた部分か、この欄に記載。	
・市が管理している橋梁の維持補修工事を行った。			
【事業実績】 ○橋梁維持工事 2橋 ・こまくさ橋・2-83橋			
細事業の実績に関する分析		細事業の目標達成状況は。どのような成果や課題があるか。	
目標に対する達成度		事業指標の実績値／目標値 ※指標が複数ある場合は平均値。細事業の指標は算入しない。	
A		目標をおおむね達成できている（90%以上105%未満）	
【凡例】S：105%以上 A：90%以上105%未満 B：70%以上90%未満 C：70%未満 ー：目標設定なし			

◆改善に向けた取り組み◆

事業の意図の達成や課題解決のための改善案
・ 橋梁点検結果に基づき修繕を行い、長寿命化を図っていく。

款	8	土木費	項	2	道路橋梁費	目	4	橋梁維持費	事業	2
事務事業名		道路メンテナンス補助 橋梁長寿命化修繕事業								
主管		建設課								
事業の概要		国の補助金による市が管理している橋梁の長寿命化修繕。								
対象		橋梁								
意図 (対象をどのようにしたいか)		橋梁の長寿命化修繕を行い、道路利用者の安全を確保する。								

No.	事業指標	指標の算式	5年度	6年度	評価年度（7年度）		備考
			実績値	実績値	目標値	実績値	
1	橋梁長寿命化修繕		376橋/5年	374橋/5年	376橋/5年	374橋/5年	管理橋梁数-2
2	橋梁集約化撤去			1橋	1橋	1橋	
3							

◆事業の構成（細事業）と実績◆

事業費の合計（千円）と前年度比（％）		7年度予算	7年度決算	6年度決算	決算前年度比
		449,000	383,162	106,555	259.6

枝番号	3カ年対象 新規・拡充	事務・事業・費用名	事業費（千円）※予算は現額			指標	目標値
			7年度予算	7年度決算	6年度決算		実績値
1	★	橋梁長寿命化修繕「工事」 天王橋他1橋	18,133	18,128	25,586	修繕工事 R6→R7繰越	2橋 2橋
2	★	橋梁長寿命化修繕「補修設計」 宮の前橋他7橋	28,182	28,182	25,487	補修設計 R6→R7繰越	8橋 8橋
3	★ 拡	橋梁集約化撤去 大徳原橋	173,600	173,600	7,000	橋梁撤去 NEXCO撤去工事負担金	1橋 1橋
4	★	橋梁点検 市内一円 14橋	21,571	21,571	30,976	定期点検	14橋 14橋
5	★	長寿命化計画策定			17,506	5年で見直し	
6	★ 拡	橋梁集約化撤去 大徳原橋	141,685	141,681		橋梁撤去 R6→R7繰越	1橋 1橋
7	★	橋梁長寿命化修繕「工事」 田沢参宮橋他3橋	49,829			修繕工事 R7→R8繰越	4橋 -
8	★	橋梁長寿命化修繕「補修設計」 1-5橋他3橋	16,000			補修設計 R7→R8繰越	4橋 -
9							
10		【令和7年度→令和8年度繰越】 〈事業の内容〉 道路メンテナンス補助 橋梁長寿命化修繕事業				繰越額	
11						65,829	
12		〈特定財源の内容〉					
13		（国）道路メンテナンス国庫補助金				33,550	
14		（債）防災・減災・国土強靱化緊急対策事業債				27,400	
15							
特定財源の内容		（国）道路メンテナンス国庫補助金	139,700	106,150	57,860	【特定財源の費目の略称】 （分）：分担金及び負担金 （使）：使用料及び手数料 （国）：国庫支出金 （県）：県支出金 （財）：財産収入 （寄）：寄付金 （繰）：繰入金 （諸）：諸収入 （債）：市債	
		（債）公共事業等債	68,000	58,700	4,800		
		（債）防災・減災・国土強靱化緊急対策事業債	27,400		18,800		
		【令和6年度→令和7年度繰越】					
		（国）道路メンテナンス国庫補助金	100,100	100,100			
		（債）防災・減災・国土強靱化緊急対策事業債	81,900	81,900			
一般財源			31,900	36,312	25,095		

◆評価◆

事業指標の分析と事業の成果・課題		事業実施による成果は。また、事業指標の実績値からどのような課題を読み取ることができるか。 ※表や図は左ページの空いた部分か、この欄に記載。
・ 橋梁長寿命化計画に基づき、国の補助金で橋梁の修繕工事、撤去、補修設計、点検を行った。		
【事業実績】 ○ 橋梁修繕工事 2橋 ・ 天王橋・猪子入橋 ○ 橋梁撤去 1橋 ・ 大徳原橋 ○ 橋梁補修設計 8橋 ・ 宮の前橋・御堂橋・1-73橋・いすず橋1-75・1-119橋・如来時橋・1-280橋・3-8橋 ○ 橋梁定期点検 14橋（委託点検）		
細事業の実績に関する分析		細事業の目標達成状況は。どのような成果や課題があるか。
（この欄は空欄）		
目標に対する達成度	事業指標の実績値／目標値 ※指標が複数ある場合は平均値。細事業の指標は算入しない。	
	A	目標をおおむね達成できている（90%以上105%未満）
【凡例】 S：105%以上 A：90%以上105%未満 B：70%以上90%未満 C：70%未満 ー：目標設定なし		

◆改善に向けた取り組み◆

事業の意図の達成や課題解決のための改善案
・ 引き続き、国の補助金を活用し、橋梁点検結果に基づき修繕を行い、長寿命化を図っていく。 ・ 必要に応じて橋梁長寿命化計画の更新を行い、橋の修繕又は集約・撤去を検討していく。
（この欄は空欄）

款	8	土木費	項	2	道路橋梁費	目	6	道路舗装費	事業	1
事務事業名		社会資本整備総合交付金 道路舗装事業								
主管		建設課								
事業の概要		国の交付金による幹線道路の舗装修繕。								
対象		幹線道路								
意図 (対象をどのようにしたいか)		舗装長寿命化計画に基づき舗装修繕を行い、道路利用者の安全を確保する。								

No.	事業指標	指標の算式	5年度	6年度	評価年度（7年度）		備考
			実績値	実績値	目標値	実績値	
1	舗装修繕工事の推進		4路線	2路線	4路線	3路線	
2							
3							

◆事業の構成（細事業）と実績◆

事業費の合計（千円）と前年度比（％）		7年度予算	7年度決算	6年度決算	決算前年度比
		232,197	122,935	33,308	269.1

枝番号	3 力 年 対 象	新規・ 拡充	事務・事業・費用名	事業費（千円）※予算は現額			指標	目標値
				7年度予算	7年度決算	6年度決算		
1	★		市道舗装事業（幹線道路） 中割線他2路線	30,500	26,822	33,308	舗装修繕工事の推進	4路線 3路線
2	★		市道舗装事業（幹線道路） 中割線他2路線	98,697	96,113		舗装修繕工事の推進	4路線 3路線
3	★		市道舗装事業（幹線道路） 上穂本線他2路線	103,000			舗装修繕工事の推進	3路線 -
4								
5								
6			【令和7年度→令和8年度繰越】 〈事業の内容〉 社会資本整備総合交付金 道路舗装事業				繰越額 103,000	
7								
8			〈特定財源の内容〉 （国）社会資本整備総合交付金（防災・安全） （債）防災・減災・国土強靱化緊急対策事業債				50,000 50,000	
9								
10								
11								
12								
13								
14								
15								
特定財源の内容			（国）社会資本整備総合交付金（防災・安全）	63,387	13,387	16,328	【特定財源の費目の略称】 （分）：分担金及び負担金 （使）：使用料及び手数料 （国）：国庫支出金（県）：県支出金 （財）：財産収入（寄）：寄付金 （繰）：繰入金（諸）：諸収入 （債）：市債	
			（債）公共事業等債	12,000	12,000	13,800		
			（債）防災・減災・国土強靱化緊急対策事業債	50,000		1,000		
			【令和6年度→令和7年度繰越】					
			（国）社会資本整備総合交付金（防災・安全）	47,566	47,566			
			（債）公共事業等債	8,600	8,600			
			（債）防災・減災・国土強靱化緊急対策事業債	37,900	37,900			
一般財源				12,744	3,482	2,180		

◆評価◆

事業指標の分析と 事業の成果・課題	事業実施による成果は。また、事業指標の実績値からどのような課題を読み取ることができるか。 ※表や図は左ページの空いた部分か、この欄に記載。						
	・国の交付金を活用し、舗装長寿命化計画に基づき、幹線道路の舗装修繕工事を行った。 ・国の交付金が要望額よりも低かったため、1路線減となった。 【事業実績】 ○市道舗装事業（幹線道路） 3路線 ・上穂本線・中割線・北原切石線						
細事業の実績に関する分析	細事業の目標達成状況は。どのような成果や課題があるか。						
目標に対する 達成度	<table border="1"> <tr> <td data-bbox="346 1444 470 1480"> 事業指標の実績値／目標値 </td><td data-bbox="470 1444 1473 1480"> ※指標が複数ある場合は平均値。細事業の指標は算入しない。 </td></tr> <tr> <td data-bbox="346 1480 470 1523"> B </td><td data-bbox="470 1480 1473 1523"> 目標をやや達成できなかった（70%以上90%未満） </td></tr> <tr> <td colspan="2" data-bbox="346 1523 1473 1561"> 【凡例】 S：105%以上 A：90%以上105%未満 B：70%以上90%未満 C：70%未満 —：目標設定なし </td></tr> </table>	事業指標の実績値／目標値	※指標が複数ある場合は平均値。細事業の指標は算入しない。	B	目標をやや達成できなかった（70%以上90%未満）	【凡例】 S：105%以上 A：90%以上105%未満 B：70%以上90%未満 C：70%未満 —：目標設定なし	
事業指標の実績値／目標値	※指標が複数ある場合は平均値。細事業の指標は算入しない。						
B	目標をやや達成できなかった（70%以上90%未満）						
【凡例】 S：105%以上 A：90%以上105%未満 B：70%以上90%未満 C：70%未満 —：目標設定なし							

◆改善に向けた取り組み◆

事業の意図の達成や課題解決のための改善案 ・引き続き、国の交付金を活用し、舗装長寿命化計画に基づき修繕工事を行い、長寿命化を図っていく。 ・国からの交付金を利用できるよう動向を注視し、財源確保に努める。
--

款	8	土木費	項	2	道路橋梁費	目	6	道路舗装費	事業	2	
事務事業名		市単道路舗装事業									
主管		建設課									
事業の概要		生活道路の舗装修繕。									
対象		生活道路									
意図 (対象をどのようにしたいか)		生活道路の舗装修繕を行い、道路利用者の安全を確保する。									
No.	事業指標		指標の算式	5年度 実績値	6年度 実績値	評価年度（7年度） 目標値 実績値		備考			
1	舗装修繕工事の推進			38路線	29路線	11路線 32路線					
2											
3											
◆事業の構成（細事業）と実績◆											
事業費の合計（千円）と前年度比（％）				7年度予算 216,500	7年度決算 207,742	6年度決算 165,650	決算前年度比 25.4				
枝 番 号	3 力 年 対 象	新 規 ・ 拡 充	事務・事業・費用名	事業費（千円）※予算は現額			指標		目標値		
				7年度予算	7年度決算	6年度決算	事務・事業・費用の備考		実績値		
1	★		市道舗装事業（生活道路） 福岡南線他13路線	41,420	41,416	46,271	計画路線の推進 凍上対策、地元要望は実績による		4路線 14路線		
2	★		道路防犯事業 中割経塚線他17路線	157,480	157,476	108,380	計画路線の推進		7路線 18路線		
3			市道舗装補修委託	8,860	8,850	10,999	パッチング等 実績による				
4	★		舗装修繕工事	4,600			地区要望対応 R7→R8繰越		3路線 －		
5			市道舗装補修委託	4,140			小規模修繕委託 R7→R8繰越				
6											
7											
8			【令和7年度→令和8年度繰越】 〈事業の内容〉 市単道路舗装事業（地区要望対応） 市道舗装補修委託（小規模修繕委託）					繰越額 4,600 4,140			
9											
10			〈特定財源の内容〉 （債）緊急自然災害防災対策事業債					2,000			
11											
12											
13											
14											
15											
特定財源の内容	(債) 公共施設等適正管理推進事業債			9,000	8,600	14,000	【特定財源の費目の略称】 (分):分担金及び負担金 (使):使用料及び手数料 (国):国庫支出金 (県):県支出金 (財):財産収入 (寄):寄付金 (繰):繰入金 (諸):諸収入 (債):市債				
	(債) 緊急自然災害防災対策事業債			162,000	159,400	100,200					
一般財源				45,500	39,742	51,450					

◆評価◆

事業指標の分析と 事業の成果・課題		事業実施による成果は。また、事業指標の実績値からどのような課題を読み取ることができるか。 ※表や図は左ページの空いた部分か、この欄に記載。	
・幹線道路及び、生活関連道路の舗装修繕工事を行った。 ・地元要望箇所を補正予算により対応したため、目標値を上回った。			
【事業実績】			
○市道舗装事業（生活道路） 14路線			
・福岡南線・1-43号線・南割町線・他11路線			
○道路防災事業 18路線			
・中割経塚線・大手女体線・琴ヶ沢線・飯坂田沢線・上穂町線・古田切本線・永見山線・他11路線			
○市道舗装補修委託 市内一円			
・小規模補修（パッチング等）			
細事業の実績に関する分析		細事業の目標達成状況は。どのような成果や課題があるか。	
目標に対する 達成度		事業指標の実績値／目標値 ※指標が複数ある場合は平均値。細事業の指標は算入しない。	
S		目標を大きく上回った（105%以上）	
		【凡例】 S：105%以上 A：90%以上105%未満 B：70%以上90%未満 C：70%未満 ー：目標設定なし	

◆改善に向けた取り組み◆

事業の意図の達成や課題解決のための改善案	
・今後も、舗装長寿命化計画及び地元要望に基づき、危険性・緊急性の高い箇所の舗装修繕を推進していく。 ・緊急自然災害防災対策事業債を活用し、災害の発生を予防していく。 ・公共施設等適正管理推進事業債を活用し、補助事業等と一体として長寿命化を実施していく。	

款	8	土木費	項	2	道路橋梁費	目	7	交通安全施設費	事業	1
事務事業名		市単交通安全施設整備事業								
主管		建設課								
事業の概要		市道の交通安全対策。								
対象		市道								
意図 (対象をどのようにしたいか)		交通安全対策を行い、道路利用者の安全を確保する。								

No.	事業指標	指標の算式	5年度	6年度	評価年度（7年度）		備考
			実績値	実績値	目標値	実績値	
1	安全対策工事の推進		3路線	2路線	2路線	2路線	
2							
3							

◆事業の構成（細事業）と実績◆			7年度予算	7年度決算	6年度決算	決算前年度比
事業費の合計（千円）と前年度比（％）			29,889	27,008	26,397	2.3

枝番号	3カ年対象	新規・拡充	事務・事業・費用名	事業費（千円）※予算は現額			指標	目標値
				7年度予算	7年度決算	6年度決算	事務・事業・費用の備考	実績値
1			カーブミラー（原材料、委託）	769	692	480	-----	
2	★		歩道バリアフリー対策工事 古田切本線他1路線	8,825	8,822	10,989	計画路線の推進	2路線 2路線
3	★		安全柵、区画線	10,576	10,576	9,253	個所数は実績による	
4	★		道路照明改修工事	4,330	4,330	4,986	計画箇所の推進 R5緊自債→R6公適債	25箇所 25箇所
5	★		道路標識改修工事	1,958	1,958		-----	
6	★		グリーンベルト設置工事	2,800			計画路線の推進 R7→R8繰越	2路線 -
7	★		道路ストック点検他	631	630	689	-----	
8							-----	
9							-----	
10			【令和7年度→令和8年度繰越】 〈事業の内容〉 グリーンベルト設置工事				繰越額 2,800	
11								
12			〈特定財源の内容〉					
13								
14							-----	
15							-----	
特定財源の内容	(債) 公共施設等適正管理推進事業債			11,200	9,500	8,100	【特定財源の費目の略称】 (分):分担金及び負担金 (使):使用料及び手数料 (国):国庫支出金 (県):県支出金 (財):財産収入 (寄):寄付金 (繰):繰入金 (諸):諸収入 (債):市債	
一般財源				18,689	17,508	18,297		

◆評価◆

事業指標の分析と 事業の成果・課題		事業実施による成果は。また、事業指標の実績値からどのような課題を読み取ることができるか。 ※表や図は左ページの空いた部分か、この欄に記載。	
・市道の交通安全対策工事を行った。			
【事業実績】			
○歩道バリアフリー対策工事 2路線			
・古田切本線・上穂北割線			
○安全柵・区画線等			
・市内一円			
○道路照明改修工事			
・小鍛冶赤須線 他市内一円			
○道路標識改修工事			
・赤須町線他			
細事業の実績に関する分析		細事業の目標達成状況は。どのような成果や課題があるか。	
・道路照明改修工事のLED化により、消費電力及び電気料金の削減が図られた。			
目標に対する 達成度		事業指標の実績値／目標値 ※指標が複数ある場合は平均値。細事業の指標は算入しない。	
A		目標をおおむね達成できている（90%以上105%未満）	
		【凡例】 S：105%以上 A：90%以上105%未満 B：70%以上90%未満 C：70%未満 ー：目標設定なし	

◆改善に向けた取り組み◆

事業の意図の達成や課題解決のための改善案	
・今後も、地元要望に基づき、危険性・緊急性の高い箇所の交通安全対策を推進していく。 ・公共施設等適正管理推進事業債を活用し、小規模構造物の補修・更新を実施していく。	

款	8	土木費	項	2	道路橋梁費	目	7	交通安全施設費	事業	2
事務事業名		社会資本整備総合交付金 通学路交安事業								
主管		建設課								
事業の概要		国の交付金による通学路の交通安全施設整備。								
対象		通学路								
意図 (対象をどのようにしたいか)		交通安全対策を行い、通学路の安全を確保する。								
No.	事業指標		指標の算式	5年度 実績値	6年度 実績値	評価年度（7年度） 目標値 実績値		備考		
1	安全対策工事の推進				4箇所	7箇所	4箇所	R6事業着手		
2										
3										
◆事業の構成（細事業）と実績◆										
事業費の合計（千円）と前年度比（％）				7年度予算	7年度決算	6年度決算	決算前年度比			
				17,550	8,432	5,454	54.6			
枝番号	3カ年対象	新規・拡充	事務・事業・費用名	事業費（千円）※予算は現額			指標	目標値		
				7年度予算	7年度決算	6年度決算	事務・事業・費用の備考	実績値		
1	★		通学路の交通安全施設整備 ゾーン30プラス飯坂地区	8,520	8,329	5,377	安全施設整備	7箇所 4箇所		
2			その他事務費等	109	103	77	飯坂地区交通安全対策協議会運営			
3	★		通学路の交通安全施設整備 ゾーン30プラス飯坂地区	8,921			安全施設整備 R7→R8繰越	1箇所 -		
4										
5										
6			【令和7年度→令和8年度繰越】				繰越額			
7			〈事業の内容〉 通学路の交通安全施設整備（ゾーン30プラス飯坂地区）				8,921			
8										
9			〈特定財源の内容〉 （国）社会資本整備総合交付金（防災・安全） （債）公共事業等債				3,586 2,600			
10										
11										
12										
13										
14										
15										
特定財源の内容	（国）社会資本整備総合交付金			7,700	4,114	2,392	【特定財源の費目の略称】 （分）:分担金及び負担金 （使）:使用料及び手数料 （国）:国庫支出金（県）:県支出金 （財）:財産収入（寄）:寄付金 （繰）:繰入金（諸）:諸収入 （債）:市債			
	（債）公共事業等債			5,600	3,200	1,700				
一般財源				4,250	1,118	1,362				

◆評価◆

事業指標の分析と事業の成果・課題		事業実施による成果は。また、事業指標の実績値からどのような課題を読み取ることができるか。 ※表や図は左ページの空いた部分か、この欄に記載。
・国の交付金を活用し、通学路の交通安全施設の整備を行った。 ・国の交付金が要望額よりも低かったため2箇所減、警察署との調整に時間を要したため1箇所繰越となった。		
【事業実績】 ○通学路の交通安全施設整備 ゾーン30プラス飯坂地区 ・スムーズ横断歩道1箇所・横断歩道1箇所・ハンプ2箇所		
細事業の実績に関する分析		細事業の目標達成状況は。どのような成果や課題があるか。
Empty space for detailed analysis		
目標に対する達成度	事業指標の実績値／目標値 ※指標が複数ある場合は平均値。細事業の指標は算入しない。	
	C	目標を大きく下回った（70%未満）
【凡例】 S：105%以上 A：90%以上105%未満 B：70%以上90%未満 C：70%未満 ー：目標設定なし		
◆改善に向けた取り組み◆		
事業の意図の達成や課題解決のための改善案		
・引き続き、国の交付金を活用し、通学路の交通安全施設整備を行う。		

款	8	土木費	項	2	道路橋梁費	目	7	交通安全施設費	事業	3
事務事業名		交通安全対策補助 通学路緊急対策事業								
主管		建設課								
事業の概要		国の補助金による通学路の交通安全施設整備。								
対象		通学路								
意図 (対象をどのようにしたいか)		交通安全対策を行い、通学路の安全を確保する。								

No.	事業指標	指標の算式	5年度	6年度	評価年度（7年度）		備考
			実績値	実績値	目標値	実績値	
1	安全対策工事の推進		3箇所	3箇所	3箇所	3箇所	
2							
3							

◆事業の構成（細事業）と実績◆

事業費の合計（千円）と前年度比（％）		7年度予算	7年度決算	6年度決算	決算前年度比
		307,857	251,856	291,976	△ 13.7

枝番号	3力年対象	新規・拡充	事務・事業・費用名	事業費（千円）※予算は現額			指標	目標値
				7年度予算	7年度決算	6年度決算		
1	★		交通安全施設整備 光前寺南線 柏木他2路線	68,211	68,211	291,976	計画路線の推進	3箇所
2	★		交通安全施設整備 光前寺南線 柏木他2路線	183,646	183,645		計画路線の推進	3箇所
3	★		交通安全施設整備 赤須町線 原垣外	56,000			計画路線の推進	1箇所
4							R6→R7繰越	3箇所
5							R7→R8繰越	1箇所
6								-
7			【令和7年度→令和8年度繰越】 〈事業の内容〉 交通安全対策補助 通学路緊急対策事業（赤須町線）				繰越額	
8							56,000	
9			〈特定財源の内容〉 （国）交通安全対策国庫補助金				24,651	
10			（債）公共事業等債				20,100	
11								
12								
13								
14								
15								
特定財源の内容			（国）交通安全対策国庫補助金	58,806	34,155	157,223	【特定財源の費目の略称】 （分）：分担金及び負担金 （使）：使用料及び手数料 （国）：国庫支出金 （県）：県支出金 （財）：財産収入 （寄）：寄付金 （繰）：繰入金 （諸）：諸収入 （債）：市債	
			（債）公共事業等債	45,200	25,100	119,400		
			【令和6年度→令和7年度繰越】					
			（国）交通安全対策国庫補助金	99,352	99,352			
			（債）公共事業等債	81,100	81,100			
一般財源				23,399	12,149	15,353		

◆評価◆

事業指標の分析と 事業の成果・課題	事業実施による成果は。また、事業指標の実績値からどのような課題を読み取ることができるか。 ※表や図は左ページの空いた部分か、この欄に記載。
・国の補助金を活用し、通学路の交通安全施設の整備を行った。 【事業実績】 ○交通安全施設整備 ・光前寺南線 柏木 工事施工延長L=164m 歩道W=2.5m 用地買収1件 物件移転補償3件 ・新春日街道線 大徳原 南割 工事施工延長L=208m 歩道W=2.0m 物件移転補償1件 ・赤須町線 原垣外 工事施工延長L=128m 歩道W=2.0m 物件移転補償4件	
細事業の実績に関する分析	細事業の目標達成状況は。どのような成果や課題があるか。
・光前寺南線 柏木においては全線L=950mの歩道整備を完成させ、通学路の安全性を向上させた。 ・新春日街道線においては、Ⅰ期目として福岡工区L=398m、南割工区L=88mの歩道整備を完成させ、通学路の安全性を向上させた。	
目標に対する 達成度	事業指標の実績値／目標値 ※指標が複数ある場合は平均値。細事業の指標は算入しない。
	A 目標をおおむね達成できている（90%以上105%未満）
	【凡例】 S：105%以上 A：90%以上105%未満 B：70%以上90%未満 C：70%未満 ー：目標設定なし

◆改善に向けた取り組み◆

事業の意図の達成や課題解決のための改善案
・引き続き、国の補助金を活用し、通学路の交通安全施設整備を行うが、本補助事業はR8年度までの事業なので赤須町線においては確実な完成を目指す。 ・新春日街道線は、Ⅱ期目として福岡～南割の歩道をつなげる南原工区をR8より交付金事業に移行して着手し、歩道整備事業を推進する。

款	8	土木費	項	2	道路橋梁費	目	8	用悪水路費	事業	1
事務事業名		用悪水路整備事業								
主管		建設課								
事業の概要		市内の用悪水路の整備、改修。								
対象		用悪水路								
意図 (対象をどのようにしたいか)		用悪水路の整備、改修を行い、災害への対策強化を図る。								

No.	事業指標	指標の算式	5年度	6年度	評価年度(7年度)		備考
			実績値	実績値	目標値	実績値	
1	整備工事の推進		6箇所	4箇所	2箇所	1箇所	
2							
3							

◆事業の構成(細事業)と実績◆

事業費の合計(千円)と前年度比(%)		7年度予算	7年度決算	6年度決算	決算前年度比
		1,500	715	2,731	△73.8

枝番号	3力年対象	新規・拡充	事務・事業・費用名	事業費(千円)※予算は現額			指標	目標値
				7年度予算	7年度決算	6年度決算	事務・事業・費用の備考	実績値
1	★		用悪水路修繕	1,500	715	2,731	要対策箇所	2箇所 1箇所
2								
3								
4								
5								
6								
7								
8								
9								
10								
11								
12								
13								
14								
15								
特定財源の内容							【特定財源の費目の略称】 (分):分担金及び負担金 (使):使用料及び手数料 (国):国庫支出金 (県):県支出金 (財):財産収入 (寄):寄付金 (繰):繰入金 (諸):諸収入 (債):市債	
一般財源				1,500	715	2,731		

◆評価◆

事業指標の分析と事業の成果・課題		事業実施による成果は。また、事業指標の実績値からどのような課題を読み取ることができるか。 ※表や図は左ページの空いた部分か、この欄に記載。
・市内の用悪水路の整備、改修を行った。 ・兼用側溝の改修要望を道路維持工事で対応したため、目標値を下回った。		
【事業実績】 ○用悪水路改修工事 1箇所		
細事業の実績に関する分析		
細事業の目標達成状況は。どのような成果や課題があるか。		
目標に対する達成度		
事業指標の実績値／目標値 ※指標が複数ある場合は平均値。細事業の指標は算入しない。		
C 目標を大きく下回った（70%未満）		
【凡例】 S：105%以上 A：90%以上105%未満 B：70%以上90%未満 C：70%未満 ー：目標設定なし		

◆改善に向けた取り組み◆

事業の意図の達成や課題解決のための改善案
・今後も、地元要望に基づき、危険性・緊急性の高い箇所の整備を推進していく。

款	8	土木費	項	3	河川費	目	1	河川改良費	事業	1
事務事業名		市単河川改良事業								
主管		建設課								
事業の概要		市内の普通河川、準用河川の整備、改修。								
対象		普通河川、準用河川								
意図 (対象をどのようにしたいか)		河川の整備、改修を行い、災害への対策強化を図る。								

No.	事業指標	指標の算式	5年度	6年度	評価年度（7年度）		備考
			実績値	実績値	目標値	実績値	
1	整備工事の推進		2箇所	2箇所	3箇所	5箇所	
2	新病院建設着工までに 排水放流先河川の護岸整備完了				1箇所	1箇所	R7着手
3							

◆事業の構成（細事業）と実績◆			7年度予算	7年度決算	6年度決算	決算前年度比	
事業費の合計（千円）と前年度比（％）			20,500	17,605	5,158	241.3	
枝番号	3 力 年 対 象	新規・ 拡充	事業費（千円）※予算は現額			指標	目標値
			7年度予算	7年度決算	6年度決算	事務・事業・費用の備考	実績値
1	★		河川改良 田沢川他3箇所	7,200	5,982	163	要対策箇所 2箇所 4箇所
2	★		小規模修繕委託	300	227	991	箇所数は実績による 3箇所
3	★		県単河畔林整備事業 百々目木川	4,000	3,641	4,004	河畔林整備 1箇所 1箇所
4	★	新	新病院関連河川改良	9,000	7,755		護岸整備の完了 1箇所 1箇所
5							
6							
7							
8							
9							
10							
11							
12							
13							
14							
15							
特定財源の内容	(県) 河川費県補助金		3,150	3,150	3,600	【特定財源の費目の略称】 (分):分担金及び負担金 (使):使用料及び手数料 (国):国庫支出金 (県):県支出金 (財):財産収入 (寄):寄付金 (繰):繰入金 (諸):諸収入 (債):市債	
	(債) 緊急自然災害防止対策事業債		14,400	12,800			
一般財源			2,950	1,655	1,558		

◆評価◆

事業指標の分析と事業の成果・課題		事業実施による成果は。また、事業指標の実績値からどのような課題を読み取ることができるか。 ※表や図は左ページの空いた部分か、この欄に記載。
・市内の普通河川、準用河川の整備及び改修を行った。 ・地元要望箇所を補正予算により対応したため、目標値を上回った。 【事業実績】 ○河川改良工事 4箇所 ・田沢川・城村川・叶川・市場川 ○小規模修繕委託 3箇所 ○県単河畔林整備事業 1箇所 ・百々目木川 ○新病院関連河川改良工事 1箇所 ・蟹沢川		
細事業の実績に関する分析		細事業の目標達成状況は。どのような成果や課題があるか。
目標に対する達成度	事業指標の実績値／目標値 ※指標が複数ある場合は平均値。細事業の指標は算入しない。	
	S	目標を大きく上回った（105%以上）
【凡例】 S：105%以上 A：90%以上105%未満 B：70%以上90%未満 C：70%未満 ー：目標設定なし		

◆改善に向けた取り組み◆

事業の意図の達成や課題解決のための改善案	
・今後も、地元要望に基づき、危険性・緊急性の高い箇所の整備を推進していく。 ・緊急自然災害防災対策事業債を活用し、災害の発生を予防していく。	

款	8	土木費	項	4	都市計画費	目	1	都市計画総務費	事業	2
事務事業名		都市計画総務事務								
主管		都市計画課								
事業の概要		都市計画関係に関わる各種団体への負担金支払等の事務及び計画調査、市街地整備事業を行う。								

対象	市民、事業者
意図 (対象をどのようにしたいか)	都市計画に関する調査・審議を行う都市計画審議会の運営の他、都市計画法に基づく規制や計画調査、市街地整備事業を通じて、良好な市街地や住環境の形成を図り、だれもが安全・安心して快適に暮らせるまちづくりを目指す。

No.	事業指標	指標の算式	5年度	6年度	評価年度（7年度）		備考
			実績値	実績値	目標値	実績値	
1	市民満足度調査 「良好な住宅・住環境が整っている」		3.35pt	3.35pt	－	3.48pt	R7実施予定の 市民満足度調査
2	市民満足度調査 「中心市街地の活性化に向けた取り組みが行われている」		2.72pt	2.72pt	－	2.86pt	R7実施予定の 市民満足度調査
3	用途地域内の都市的土地利用率	都市的土地利用面積 /用途地域面積			－		都市計画基礎調査 R5 80.9%→R10 81.9%

◆事業の構成（細事業）と実績◆			7年度予算	7年度決算	6年度決算	決算前年度比		
事業費の合計（千円）と前年度比（％）			80,509	76,735	86,520	△ 11.3		
枝番号	3 力 年 対 象	新規・拡充	事業費（千円）※予算は現額			指標	目標値	
			7年度予算	7年度決算	6年度決算	事務・事業・費用の備考	実績値	
1			都市施設協会等負担金、研修費	490	391	351	都市施設協会他4団体へ負担金、研修費	
2			駒ヶ岳SIC利用促進	99	99	90	利用台数 パンフレット、HP更新費用	1,600台/日 1,500台/日
3			都市計画図修正	3,500	3,278	3,234	都市計画基本図 S=1/2,500のデジタル化	
4			大規模盛土変動予測調査			16,269	R6年調査済	
5			市内駅前広場維持工事	150	69	551		
6	★		優良建築物等整備事業	74,700	71,440	65,230	既存空き店舗を解消し共同住宅と店舗を建設	
7			その他事務費等	1,570	1,458	795	報酬、旅費、消耗品、使用料賃借料	
8								
9								
10								
11								
12								
13								
14								
特定財源の内容		(国) 宅地耐震化推進事業			4,730	【特定財源の費目の略称】 (分):分担金及び負担金 (使):使用料及び手数料 (国):国庫支出金 (県):県支出金 (財):財産収入 (寄):寄付金 (繰):繰入金 (諸):諸収入 (償):市債 (他):その他		
		(国) 優良建築物等整備事業	37,600	35,720	31,350			
		(他) 都市計画税	3,500	3,278	34,211			
		(繰) ふるさとづくり基金繰入金	30,000	30,000	16,229			
一般財源			9,409	7,737	0			

◆評価◆

事業指標の分析と 事業の成果・課題	事業実施による成果は。また、事業指標の実績値からどのような課題を読み取ることができるか。 ※表や図は左ページの空いた部分か、この欄に記載。	
	・市民満足度調査の「良好な住宅・住環境が整っている」は目標値を上回った。 ・これは、令和5年9月施行の「宅地開発指導要綱」による宅地開発等を行う者の協力を得て住みよいまちづくりを行っているものと考えられる。 ・市民満足度調査の「中心市街地の活性化に向けた取り組みが行われている」は目標値を上回った。 ・これは、令和6年から7年にかけて実施した中心市街地の「優良建築物等整備事業」が寄与しているものと考えられる。 【事業実績】 ○駒ヶ根市宅地開発等指導要綱 ・都市計画法の許可を要しない開発について要綱を設け環境と調和した住みよいまちづくりを進めた。 R6年度申請・許可件数11件、R7年度申請・許可件数5件 ○優良建築物等整備事業 ・市街地の活性化や定住人口の増加など、まちづくりに必要と認められる優良な建築物の整備を行う事業者に対し、事業費の一部を国と市が助成を行った。	
	細事業の実績に関する分析 細事業の目標達成状況は。どのような成果や課題があるか。 ・都市計画図修正業務にて都市計画基本図の修正は完了、今後は基本図に都市計画決定されている項目（用途地域や公園等）を挿入していく。 ・市内に3箇所存在する大規模盛土箇所に関し国のマニュアルに沿って詳細な調査まで実施したが盛土に問題はなかった為、R6で事業は終了している。	
目標に対する 達成度	事業指標の実績値／目標値 ※指標が複数ある場合は平均値。細事業の指標は算入しない。 A 目標をおおむね達成できている（90%以上105%未満） 【凡例】 S：105%以上 A：90%以上105%未満 B：70%以上90%未満 C：70%未満 ー：目標設定なし	

◆改善に向けた取り組み◆

事業の意図の達成や課題解決のための改善案	
・概ね事業の意図は達成した。 ・駒ヶ岳SIC利用促進については、計画交通量1,600台／日に対して年平均で1,500台／日まで推移しているが計画交通量に未達の為、国の指導により毎年度の地区協議会を開催しなければならない。 ※SIC・・・スマートインターチェンジ	

款	8	土木費	項	4	都市計画費	目	1	都市計画総務費	事業	3
事務事業名		街路整備事業								
主管		都市計画課								
事業の概要		都市基盤である幹線道路網の整備を着実に推進していくために「道路整備プログラム」に基づき都市計画道路中割経塚線の整備を進める。								

対象	沿線地域住民、道路を利用する自動車及び歩行者									
意図 (対象をどのようにしたいか)	市内の交通ネットワークを形成する都市計画道路を整備することにより、交通の円滑化や歩行者の安全性の向上を図るとともに、周辺交通の混雑解消や道路環境整備による住環境の向上、及び緊急車両の通行ルートや避難路が確保できる災害に強いまちづくりに資する。									

No.	事業指標	指標の算式	5年度	6年度	評価年度（7年度）		備考
			実績値	実績値	目標値	実績値	
1	防災拠点（駒ヶ根市役所）へのアクセス時間	農免道路交差点～市役所	6分	6分	-	6分	現状：5分30秒 約6分 開通時：約4分
2	伊南BP交差点付近の混雑解消（民間プローブデータによる）	伊南BP南田交差点	60m	60m	-	60m	交差点付近の渋滞解消 現在：～20km/h60m 開通時：～20km/h0m
3							

◆事業の構成（細事業）と実績◆				7年度予算	7年度決算	6年度決算	決算前年度比	
事業費の合計（千円）と前年度比（％）				65,000	40,667	19,511	108.4	
枝番号	3カ年対象	新規・拡充	事務・事業・費用名	事業費（千円）※予算は現額			指標	目標値
				7年度予算	7年度決算	6年度決算	事務・事業・費用の備考	実績値
1	★		（都）中割経塚線委託業務 不動産鑑定、用地測量			19,511	土地買収単価及び面積の決定	
2	★		（都）中割経塚線委託業務 物件調査業務	49,000	40,667		補償物件の補償金額根拠作成	
3	★		（都）中割経塚線 用地・補償業務	16,000			用地買収、物件補償	
4								
5								
6			【令和7年度→令和8年度繰越】 〈事業の内容〉 （都）中割経塚線 用地補償				繰越額	
7							16,000	
8								
9			〈特定財源の内容〉 （国）社会資本整備総合交付金 （債）防災・減災・国土強靱化緊急対策事業債				6,300	
10							6,300	
11								
12								
13								
14								
特定財源の内容			（国）社会資本整備総合交付金（街路事業）	18,800	18,800		【特定財源の費目の略称】 （分）：分担金及び負担金 （使）：使用料及び手数料 （国）：国庫支出金（県）：県支出金 （財）：財産収入（寄）：寄付金 （繰）：繰入金（諸）：諸収入 （債）：市債（他）：その他	
			（債）防災・減災・国土強靱化緊急対策事業債	19,000	12,700			
			（他）都市計画税	15,200	9,167	19,511		
一般財源				12,000	0	0		

◆評価◆

事業指標の分析と 事業の成果・課題		事業実施による成果は。また、事業指標の実績値からどのような課題を読み取ることができるか。 ※表や図は左ページの空いた部分か、この欄に記載。	
・指標は単年度の目標値は立てにくい為、道路開通前の現状と開通後の整備効果を指標としている。			

◆改善に向けた取り組み◆

事業の意図の達成や課題解決のための改善案	
・内示率が低い為、首長と、国への補助金要望活動を令和8年度に予定している。	

款	8	土木費	項	4	都市計画費	目	4	公共下水道費	事業	1
事務事業名		公共下水道事業会計繰出事務								
主管		上下水道課								
事業の概要		資本費や維持管理費等を地方公営企業繰出基準に基づき、一般会計から公共下水道事業会計へ繰り出す補助金。								

対象	公共下水道事業
意図 (対象をどのようにしたいか)	一般会計で負担すべき額（交付税措置対象分）を公共下水道事業の収益に充てるもの。

No.	事業指標	指標の算式	5年度	6年度	評価年度（7年度）		備考
			実績値	実績値	目標値	実績値	
1							
2							
3							

◆事業の構成（細事業）と実績◆				7 年度予算	7 年度決算	6 年度決算	決算前年度比	
事業費の合計（千円）と前年度比（％）				254,838	252,866	261,100	△ 3.2	
枝 番 号	3 力 年 対 象	新 規 ・ 拡 充	事務・事業・費用名	事業費（千円）※予算は現額			指標	目標値
				7 年度予算	7 年度決算	6 年度決算	事務・事業・費用の備考	実績値
1			公共下水道事業会計繰出事務	254,838	252,866	261,100		
2								
3								
4								
5								
6								
7								
8								
9								
10								
11								
12								
13								
14								
15								
特定 財源 の 内 容							【特定財源の費目の略称】 (分):分担金及び負担金 (使):使用料及び手数料 (国):国庫支出金 (県):県支出金 (財):財産収入 (寄):寄付金 (繰):繰入金 (諸):諸収入 (債):市債	
一般財源				254.838	252.866	261.100		

◆評価◆

事業指標の分析と 事業の成果・課題		事業実施による成果は。また、事業指標の実績値からどのような課題を読み取ることができるか。 ※表や図は左ページの空いた部分か、この欄に記載。	
細事業の実績に関する分析		細事業の目標達成状況は。どのような成果や課題があるか。	
目標に対する 達成度	事業指標の実績値／目標値		※指標が複数ある場合は平均値。細事業の指標は算入しない。
	—	目標設定なし	
【凡例】 S : 105%以上 A : 90%以上105%未満 B : 70%以上90%未満 C : 70%未満 — : 目標設定なし			

◆改善に向けた取り組み◆

事業の意図の達成や課題解決のための改善案	

款	8	土木費	項	4	都市計画費	目	5	公園費	事業	1
事務事業名		公園管理事業								
主管		都市計画課								
事業の概要		市内公園施設の計画的な更新や整備及び維持管理を行う。								
対象		市民、公園利用者、観光客								
意図 (対象をどのようにしたいか)		安全・安心で快適な公園づくりを推進することにより、多くの市民・観光客が公園を利用している。								

No.	事業指標	指標の算式	5年度	6年度	評価年度（7年度）		備考
			実績値	実績値	目標値	実績値	
1	市民満足度調査 「憩える緑地、公園が整っている」		3.42pt	3.42pt	-	3.47pt	
2	都市公園の保育園等の遠足、 イベント回数	R4.5平均値 51回	57回	66回	53回	68回	
3	更新済の遊具	更新済遊具数/ 更新対象遊具	77%	81%	90%	90%	

◆事業の構成（細事業）と実績◆			7年度予算	7年度決算	6年度決算	決算前年度比		
事業費の合計（千円）と前年度比（％）			101,634	92,105	124,577	△ 26.1		
枝 番 号	3 カ 年 対 象	新 規 ・ 拡 充	事業費（千円）※予算は現額			指標	目標値	
			7年度予算	7年度決算	6年度決算	事務・事業・費用の備考	実績値	
1			公園施設の修繕	1,050	1,037	3,938	修繕費用	
2			公園管理作業委託 （除草・整枝・施設維持）	10,070	9,243	8,160	除草作業、整枝伐採、維持作業委託	
3			丸塚公園指定管理料	2,776	2,776	2,762	シルバー人材センター	
4			公園用地等賃借料	1,971	1,971	2,268	水と文化の森、田沢川親水、駅北公園	
5			公園施設長寿命化事業 （こまっ子広場トイレ更新）			21,032	R6年度施工	
6			公園施設長寿命化対策支援事業 委託業務	1,035	1,035	18,821	R6：2期目長寿命化計画 R7：設計委託2本	
7	★		公園施設長寿命化対策支援事業 飯坂東・飯坂公園外	13,008	13,008	51,249	既存遊具の更新	
8			公園施設ハザード点検・工事	6,592	4,517		健全度調査、緊急時対応	
9			都市公園事業 （すずらん公園噴水修繕）			506	R6年度施工	
10			会計年度任用職員2名分	4,587	4,587	4,436	基本報酬、期末手当、通勤報酬	
11			子育て応援事業	1,265	1,001	1,001	公園トイレ清掃	
12	★		市街地グリーンインフラ事業	3,000	2,073	4,103	駅前広場、駅北公園、辰巳町ポケットパーク	
13			友好都市親善事業			3,238	オリジナルスイング遊具、磐田の森看板	
14	★	新	駒ヶ池転落防止柵設置工事	13,000	8,305		擬木ロープフェンス L=500m	
15			その他事務費	4,280	3,552	3,063	報酬、旅費、消耗品、使用料賃借料	
16	★		公園施設長寿命化対策支援事業 飯坂東・飯坂公園外	39,000	39,000		R6→R7繰越 既存遊具の更新	
特定 財 源 の 内 容			（国）防災・安全交付金	6,250	6,250	33,500	【特定財源の費目の略称】 （分）:分担金及び負担金 （使）:使用料及び手数料 （国）:国庫支出金 （県）:県支出金 （財）:財産収入 （寄）:寄付金 （繰）:繰入金 （諸）:諸収入 （債）:市債 （他）:その他	
			（債）公共事業等債	5,600	5,600			
			（債）地域活性化事業債	11,700	7,000			
			（債）こども・子育て支援事業債			25,000		
			（債）防災・減災・国土強靱化緊急対策事業債			18,900		
			（繰）ふるさとづくり基金繰入金	5,000	5,000	14,000		
			（使）公園使用料	469	443	438		
			（他）都市計画税	650	3,543	12,164		
			（分）負担金					
			（寄）寄付金			500		
			【令和6年度→令和7年度繰越】					
			（国）防災・安全交付金	18,750	18,750			
			（債）防災・減災・国土強靱化緊急対策事業債	18,700	18,700			
	一般財源			34,515	26,819	20,075		

◆評価◆

事業指標の分析と事業の成果・課題		事業実施による成果は。また、事業指標の実績値からどのような課題を読み取ることができるか。 ※表や図は左ページの空いた部分か、この欄に記載。
・市民満足度調査「憩える緑地、公園が整っている」については、令和6年度ポイントに対し実績値は0.05ポイント上昇した。 ・これは長寿命化計画に基づき毎年遊具更新を実施していることから実績値が上昇したと考えられる。 ・都市公園の保育園等の遠足、イベント回数については、目標値を大幅に上回った。 ・これは保育園の遠足回数の増加が起因しており、他市町村保育園からの遠足も増加している。		
【事業実績】 ○令和7年度 公園長寿命化 遊具更新公園 ・南割公園 ・飯坂公園 ・飯坂東公園		
細事業の実績に関する分析		細事業の目標達成状況は。どのような成果や課題があるか。
・駒ヶ根市内の公園の「遊具更新」については概ね更新できている。 ・令和8年度からは、第二期長寿命化計画に基づき老朽化した「施設更新」も実施していくことになる。		
目標に対する達成度		事業指標の実績値／目標値 ※指標が複数ある場合は平均値。細事業の指標は算入しない。 S 目標を大きく上回った（105%以上） 【凡例】S：105%以上 A：90%以上105%未満 B：70%以上90%未満 C：70%未満 -：目標設定なし

◆改善に向けた取り組み◆

事業の意図の達成や課題解決のための改善案	
・毎年更新していく公園の遊具や施設については今後も幅広く利用者へPRしていく必要がある。	

款	8	土木費	項	4	都市計画費	目	5	公園費	事業	2
事務事業名		すずらん公園整備事業								
主管		社会教育課								
事業の概要		市民の憩いの場としての景観整備、設備の維持管理を行う。								
対象		市民								
意図 (対象をどのようにしたいか)		総合文化施設が隣接した公園に市民が集うことを目的とする。また、夏季にはこまかっぱ噴水に親子が利用できるよう施設の維持をする。								

No.	事業指標	指標の算式	5年度	6年度	評価年度（7年度）		備考
			実績値	実績値	目標値	実績値	
1	管理不備による事故		0件	0件	0件	0件	
2							
3							

◆事業の構成（細事業）と実績◆			7年度予算	7年度決算	6年度決算	決算前年度比	
事業費の合計（千円）と前年度比（％）			3,291	2,876	2,717	5.9	
枝番号	3 力 年 対 象	新規・ 拡充	事業費（千円）※予算は現額			指標	目標値
			7年度予算	7年度決算	6年度決算	事務・事業・費用の備考	実績値
1			すずらん公園指定管理料	3,291	2,876	2,717	指定管理者 駒ヶ根市文化財団
2							
3							
4							
5							
6							
7							
8							
9							
10							
11							
12							
13							
14							
15							
特定財源の内容	(繰) ふるさとづくり基金繰入金				2,000	【特定財源の費目の略称】 (分):分担金及び負担金 (使):使用料及び手数料 (国):国庫支出金 (県):県支出金 (財):財産収入 (寄):寄付金 (繰):繰入金 (諸):諸収入 (債):市債	
一般財源			3,291	2,876	717		

【特定財源の費目の略称】
(分): 分担金及び負担金
(使): 使用料及び手数料
(国): 国庫支出金 (県): 県支出金
(財): 財産収入 (寄): 寄付金
(繰): 繰入金 (諸): 諸収入
(債): 市債

◆評価◆

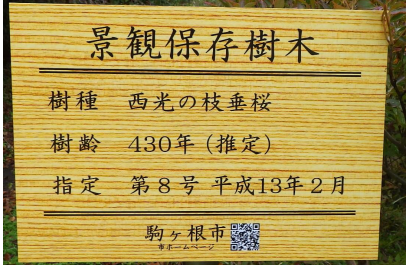
事業指標の分析と事業の成果・課題		事業実施による成果は。また、事業指標の実績値からどのような課題を読み取ることができるか。 ※表や図は左ページの空いた部分か、この欄に記載。
・市街地に立地する多くの市民が集う公園として、清掃や樹木の伐採などを行い、安心して利用できるよう管理に努めている。 （指定管理者：駒ヶ根市文化財団）		
細事業の実績に関する分析		
細事業の目標達成状況は。どのような成果や課題があるか。		
事業指標の実績値／目標値 ※指標が複数ある場合は平均値。細事業の指標は算入しない。		
目標に対する達成度	A	目標をおおむね達成できている（90%以上105%未満）
【凡例】 S：105%以上 A：90%以上105%未満 B：70%以上90%未満 C：70%未満 ー：目標設定なし		

◆改善に向けた取り組み◆

事業の意図の達成や課題解決のための改善案
・引き続き、多くの市民が集う公園として、管理を行う。 ・樹木の大木化による近隣民家への日照障害解消のため、近隣民家に隣接する境界木の伐採を継続して行う。

款	8	土木費	項	4	都市計画費	目	6	まちづくり推進事業費	事業	1	
事務事業名		景観まちづくり推進事業									
主管		都市計画課									
事業の概要		駒ヶ根市の美しい自然環境と調和した都市景観を次世代に継承し、地域の誇りを育むことを目的としている。そのために、市民と事業者が主体的に協力し合い、地域社会全体で「おもてなしの心」を持ったまちづくりを推進する。具体的な取組として、意識啓発活動や協働体制の構築を通じて、より持続可能な地域づくりを目指す。									
対象		市民・民間事業者									
意図 (対象をどのようにしたいか)		市民・事業者との協働により駒ヶ根らしい景観が守られ、育てられ、創られ、訪れる人におもてなしが感じられる魅力ある景観のまちづくりを進める。									
No.	事業指標		指標の算式	5年度 実績値	6年度 実績値	評価年度（7年度） 目標値 実績値		備考			
1	景観形成住民協定協議会			8団体	8団体	7団体 7団体					
2											
3											
◆事業の構成（細事業）と実績◆				7年度予算	7年度決算	6年度決算	決算前年度比				
事業費の合計（千円）と前年度比（％）				1,032	507	504	0.6				
枝番号	3 力 年 対 象	新規・ 拡充	事務・事業・費用名	事業費（千円）※予算は現額			指標	目標値			
				7年度予算	7年度決算	6年度決算	事務・事業・費用の備考	実績値			
1			景観計画の推進 景観審議会の設置運営	87		35	景観審議会の開催	2回 0回			
2			屋外広告物の条例施行及び適正化推進 屋外広告物審査会	27		11	屋外広告物審査会の開催	1回 0回			
3			景観形成住民協定協議会育成支援 住民協定活動補助	400	260	370	住民協定活動補助申請団体 上限80千円／団体	5件 4件			
4	★		景観保存樹木 看板の取替	240	72		看板の取替	3箇所 3箇所			
5			その他事務費等	278	175	88					
6											
7											
8											
9											
10											
11											
12											
13											
14											
15											
特定財源の内容	(使) 屋外広告物許可手数料			24	7	206	【特定財源の費目の略称】 (分): 分担金及び負担金 (使): 使用料及び手数料 (国): 国庫支出金 (県): 県支出金 (財): 財産収入 (寄): 寄付金 (繰): 繰入金 (諸): 諸収入 (債): 市債				
	(繰) ふるさとづくり基金繰入金			500	500						
一般財源				508	0	298					

◆評価◆

事業指標の分析と事業の成果・課題		事業実施による成果は。また、事業指標の実績値からどのような課題を読み取ることができるか。 ※表や図は左ページの空いた部分か、この欄に記載。
・ 景観計画区域内の行為の届け出件数： 180件（R6：238件） ・ 屋外広告物許可及び許可の更新件数： 26件（R6：36件） ・ 屋外広告物一斉点検： 1回 ・ 不要広告物の撤去： 1件 ・ 景観保存樹木関連（表示板取替）： 3件 ・ 景観育成・形成住民協定 7団体の景観形成・育成住民協定協議会が活動している。 協議会発足後10年を経過している団体へ、申請により上限8万円の活動補助を交付している。このことは、各団体協定エリア内の景観維持に効果があり、各団体からも継続した活動支援が期待されている。今後の活動を後押しする上でも、この補助金を継続したい。		 「光前寺周辺」水仙の里 景観育成住民協定
 ふたつのアルプス望岳の里 「南田市場」景観形成住民協定		 看護大学周辺地域景観形成住民協定 活動状況
		 東伊那景観形成住民協定 活動状況
細事業の実績に関する分析		
細事業の目標達成状況は。どのような成果や課題があるか。 ・ 景観保存樹木の老朽化した表示板を令和7年度リニューアルした。その表示板内にQRコードを新たに表示した。その場を訪れた方々への景観保存樹木についての周知に役立てたい。令和8年度は、引き続き景観保存樹林について周知と維持・保全を行っていききたい。		
  		
事業指標の実績値／目標値		※指標が複数ある場合は平均値。細事業の指標は算入しない。
目標に対する達成度	A	目標をおおむね達成できている（90%以上105%未満）
	【凡例】 S：105%以上 A：90%以上105%未満 B：70%以上90%未満 C：70%未満 ー：目標設定なし	

◆改善に向けた取り組み◆

事業の意図の達成や課題解決のための改善案	
・ 景観保存樹木の維持については、各地の管理団体で行われている。それぞれ高木で、保存、保全を行う費用が高額になる傾向が懸念される。引き続き市としても協力していきたい。 ・ 景観形成・育成住民協定協議会の活動状況の実態を、各団体から聞き取る場を設けているが、それぞれ苦慮していることがうかがえる。 廃止に向け内部で協議を始めている団体もあり慎重な対応が必要である。また、20年以上活動を続けている団体がほとんどであり、そのエリアは特に、住環境、近隣景観が守られている。そのための活動が高齢化、次世代への継承が問題になっているので市としても寄り添った対応を継続したい。	

款	8	土木費	項	5	住宅費	目	1	住宅管理費	事業	2
事務事業名			住宅管理事業							
主管			都市計画課							
事業の概要			住宅に困窮する低所得者に低廉な家賃で公営住宅を提供することで、市民生活の安定と社会福祉の増進に寄与することを目的としており、入居者の高齢化やニーズを把握しながら、需要と供給のバランスを維持し、老朽化した建物の維持修繕と長寿命化、用途廃止、トータルリフォームなどを検討して事業を実施している。							
対象			市営住宅入居者							
意図 (対象をどのようにしたいか)			令和5年度策定の市営住宅等長寿命化計画(第3期)に基づき、需要と供給のバランスを検討し、老朽化が進んでいる市営住宅の長寿命化を進めるとともに、東飯坂団地等の給湯機器取替など計画的な修繕を行う。							
No.	事業指標	指標の算式	5年度	6年度	評価年度（7年度）		備考			
			実績値	実績値	目標値	実績値				
1	長寿命化事業 向ヶ丘団地サッシ断熱化			15戸	24戸	12戸				
2	東飯坂団地 給湯器計画更新		13戸	10戸	10戸	8戸				
3	住宅使用料 現年度徴収率		99.48%	99.71%	99.52%	99.93%				

◆事業の構成（細事業）と実績◆			7年度予算	7年度決算	6年度決算	決算前年度比		
事業費の合計（千円）と前年度比（％）			57,167	42,031	41,310	1.7		
枝番号	3 力 年 対 象	新規・ 拡充	事業費（千円）※予算は現額			指標	目標値	
			7年度予算	7年度決算	6年度決算	事務・事業・費用の備考	実績値	
1	★		市営住宅長寿命化事業委託費 ・美里団地 調査委託・解体設計 ・馬見塚団地 アスベスト調査 ・馬見塚団地トータルリフォーム設計	5,050	4,429	3,154	馬見塚団地 トータルリフォーム	20戸 20戸
2	★		市営住宅長寿命化事業工事費 ・美里、千丈、向ヶ丘団地 UB設置 ・向ヶ丘団地 サッシ断熱化 ・公営住宅老朽化対策	24,200	11,559	12,613	施工箇所	30戸 21戸
3			広小路土地使用料	1,375	1,375	1,549	地権者9名	
4			県住宅供給公社委託料 維持・補修料 消防設備点検費 給湯器計画更新費を含む	21,542	21,542	21,289		
5			移転補償	1,250			長寿命化移転補償	5戸 0戸
6			会計年度任用職員	1,958	1,342	1,337		
7			その他事務費	1,792	1,784	1,368		
8								
9								
10								
11								
12								
13								
特定 財源 の 内 容	(国) 社会資本整備総合交付金（地域住宅支援事業）		13,890	7,111	6,231	【特定財源の費目の略称】 (分):分担金及び負担金 (使):使用料及び手数料 (国):国庫支出金 (県):県支出金 (財):財産収入 (寄):寄付金 (繰):繰入金 (諸):諸収入 (債):市債		
	(債) 公営住宅建設事業債		11,800					
	(使) 公営住宅使用料、駐車場使用料、手数料等		31,477	34,920	35,079			
一般財源			0	0	0			

◆評価◆

事業指標の分析と
事業の成果・課題

事業実施による成果は。また、事業指標の実績値からどのような課題を読み取ることができるか。
※表や図は左ページの空いた部分か、この欄に記載。

・東飯坂団地給湯器の更新はR7年度まで計画的に行っており、R8年度で、当初予定していた交換が完了する予定である。R9年度以降についても計画的な交換を行い安心できる住環境の維持に努めたい。

・令和7年度の社会資本整備総合交付金の内示率は54.1%と低かったため、予定していた長寿命化事業を計画的に進めることが一部できなかった。今後も低い内示率が想定されるため、優先順位を見極め、事業に取り組んでいきたい。

・築40年を超える老朽化した市営住宅の維持に多くの課題を抱えている。現在、入居率は平均すると60%にとどまっている。

・必要な住戸数を確保するとともに、日常的な維持修繕や、公営住宅長寿命化計画第3期に基づいた計画的な長寿命化を積極的に進めていく。

・外国人の方々の市営住宅希望者が増加してきていることから、自治会への加入を含めたルールをわかりやすく説明する取組を行っている。

	管理戸数	R8.6.1現在 入居戸数	入居率 (%)	UB設置戸数（設置率）	サッシ断熱化戸数（設置率）
向ヶ丘団地	56	41	73.2%	14（25%）	27（48.2%）
千丈団地	50	34	68.0%	12（24%）	0（0.0%）
美里団地	91	42	46.2%	10（11%）	0（0.0%）

*R8.6.1時点の設置戸数（設置率）

※東飯坂団地（管理戸数71戸）、経塚団地（管理戸数21戸）については、UB（ユニットバス）設置率100%

細事業の実績に関する分析

細事業の目標達成状況は。どのような成果や課題があるか。

馬見塚団地トータルリフォーム工事

	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12
1号 53～56	耐震設計・調査 住民説明会	実施設計	工事	入居			
2号 49～52			実施設計	工事	入居		
3号 45～48				実施設計	工事	入居	
4号 41～44					実施設計	工事	入居

目標に対する
達成度

事業指標の実績値／目標値

※指標が複数ある場合は平均値。細事業の指標は算入しない。

B

目標をやや達成できなかった（70%以上90%未満）

【凡例】 S：105%以上 A：90%以上105%未満 B：70%以上90%未満 C：70%未満 ー：目標設定なし

◆改善に向けた取り組み◆

事業の意図の達成や課題解決のための改善案	
多くの団地で老朽化に伴う日常的な修繕を行っている。 特に給湯器の冬場の故障は入居者の生活に著しく支障があることから、引き続きUBを設置した向ヶ丘、千丈、美里団地を含め計画的な交換等を行っていききたい。 また、今後はLED照明器具への交換も計画的に随時行っていききたい。	

款	8	土木費	項	5	住宅費	目	1	住宅管理費	事業	3
事務事業名		住宅耐震等推進事業								
主管		都市計画課								
事業の概要		市民の財産と生命を守るため、昭和56年以前に建築された住宅が今後予想される地震で倒壊しないようにすることを目的としている。そのため、建物の耐震性能を評価する耐震診断を行い、耐震改修補助を継続していく。								
対象		市民（昭和５６年以前建築の建物所有者）								
意図 (対象をどのようにしたいか)		今後予想される地震災害に対して市民の生命、財産を守ることを目的に、市内の既存建築物の耐震性能を確保するため、耐震診断とその結果に基づく耐震改修を促進する。								

No.	事業指標	指標の算式	５年度	６年度	評価年度（７年度）		備考
			実績値	実績値	目標値	実績値	
1	住宅精密診断		22件	22件	20件	25件	
2	住宅耐震補強		10件	9件	15件	14件	
3							

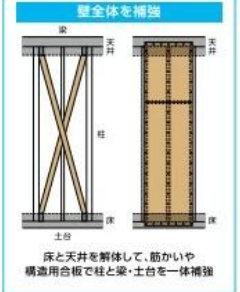
◆事業の構成（細事業）と実績◆			7年度予算	7年度決算	6年度決算	決算前年度比		
事業費の合計（千円）と前年度比（％）			19,230	17,380	10,275	69.1		
枝番号	3 力 年 対 象	新規・ 拡 充	事業費（千円）※予算は現額			指標	目標値	
			7年度予算	7年度決算	6年度決算	事務・事業・費用の備考	実績値	
1	★	拡	住宅精密診断	2,200	2,200	1,430	診断戸数 88千円／戸	20戸 25戸
2	★	拡	住宅耐震補強補助	16,890	15,083	8,676	補強戸数 1,150千円／戸	15戸 14戸
3			その他事務費等	140	97	169		
4								
5								
6								
7								
8								
9								
10								
11								
12								
13								
14								
15								
特定 財源 の 内 容	(国) 耐震対策事業国庫補助金		9,505	8,397	5,300	【特定財源の費目の略称】 (分):分担金及び負担金 (使):使用料及び手数料 (国):国庫支出金 (県):県支出金 (財):財産収入 (寄):寄付金 (繰):繰入金 (諸):諸収入 (償):市債		
	(県) 耐震対策事業県補助金		4,752	4,320	2,526			
	(繰) ふるさとづくり基金繰入金		2,000	2,000				
一般財源			2,973	2,663	2,449			

◆評価◆

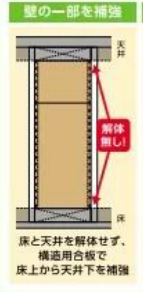
事業指標の分析と事業の成果・課題	事業実施による成果は、また、事業指標の実績値からどのような課題を読み取ることができるか。※表や図は左ページの空いた部分か、この欄に記載。
・一般住宅の耐震化については、引き続き広報活動を強化することで、住宅所有者の皆様に耐震化の重要性を理解していただき、意識改革を促したい。	
・住宅耐震推進事業については、アクションプログラムを元にした周知・啓発の効果が、耐震診断については目標を超える申し込み件数であった。引き続き周知・啓発を行っていききたい。	
●アクションプログラム 具体的な取組状況（周知・啓発） ・DMの送付件数：150件（R6年度：133件） ・市民ホールへの啓発パネル設置：5月21日～5月27日（R6年度：5月20日～5月26日） ・市報こまがねへの掲載：8月号へ掲載（R6年度：7月号掲載） ・診断士による対面説明：25件（R6年度：22件）	
 R6年度 市民ホール パネル展示	 R7年度 市民ホール パネル展示

細事業の実績に関する分析	細事業の目標達成状況は、どのような成果や課題があるか。
・住宅耐震補強については、年度内に工事が完了し実績報告を行わなければならないことから、例年年内に受付を終了している。今後も、設計者、工事業者とも連携しながら、短い工期で施工可能な工法も周知したい。	

一般的な耐震改修工法



安価な耐震改修工法の一例



壁の一部を補強



外から壁を補強

安価な工法を採用することのメリット

天井や床を解体せず補強できるので…

- ➡ 工事費が少なくなる!
- ➡ 施工期間の短縮!
- ➡ 住みながら工事可能!

出典：愛知建築地震災害軽減システム研究協議会市民向けパンフレット

目標に対する達成度	事業指標の実績値／目標値 ※指標が複数ある場合は平均値。細事業の指標は算入しない。 S 目標を大きく上回った（105%以上） 【凡例】S：105%以上 A：90%以上105%未満 B：70%以上90%未満 C：70%未満 ー：目標設定なし
-----------	--

◆改善に向けた取り組み◆

事業の意図の達成や課題解決のための改善案
・引き続き周知・啓発を行っていきたい。

年度別耐震診断・耐震補強件数の推移

年度	耐震診断 (件)	耐震補強 (件)
H24	5	5
H25	6	4
H26	5	4
H27	7	2
H28	6	0
H29	6	7
H30	7	6
R1	14	5
R2	18	5
R3	24	11
R4	30	9
R5	22	10
R6	22	9
R7	25	14

款	8	土木費	項	5	住宅費	目	1	住宅管理費	事業	4
事務事業名		空家等対策事業								
主管		都市計画課								
事業の概要		第2期空家等対策計画（令和3年度から5年間の計画期間）に基づき、3つの柱に基づいて市内の空家等対策に取り組んでいる。 1. 空家等発生の抑制（空家化の予防） 2. 空家等の流通・活用の促進 3. 管理不全な空家等状態の防止解消								
対象		市民、空き家所有者及び管理者								
意図 (対象をどのようにしたいか)		空家等対策協議会委員と協働し、適正な管理に向け、相談会を実施するとともに、引き続き啓発を行い、空家等の改善に向けて対応する。								
No.	事業指標	指標の算式	5年度 実績値	6年度 実績値	評価年度（7年度） 目標値 実績値		備考			
1	利活用可能な空き家の増加率		—	—	1.61倍	1.36倍	2期計画の目標値の維持			
2	管理不全空き家の改善率		—	—	70%	66%	2期計画の目標値			
3	空き家バンク登録件数		33件	35件	10件	32件	2期計画の目標値			
◆事業の構成（細事業）と実績◆			7年度予算	7年度決算	6年度決算	決算前年度比				
事業費の合計（千円）と前年度比（％）			9,308	8,617	289	2881.7				
枝番号	3 力 年 対 象	新規・拡充	事業費（千円）※予算は現額			指標	目標値			
			7年度予算	7年度決算	6年度決算	事務・事業・費用の備考	実績値			
1			209	10	10	相談会の開催	1回 1回			
2	★		8,500	8,041		計画策定 空家等対策実態調査費を含む	完了			
3			599	566	279					
4										
5										
6										
7										
8										
9										
10										
11										
12										
13										
特定財源の内容	(国)	空き家対策総合支援事業補助金	3,000	2,905	0	【特定財源の費目の略称】 (分):分担金及び負担金 (使):使用料及び手数料 (国):国庫支出金 (県):県支出金 (財):財産収入 (寄):寄付金 (繰):繰入金 (諸):諸収入 (債):市債				
	(繰)	ふるさとづくり基金繰入金	5,700	5,700	0					
一般財源			608	12	289					

◆評価◆

事業指標の分析と事業の成果・課題	事業実施による成果は。また、事業指標の実績値からどのような課題を読み取ることができるか。 ※表や図は左ページの空いた部分か、この欄に記載。
空家等対策事業の中で、いくつかの重要な課題に直面している。 空家は基本的に個人の財産であり、その管理は所有者または管理者に委ねられている。そのため、これらの所有者・管理者が適切に管理できるよう、問題解決への支援を行っている。しかし、管理不全になる背景には多くの複雑な事情があり、所有者の特定や調整は非常に難しい状況である。そこで、空家の新たな発生を抑制するために、空き家相談会の開催や、情報提供を目的とした冊子の作成・配布を通じて広報活動を強化している。これにより、所有者や地域住民への啓発を図り、適切な管理を促進している。今後も、これらの取組を継続し、地域の安全と環境を守るために全力を尽くしていく。 ・第3期空家等対策計画の策定予定通り策定し公表した。 ・今後第3期計画に基づき空家等のそれぞれの状態に応じた対応を継続していくとともに、空家等対策協議会の構成団体とも連携し計画を実施する。	【空き家の状態変化に伴う施策】 (状態) 利用中 空家化 放置・管理不全 撤却 ①空き家発生の抑制（空き家化の予防） ・広報、チラシ等による啓発 ・相談窓口による相談の実施 ・空き家等の情報共有 ・「空き家バンク」、「信州駒ヶ根暮らし推進協議会」等との連携 ・空き家情報データベース化 他 ②空き家の流通・活用促進 ・「空き家バンク」、「信州駒ヶ根暮らし推進協議会」等との連携による利活用の促進 ・専門団体との連携 ・管理事業者の紹介等による適正管理の促進 他 ③管理不全な空き家状態の防止・解消 ●所有者啓発等 ・「空き家バンク」、「信州駒ヶ根暮らし推進協議会」等との連携による利活用の促進 ・専門団体との連携 ・管理事業者の紹介等による適正管理の促進 他 ●法に基づく改善指導 ・調査結果に基づく管理不全・倒壊危険空家等の解消に向けた取組み強化 ・「管理不全空家等」の認定及び法に基づく改善指導 ・「特定空家等」の認定及び法に基づく改善指導 ・他法令との連携 他



◆改善に向けた取り組み◆

事業の意図の達成や課題解決のための改善案
1. 空き家発生の抑制（空き家化の予防） ・広報、チラシ等による啓発 ・相談窓口（都市計画課）における相談の実施 ・空き家相談会の開催による空き家バンク登録の促進 ・相続登記の啓発 2. 空き家の流通・活用促進 ・「空き家バンク」・「信州駒ヶ根暮らし推進協議会」との連携 ・「空き家バンク」の積極的な情報発信 ・空き家相談会の開催による空き家バンク登録の促進 ・補助制度の活用による流通促進 ・空き家の活用促進に係る制度の検討 3. 管理不全な空き家状態の防止・解消 ・空き家の適切な管理の促進及びB（管理不全）・C（倒壊等の危険性が高い）ランク空き家の解消

款	9	消防費	項	1	消防費	目	1	常備消防費	事業	2
事務事業名		常備消防事業								
主管		危機管理課								
事業の概要		市民の生命・財産を守るため、伊南行政組合及び上伊那広域連合への消防運営経費を負担する。								
対象		伊南行政組合及び上伊那広域連合								
意図 (対象をどのようにしたいか)		消防職員による消防・救急救助体制の確保。								

No.	事業指標	指標の算式	5年度	6年度	評価年度（7年度）		備考
			実績値	実績値	目標値	実績値	
1							
2							
3							

◆事業の構成（細事業）と実績◆			7年度予算	7年度決算	6年度決算	決算前年度比		
事業費の合計（千円）と前年度比（％）			356,237	355,317	373,898	△ 5.0		
枝番号	3 力 年 対 象	新規・拡充	事業費（千円）※予算は現額			指標	目標値	
			7年度予算	7年度決算	6年度決算	事務・事業・費用の備考	実績値	
1			伊南行政組合	16,664	16,664	18,997	消防費分担金	
2			上伊那広域連合	339,573	338,653	354,901	一般経費・公債費元利	
3								
4								
5								
6								
7								
8								
9								
10								
11								
12								
13								
14								
15								
特定財源の内容	(諸) 高速道路救急支弁金		3,560	3,803	2,925	【特定財源の費目の略称】 (分): 分担金及び負担金 (使): 使用料及び手数料 (国): 国庫支出金 (県): 県支出金 (財): 財産収入 (寄): 寄付金 (繰): 繰入金 (諸): 諸収入 (債): 市債		
一般財源			352,677	351,514	370,973			

◆評価◆

事業指標の分析と 事業の成果・課題	事業実施による成果は。また、事業指標の実績値からどのような課題を読み取ることができるか。 ※表や図は左ページの空いた部分か、この欄に記載。	
	・伊南行政組合及び上伊那広域連合へ遅滞なく、消防運営経費の支援を行った。	
細事業の実績に関する分析	細事業の目標達成状況は。どのような成果や課題があるか。 ・伊南行政組合及び上伊那広域連合への消防運営経費を負担することにより、市民の安心・安全な暮らしに寄与した。	
目標に対する 達成度	事業指標の実績値／目標値 ※指標が複数ある場合は平均値。細事業の指標は算入しない。 — 目標設定なし 【凡例】 S：105%以上 A：90%以上105%未満 B：70%以上90%未満 C：70%未満 —：目標設定なし	

◆改善に向けた取り組み◆

事業の意図の達成や課題解決のための改善案	
・今後も正確に適正な事務事業を遂行していく。	

款	9	消防費	項	1	消防費	目	2	非常備消防費	事業	1
事務事業名		非常備消防事業								
主管		危機管理課								
事業の概要		消防団員の福利厚生及び消防団の装備充実を図り、地域の安全を守る消防団の運営を行う。								
対象		消防団員								
意図 (対象をどのようにしたいか)		消防団を魅力あるものと感じ、団員が確保されている。								
No.	事業指標		指標の算式	5年度 実績値	6年度 実績値	評価年度（7年度） 目標値 実績値		備考		
1	消防団員の充足率の向上		定数に対する団員数	76.5%	91.2%	93.0%	94.2%	R5まで：定数600 R6以降：定数500		
2	消防団協力事業所認定事業所数		認定件数	18事業所	18事業所	20事業所	21事業所			
3	消防団員サポート事業実施店数		実施件数	26店舗	55店舗	60店舗	67店舗	数値は1月時点 R8…65		
◆事業の構成（細事業）と実績◆				7年度予算	7年度決算	6年度決算	決算前年度比			
事業費の合計（千円）と前年度比（％）				72,547	64,691	71,725	△ 9.8			
枝番号	3 力 年 対 象	新規・ 拡 充	事務・事業・費用名	事業費（千円）※予算は現額		指標		目標値		
				7年度予算	7年度決算	6年度決算	事務・事業・費用の備考	実績値		
1			消防団員報酬	19,933	16,283	17,015	R6.7～機能別団発足			
2			消防団員訓練・出勤報酬	19,500	19,417	23,802	訓練参加者のべ人数	9,600人 9,464人		
3			消防団員退職報償金	11,801	8,418	8,902				
4			消防団員公務災害補償・退職報償金 掛金	10,663	10,663	14,190	公務災害加入率 R6団員定数改正600人→500人	100% 100%		
5			分団運営交付金・ポンプ維持費	3,760	3,756	7,705	R6.7～機能別団発足			
6			消耗品・その他	6,890	6,154	111				
7										
8										
9										
10										
11										
12										
13										
14										
15										
特定財源の内容			(諸) 消防団員退職報償金	10,000	7,723	7,976	【特定財源の費目の略称】 (分): 分担金及び負担金 (使): 使用料及び手数料 (国): 国庫支出金 (県): 県支出金 (財): 財産収入 (寄): 寄付金 (繰): 繰入金 (諸): 諸収入 (債): 市債			
			(諸) 消防団員等公務災害補償費			26				
			(諸) 消防団等福祉共済取扱い事務費		33	51				
			(諸) 消防団員安全装備品整備事業助成金		366					
			(諸) コミュニティー助成事業		1,000					
一般財源				62,547	55,569	63,672				

◆評価◆

事業指標の分析と事業の成果・課題		事業実施による成果は。また、事業指標の実績値からどのような課題を読み取ることができるか。 ※表や図は左ページの空いた部分か、この欄に記載。
○消防団員の確保 ・令和6年度に消防団員の定員を500人にしたことで目標となる充足率を保っているものの、人口減少、就業環境変化等様々な要因により、団員数は減少傾向にあり、今後の団員確保に対する厳しい状況は続いていく。 ○消防団協力事業所認定事業所 ・企業の社会的貢献活動意識の高まりから、登録事業所は目標通りの伸びを継続しているが、実際の大規模災害等での実績がない状況である。 ○消防団員サポート事業実施店数 ・事業実施について更新時期での取り下げを申し出る企業もあるが、実数は目標に沿って推移している。 ・団員やその家族がサポート事業所での恩恵を受けられるよう、事業所の周知やサポート内容の充実を図り、団員の処遇改善の推進が必要である。		
細事業の実績に関する分析		細事業の目標達成状況は。どのような成果や課題があるか。
・各分団や個人への交付金や報酬等の支払は、正確にかつ遅滞なく事業実施できている。 ・分団の団員確保に関する施策とともに、分団内の効率化を目指し、担当区域や車両等の配備について検討を行っていく必要がある。		
目標に対する達成度	事業指標の実績値／目標値 ※指標が複数ある場合は平均値。細事業の指標は算入しない。	
	S	目標を大きく上回った（105%以上）
【凡例】 S：105%以上 A：90%以上105%未満 B：70%以上90%未満 C：70%未満 ー：目標設定なし		

◆改善に向けた取り組み◆

事業の意図の達成や課題解決のための改善案
・各分団の団員確保のための取組の一環として、ポンプ操法大会に子ども向けのブースやイベントを実施する。またSNSなども活用し、消防団の周知や存在意義を伝えることで、今後の女性団員確保、機能別団拡充、将来の団員確保を目指していく。

款	9	消防費	項	1	消防費	目	3	消防施設費	事業	1
事務事業名		消防施設管理事業								
主管		危機管理課								
事業の概要		消火栓、消防自動車等消防設備の整備、維持管理を行う。								
対象		市内消防施設								
意図 (対象をどのようにしたいか)		消防施設が整備され、消防力が強化されている。								

No.	事業指標	指標の算式	5年度	6年度	評価年度（7年度）		備考
			実績値	実績値	目標値	実績値	
1	管理不備による事故件数	年間事故件数	0件	0件	0件	0件	
2							
3							

◆事業の構成（細事業）と実績◆			7年度予算	7年度決算	6年度決算	決算前年度比		
事業費の合計（千円）と前年度比（％）			90,626	87,444	75,881	15.2		
枝番号	3 力 年 対 象	新規・ 拡充	事業費（千円）※予算は現額			指標	目標値	
			7年度予算	7年度決算	6年度決算	事務・事業・費用の備考	実績値	
1	★	拡	消防車両の維持管理	40,059	38,722	22,528	消防車両の更新 第1分団2号車更新	1台 1台
2			防火水槽、消火栓（新設・改修）の維持管理	7,398	5,862	47,280	管理不備による事故件数	0件 0件
3	★	新	消防設備の定期的な更新	43,169	42,860	6,073	詰所・ポンプ車庫の更新 第1分団2号詰所・車庫更新	1棟 1棟
4								
5								
6								
7								
8								
9								
10								
11								
12								
13								
14								
15								
特定財源の内容	（債）緊急防災・減災事業債		77,500	72,500	31,400	【特定財源の費目の略称】 （分）:分担金及び負担金 （使）:使用料及び手数料 （国）:国庫支出金（県）:県支出金 （財）:財産収入（寄）:寄付金 （繰）:繰入金（諸）:諸収入 （債）:市債		
	（諸）消防団能力向上資機材整備補助金		340	150				
	（諸）上穂コミュニティーセンター使用料		30	34	34			
一般財源			12,756	14,760	44,447			

◆評価◆

事業指標の分析と 事業の成果・課題	事業実施による成果は。また、事業指標の実績値からどのような課題を読み取ることができるか。 ※表や図は左ページの空いた部分か、この欄に記載。	
	・消防施設の事故等なく無事に年度終了となったが、施設の老朽化に伴う事故発生の可能性は、年々増している状況である。 ・消火栓や防火水槽以外の施設(火の見やぐら、ホース乾燥塔)の老朽化も進んでおり、老朽化に起因する事故の発生も懸念される。 ・このため、道路・水道工事に合わせた消火栓の更新や地元要望などによる消火栓設置などに加え、危険度や利用状況等を踏まえた優先順位を検討した更新計画が必要となってきた。	
	細事業の実績に関する分析 細事業の目標達成状況は。どのような成果や課題があるか。 ・消防車両の更新、及び1分団詰所・車庫の更新は滞りなく実施できた。 ・消防施設の維持管理については、R6年度からの継続事業であった古い防火水槽の撤去について実施した。 ・また、道路拡張工事及び水道管布設替え工事にあわせ、当該箇所にある消火栓の更新を行うことができた。 【事業実績】 ○第1分団 詰所・車庫新築工事 39,314千円 1,419千円(車庫前舗装工) ○第1分団2号車更新事業 30,780千円 ○消火栓更新工事 4件 3,751千円 (小町屋…689千円 市場割…730千円 北割…1,012千円 下平…1,320千円) ○防火水槽撤去工事 1件 1,892千円 地元要望で消火栓設置を計画するも、設置場所の決定に至れず保留となるケースも多い。	
目標に対する 達成度	事業指標の実績値／目標値 ※指標が複数ある場合は平均値。細事業の指標は算入しない。 A 目標をおおむね達成できている (90%以上105%未満) 【凡例】 S : 105%以上 A : 90%以上105%未満 B : 70%以上90%未満 C : 70%未満 ー : 目標設定なし	

◆改善に向けた取り組み◆

事業の意図の達成や課題解決のための改善案	
・新たな事故誘発の懸念となる老朽化した「火の見やぐら、ホース乾燥塔」の現状調査を行い、今後撤去、修繕できるよう計画を行う。 ・建設課や上下水道課と連携し次年度工事箇所にあわせた消火栓等の新設・更新見込み数を正確に把握し、適切な予算化を行う。	

款	9	消防費	項	1	消防費	目	5	災害対策費	事業	1
事務事業名		災害対策事務								
主管		危機管理課								
事業の概要		災害から住民の安全を守るため、総合的な防災・減災体制の整備等を行う。								
対象		市民								
意図 (対象をどのようにしたいか)		様々な自然災害に対する対応策を図り、発災時における生命や財産の損失を未然に防ぐ。 いざという時に自らの力で被害の防止・軽減が図られる自主防災組織等の地域防災力を強化する。								
No.	事業指標		指標の算式	5年度 実績値	6年度 実績値	評価年度（7年度） 目標値 実績値		備考		
1	防災訓練参加者数			23,710人	23,247人	24,000人 22,876人				
2	自主防災リーダーの育成			75人	70人	80人 71人				
3	防災士資格取得者数 (補助金申請者)			48人	50人	55人 51人				
◆事業の構成（細事業）と実績◆				7年度予算	7年度決算	6年度決算	決算前年度比			
事業費の合計（千円）と前年度比（％）				317,732	307,683	43,513	607.1			
枝番号	3 力 年 対 象	新規・ 拡充	事務・事業・費用名	事業費（千円）※予算は現額			指標	目標値		
				7年度予算	7年度決算	6年度決算	事務・事業・費用の備考	実績値		
1	★	新	庁舎自家発電機用燃料タンク増設事業	31,252	30,679		自家発電設備連続稼働時間	72時間以上 81時間		
2	★		防災行政無線システム（同報系）改修事業	255,978	251,130	2,849	工事進捗率 R6→R7繰越分含む	100% 100%		
3	★	新	長野県衛星系防災行政無線設備更新工事負担金	12,552	12,552		事業主体：県（1/2負担）			
4			防災広場整備事業			26,320				
5		拡	情報収集・発信システム整備、維持管理	11,866	7,951	8,953	システム等稼働率	100% 100%		
6			防災備蓄資機材整備事業	1,940	1,915	1,794	資機材点検回数	2回 2回		
7			自主防災組織強化事業	335	37	72	防災士資格取得者数	7人 1人		
8	★	拡	自主防災会備蓄資機材整備補助事業	1,500	1,174	1,313	執行率	100% 78%		
9			自主防災会を中心とした防災意識向上事業	198	193	322	住民主導型警戒避難体制構築事業	1地区 0地区		
10			その他	2,111	2,052	1,890	災害対策本部の体制整備等			
11										
12										
13										
14										
15										
特定財源の内容	(債) 緊急防災・減災事業債			303,000	294,100	26,200	【特定財源の費目の略称】 (分): 分担金及び負担金 (使): 使用料及び手数料 (国): 国庫支出金 (県): 県支出金 (財): 財産収入 (寄): 寄付金 (繰): 繰入金 (諸): 諸収入 (債): 市債			
一般財源				14,732	13,583	17,313				

◆評価◆

事業指標の分析と
事業の成果・課題

事業実施による成果は、また、事業指標の実績値からどのような課題を読み取ることができるか。
※表や図は左ページの空いた部分か、この欄に記載。

・地震総合防災訓練参加者数（安否確認訓練参加者数）は、人口減少や自治会未加入者の増加等の影響により年々減少しており、目標値を下回った。

・人口減少は避けられないため、自治会加入者を増やすことが必要であり、地域コミュニティの在り方を含めた総合的な取組が必要と考えられる。

・各自主防災組織における自主防災リーダー数は、前年度比でほぼ横ばいの状況であり、目標値（16区×5人）を下回った。

・同リーダー数については、各自主防災組織の体制に左右されやすく、今後も大幅な増加は見込みにくいと考えられる。

・防災士の資格取得者数（補助金申請者数）は、年々取得者が減少している状況であり、目標値を下回った。

・補助制度創設（H28）から9年が経過し、一定数の資格取得希望者が利用されたものと考えられる。

【防災士資格取得支援補助】

年度	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7
取得者数	11	13	8	5	2	0	5	4	2	1

【自主防災組織防災資機材整備事業補助】

年度	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7
補助金額	919	604	893	909	1,496	1,250	1,549	1,515	1,313	1,175

【防災備蓄資機材整備】

備蓄標準品目	保有数量	備蓄標準品目	保有数量
アルファ米	22,800食	災害用トイレ処理セット	26,100個
粉ミルク	5,200g	トイレトペーパー	1,255巻
保存水(500mlPET)	30,000本	生理用品	1,720枚
おむつ(子ども用)	1,120枚	毛布	1,204枚
おむつ(大人用)	1,840枚	その他(パーテーション等)	412個

細事業の実績に関する分析

細事業の目標達成状況は、どのような成果や課題があるか。

・庁舎自家発電機用燃料タンク増設事業は、燃料供給なしでの連続稼働時間が約81時間となり、目標値（国が求める水準）を上回った。

・防災行政無線（同報系）システムの改修により、システムの長寿命化を図るとともに、SNS連携や戸別受信機の活用、無線方式の変更を行い、住民への情報伝達機能の強化が図られた。

目標に対する
達成度

事業指標の実績値／目標値

※指標が複数ある場合は平均値。細事業の指標は算入しない。

A

目標をおおむね達成できている（90%以上105%未満）

【凡例】 S：105%以上 A：90%以上105%未満 B：70%以上90%未満 C：70%未満 ー：目標設定なし

◆改善に向けた取り組み◆

事業の意図の達成や課題解決のための改善案
・自主防災組織の強化に関しては、補助支援を継続するとともに、研修会や防災講座等のあらゆる機会を通じて住民の防災意識の醸成を図っていく。 ・防災備蓄資機材に関しては、標準品目の備蓄を計画的に進めるとともに、避難所環境の質的向上に資する資機材の導入について、外部財源の活用を含めて検討する。また、災害時応援協定の拡充を通じ、官民連携による迅速な支援体制を構築する。 ・防災士資格取得支援補助制度については、自主防災組織や現役消防団幹部への普及を推進するとともに、継続的に支援ニーズを把握する。 ・地域防災計画やBCPなどの見直しを随時行うとともに、最新の防災動向や知見を反映した計画・マニュアルの更新を行い、災害対策本部体制の強化を図る。

款	10	教育費	項	1	教育総務費	目	1	教育委員会費	事業	1
事務事業名		教育委員会事務								
主管		子ども課								
事業の概要		教育委員会の運営。								
対象		教育委員、市民								
意図 (対象をどのようにしたいか)		委員会の開催を通じて教育行政に寄与する。								

No.	事業指標	指標の算式	5年度	6年度	評価年度（7年度）		備考
			実績値	実績値	目標値	実績値	
1	委員会の開催		12回	12回	12回	12回	
2							
3							

◆事業の構成（細事業）と実績◆			7年度予算	7年度決算	6年度決算	決算前年度比	
事業費の合計（千円）と前年度比（％）			4,303	4,083	5,072	△ 19.5	
枝番号	3 力 年 対 象	新規・拡充	事業費（千円）※予算は現額			指標	目標値
			7年度予算	7年度決算	6年度決算	事務・事業・費用の備考	実績値
1			2,741	2,741	2,741	教育委員4名	
2			1,562	1,342	2,331		
3							
4							
5							
6							
7							
8							
9							
10							
11							
12							
13							
14							
15							
特定財源の内容	(寄)教育費寄附金		300	1,603	1,200	【特定財源の費目の略称】 (分):分担金及び負担金 (使):使用料及び手数料 (国):国庫支出金 (県):県支出金 (財):財産収入 (寄):寄付金 (繰):繰入金 (諸):諸収入 (債):市債	
一般財源			4,003	2,480	3,872		

【特定財源の費目の略称】
(分):分担金及び負担金
(使):使用料及び手数料
(国):国庫支出金 (県):県支出金
(財):財産収入 (寄):寄付金
(繰):繰入金 (諸):諸収入
(債):市債

◆評価◆

事業指標の分析と 事業の成果・課題		事業実施による成果は。また、事業指標の実績値からどのような課題を読み取ることができるか。 ※表や図は左ページの空いた部分か、この欄に記載。	
・定例教育委員会を予定通り開催し、随時必要事項を検討することで円滑な運営を図った。また、委員間の情報共有なども行い、委員会運営の充実につながった。			
細事業の実績に関する分析		細事業の目標達成状況は。どのような成果や課題があるか。	
目標に対する 達成度	事業指標の実績値／目標値 ※指標が複数ある場合は平均値。細事業の指標は算入しない。		
	A	目標をおおむね達成できている（90%以上105%未満）	
	【凡例】 S：105%以上 A：90%以上105%未満 B：70%以上90%未満 C：70%未満 ー：目標設定なし		

◆改善に向けた取り組み◆

事業の意図の達成や課題解決のための改善案	
・教育活動への迅速な対応に向け、必要に応じて臨時的教育委員会を実施する。	

款	10	教育費	項	1	教育総務費	目	2	事務局費	事業	2
事務事業名		教育委員会事務局運営事務								
主管		子ども課								
事業の概要		教育委員会事務局の運営。								
対象		事務局職員								
意図 (対象をどのようにしたいか)		委員会の開催を通じて教育行政に寄与する。								

No.	事業指標	指標の算式	5年度	6年度	評価年度（7年度）		備考
			実績値	実績値	目標値	実績値	
1	委員会の開催		12回	12回	12回	12回	
2							
3							

◆事業の構成（細事業）と実績◆			7年度予算	7年度決算	6年度決算	決算前年度比	
事業費の合計（千円）と前年度比（％）			2,250	1,912	3,009	△ 36.5	
枝番号	3 力 年 対 象	新規・拡充	事業費（千円）※予算は現額			指標	目標値
			7年度予算	7年度決算	6年度決算	事務・事業・費用の備考	実績値
1			会計年度任用職員	1,635	1,552	2,791	嘱託職員1名→臨時職員1名
2			その他（消耗品他）	615	360	218	
3							
4							
5							
6							
7							
8							
9							
10							
11							
12							
13							
14							
15							
特定財源の内容	(財) 義務教育施設整備基金利子		42	46	8	【特定財源の費目の略称】 (分):分担金及び負担金 (使):使用料及び手数料 (国):国庫支出金 (県):県支出金 (財):財産収入 (寄):寄付金 (繰):繰入金 (諸):諸収入 (債):市債	
	(寄) 教育費寄附金		300	11			
	(財) 教育基金利子		243	269	44		
一般財源			1,665	1,586	2,957		

◆評価◆

事業指標の分析と 事業の成果・課題		事業実施による成果は。また、事業指標の実績値からどのような課題を読み取ることができるか。 ※表や図は左ページの空いた部分か、この欄に記載。	
・教育委員会事務局事務について、効率的な事務処理を行い問題なく運営を行うことができた。			
細事業の実績に関する分析		細事業の目標達成状況は。どのような成果や課題があるか。	
目標に対する 達成度	事業指標の実績値／目標値 ※指標が複数ある場合は平均値。細事業の指標は算入しない。		
	A	目標をおおむね達成できている（90%以上105%未満）	
【凡例】 S：105%以上 A：90%以上105%未満 B：70%以上90%未満 C：70%未満 ー：目標設定なし			
◆改善に向けた取り組み◆			
事業の意図の達成や課題解決のための改善案			
・教育活動への迅速な対応に向け、必要に応じて臨時の教育委員会を実施する。			

款	10	教育費	項	1	教育総務費	目	2	事務局費	事業	3
事務事業名		学校教育事務								
主管		子ども課								
事業の概要		学校教育に関する事務を行う。								
対象		小中学校児童、生徒、教員								
意図 (対象をどのようにしたいか)		就学への支援や不登校児童生徒への対応ほか、学校教育に関する事務を行う。								

No.	事業指標	指標の算式	5年度	6年度	評価年度(7年度)		備考
			実績値	実績値	目標値	実績値	
1	講演会、研修会の開催		2回	2回	2回	2回	
2							
3							

◆事業の構成(細事業)と実績◆			7年度予算	7年度決算	6年度決算	決算前年度比	
事業費の合計(千円)と前年度比(%)			24,994	22,938	22,677	1.2	
枝番号	3 力 年 対 象	新規・ 拡充	事業費(千円)※予算は現額			指標	目標値
			7年度予算	7年度決算	6年度決算	事務・事業・費用の備考	実績値
1			50	45	32	開催回数	1回
2			336	76	0	開催回数	1回
3			981	633	672	登録者数	329名 339名
4			12,988	12,643	11,658	指導主事2名、教育相談4名、養護教諭代替6校	
5			2,772	2,373	2,277	運行数 東中0→1名、中沢小4→4名	420便 409便
6	★		3,568	3,503	3,848	対象児童数 小学校新1年生	221名 203名
7	★	新	577	552	0	未着手案件 スクールロイヤー、ネットトラブル相談	0件 0件
8			3,722	3,113	4,190	各種負担金、用務員車両・カー複合機リース等	
9							
10							
11							
12							
13							
14							
15							
特定財源の内容	(県)放課後子ども教室推進事業		321	176	200	【特定財源の費目の略称】 (分):分担金及び負担金 (使):使用料及び手数料 (国):国庫支出金 (県):県支出金 (財):財産収入 (寄):寄付金 (繰):繰入金 (諸):諸収入 (債):市債	
	(県)地域未来塾事業		69	26	32		
	(繰)ふるさとづくり基金繰入金		6,000	6,000	20,000		
一般財源			18,604	16,736	2,445		

◆評価◆

事業指標の分析と 事業の成果・課題	事業実施による成果は。また、事業指標の実績値からどのような課題を読み取ることができるか。 ※表や図は左ページの空いた部分か、この欄に記載。		
	・事業指標である講演会・研修会の開催回数は、目標値の2回を達成した。 ・アレルギー講演会と教職員研修会を計画どおり実施し、教職員のスキル向上や学校現場の安全体制の確保が図られた。 ・新規の学校トラブル解決支援委託料については、スクールロイヤーやネットトラブル相談に活用し、複雑化する学校課題への対応体制を整えることができた。 ・指標は達成しているものの、研修会等の効果を一層高めるため、内容の質的向上と参加者の確保が引き続き課題である。		
細事業の実績に関する分析	細事業の目標達成状況は。どのような成果や課題があるか。		
	・新規事業として導入した学校トラブル解決支援委託料は、スクールロイヤーやネットトラブル相談に活用され、初年度として一定の相談・支援体制の構築が図られた。 ・通学カバン贈呈事業については、小学校新1年生を対象に予定どおり実施し、入学を祝う取組として定着している。 ・学校支援ボランティアの登録者数は前年度から微減となっており、地域人材の確保が課題である。		
目標に対する 達成度	事業指標の実績値／目標値 ※指標が複数ある場合は平均値。細事業の指標は算入しない。		
	<table border="1"> <tr> <td data-bbox="341 1447 464 1547">A</td><td data-bbox="464 1447 1481 1547">目標をおおむね達成できている（90%以上105%未満）</td></tr> </table> 【凡例】S:105%以上 A:90%以上105%未満 B:70%以上90%未満 C:70%未満 ー:目標設定なし	A	目標をおおむね達成できている（90%以上105%未満）
A	目標をおおむね達成できている（90%以上105%未満）		

◆改善に向けた取り組み◆

事業の意図の達成や課題解決のための改善案
・教職員研修会については、現場ニーズに合ったテーマ設定により、効果的な研修となるよう工夫していく。 ・学校トラブル解決支援については、活用事例の蓄積を進め、各校が円滑に相談できる体制づくりに努める。 ・スクールタクシーの運行など、児童生徒の就学を支える事業を引き続き安定的に実施していく。

款	10	教育費	項	1	教育総務費	目	3	教職員住宅費	事業	1
事務事業名		教職員住宅管理事務								
主管		子ども課								
事業の概要		教職員住宅の維持管理。								
対象		教職員								
意図 (対象をどのようにしたいか)		教職員のニーズに応じられる住宅環境の維持。								

No.	事業指標	指標の算式	5年度	6年度	評価年度（7年度）		備考
			実績値	実績値	目標値	実績値	
1	希望する教職員の入居率		100%	100%	100%	100%	
2							
3							

◆事業の構成（細事業）と実績◆			7年度予算	7年度決算	6年度決算	決算前年度比		
事業費の合計（千円）と前年度比（％）			14,278	1,309	287	356.1		
枝番号	3 力 年 対 象	新規・ 拡充	事業費（千円）※予算は現額			指標	目標値	
			7年度予算	7年度決算	6年度決算	事務・事業・費用の備考	実績値	
1			住宅の維持管理	778	449	287	入居可能部屋数 修繕、改修 アスベスト調査	33戸 23戸
2			教職員住宅解体	13,500	860		下林教職員住宅3戸	
3								
4								
5			【令和7年度→令和8年度繰越】 〈事業の内容〉 教職員住宅解体（下林）				繰越額 12,602	
6								
7			〈特定財源の内容〉					
8								
9								
10								
11								
12								
13								
14								
15								
特定財源の内容	(使) 教職員住宅使用料		778	689	287	【特定財源の費目の略称】 (分): 分担金及び負担金 (使): 使用料及び手数料 (国): 国庫支出金 (県): 県支出金 (財): 財産収入 (寄): 寄付金 (繰): 繰入金 (諸): 諸収入 (債): 市債		
一般財源			13,500	620	0			

◆評価◆

事業指標の分析と
事業の成果・課題

事業実施による成果は。また、事業指標の実績値からどのような課題を読み取ることができるか。
※表や図は左ページの空いた部分か、この欄に記載。

・必要に応じて修繕や環境整備を行い、入居している教職員の快適な居住環境の確保に努めた。
・市内の全ての教職員住宅の点検をし、劣化がひどく早急に解体が必要な住宅について12月議会での補正で対応することになった。
・施設の老朽化やライフスタイルの変化、民間住宅の充実などにより年々入居者が減ってきており、今後の教職員住宅の在り方の検討が必要である。

○教職員住宅の入居状況

					各年4月1日	
	R2	R3	R4	R5	R6	R7
戸数	35	34	34	34	33	33
入居戸数	18	13	8	4	3	3
入居率	51.4%	38.2%	23.5%	11.8%	9.1%	9.1%

細事業の実績に関する分析

細事業の目標達成状況は。どのような成果や課題があるか。

目標に対する
達成度

事業指標の実績値／目標値

※指標が複数ある場合は平均値。細事業の指標は算入しない。

A

目標をおおむね達成できている（90%以上105%未満）

【凡例】 S：105%以上 A：90%以上105%未満 B：70%以上90%未満 C：70%未満 ー：目標設定なし

◆改善に向けた取り組み◆

事業の意図の達成や課題解決のための改善案	・R7年度末で、入居者が1名となった。 ・使用料を下げて入居者が増えるか検証しようとしたが、R8の新規入居者は0であった。 ・今後、福岡教職員住宅については別用途での利用や売却について検討する。 ・その他の教職員住宅も老朽化が進み、居住できる状況ではないため、危険なものについては解体、その他については売却が可能か検討を進める。 ・入居者がいない教職員住宅周辺環境についても適切な管理を行う。
-----------------------------	---

款	10	教育費	項	2	小学校費	目	1	学校管理費	事業	1
事務事業名		小学校管理事務								
主管		子ども課								
事業の概要		小学校5校の管理を行う。								
対象		市内5小学校								
意図 (対象をどのようにしたいか)		学校運営に関わる人員確保や施設整備などを実施する。								

No.	事業指標	指標の算式	5年度	6年度	評価年度(7年度)		備考
			実績値	実績値	目標値	実績値	
1	管理不良による休校日数		0日	0日	0日	0日	
2							
3							

◆事業の構成(細事業)と実績◆			7年度予算	7年度決算	6年度決算	決算前年度比	
事業費の合計(千円)と前年度比(%)			270,905	163,896	156,577	4.7	
枝番号	3 力 年 対 象	新規・ 拡充	事業費(千円)※予算は現額			指標	目標値
			7年度予算	7年度決算	6年度決算	事務・事業・費用の備考	実績値
1			会計年度任用職員(嘱託)	48,979	45,385	40,653	嘱託職員15→16名(事務、用務員、特別支援員等)
2			会計年度任用職員(臨時)	40,719	38,610	31,332	臨時職員18→20名(特別支援員、介助員等)
3			学校医	5,052	4,940	4,386	
4			児童・教職員の検診委託料	3,152	2,924	2,637	各種検診
5			施設維持管理業務委託料	10,237	9,325	9,286	防災・エレベーター点検、樹木伐採等
6			備品購入費	1,010	943	5,659	各学校備品、電話交換機
7			燃料代、光熱水費	41,762	38,186	37,926	灯油、電気、水道代
8			LED照明工事	93,500			照明工事 R7→R8繰越
9			その他	26,494	23,583	24,698	消耗品、修繕料、放送設備リース等
10							
11			【令和7年度→令和8年度繰越】 〈事業の内容〉 LED照明工事				繰越額 93,500
12							
13			〈特定財源の内容〉 (債)脱炭素化推進事業債				84,100
14							
15							
特定財源の内容	(国)教育支援体制整備事業費補助金		500	247	155	【特定財源の費目の略称】 (分):分担金及び負担金 (使):使用料及び手数料 (国):国庫支出金 (県):県支出金 (財):財産収入 (寄):寄付金 (繰):繰入金 (諸):諸収入 (債):市債	
	(諸)太陽光発電電料		240	75	178		
	(諸)伊那養護学校分教室運営費負担金		620	697	881		
	(繰)ふるさとづくり基金繰入金		40,000	40,000	40,000		
	(債)脱炭素化推進事業債		84,100				
一般財源			145,445	122,877	115,363		

◆評価◆

事業指標の分析と 事業の成果・課題	事業実施による成果は。また、事業指標の実績値からどのような課題を読み取ることができるか。 ※表や図は左ページの空いた部分か、この欄に記載。	
	・事業指標である管理不良による休校日数は、目標値の0日を達成し、市内5小学校の安全で安定的な運営を維持することができた。 ・嘱託職員の確保や学校医による検診、施設維持管理業務の実施により、教育活動を支える基盤が継続的に確保されている。 ・特別支援員等の配置人数を増やすなど、児童の状況に応じた支援体制の充実が図られた。 ・指標は達成しているものの、施設の老朽化や人件費の上昇など、学校管理に係るコスト増への対応が課題である。	
細事業の実績に関する分析	細事業の目標達成状況は。どのような成果や課題があるか。	
	・会計年度任用職員(嘱託)については、特別支援員等の必要に応じて配置人数を1名増とし、児童支援体制の充実が図られた。 ・施設維持管理業務委託料については、防災点検やエレベーター点検等を計画どおり実施し、安全な施設環境を維持した。 ・備品購入費については、各校の実情に応じた必要な備品を計画的に購入したうえで、執行を精査したことにより執行額が予算を下回った。	
目標に対する 達成度	事業指標の実績値／目標値 ※指標が複数ある場合は平均値。細事業の指標は算入しない。	
	<table border="1"> <tr> <td data-bbox="379 1480 464 1541">A</td><td data-bbox="464 1480 1474 1541">目標をおおむね達成できている（90%以上105%未満）</td></tr> </table> 【凡例】S:105%以上 A:90%以上105%未満 B:70%以上90%未満 C:70%未満 ー:目標設定なし	A
A	目標をおおむね達成できている（90%以上105%未満）	

◆改善に向けた取り組み◆

事業の意図の達成や課題解決のための改善案
・人員配置については、児童の状況や学校現場のニーズを踏まえ、効果的・効率的な配置に努めていく。 ・施設の維持管理については、長期的な視点で計画的な保全を進め、安全な教育環境の維持に努める。 ・国や県の補助制度の動向を注視し、財源の確保に努めていく。

款	10	教育費	項	2	小学校費	目	2	教育振興費	事業	1
事務事業名		小学校教育振興事務								
主管		子ども課								
事業の概要		小学校教育の質的向上及び教育の振興を図る。								
対象		市内5小学校								
意図 (対象をどのようにしたいか)		教材教具の充実や要保護児童等への支援を実施する。								

No.	事業指標	指標の算式	5年度	6年度	評価年度(7年度)		備考
			実績値	実績値	目標値	実績値	
1	学力、QU調査の実施		3回	3回	3回	3回	
2							
3							

◆事業の構成(細事業)と実績◆			7年度予算	7年度決算	6年度決算	決算前年度比	
事業費の合計(千円)と前年度比(%)			48,536	46,761	46,771	△ 0.0	
枝番号	3 力 年 対 象	新規・ 拡充	事業費(千円)※予算は現額			指標	目標値
			7年度予算	7年度決算	6年度決算	事務・事業・費用の備考	実績値
1			教材教具充实用消耗品	15,959	15,542	15,500	
2			標準学力調査委託料	569	560	558	実施回数 1回
3			QU検査委託料	1,031	979	1,005	実施回数 2回 2回
4			要保護・準要保護児童等への援助	17,068	16,757	16,208	就学援助費240→195名、特別支援奨励費32→42名
5			校外活動補助金	6,500	6,191	6,405	交付率 大会参加、校外活動補助金 100% 100%
6			通学費補助金	431	170	220	対象児童数 15名 9名
7			特色ある学校づくり事業	2,000	2,000	1,998	交付校数 5校 5校
8			教材教具等備品の購入	2,033	1,954	2,220	
9			総合的な学習の時間への支援	1,064	1,064	1,081	対象児童数 1,520名 1,454名
10			その他	1,881	1,544	1,576	印刷製本、各種負担金
11							
12							
13							
14							
15							
特定財源の内容	(国)特別支援教育就学奨励費		835	864	605	【特定財源の費目の略称】 (分):分担金及び負担金 (使):使用料及び手数料 (国):国庫支出金 (県):県支出金 (財):財産収入 (寄):寄付金 (繰):繰入金 (諸):諸収入 (債):市債	
	(繰)ふるさとづくり基金繰入金		15,000	15,000	15,000		
	(寄)企業版ふるさと寄附金			1,000	6,500		
一般財源			32,701	29,897	24,666		

◆評価◆

事業指標の分析と 事業の成果・課題	事業実施による成果は。また、事業指標の実績値からどのような課題を読み取ることができるか。 ※表や図は左ページの空いた部分か、この欄に記載。	
	・事業指標である学力・QU調査の実施回数は、目標値の3回を達成し、児童の学力や学級集団の状況を把握することができた。 ・調査結果を活用することで、各学校における学習指導や学級経営の改善につなげている。 ・要保護・準要保護児童等への援助については、就学援助費等を通じて経済的支援が必要な家庭を継続的に支えている。 ・就学援助費の対象児童は減少した一方、特別支援奨励費の対象は増加しており、特別な支援を要する児童への対応の重要性が高まっていることがうかがえる。	
細事業の実績に関する分析	細事業の目標達成状況は。どのような成果や課題があるか。	
	・特色ある学校づくり事業は5校に交付し、各校の独自の取組を支援することができた。 ・要保護・準要保護児童等への援助のうち特別支援奨励費は、前年度の32名から42名へ増加しており、特別な支援を要する児童の増加傾向がうかがえる。 ・通学費補助金は対象児童数に応じた執行となり、必要な補助を適切に行ったうえで、結果として執行額が予算を下回った。	
目標に対する 達成度	事業指標の実績値／目標値 ※指標が複数ある場合は平均値。細事業の指標は算入しない。	
	<table border="1"> <tr> <td data-bbox="379 1480 464 1541">A</td><td data-bbox="464 1480 1479 1541">目標をおおむね達成できている（90%以上105%未満）</td></tr> </table> 【凡例】S:105%以上 A:90%以上105%未満 B:70%以上90%未満 C:70%未満 ー:目標設定なし	A
A	目標をおおむね達成できている（90%以上105%未満）	

◆改善に向けた取り組み◆

事業の意図の達成や課題解決のための改善案
・学力・QU調査の結果を活用し、各校における学習指導や生徒指導の充実につなげていく。 ・経済的支援を要する家庭への援助制度については、引き続き対象者への適切な周知と運用に努める。 ・特別な支援を要する児童の増加を踏まえ、関係機関と連携し、きめ細かな支援体制の充実を図っていく。 ・教材教具の整備については、各校の実情を踏まえた効果的な購入を進めていく。

款	10	教育費	項	2	小学校費	目	2	教育振興費	事業	2
事務事業名		小学校ICT推進事業								
主管		子ども課								
事業の概要		小学校5校のICT機器の維持管理を行う。								
対象		市内5小学校								
意図 (対象をどのようにしたいか)		学校ICTに関わるネットワークや機器の整備などを実施する。								

No.	事業指標	指標の算式	5年度	6年度	評価年度(7年度)		備考
			実績値	実績値	目標値	実績値	
1	ICT導入活用授業数		11科目	11科目	11科目	11科目	
2							
3							

◆事業の構成(細事業)と実績◆

事業費の合計(千円)と前年度比(%)			7年度予算	7年度決算	6年度決算	決算前年度比
			74,593	68,021	51,463	32.2

枝番号	3カ年対象 新規・拡充	事務・事業・費用名	事業費(千円)※予算は現額			指標	目標値
			7年度予算	7年度決算	6年度決算	事務・事業・費用の備考	実績値
1		教職員用パソコン賃借料	8,083	7,400	5,335	充足率 教職員149名 新規リース分による増	100% 100%
2		ICT教育運用、保守等事業委託料等	24,464	23,014	10,672	設置校数 iPadMDM更新	5校 5校
3		大型提示装置賃借料(特別教室)	16,085	14,727	15,517	充足率 86台	100% 100%
4		パソコン教室児童用端末賃借料	258	236	2,460	充足率	100% 100%
5		学習用ドリルアプリ導入	4,686	4,290	4,158	インストール率	100% 100%
6	★新	学校ネットワーク環境改善事業	6,836	6,495	99	対象校数 アクセスポイント、フィルタリングソフト、NTT光回線等	5校 5校
7		モバイルルーター通信料	916	583	873	66台	
8		ICT支援委託料	9,420	8,472	9,694	学校対応支援員、教職員研修等	
9		タブレット端末修繕料	1,500	575	2,244		
10		ネットワーク高速化機器導入	1,707	1,706		備品購入 【R6→R7繰越】	
11		その他	638	523	411	ウィルス対策ソフト等	
12							
13							
14							
15							
特定財源の内容		(県)公立学校情報機器整備費補助金	3,803	4,127	502	【特定財源の費目の略称】 (分):分担金及び負担金 (使):使用料及び手数料 (国):国庫支出金 (県):県支出金 (財):財産収入 (寄):寄付金 (繰):繰入金 (諸):諸収入 (債):市債	
		(使)モバイルルーター使用料	1	2	16		
		(繰)ふるさとづくり基金繰入金	15,000	15,000			
		(寄)企業版ふるさと寄附金		4,000			
一般財源			55,789	44,892	50,945		

◆評価◆

事業指標の分析と 事業の成果・課題	事業実施による成果は。また、事業指標の実績値からどのような課題を読み取ることができるか。 ※表や図は左ページの空いた部分か、この欄に記載。				
	・事業指標であるICT導入活用授業数は、目標値の11科目を達成し、各教科におけるICTの活用が継続的に行われた。 ・教職員用パソコンやネットワーク環境等の機器整備により、ICT教育を支える基盤が確保された。 ・ICT支援員の配置や教職員研修により、教員のICT活用スキルの向上が図られている。 ・指標は達成しているものの、機器の更新費用や保守費用の継続的な発生が見込まれ、計画的な財源確保が課題である。				
細事業の実績に関する分析	細事業の目標達成状況は。どのような成果や課題があるか。				
	・教職員用パソコン賃借料については、新規リース分の追加により、教職員の業務環境の整備が進んだ。 ・学校ネットワーク環境改善事業(新規)については、アクセスポイントやフィルタリングソフト等を整備し、安全で安定した通信環境の構築が図られた。 ・ICT支援委託料については、学校対応支援員の配置や教職員研修等を計画どおり実施することができた。 ・ICT教育運用、保守等事業委託料等については、iPadの端末管理(MDM)更新等に対応した。				
目標に対する 達成度	事業指標の実績値／目標値 ※指標が複数ある場合は平均値。細事業の指標は算入しない。				
	<table border="1" data-bbox="341 1480 1481 1574"> <tr> <td data-bbox="341 1480 464 1547">A</td><td data-bbox="464 1480 1481 1547">目標をおおむね達成できている（90%以上105%未満）</td></tr> <tr> <td colspan="2" data-bbox="341 1547 1481 1574">【凡例】S:105%以上 A:90%以上105%未満 B:70%以上90%未満 C:70%未満 ー:目標設定なし</td></tr> </table>	A	目標をおおむね達成できている（90%以上105%未満）	【凡例】S:105%以上 A:90%以上105%未満 B:70%以上90%未満 C:70%未満 ー:目標設定なし	
A	目標をおおむね達成できている（90%以上105%未満）				
【凡例】S:105%以上 A:90%以上105%未満 B:70%以上90%未満 C:70%未満 ー:目標設定なし					

◆改善に向けた取り組み◆

事業の意図の達成や課題解決のための改善案
・機器の更新時期を計画的に把握し、リース料や保守費用の平準化を図っていく。 ・ICT支援員の配置や教職員研修を継続し、ICT活用の質の向上に努める。 ・国の公立学校情報機器整備費補助金などの動向を注視し、財源を確保できるように努める。 ・ネットワーク環境については、安全性と通信品質を踏まえた効果的な整備を検討していく。

款	10	教育費	項	2	小学校費	目	3	学校建設費	事業	1
事務事業名		小学校建設事業								
主管		子ども課								
事業の概要		市内小学校5校の施設整備を行い、安全性・利便性の向上を図る。								
対象		児童、教職員								
意図 (対象をどのようにしたいか)		学校生活における安全性・利便性の向上を図る。								

No.	事業指標	指標の算式	5年度	6年度	評価年度（7年度）		備考
			実績値	実績値	目標値	実績値	
1	トイレ洋式化率		45.9%	50.0%	56.9%	52.8%	小中学校全体
2							
3							

◆事業の構成（細事業）と実績◆			7年度予算	7年度決算	6年度決算	決算前年度比		
事業費の合計（千円）と前年度比（％）			79,000	40,635	44,255	△ 8.2		
枝番号	3 力 年 対 象	新規・ 拡 充	事業費（千円）※予算は現額			指標	目標値	
			7年度予算	7年度決算	6年度決算	事務・事業・費用の備考	実績値	
1	★	新	東伊那小屋根状況調査	1,000			調査完了率 ----- 未執行	100% ----- 0%
2	★		学校施設環境改善交付金事業 実施設計（R8実施準備）	1,000			対象工事数 ----- 市建築士により設計	2校 ----- 2校
3	★		学校施設環境改善交付金事業 工事監理・工事（R6繰R7）	30,000	27,280	29,854	年度計画に対する進捗率 ----- R6補正→R7繰越	100% ----- 100%
4			施設改修実施設計 施設改修工事	10,310	10,165	10,518	緊急性に応じ随時実施	
5			保健室空調設備設置工事	3,190	3,190	3,883	設置数 ----- 赤穂小	1校 ----- 1校
6	★		学校施設環境改善交付金事業 工事監理・工事（R7繰R8）	33,500			年度計画に対する進捗率 ----- R7補正→R8繰越	100% ----- 0%
7								
8			【令和7年度→令和8年度繰越】 〈事業の内容〉			繰越額		
9			赤穂小学校トイレ改修・赤穂東小学校トイレ改修事業			33,500		
10								
11			〈特定財源の内容〉					
			（国）学校施設環境改善交付金（補助率1/3）			10,409		
			（債）防災・減災・国土強靱化緊急対策事業債			19,400		
12			（債）学校教育施設等整備事業債			2,600		
13								
特定財源の内容			（国）学校施設環境改善交付金	10,409			【特定財源の費目の略称】 （分）：分担金及び負担金 （使）：使用料及び手数料 （国）：国庫支出金（県）：県支出金 （財）：財産収入（寄）：寄付金 （繰）：繰入金（諸）：諸収入 （債）：市債	
			（債）防災・減災・国土強靱化緊急対策事業債	19,400				
			（債）学校教育施設等整備事業債	2,600				
			【令和6年度→令和7年度繰越】					
			（国）学校施設環境改善交付金	9,762	8,551	8,913		
			（債）防災・減災・国土強靱化緊急対策事業債	20,200	15,200	18,200		
一般財源			16,629	16,884	17,142			

◆評価◆

事業指標の分析と 事業の成果・課題	事業実施による成果は。また、事業指標の実績値からどのような課題を読み取ることができるか。 ※表や図は左ページの空いた部分か、この欄に記載。	
	・市内小学校5校の教育環境の整備のため、施設改修工事などを実施した。 ・保健室の空調について、更新の済んでいない学校について計画的に進める。 ・すべての学校で老朽化の影響で修繕が必要な箇所があるが、膨大な金額のため着手できていないのが課題。 【事業実績】（1件100万円以上） ・赤穂南小学校エレベーター修繕 ・赤穂東小学校鉄棒改修工事 ・赤穂南小学校ふれあい橋修繕工事 ・東伊那小学校教室床張替工事	
	細事業の実績に関する分析 細事業の目標達成状況は。どのような成果や課題があるか。 ・東伊那小屋根状況調査については、現地を確認し現在雨漏り等していないことから、今後の市全体の学校の在り方を検討する中で、安全性なども考慮しながら必要に応じて改修等を進める。	
目標に対する 達成度	事業指標の実績値／目標値 ※指標が複数ある場合は平均値。細事業の指標は算入しない。 A 目標をおおむね達成できている（90%以上105%未満） 【凡例】 S：105%以上 A：90%以上105%未満 B：70%以上90%未満 C：70%未満 ー：目標設定なし	

◆改善に向けた取り組み◆

事業の意図の達成や課題解決のための改善案	
・複数の学校で雨漏り等、大規模な改修や工事が必要などところがある。計画的に優先順位をつけ進めていく。 ・老朽化が進んでいる校舎等も多くあり、今後の学校の在り方を検討する中で、必要などところを見極め改修等を進める必要がある。	

款	10	教育費	項	3	中学校費	目	1	学校管理費	事業	1
事務事業名		中学校管理事務								
主管		子ども課								
事業の概要		中学校2校の管理を行う。								
対象		市内2中学校								
意図 (対象をどのようにしたいか)		学校運営に関わる人員確保や施設整備などを実施する。								

No.	事業指標	指標の算式	5年度	6年度	評価年度(7年度)		備考
			実績値	実績値	目標値	実績値	
1	管理不良による休校日数		0日	0日	0日	0日	
2							
3							

◆事業の構成(細事業)と実績◆			7年度予算	7年度決算	6年度決算	決算前年度比	
事業費の合計(千円)と前年度比(%)			154,131	101,382	98,205	3.2	
枝番号	3カ年対象 新規・拡充	事務・事業・費用名	事業費(千円)※予算は現額			指標	目標値
			7年度予算	7年度決算	6年度決算	事務・事業・費用の備考	実績値
1		会計年度任用職員(嘱託)	30,458	29,238	21,188	嘱託職員7→8名(事務、用務員、生徒相談員等)	
2		会計年度任用職員(臨時)	14,980	14,379	15,788	臨時職員10→8名(特別支援員、専科教員等)	
3		学校医	2,129	1,654	1,663		
4	★	英語指導助手(ALT)の配置	7,902	7,898	11,955	配置校数 直接雇用1→2名、派遣雇用3→2名	7校 7校
5		生徒・教職員の検診委託料	2,673	2,657	3,070	各種検診	
6		施設維持管理業務委託料	5,779	5,756	4,281	防災・エレベーター点検、樹木伐採等	
7		備品購入費	1,709	1,315	3,287	各学校備品、電話交換機	
8		燃料代、光熱水費	27,231	22,330	24,306	灯油、電気、水道代	
9	★ 拡	中間教室機能拡充事業	2,684	2,460	111	対象教室数 修繕料、環境整備委託料	1ヵ所 1ヵ所
10		LED照明工事	41,000			照明工事 R7→R8繰越	
11		その他	17,586	13,695	12,556	消耗品、修繕料、放送設備リース等	
12		【令和7年度→令和8年度繰越】				繰越額	
13		〈事業の内容〉 LED照明工事				41,000	
14		〈特定財源の内容〉					
15		(債)脱炭素化推進事業債				36,900	

特定財源の内容	(諸)太陽光発電電料	50	75	42	【特定財源の費目の略称】 (分):分担金及び負担金 (使):使用料及び手数料 (国):国庫支出金 (県):県支出金 (財):財産収入 (寄):寄付金 (繰):繰入金 (諸):諸収入 (債):市債
	(諸)伊那養護学校分教室運営費負担金	620	697	441	
	(諸)公衆電話料	60	77		
	(繰)ふるさとづくり基金繰入金	45,000	45,000	40,000	
	(債)脱炭素化推進事業債	36,900			
一般財源		71,501	55,533	57,722	

◆評価◆

事業指標の分析と 事業の成果・課題	事業実施による成果は。また、事業指標の実績値からどのような課題を読み取ることができるか。 ※表や図は左ページの空いた部分か、この欄に記載。	
	・事業指標である管理不良による休校日数は、目標値の0日を達成し、市内2中学校の安全で安定的な運営を維持することができた。 ・嘱託職員や英語指導助手(ALT)の配置、施設維持管理業務の実施などにより、教育活動を支える環境が整備された。 ・中間教室機能拡充事業により、不登校生徒等への対応環境の充実が図られた。 ・指標は達成しているものの、エネルギー価格の動向により燃料費や光熱水費が事業費を圧迫しており、施設の老朽化や物価上昇など学校管理に係るコスト増への対応が課題である。	
細事業の実績に関する分析	細事業の目標達成状況は。どのような成果や課題があるか。	
	・中間教室機能拡充事業(拡充)については、修繕料や環境整備委託料を執行し、不登校生徒等への対応環境の充実が図られた。 ・英語指導助手(ALT)の配置については、生徒の英語学習機会を確保したうえで、執行を精査したことにより執行額が予算を下回った。 ・備品購入費については、更新時期を踏まえて計画的な購入を進めたうえで、執行を精査したことにより執行額が予算を下回った。	
目標に対する 達成度	事業指標の実績値／目標値 ※指標が複数ある場合は平均値。細事業の指標は算入しない。	
	<table border="1"> <tr> <td data-bbox="379 1480 464 1541">A</td><td data-bbox="464 1480 1481 1541">目標をおおむね達成できている(90%以上105%未満)</td></tr> </table> 【凡例】S:105%以上 A:90%以上105%未満 B:70%以上90%未満 C:70%未満 ー:目標設定なし	A
A	目標をおおむね達成できている(90%以上105%未満)	

◆改善に向けた取り組み◆

事業の意図の達成や課題解決のための改善案
・ALTの配置については、生徒の英語学習機会を確保しつつ、より効果的・効率的な運用方法を検討していく。 ・中間教室機能拡充事業については、対象生徒への適切な支援につながるよう、関係機関との連携を図る。 ・光熱水費の抑制に向け、省エネルギーの取組や使用状況の点検を継続する。 ・施設の維持管理については、長期的な視点で計画的な保全を進めていく。

款	10	教育費	項	3	中学校費	目	2	教育振興費	事業	1
事務事業名		中学校教育振興事務								
主管		子ども課								
事業の概要		中学校教育の質的向上及び教育の振興を図る。								
対象		市内2中学校								
意図 (対象をどのようにしたいか)		教材教具の充実や要保護児童等への支援を実施する。								

No.	事業指標	指標の算式	5年度	6年度	評価年度(7年度)		備考
			実績値	実績値	目標値	実績値	
1	学力、QU調査の実施		3回	3回	3回	3回	
2							
3							

◆事業の構成(細事業)と実績◆			7年度予算	7年度決算	6年度決算	決算前年度比	
事業費の合計(千円)と前年度比(%)			48,975	40,370	46,076	△ 12.4	
枝番号	3 力 年 対 象	新規・ 拡充	事業費(千円)※予算は現額			指標	目標値
			7年度予算	7年度決算	6年度決算	事務・事業・費用の備考	実績値
1			教材教具充实用消耗品	13,640	13,139	19,256	
2			標準学力調査委託料	1,275	1,180	1,223	実施回数 1回
3			QU検査委託料	587	530	549	実施回数 2回 2回
4			要保護・準要保護生徒等への援助	16,022	14,779	15,482	就学援助費140→164名、特別支援奨励費15→21名
5			校外活動補助金	4,924	4,094	3,235	交付率 大会参加、校外活動補助金 100% 100%
6			通学費補助金	45	41		対象生徒数 1名 1名
7			特色ある学校づくり事業	850	850	586	交付校数 2校 2校
8			教材教具等備品の購入	2,280	2,121	1,918	
9			総合的な学習の時間への支援	630	630	580	対象生徒数 900名 820名
10			部活動指導員(報酬・旅費)	1,471	760	1,178	指導員数 赤穂中 3名 2名
11	★	拡	中学生海外派遣国際交流事業	4,820	347		参加生徒数 ネパールボカラ市へ(隔年実施) 10人 0人
12			その他	2,431	1,899	2,069	印刷製本、各種負担金
13							
14							
15							
特定財源の内容	(国)特別支援教育就学奨励費		682	372	561	【特定財源の費目の略称】 (分):分担金及び負担金 (使):使用料及び手数料 (国):国庫支出金 (県):県支出金 (財):財産収入 (寄):寄付金 (繰):繰入金 (諸):諸収入 (債):市債	
	(県)部活動指導員任用事業補助金		672	506			
	(繰)ふるさとづくり基金繰入金		19,000	19,000	20,000		
	(寄)企業版ふるさと寄附金			1,000			
一般財源			28,621	19,492	25,515		

【特定財源の費目の略称】
(分):分担金及び負担金
(使):使用料及び手数料
(国):国庫支出金 (県):県支出金
(財):財産収入 (寄):寄付金
(繰):繰入金 (諸):諸収入
(債):市債

◆評価◆

事業指標の分析と 事業の成果・課題	事業実施による成果は。また、事業指標の実績値からどのような課題を読み取ることができるか。 ※表や図は左ページの空いた部分か、この欄に記載。
	・事業指標である学力・QU調査の実施回数は、目標値の3回を達成し、生徒の学力や学級集団の状況を把握することができた。 ・調査結果を活用することで、各学校における学習指導や学級経営の改善につなげている。 ・部活動指導員の配置や校外活動補助により、生徒の多様な活動機会の確保が図られた。 ・要保護・準要保護生徒等への援助については、就学援助費等を通じて経済的支援が必要な家庭を支えている。 ・就学援助費の対象生徒数は前年度から増加しており、家庭の経済状況の変化への対応の重要性が高まっている。
細事業の実績に関する分析	細事業の目標達成状況は。どのような成果や課題があるか。
	・部活動指導員については、赤穂中学校に配置し、教員の負担軽減と専門的指導の確保が図られた。 ・中学生海外派遣国際交流事業(拡充)については、現地情勢を踏まえ生徒の安全確保を最優先に判断した結果、派遣を見合わせた。 ・代替として、駒ヶ根協力隊を育てる会の協力のもと、派遣予定先について学ぶ学習機会を生徒に提供した。 ・要保護・準要保護生徒等への援助のうち就学援助費は、前年度の149名から164名へ増加しており、家計支援の必要性が高まっている。
目標に対する 達成度	事業指標の実績値／目標値 ※指標が複数ある場合は平均値。細事業の指標は算入しない。 A 目標をおおむね達成できている（90%以上105%未満） 【凡例】S:105%以上 A:90%以上105%未満 B:70%以上90%未満 C:70%未満 ー:目標設定なし

◆改善に向けた取り組み◆

事業の意図の達成や課題解決のための改善案
・学力・QU調査の結果を活用し、各校における学習指導や生徒指導の充実につなげていく。 ・経済的支援を要する家庭への援助制度については、引き続き対象者への適切な周知と運用に努める。 ・部活動指導員制度の活用については、配置効果を検証しつつ、生徒・教員双方にとって望ましい運用を検討する。 ・国際交流事業については、現地情勢を注視し、生徒の安全確保を前提として、関係団体と連携しながら今後の実施に向けた検討を進めていく。

款	10	教育費	項	3	中学校費	目	2	教育振興費	事業	2
事務事業名		中学校ICT推進事業								
主管		子ども課								
事業の概要		中学校2校のICT機器の維持管理を行う。								
対象		市内2中学校								
意図 (対象をどのようにしたいか)		学校ICTに関わるネットワークや機器の整備などを実施する。								

No.	事業指標	指標の算式	5年度	6年度	評価年度(7年度)		備考
			実績値	実績値	目標値	実績値	
1	ICT導入活用授業数		11科目	11科目	11科目	11科目	
2							
3							

◆事業の構成(細事業)と実績◆

事業費の合計(千円)と前年度比(%)			7年度予算	7年度決算	6年度決算	決算前年度比
			33,200	29,869	23,017	29.8

枝番号	3カ年対象 新規・拡充	事務・事業・費用名	事業費(千円)※予算は現額			指標	目標値
			7年度予算	7年度決算	6年度決算	事務・事業・費用の備考	実績値
1		教職員用パソコン賃借料	5,220	4,809	3,324	充足率 教職員95名 新規リース分による増	100% 100%
2		ICT教育運用、保守等事業委託料等	4,463	4,282	4,574	設置校数	2校 2校
3		大型提示装置賃借料(特別教室)	5,476	5,406	5,747	充足率 55台(うち、9台はリース終了し無償取得)	100% 100%
4		パソコン教室生徒用端末賃借料	205	189	1,950	充足率	100% 100%
5		学習用ドリルアプリ導入	2,745	2,530	1,782	インストール率	100% 100%
6	★新	学校ネットワーク環境改善事業	6,372	5,857	42	対象校数 アクセスポイント、フィルタリングソフト、NTT光回線等	2校 2校
7		モバイルルーター通信料	360	80	374	26台	
8		ICT支援委託料	4,018	3,595	4,154	学校対応支援員、教職員研修等	
9		タブレット端末修繕料	2,000	854	961		
10	★新	タブレット端末賃借料	1,373	1,373		導入数 中学生用820台、教職員用123台	943台 943台
11		ネットワーク高速化機器導入	683	683		備品購入 【R6→R7繰越】	
12		その他	285	211	109	ウィルス対策ソフト等	
13							
14							
15							
特定財源の内容		(県)公立学校情報機器整備費補助金	1,521	1,652	202	【特定財源の費目の略称】 (分):分担金及び負担金 (使):使用料及び手数料 (国):国庫支出金 (県):県支出金 (財):財産収入 (寄):寄付金 (繰):繰入金 (諸):諸収入 (債):市債	
		(使)モバイルルーター使用料	1				
		(繰)ふるさとづくり基金繰入金	15,000	15,000			
一般財源			16,678	13,217	22,815		

◆評価◆

事業指標の分析と 事業の成果・課題	事業実施による成果は。また、事業指標の実績値からどのような課題を読み取ることができるか。 ※表や図は左ページの空いた部分か、この欄に記載。	
	・事業指標であるICT導入活用授業数は、目標値の11科目を達成し、各教科におけるICTの活用が継続的に行われた。 ・教職員用パソコンやタブレット端末等の機器整備、ネットワーク環境の維持により、ICT教育を支える基盤が確保された。 ・ICT支援員の配置や教職員研修により、教員のICT活用スキルの向上が図られている。 ・指標は達成しているものの、機器の更新費用や保守費用の継続的な発生が見込まれ、計画的な財源確保が課題である。	
細事業の実績に関する分析	細事業の目標達成状況は。どのような成果や課題があるか。	
	・タブレット端末賃借料(新規)については、生徒用820台と教職員用123台を導入し、生徒1人1台のICT環境が継続的に整備された。 ・学校ネットワーク環境改善事業(新規)については、アクセスポイントやフィルタリングソフト等の整備を適切に実施し、安全で安定した通信環境の構築が図られた。 ・ICT教育運用、保守等事業委託料等については、計画どおりの保守業務を委託し、安定的な機器運用を図ることができた。	
目標に対する 達成度	事業指標の実績値／目標値 ※指標が複数ある場合は平均値。細事業の指標は算入しない。	
	<table border="1"> <tr> <td data-bbox="379 1480 464 1541">A</td><td data-bbox="464 1480 1473 1541">目標をおおむね達成できている（90%以上105%未満）</td></tr> </table> 【凡例】S:105%以上 A:90%以上105%未満 B:70%以上90%未満 C:70%未満 ー:目標設定なし	A
A	目標をおおむね達成できている（90%以上105%未満）	

◆改善に向けた取り組み◆

事業の意図の達成や課題解決のための改善案
・タブレット端末の利活用を促進し、生徒の情報活用能力のさらなる向上を図っていく。 ・機器の更新時期を計画的に把握し、リース料や保守費用の平準化を図っていく。 ・国の公立学校情報機器整備費補助金などの動向を注視し、財源を確保できるように努める。 ・ICT支援員の配置や教職員研修を継続し、ICT活用の質の向上に努める。

款	10	教育費	項	3	中学校費	目	3	学校建設費	事業	1
事務事業名		中学校建設事業								
主管		子ども課								
事業の概要		市内中学校2校の施設整備を行い、安全性・利便性の向上を図る。								
対象		生徒、教職員								
意図 (対象をどのようにしたいか)		学校生活における安全性・利便性の向上を図る。								

No.	事業指標	指標の算式	5年度	6年度	評価年度(7年度)		備考
			実績値	実績値	目標値	実績値	
1	完了工事数				4件	6件	緊急性により優先度を検討
2							
3							

◆事業の構成(細事業)と実績◆

事業費の合計(千円)と前年度比(%)			7年度予算	7年度決算	6年度決算	決算前年度比
			9,208	9,202	8,100	13.6

枝番号	3カ年対象	新規・拡充	事務・事業・費用名	事業費(千円)※予算は現額			指標	目標値
				7年度予算	7年度決算	6年度決算	事務・事業・費用の備考	実績値
1			施設改修実施設計・工事	9,208	9,202	8,100	年度計画に対する進捗率	100% 100%
2								
3								
4								
5								
6								
7								
8								
9								
10								
11								
12								
13								
14								
15								
特定財源の内容							【特定財源の費目の略称】 (分):分担金及び負担金 (使):使用料及び手数料 (国):国庫支出金 (県):県支出金 (財):財産収入 (寄):寄付金 (繰):繰入金 (諸):諸収入 (債):市債	
一般財源				9,208	9,202	8,100		

◆評価◆

事業指標の分析と 事業の成果・課題		事業実施による成果は。また、事業指標の実績値からどのような課題を読み取ることができるか。 ※表や図は左ページの空いた部分か、この欄に記載。	
・市内中学校 2 校の教育環境の整備のため、施設改修工事などを実施した。 ・すべての学校で老朽化の影響で修繕が必要な箇所があるが、膨大な金額のため着手できていないのが課題。 【事業実績】（ 1 件100万円以上） ・東中学校エレベーター修繕 ・赤穂中学校スマイル学年学習室空調機設置工事 ・東中学校電灯盤改修工事 ・東中学校体育館放送設備更新			
細事業の実績に関する分析		細事業の目標達成状況は。どのような成果や課題があるか。	
目標に対する 達成度		事業指標の実績値／目標値 ※指標が複数ある場合は平均値。細事業の指標は算入しない。	
S		目標を大きく上回った（105%以上）	
【凡例】 S：105%以上 A：90%以上105%未満 B：70%以上90%未満 C：70%未満 —：目標設定なし			

◆改善に向けた取り組み◆

事業の意図の達成や課題解決のための改善案 ・複数の学校で雨漏り等、大規模な改修や工事が必要なところがある。計画的に優先順位をつけ進めていく。 ・老朽化が進んでいる校舎等も多くあり、今後の学校の在り方を検討する中で、必要なところを見極め改修等を進める必要がある。	
--	--

款	10	教育費	項	4	幼稚園費	目	1	幼稚園費	事業	2
事務事業名		私立幼稚園振興事業								
主管		子ども課								
事業の概要		私立幼稚園に対する運営費の給付。								
対象		私立幼稚園								
意図 (対象をどのようにしたいか)		私立幼稚園が安定的な運営を行い、質の高い幼児教育を提供する。								

No.	事業指標	指標の算式	5年度	6年度	評価年度（7年度）		備考
			実績値	実績値	目標値	実績値	
1	私立幼稚園数		1園	1園	1園	1園	
2							
3							

◆事業の構成（細事業）と実績◆			7年度予算	7年度決算	6年度決算	決算前年度比	
事業費の合計（千円）と前年度比（％）			55,424	49,347	56,025	△ 11.9	
枝番号	3 力 年 対 象	新規・拡充	事業費（千円）※予算は現額			指標	目標値
			7年度予算	7年度決算	6年度決算	事務・事業・費用の備考	実績値
1			私立幼稚園運営費 （聖マルチン幼稚園）	53,433	47,461	55,847	1施設
2			教育振興、園外活動補助	226	122	178	
3			他市町村への広域入所負担金	1,571	1,571		2件
4		新	私立幼稚園物価高騰応援事業	168	168		
5			その他	26	25		
6							
7							
8							
9							
10							
11							
12							
13							
14							
15							
特定財源の内容			（国）子どものための教育・保育給付国庫負担金	26,389	17,101	18,863	【特定財源の費目の略称】 （分）：分担金及び負担金 （使）：使用料及び手数料 （国）：国庫支出金（県）：県支出金 （財）：財産収入（寄）：寄付金 （繰）：繰入金（諸）：諸収入 （債）：市債
			（国）子育てのための施設等利用給付国庫負担金	600	368	473	
			（国）物価高騰対応重点支援地方創生臨時交付金	164	164	14,805	
			（県）子どものための教育・保育給付県負担金	13,194	13,449	14,805	
			（県）子育てのための施設等利用給付県負担金	300	184	236	
一般財源			14,777	18,081	6,843		

◆評価◆

事業指標の分析と事業の成果・課題	事業実施による成果は。また、事業指標の実績値からどのような課題を読み取ることができるか。 ※表や図は左ページの空いた部分か、この欄に記載。										
【成果】 ・運営費の確実な給付により、対象となる私立幼稚園の安定的な施設運営が維持されている。 ・安定した運営基盤が確保されることで、質の高い教育を継続して提供できる環境が整っている。 【課題】 ・昨今の物価高騰などの社会情勢の変化が園運営に与える影響については、引き続き注視していく必要がある。 私立幼稚園入所実績（4月初日） <table border="1" data-bbox="140 443 568 528"> <thead> <tr> <th>幼稚園名</th><th>R5</th><th>R6</th><th>R7</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>聖マルチン幼稚園</td><td>48人</td><td>42人</td><td>32人</td></tr> </tbody> </table>				幼稚園名	R5	R6	R7	聖マルチン幼稚園	48人	42人	32人
幼稚園名	R5	R6	R7								
聖マルチン幼稚園	48人	42人	32人								
細事業の実績に関する分析 細事業の目標達成状況は。どのような成果や課題があるか。 【成果】 ・公立保育所と同様の基準で、保護者に対する副食費の負担軽減措置が着実に実施できている。 ・これにより、私立幼稚園に通う世帯間の公平性が保たれるとともに、保護者の経済的な負担軽減に寄与している。 【課題】 ・特になし											
目標に対する達成度	事業指標の実績値／目標値 ※指標が複数ある場合は平均値。細事業の指標は算入しない。										
	A	目標をおおむね達成できている（90%以上105%未満）									
【凡例】 S：105%以上 A：90%以上105%未満 B：70%以上90%未満 C：70%未満 ー：目標設定なし											

◆改善に向けた取り組み◆

事業の意図の達成や課題解決のための改善案
・概ね事業の意図（安定運営と質の高い教育の提供）は達成できているため、現行の運営費給付および副食費の負担軽減措置の仕組みを、次期以降も継続して実施する。 ・今後新たな課題が生じた際に迅速な改善を図れるよう、私立幼稚園とは日常的に情報共有や意見交換を行える良好な連携体制を維持していく。

款	10	教育費	項	4	幼稚園費	目	1	幼稚園費	事業	3
事務事業名		幼稚園運営事業								
主管		子ども課								
事業の概要		公立幼稚園２園の運営を行う。								
対象		保護者が仕事や病気などの理由で、家庭で保育できない3歳から小学校就学前までの幼児								
意図 (対象をどのようにしたいか)		仕事や病気など、様々な事情で家庭で保育ができない子どもたちに、安全で質の高い保育サービスを提供することで、子どもたちの健やかな成長を支援し、保護者が安心して仕事や社会活動に参加できる環境を整備する。								

No.	事業指標	指標の算式	5年度	6年度	評価年度（7年度）		備考
			実績値	実績値	目標値	実績値	
1	待機児童数		0人	0人	0人	0人	
2							
3							

◆事業の構成（細事業）と実績◆			7年度予算	7年度決算	6年度決算	決算前年度比		
事業費の合計（千円）と前年度比（％）			30,602	25,081	24,698	1.6		
枝番号	3 力 年 対 象	新規・拡充	事業費（千円）※予算は現額			指標	目標値	
			7年度予算	7年度決算	6年度決算	事務・事業・費用の備考	実績値	
1			会計年度任用職員 （嘱託保育士）	6,894	3,842	3,777	1名	
2			会計年度任用職員 （臨時保育士）	10,451	9,819	9,634	8名	
3			施設管理業務 （委託関係）	768	633	2,471		
4			賄材料費	4,747	4,144	4,844		
5			教材費、その他維持管理費	7,742	6,643	3,972	需用費、光熱水費、燃料費等	
6								
7								
8								
9								
10								
11								
12								
13								
14								
15								
特定財源の内容	（分）幼稚園運営費負担金（公立分）		828	724	1,054	【特定財源の費目の略称】 （分）：分担金及び負担金 （使）：使用料及び手数料 （国）：国庫支出金（県）：県支出金 （財）：財産収入（寄）：寄付金 （繰）：繰入金（諸）：諸収入 （債）：市債		
	（分）幼稚園職員給食費負担金		1,400	779	816			
	（使）幼稚園保育料過年度収入		85					
	（使）幼稚園長時間保育料		37	32	52			
一般財源			28,252	23,546	22,776			

◆評価◆

事業指標の分析と 事業の成果・課題		事業実施による成果は。また、事業指標の実績値からどのような課題を読み取ることができるか。 ※表や図は左ページの空いた部分か、この欄に記載。																																																																																															
【成果】 ・令和7年度末をもって、公立幼稚園2園の閉園を予定通りに完了した。 ・在園児に対しては、転園先との交流保育を計画的に実施し、子どもたちの心理的負担の軽減とスムーズな環境移行を支援できた。 ・閉園イベントやセレモニーにおいて、保護者会が主体となり、地域を巻き込んだ活動が実施できた。 【課題】 ・本事業は終了となるため直接的な課題はないが、今回の「円滑な閉園・転園支援」や「地域を巻き込んだイベント運営」の成功要因を整理し、ノウハウとして残すことが事後課題として挙げられる。																																																																																																	
公立幼稚園入所実績（4月初日） (人) <table><tr><td>保育園名</td><td>R3</td><td>R4</td><td>R5</td><td>R6</td><td>R7</td></tr><tr><td>赤穂南</td><td>40</td><td>29</td><td>33</td><td>24</td><td>22</td></tr><tr><td>下平</td><td>29</td><td>27</td><td>30</td><td>27</td><td>18</td></tr><tr><td>計</td><td>69</td><td>56</td><td>63</td><td>51</td><td>40</td></tr></table> <table><tr><td>R3</td><td>R4</td><td>R5</td><td>R6</td><td>R7</td></tr><tr><td>69</td><td>56</td><td>63</td><td>51</td><td>40</td></tr></table> 公立幼稚園 保育料等調定及び収納実績（現年度） (単位 千円) <table><tr><td>区分</td><td>R3</td><td>R4</td><td>R5</td><td>R6</td><td>R7</td></tr><tr><td>調定額</td><td>1,685</td><td>1,439</td><td>1,309</td><td>1,054</td><td>724</td></tr><tr><td>収入額</td><td>1,685</td><td>1,439</td><td>1,309</td><td>1,054</td><td>724</td></tr><tr><td>未納額</td><td>0</td><td>0</td><td>0</td><td>0</td><td>0</td></tr><tr><td>徴収率</td><td>100.00%</td><td>100.00%</td><td>100.00%</td><td>100.00%</td><td>100.00%</td></tr></table> <tr><td colspan="4">細事業の実績に関する分析 細事業の目標達成状況は。どのような成果や課題があるか。</td></tr> <tr><td colspan="4"> ・日常の保育業務から、閉園に向けた各種手続き、転園支援、閉園イベントの実施に至るまで、すべての細事業を計画通りに滞りなく実施し、目標を達成した。 ・転園先の保育園や保護者会など、関係各所との連携がスムーズに行われたことが、円滑な閉園に寄与したと考えられる。 </td></tr> <tr><td rowspan="3">目標に対する 達成度</td><td colspan="3">事業指標の実績値／目標値 ※指標が複数ある場合は平均値。細事業の指標は算入しない。</td></tr> <tr><td>A</td><td colspan="2">目標をおおむね達成できている（90%以上105%未満）</td></tr> <tr><td colspan="3">【凡例】 S：105%以上 A：90%以上105%未満 B：70%以上90%未満 C：70%未満 ー：目標設定なし</td></tr> <tr><td colspan="4">◆改善に向けた取り組み◆</td></tr> <tr><td colspan="4">事業の意図の達成や課題解決のための改善案</td></tr> <tr><td colspan="4"> ・令和7年度末での閉園完了に伴い、本事業自体は終了となるため、改善案は該当しない。 </td></tr>				保育園名	R3	R4	R5	R6	R7	赤穂南	40	29	33	24	22	下平	29	27	30	27	18	計	69	56	63	51	40	R3	R4	R5	R6	R7	69	56	63	51	40	区分	R3	R4	R5	R6	R7	調定額	1,685	1,439	1,309	1,054	724	収入額	1,685	1,439	1,309	1,054	724	未納額	0	0	0	0	0	徴収率	100.00%	100.00%	100.00%	100.00%	100.00%	細事業の実績に関する分析 細事業の目標達成状況は。どのような成果や課題があるか。				・日常の保育業務から、閉園に向けた各種手続き、転園支援、閉園イベントの実施に至るまで、すべての細事業を計画通りに滞りなく実施し、目標を達成した。 ・転園先の保育園や保護者会など、関係各所との連携がスムーズに行われたことが、円滑な閉園に寄与したと考えられる。				目標に対する 達成度	事業指標の実績値／目標値 ※指標が複数ある場合は平均値。細事業の指標は算入しない。			A	目標をおおむね達成できている（90%以上105%未満）		【凡例】 S：105%以上 A：90%以上105%未満 B：70%以上90%未満 C：70%未満 ー：目標設定なし			◆改善に向けた取り組み◆				事業の意図の達成や課題解決のための改善案				・令和7年度末での閉園完了に伴い、本事業自体は終了となるため、改善案は該当しない。			
保育園名	R3	R4	R5	R6	R7																																																																																												
赤穂南	40	29	33	24	22																																																																																												
下平	29	27	30	27	18																																																																																												
計	69	56	63	51	40																																																																																												
R3	R4	R5	R6	R7																																																																																													
69	56	63	51	40																																																																																													
区分	R3	R4	R5	R6	R7																																																																																												
調定額	1,685	1,439	1,309	1,054	724																																																																																												
収入額	1,685	1,439	1,309	1,054	724																																																																																												
未納額	0	0	0	0	0																																																																																												
徴収率	100.00%	100.00%	100.00%	100.00%	100.00%																																																																																												
細事業の実績に関する分析 細事業の目標達成状況は。どのような成果や課題があるか。																																																																																																	
・日常の保育業務から、閉園に向けた各種手続き、転園支援、閉園イベントの実施に至るまで、すべての細事業を計画通りに滞りなく実施し、目標を達成した。 ・転園先の保育園や保護者会など、関係各所との連携がスムーズに行われたことが、円滑な閉園に寄与したと考えられる。																																																																																																	
目標に対する 達成度	事業指標の実績値／目標値 ※指標が複数ある場合は平均値。細事業の指標は算入しない。																																																																																																
	A	目標をおおむね達成できている（90%以上105%未満）																																																																																															
	【凡例】 S：105%以上 A：90%以上105%未満 B：70%以上90%未満 C：70%未満 ー：目標設定なし																																																																																																
◆改善に向けた取り組み◆																																																																																																	
事業の意図の達成や課題解決のための改善案																																																																																																	
・令和7年度末での閉園完了に伴い、本事業自体は終了となるため、改善案は該当しない。																																																																																																	

款	10	教育費	項	6	社会教育費	目	1	社会教育総務費	事業	2
事務事業名		社会教育総務管理事務								
主管		社会教育課								
事業の概要		社会教育委員会活動、学習情報の提供、人権教育の推進など。								
対象		市民								
意図 (対象をどのようにしたいか)		社会教育の推進と生涯学習への意識高揚を図る。								

No.	事業指標	指標の算式	5年度	6年度	評価年度（7年度）		備考
			実績値	実績値	目標値	実績値	
1	社会教育委員の活動回数		35回	34回	24回	33回	延べ回数
2	人権教育委員の研修等活動回数		53回	54回	60回	53回	延べ回数
3							

◆事業の構成（細事業）と実績◆			7年度予算	7年度決算	6年度決算	決算前年度比	
事業費の合計（千円）と前年度比（％）			3,521	3,258	2,764	17.9	
枝番号	3 力 年 対 象	新規・ 拡 充	事業費（千円）※予算は現額			指標	目標値
			7年度予算	7年度決算	6年度決算	事務・事業・費用の備考	実績値
1			108	77	60	委員会開催数 委員6名	4回 4回
2			849	802	717	メニュー版発行回数	1回 1回
3			129	96	50	人権教育委員の研修開催数	1回 1回
4			2,239	2,099	1,712	会計年度任用職員 1名 6H → 7H	
5			196	184	225	伊那美術展100周年記念事業	
6							
7							
8							
9							
10							
11							
12							
13							
14							
15							
特定財源の内容						【特定財源の費目の略称】 (分):分担金及び負担金 (使):使用料及び手数料 (国):国庫支出金 (県):県支出金 (財):財産収入 (寄):寄付金 (繰):繰入金 (諸):諸収入 (償):市債	
一般財源			3,521	3,258	2,764		

◆評価◆

事業指標の分析と 事業の成果・課題	事業実施による成果は。また、事業指標の実績値からどのような課題を読み取ることができるか。 ※表や図は左ページの空いた部分か、この欄に記載。	
	・社会教育委員会については、4回の会議を行った。また、県の大会や上伊那の理事会への参加のほか、上伊那の研修会を当市で開催し、中沢の登戸研究所平和資料館を見学し、多くの郡内の社会教育委員との交流を図った。 ・人権教育については年1回の総会と研修会を行い、子どもの権利について学んだ。	
	細事業の実績に関する分析 細事業の目標達成状況は。どのような成果や課題があるか。 ・生涯学習メニュー版については全戸配布しており、多くの市民の目に触れることで、公民館の学級や講座、文化団体・スポーツ団体などへの参加のきっかけとなっている。	
目標に対する 達成度	事業指標の実績値／目標値 ※指標が複数ある場合は平均値。細事業の指標は算入しない。 A 目標をおおむね達成できている（90%以上105%未満） 【凡例】 S：105%以上 A：90%以上105%未満 B：70%以上90%未満 C：70%未満 ー：目標設定なし	

◆改善に向けた取り組み◆

事業の意図の達成や課題解決のための改善案

款	10	教育費	項	6	社会教育費	目	1	社会教育総務費	事業	3
事務事業名		文化財保存事業								
主管		社会教育課								
事業の概要		指定文化財の保存・活用及び整備を行う。								
対象		文化財								
意図 (対象をどのようにしたいか)		次世代に引き継ぐために維持管理をし、指定文化財の保存を行う。								

No.	事業指標	指標の算式	5年度	6年度	評価年度（7年度）		備考
			実績値	実績値	目標値	実績値	
1	民俗資料館（登戸研究所平和資料館）来場者数				1,000人	1,252人	R6.10/12開館
2							
3							

◆事業の構成（細事業）と実績◆			7年度予算	7年度決算	6年度決算	決算前年度比	
事業費の合計（千円）と前年度比（％）			10,178	9,839	6,490	51.6	
枝番号	3カ年対象	新規・拡充	事業費（千円）※予算は現額			指標	目標値
			7年度予算	7年度決算	6年度決算	事務・事業・費用の備考	実績値
1			79	26	22	審議会開催数 委員6名	3回 1回
2			1,428	1,325	1,760		
3			124		52	委員会開催数 委員7名	2回 0回
4			3,332	3,310	3,061	1名	
5			15	13		イベント開催数	2回 0回
6			150	150		改訂後作成数	500部 1,000部
7	新		3,000	3,000		補助件数	1件 1件
8	★新		2,050	2,015		来場者数	1,000人 1,252人
9					1,595		
10							
11							
12							
13							
14							
15							
特定財源の内容	(繰) ふるさとづくり基金繰入金		5,000	5,000	0	【特定財源の費目の略称】 (分):分担金及び負担金 (使):使用料及び手数料 (国):国庫支出金 (県):県支出金 (財):財産収入 (寄):寄付金 (繰):繰入金 (諸):諸収入 (償):市債	
一般財源			5,178	4,839	6,490		

◆評価◆

事業指標の分析と 事業の成果・課題	事業実施による成果は。また、事業指標の実績値からどのような課題を読み取ることができるか。 ※表や図は左ページの空いた部分か、この欄に記載。	
	・民俗資料館（登戸研究所平和資料館）来場者数は、目標値を上回った。 ・開館1年目ということもあり、全国からの来館があったことや教育関係の研修会などで来館があったことも要因と考えられる。 ・登戸研究所調査研究会（市立博物館研究会）による協力により、新たな研究調査が行われていることも要因と考えられる。	
	細事業の実績に関する分析 細事業の目標達成状況は。どのような成果や課題があるか。 ・文化財審議会は、新たな指定、事業がなかったため、1回となった。未指定文化財の把握のため、地域調査や情報収集体制等検討する。 ・名勝光前寺庭園整備活用委員会は、事業がなく、委員の日程の都合等により、実施しなかった。 ・本殿屋根改修など第2期整備計画の実施を関係者と協議する。 ・文化財保存管理等のための人材として学芸員を会計年度任用職員として継続して、採用した。 ・文化財活用イベントは、ハッチョウトンボのえがおポイント支出である。（ハッチョウトンボを育む会主催延33人） - また、公民館にて、文化財関係の講座等を行い、連携を図った。 ・在庫が少なかった文化財マップを一部改訂した。小町谷家住宅など新たに指定した文化財を追加し、各施設の窓口に配布したので、活用促進につなげる。目標作成部数500部で設定したが、在庫がなくなり1,000部印刷した。 ・民俗資料館内の階段に手摺取付け、照明のLED化を行い、来館者の利便性向上を図った。また、展示室の保存環境管理として、登戸平和資料館展示室を遮光カーテン、照明のLED化を行った。	
目標に対する 達成度	事業指標の実績値／目標値 ※指標が複数ある場合は平均値。細事業の指標は算入しない。 S 目標を大きく上回った（105%以上） 【凡例】 S：105%以上 A：90%以上105%未満 B：70%以上90%未満 C：70%未満 ー：目標設定なし	

◆改善に向けた取り組み◆

事業の意図の達成や課題解決のための改善案	・指定文化財の保存管理を行うとともに、活用について検討する。 ・未指定文化財の把握を行い、地域の宝を明らかにし、文化財に関する市民の意識づけを行う。 ・名勝光前寺庭園整備事業は、第2期整備計画の実施を関係者と検討する。	
-----------------------------	---	--

款	10	教育費	項	6	社会教育費	目	1	社会教育総務費	事業	4
事務事業名		埋蔵文化財発掘事業								
主管		社会教育課								
事業の概要		埋蔵文化財の発掘調査及び試掘調査を実施する。								
対象		市民（業者）								
意図 （対象をどのようにしたいか）		文化財保護法により、必要な調査を実施する。								

No.	事業指標	指標の算式	5年度	6年度	評価年度（7年度）		備考
			実績値	実績値	目標値	実績値	
1	埋蔵文化財申請未届件数		0件	2件	0件	0件	
2							
3							

◆事業の構成（細事業）と実績◆			7年度予算	7年度決算	6年度決算	決算前年度比	
事業費の合計（千円）と前年度比（％）			147	73		皆増	
枝番号	3 力 年 対 象	新規・拡充	事業費（千円）※予算は現額			指標	目標値
			7年度予算	7年度決算	6年度決算	事務・事業・費用の備考	実績値
1			47	7		案件発生時のみ	
2			100	66		案件発生時のみ	
3							
4							
5							
6							
7							
8							
9							
10							
11							
12							
13							
14							
15							
特定財源の内容	(諸) 埋蔵文化財発掘調査受託収入		100			【特定財源の費目の略称】 (分): 分担金及び負担金 (使): 使用料及び手数料 (国): 国庫支出金 (県): 県支出金 (財): 財産収入 (寄): 寄付金 (繰): 繰入金 (諸): 諸収入 (償): 市債	
一般財源			47	73			

◆評価◆

事業指標の分析と 事業の成果・課題	事業実施による成果は。また、事業指標の実績値からどのような課題を読み取ることができるか。 ※表や図は左ページの空いた部分か、この欄に記載。	
・埋蔵文化財申請、許可の適切な処理を行う。		
細事業の実績に関する分析 細事業の目標達成状況は。どのような成果や課題があるか。 適切な届出制度運用を維持した。		
目標に対する 達成度	事業指標の実績値／目標値	※指標が複数ある場合は平均値。細事業の指標は算入しない。 A 目標をおおむね達成できている（90%以上105%未満） 【凡例】 S：105%以上 A：90%以上105%未満 B：70%以上90%未満 C：70%未満 ー：目標設定なし

◆改善に向けた取り組み◆

事業の意図の達成や課題解決のための改善案
・遺跡の包蔵地内での工事に関し、文化財保護法に基づく届出の義務についての引き続き周知を行う。

款	10	教育費	項	6	社会教育費	目	1	社会教育総務費	事業	5
事務事業名		旧竹村家管理運営事業								
主管		社会教育課								
事業の概要		施設管理者による施設の維持管理を行う。								
対象		市民、観光客								
意図 (対象をどのようにしたいか)		国重要文化財である竹村家住宅を保全し、変わらないものの価値を後世に引き継ぐ。								

No.	事業指標	指標の算式	5年度	6年度	評価年度（7年度）		備考
			実績値	実績値	目標値	実績値	
1	保存修理工事基本設計進捗率				100%	100%	
2							
3							

◆事業の構成（細事業）と実績◆			7年度予算	7年度決算	6年度決算	決算前年度比	
事業費の合計（千円）と前年度比（％）			5,762	5,539	3,422	61.9	
枝番号	3 力 年 対 象	新規・拡充	事業費（千円）※予算は現額			指標	目標値
			7年度予算	7年度決算	6年度決算	事務・事業・費用の備考	実績値
1			旧竹村家住宅、駒ヶ根市郷土館指定管理料	2,213	2,213	2,180	指定管理者：シルバー人材センター
2	★	新	旧竹村家住宅保存修理工事基本設計委託業務	3,500	3,278		年度計画に対する進捗率 100% 100%
3			旧竹村家・郷土館土地賃借料	49	48	50	
4			旧竹村家住宅雨漏り修繕工事			1,192	
5							
6							
7							
8							
9							
10							
11							
12							
13							
14							
15							
特定財源の内容	(繰) ふるさとづくり基金繰入金		4,000	4,000		【特定財源の費目の略称】 (分):分担金及び負担金 (使):使用料及び手数料 (国):国庫支出金 (県):県支出金 (財):財産収入 (寄):寄付金 (繰):繰入金 (諸):諸収入 (償):市債	
一般財源			1,762	1,539	3,422		

◆評価◆

事業指標の分析と事業の成果・課題		事業実施による成果は。また、事業指標の実績値からどのような課題を読み取ることができるか。 ※表や図は左ページの空いた部分か、この欄に記載。			
- 旧竹村家住宅保存修理工事基本設計委託業務を行った。 - 指定管理者（シルバー人材センター）による施設の受付、日常管理、来館対応等を行った。					
項目	R5	R6 (A)	R7 (B)	対比 (B/A)	
利用者数（人）	1,530	1,379	2,021	146.6%	
利用料金（千円）	291	265	340	128.3%	
考察：ツアー客の増加による利用者数、料金の増					
細事業の実績に関する分析		細事業の目標達成状況は。どのような成果や課題があるか。			
目標に対する達成度	事業指標の実績値／目標値 ※指標が複数ある場合は平均値。細事業の指標は算入しない。				
	A	目標をおおむね達成できている（90%以上105%未満）			
	【凡例】 S：105%以上 A：90%以上105%未満 B：70%以上90%未満 C：70%未満 ー：目標設定なし				
◆改善に向けた取り組み◆					
事業の意図の達成や課題解決のための改善案					
- 国庫補助金の申請を行い、実施設計、工事を進める。（工事予定期間 R9.2～R9.12で文化庁へ申請予定） - 工事内容は、屋根外壁及び部分修理（建具及び木部等） - 改修後の公開イベント等を今後検討する。					

款	10	教育費	項	6	社会教育費	目	1	社会教育総務費	事業	6
事務事業名		ふるさとの丘管理運営事業								
主管		社会教育課								
事業の概要		指定管理者による施設の維持管理を行う。								
対象		市民								
意図 (対象をどのようにしたいか)		市民が自然と親しみながら、運動による健康の保持増進のために利用されている。								

No.	事業指標	指標の算式	5年度	6年度	評価年度（7年度）		備考
			実績値	実績値	目標値	実績値	
1	利用者数		27,850人	30,268人	30,000人	29,084人	ふるさとの丘施設全体
2	管理不備による事故		0件	0件	0件	0件	
3							

◆事業の構成（細事業）と実績◆			7年度予算	7年度決算	6年度決算	決算前年度比	
事業費の合計（千円）と前年度比（％）			10,502	10,473	9,885	5.9	
枝番号	3カ年対象	新規・拡充	事業費（千円）※予算は現額			指標	目標値
			7年度予算	7年度決算	6年度決算	事務・事業・費用の備考	実績値
1			ふるさとの丘指定管理料	9,405	9,405	9,186	竹花工業 R6～11
2			施設用地賃借料等	789	760	699	地権者 8人 4.39ha
3			アルプス広場陥没修繕	308	308		3ヵ所
4							
5							
6							
7							
8							
9							
10							
11							
12							
13							
14							
15							
特定財源の内容	(繰) ふるさとづくり基金繰入金		5,000	5,000	8,500	【特定財源の費目の略称】 (分):分担金及び負担金 (使):使用料及び手数料 (国):国庫支出金 (県):県支出金 (財):財産収入 (寄):寄付金 (繰):繰入金 (諸):諸収入 (債):市債	
一般財源			5,502	5,473	1,385		

◆評価◆

事業指標の分析と 事業の成果・課題	事業実施による成果は。また、事業指標の実績値からどのような課題を読み取ることができるか。 ※表や図は左ページの空いた部分か、この欄に記載。	
	・ふるさとの丘については、概ね30,000人前後の利用者数で推移しており、安定的な利用が見られる。 ・人件費、光熱水費の上昇に伴い指定管理料は増加している。また、施設も次第に老朽化しているため、今後修繕料等も含め、増加する可能性がある。	
	細事業の実績に関する分析 細事業の目標達成状況は。どのような成果や課題があるか。 ・アルプス広場の陥没修繕については、数年前から事象が見られるようになり、原因を調査したが詳細については判明しなかった。これまで事故等は起きていないが、今回修繕を行い、安全の確保を図った。	
目標に対する 達成度	事業指標の実績値／目標値 ※指標が複数ある場合は平均値。細事業の指標は算入しない。 A 目標をおおむね達成できている（90%以上105%未満） 【凡例】 S：105%以上 A：90%以上105%未満 B：70%以上90%未満 C：70%未満 ー：目標設定なし	

◆改善に向けた取り組み◆

事業の意図の達成や課題解決のための改善案	

款	10	教育費	項	6	社会教育費	目	1	社会教育総務費	事業	7
事務事業名		市民農園管理運営事業								
主管		社会教育課								
事業の概要		市民農園の管理運営（貸付、草刈り等）								
対象		市民								
意図 (対象をどのようにしたいか)		遊休農地が有効利用され、市民の農業体験の場として活用される。								

No.	事業指標	指標の算式	5年度	6年度	評価年度（7年度）		備考
			実績値	実績値	目標値	実績値	
1	市民農園利用率		100%	100%	100%	100%	北割23区画 南割16区画
2							
3							

◆事業の構成（細事業）と実績◆			7年度予算	7年度決算	6年度決算	決算前年度比	
事業費の合計（千円）と前年度比（％）			114	72	87	△ 17.2	
枝番号	3 力 年 対 象	新規・ 拡充	事業費（千円）※予算は現額			指標	目標値
			7年度予算	7年度決算	6年度決算	事務・事業・費用の備考	実績値
1			114	72	87	市民農園利用率	100% 100%
2							
3							
4							
5							
6							
7							
8							
9							
10							
11							
12							
13							
14							
15							
特定財源の内容	(諸) 市民農園使用料		114	114	114	【特定財源の費目の略称】 (分): 分担金及び負担金 (使): 使用料及び手数料 (国): 国庫支出金 (県): 県支出金 (財): 財産収入 (寄): 寄付金 (繰): 繰入金 (諸): 諸収入 (債): 市債	
一般財源			0	0	0		

◆評価◆

事業指標の分析と 事業の成果・課題	事業実施による成果は。また、事業指標の実績値からどのような課題を読み取ることができるか。 ※表や図は左ページの空いた部分か、この欄に記載。		
	・市民農園については安定的に利用があり、空き区画が発生してもすぐに埋まる状況となっている。 ・今後も地権者が土地を貸してくれるかどうかには注視する必要がある。		
目標に対する 達成度	事業指標の実績値／目標値 A	※指標が複数ある場合は平均値。細事業の指標は算入しない。 目標をおおむね達成できている（90%以上105%未満） 【凡例】 S：105%以上 A：90%以上105%未満 B：70%以上90%未満 C：70%未満 ー：目標設定なし	

◆改善に向けた取り組み◆

事業の意図の達成や課題解決のための改善案	

款	10	教育費	項	6	社会教育費	目	1	社会教育総務費	事業	8
事務事業名		十二天の森管理運営事業								
主管		社会教育課								
事業の概要		十二天の森のゾーニングによる適切な整備と維持管理、活用イベントなどの実施。								
対象		市民								
意図 (対象をどのようにしたいか)		十二天の森の適切な整備と維持管理、イベントなどを実施し魅力ある十二天の森とする。市民が魅力ある森と認知する。								

No.	事業指標	指標の算式	5年度	6年度	評価年度（7年度）		備考
			実績値	実績値	目標値	実績値	
1	観察会参加人数		27人	42人	60人	14人	観察会2回→3回
2	イベント参加人数		—	21人	70人	172人	森のコンサート・森工作教室など
3	整備作業参加人数		98人	82人	90人	76人	十二天の森を守る会と共催予定

◆事業の構成（細事業）と実績◆			7年度予算	7年度決算	6年度決算	決算前年度比		
事業費の合計（千円）と前年度比（％）			4,437	4,058	3,017	34.5		
枝番号	3カ年対象	新規・拡充	事業費（千円）※予算は現額			指標	目標値	
			7年度予算	7年度決算	6年度決算	事務・事業・費用の備考	実績値	
1			森の活用推進	158	91	140	参加人数 観察会、活用検討委員会など	60人 186人
2			施設整備	3,178	2,987	2,877	伐採木	20本 57本
3			パンフレット作成	99			改訂パンフレット作製費	1,000枚 0枚
4	★	拡	森の活用拡充	1,002	980		イベント回数 工作体験等イベント	4回 3回
5								
6								
7								
8								
9								
10								
11								
12								
13								
14								
15								
特定財源の内容	(他) 森林環境譲与税		984	892		【特定財源の費目の略称】 (分):分担金及び負担金 (使):使用料及び手数料 (国):国庫支出金 (県):県支出金 (財):財産収入 (寄):寄付金 (繰):繰入金 (諸):諸収入 (債):市債 (他):その他		
	(県) 学びと育ちの森づくり推進事業補助金			1,584				
	(繰) 森林環境譲与税繰入金			87				
一般財源			3,453	1,495	3,017			

◆評価◆

事業指標の分析と 事業の成果・課題	事業実施による成果は。また、事業指標の実績値からどのような課題を読み取ることができるか。 ※表や図は左ページの空いた部分か、この欄に記載。	
	・森の観察会は初夏と秋の2回を予定していたが、初夏は雨天中止となり、秋のみの実施となった。 ・シンガーソングライターの湯沢かよ氏、トモヤアーツ氏らを招き、「Artistic Live in 十二天の森」を開催し、多くの市民が集まり歌と絵画を楽しむことが出来た。また、公民館事業として、夏休み子ども講座や、新たに十二天の森を考える総合学習講座なども行われた。引き続き活用推進を図ることが望まれる。 ・森の日常的な整備については、十二天の森を守る会が中心となって、下草刈りや周辺の草刈り、鳥の巣箱の管理を行っているが、会員数の維持に苦慮している。	
	細事業の実績に関する分析 細事業の目標達成状況は。どのような成果や課題があるか。 ・カシノナガキクイムシの穿孔が進行しており、今後ナラ枯れによる倒木が発生する危険性が高まっている。このため、県の補助金を申請し、1,584千円の交付を受けた。これによりあずまや周辺整備のための伐採も含め、約60本のナラ枯れ危険木の伐採を行った。 ・カシノナガキクイムシ穿孔木の伐採には相当の費用がかかり、伐採した樹木の処分の問題もある。また、これまで針葉樹等の伐採も一切行ってこなかったため、森全体が混みあってきており、これらの間伐にも同様の問題を抱えている。 ・パンフレットは現行のものの残があったため、更新は次年度に見送った。	
目標に対する 達成度	事業指標の実績値／目標値 ※指標が複数ある場合は平均値。細事業の指標は算入しない。 S 目標を大きく上回った（105%以上） 【凡例】 S：105%以上 A：90%以上105%未満 B：70%以上90%未満 C：70%未満 ー：目標設定なし	

◆改善に向けた取り組み◆

事業の意図の達成や課題解決のための改善案	
・観察会の開催時期や内容を検討する必要がある。	

款	10	教育費	項	6	社会教育費	目	1	社会教育総務費	事業	9
事務事業名		文化芸術振興事業								
主管		社会教育課								
事業の概要		文化芸術振興への意識高揚を図る。								
対象		市民（特に子ども）								
意図 (対象をどのようにしたいか)		・ 将来の駒ヶ根市の文化・芸術を支える人材の育成や、市民の多彩な活動を推進する。 ・ 子どもたちの文化芸術活動への参加機会を拡大する。								
No.	事業指標		指標の算式	5年度 実績値	6年度 実績値	評価年度（7年度） 目標値 実績値		備考		
1	子ども音楽祭参加人数			190人	220人	200人 203人		R7の会場は、赤穂公民館		
2	子ども音楽祭参加団体			6団体	6団体	6団体 6団体		R7の会場は、赤穂公民館		
3										

◆事業の構成（細事業）と実績◆			7年度予算	7年度決算	6年度決算	決算前年度比		
事業費の合計（千円）と前年度比（％）			7,337	6,870	6,870	0.0		
枝番号	3 力 年 対 象	新規・ 拡充	事業費（千円）※予算は現額			指標	目標値	
			7年度予算	7年度決算	6年度決算	事務・事業・費用の備考	実績値	
1			エル・システム事業	6,500	6,500	6,500	参加者数	80人 70人
2			駒ヶ根子ども音楽祭開催	720	370	370	開催数	1回 1回
3			その他	117				
4								
5								
6								
7								
8								
9								
10								
11								
12								
13								
14								
15								
特定財源の内容	(繰) ふるさとづくり基金繰入金		6,500	6,500	6,000	【特定財源の費目の略称】 (分): 分担金及び負担金 (使): 使用料及び手数料 (国): 国庫支出金 (県): 県支出金 (財): 財産収入 (寄): 寄付金 (繰): 繰入金 (諸): 諸収入 (債): 市債		
一般財源			837	370	870			

◆評価◆

事業指標の分析と 事業の成果・課題	事業実施による成果は。また、事業指標の実績値からどのような課題を読み取ることができるか。 ※表や図は左ページの空いた部分か、この欄に記載。		
・子ども音楽祭参加者数、参加団体とも目標を達成している。			

◆改善に向けた取り組み◆

事業の意図の達成や課題解決のための改善案	
・エル・システム事業は、音楽を通じて生きる力をはぐくむことをねらいとして実施し、エル・システムの理念を基に、市内の子どもたちへの音楽教育を通じて、忍耐力や協調性、自己表現力などの社会性を身に着けることを目的として事業を進めている。 ・市内小中学校を含めた多くの団体が参加できる音楽祭として継続していく。 ・学校鑑賞教室を継続し、子どもたちが質の高い音楽に触れる機会を確保する。	

款	10	教育費	項	6	社会教育費	目	2	公民館費	事業	1
事務事業名		公民館管理運営事業								
主管		社会教育課								
事業の概要		3 公民館共同事業、運営のための一般管理を行う。								
対象		市民								
意図 (対象をどのようにしたいか)		3 館共催でふるさと講座や平和講座の運営、館報こまがね発行による公民館、分館活動の周知を行う。								

No.	事業指標	指標の算式	5 年度	6 年度	評価年度（7 年度）		備考
			実績値	実績値	目標値	実績値	
1	三館共催 2 講座受講者数		80人	258人	100人	380人	
2							
3							

◆事業の構成（細事業）と実績◆			7 年度予算	7 年度決算	6 年度決算	決算前年度比	
事業費の合計（千円）と前年度比（％）			8,109	7,803	7,856	△ 0.7	
枝番号	3 力年対象	新規・拡充	事業費（千円）※予算は現額			指標	目標値
			7 年度予算	7 年度決算	6 年度決算	事務・事業・費用の備考	実績値
1			公民館長報酬	7,069	7,069	6,993	公民館長 3名 3名
2			駒ヶ根ふるさと講座 駒ヶ根平和講座	224	70	310	開催数 2回 2回
3			館報こまがね発行	406	401	326	発行数 9,400部／1回 3回 3回
4			その他	410	263	227	
5							
6							
7							
8							
9							
10							
11							
12							
13							
14							
15							
特定財源の内容							【特定財源の費目の略称】 (分):分担金及び負担金 (使):使用料及び手数料 (国):国庫支出金 (県):県支出金 (財):財産収入 (寄):寄付金 (繰):繰入金 (諸):諸収入 (債):市債
一般財源			8,109	7,803	7,856		

【特定財源の費目の略称】
(分): 分担金及び負担金
(使): 使用料及び手数料
(国): 国庫支出金 (県): 県支出金
(財): 財産収入 (寄): 寄付金
(繰): 繰入金 (諸): 諸収入
(債): 市債

◆評価◆

事業指標の分析と
事業の成果・課題

事業実施による成果は。また、事業指標の実績値からどのような課題を読み取ることができるか。
※表や図は左ページの空いた部分か、この欄に記載。

・駒ヶ根市公民館協議会主催事業として平和講座(7/12)とふるさと講座(2/7)を実施した。共に目標値を上回った。

・平和講座は戦後80年の節目ということで三公民館の他、上伊那教育会、市教育委員会等の共催事業で実施したこともあり増加につながった。

・ふるさと講座は津野祐次氏の写真展も併せて実施した。

・山岳関係や写真関係の方が興味を持って参加増につながった。

【事業実績】

駒ヶ根ふるさと講座・駒ヶ根市平和講座

年度	回	講座内容/演題	講師/出演者	参加者数
R3	58	Radio ～声と言葉の持つ力～(新型コロナにより延期)8/21(128人) 1/15	FMラジオパーソナリティー ユキ・ラインハート 氏	—
	4	満蒙開拓という歴史が語りかけてくるもの 7/17	(一社)満蒙開拓平和記念館事務局長 三沢 亜紀 氏	88
	59	「はやぶさ2」から「火星」へ (新型コロナにより中止)2/5	澤田弘崇 氏	—
R4	5	上伊那の満蒙開拓団・青少年義勇軍はどのようにして送り出されたか 7/23	日本教育史学会会員 矢澤静二 氏	35
	58	Radio ～声と言葉の持つ力～ 11/19	FMラジオパーソナリティー ユキ・ラインハート 氏	180
	60	「上伊那の景観育成の現状と課題」ー第7回信濃史学会地方講座 10/9	信濃史学会理事 山口通之 氏	50
R5	6	特攻隊に感動と熱狂の上伊那の子どもたち 7/20	日本教育史学会会員 矢澤静二 氏	40
	61	ふるさとから咲け 希望の花火 ～コロナにまけず伊那谷から世界へ～ 3/9	(有)伊那火工 堀内煙火店 工場長・花火師 柴田武晴 氏	65
R6	7	満蒙開拓青少年義勇軍とは何だったのか 7/20	日本教育史学会会員 矢澤静二 氏	94
	62	ふるさと東伊那から世界に羽ばたく ～伊藤文四郎が拓く日本近代建築の夜明け～ 11/23	東京大学名誉教授 江戸東京博物館館長 藤森照信 氏 建築家 香川 浩氏	164
R7	8	戦時体験から痛感する戦争と平和と教育と	講師 元駒ヶ根市教育長 高坂 保 氏 聞き手 日本教育史学会会員 矢澤静二 氏	280
	63	雲上浪漫 ～我が心の中央アルプス～	山岳写真家 津野祐次 氏	100

細事業の実績に関する分析

細事業の目標達成状況は。どのような成果や課題があるか。

・平和講座は4者共催だったこともあり各方面から関係者の参加があり増加につながったが、通常年度における集客が課題となる。

・ふるさと講座は山岳、写真関係者から一定の評価を得ており、津野祐次氏の講演については、継続希望の声が多数上がっている。

館長報酬

市内3公民館の公民館長の報酬 (会計年度任用職員)

赤穂公民館 215,100 円

中沢・東伊那公民館 183,800 円

歴代公民館長

公民館名	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
赤穂公民館	小松民敏	小松民敏	小松民敏	小松民敏	小松民敏
中沢公民館	久保田之義	久保田之義	久保田之義	久保田之義	久保田之義
東伊那公民館	春日由紀夫	春日由紀夫	春日由紀夫	春日由紀夫	春日由紀夫

公民館報 館報駒ヶ根 9,400部/回 3回発行/年

目標に対する
達成度

事業指標の実績値／目標値

※指標が複数ある場合は平均値。細事業の指標は算入しない。

S

目標を大きく上回った(105%以上)

【凡例】S: 105%以上 A: 90%以上105%未満 B: 70%以上90%未満 C: 70%未満 —: 目標設定なし

◆改善に向けた取り組み◆

事業の意図の達成や課題解決のための改善案

・平和講座、ふるさと講座共に集客に向けた広報が例年の課題となっている。

・市報、プレスリリース、ホームページ、ライン以外の方法を模索する必要がある。

款	10	教育費	項	6	社会教育費	目	2	公民館費	事業	2
事務事業名		赤穂公民館管理運営事業								
主管		社会教育課								
事業の概要		学びを通じた地域づくりを目標に、各種学習事業の開催及び施設管理を行う。								
対象		市民								
意図 (対象をどのようにしたいか)		・市民の学びの場として、学級・講座・講演会等の事業を実施する。 ・施設を安全に利用できるよう維持管理を行う。								
No.	事業指標		指標の算式	5年度 実績値	6年度 実績値	評価年度（7年度） 目標値 実績値		備考		
1	赤穂公民館施設利用者数			50,692人	51,394人	54,000人 63,707人				
2	主催学級・講座受講者数			3,869人	4,201人	4,000人 4,824人				
3										
◆事業の構成（細事業）と実績◆				7年度予算	7年度決算	6年度決算	決算前年度比			
事業費の合計（千円）と前年度比（％）				29,739	25,453	25,758	△ 1.2			
枝番号	3 力 年 対 象	新規・ 拡充	事務・事業・費用名	事業費（千円）※予算は現額		指標		目標値		
				7年度予算	7年度決算	6年度決算	事務・事業・費用の備考		実績値	
1			会計年度任用職員	6,662	6,058	5,537	公民館指導員 2名			
2			臨時職員賃金			1,169	1名減			
3			公民館運営審議会	195	139	126	開催数 審議委員15名		3回 3回	
4			学級等開催	427	342	375	5学級数		119回 124回	
5			講座等開催	869	729	600	19講座数		179回 184回	
6			すずらん文化祭	55	55	55	開催数 補助金		1回 1回	
7			赤穂公民館分館交付金	3,055	3,055	3,055	分館数		14分館 14分館	
8			施設管理委託・修繕費	10,104	8,941	8,470	施設管理、警備、清掃、点検、修繕費			
9			その他公民館管理運営事業	8,372	6,134	6,371				
10										
11										
12										
13										
14										
15										
特定財源の内容	(使) 会場使用料外			872	1,364	1,259	【特定財源の費目の略称】 (分): 分担金及び負担金 (使): 使用料及び手数料 (国): 国庫支出金 (県): 県支出金 (財): 財産収入 (寄): 寄付金 (繰): 繰入金 (諸): 諸収入 (債): 市債			
	(諸) 印刷・コピー代			24	22	33				
	(国) 地域少子化対策重点推進交付金			120	120	120				
一般財源				28,723	23,947	24,346				

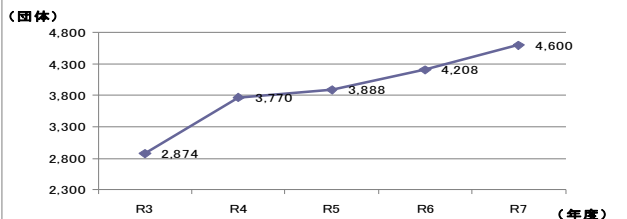
◆評価◆

事業指標の分析と事業の成果・課題	事業実施による成果は、また、事業指標の実績値からどのような課題を読み取ることができるか。 ※表や図は左ページの空いた部分か、この欄に記載。
------------------	--

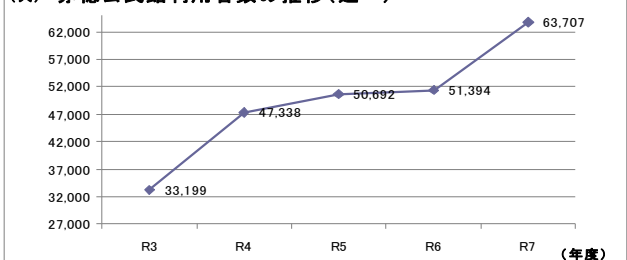
- ・公民館施設利用者数、学級講座受講者数、共に目標値を上回った。
- ・施設利用者については、コロナ後は微増が続くコロナ前に戻ったが、令和7年度は大幅に増加した。
- ・要因は、文化会館の大小ホールの利用停止期間（10月以降半年）及び、公民館ホールの使用団体の増加である。
- ・夕方から夜間にかけてフリースペースで勉強する中・高生の利用が増えた。

【事業実績】学級数5 講座数19

赤穂公民館利用団体数の推移（延べ）



（人）赤穂公民館利用者数の推移（延べ）



赤穂公民館主催 学級・講座内容・受講者数の推移		(単位：人)					
区分	対象又は分野	名称	R3	R4	R5	R6	R7
学級	幼児・親	おやこ学級	36	27	22	28	23
		青年学級	12	11	12	10	10
	青年・成人	成年学級(H27～ふるさと学級)	19	11	11	10	10
		女性セミナー	11	5	休会	休会	8
講座	高齢者	すずらん大学	125	122	121	114	112
		ひよんぴよんキッズ	29	22	18	15	15
	趣味・実用	こども女性囲碁講座	14	11	11	13	17
		おやこリミック教室	16	16	15	15	10
		ハワイとあそびやお	24	20	23	19	16
		旬の野菜でおかずとおつまみ	18	13	13	10	14
		着ものの着つけ	11	9	—	—	—
		「東北文化講座」あの日あったらどうなる?	36	38	38	38	37
		おうちカフェの楽しみ方	31	—	—	—	—
		ミュージックフェア	19	21	11	12	19
		リフレッシュ・ボディーメンテ	20	—	—	—	—
		音楽に合わせて全身運動	—	13	11	17	—
		「おやじい」のアンサンブル	11	15	18	15	18
		暮らしの書～筆ペンで～	24	14	—	—	—
		料理で学ぶ家族の作り方	18	4	—	—	—
		おしんおとこ塾	—	—	5	9	12
		線絵講座	—	—	4	4	6
		クラフト講座	—	—	9	—	—
		布・紙切れっぱしワーク	—	—	—	12	6
		あんしんなスマホ教室	—	—	—	15	20
		健康リンパ体操	—	—	—	—	7
		十二天の森を考える講座	—	—	—	—	8
		はじめてのピラティス	—	—	—	—	12
		農業体験講座	—	—	—	—	12
		ウイスキー講座	—	—	—	—	14
特設講座・季節講座	郷土・歴史	駒ヶ根のお城探訪	—	24	18	19	—
		自然科学	71	90	135	78	69
	子ども	小学生夏休み子ども講座	200	173	153	175	216
		中学生 いち日を英語で過ごす	10	0	—	—	—
分館部員ア クティブ講 座	趣味・実用	和の自然講座～自然の恵を 水の恵で観るづくり～	—	6	—	—	—
		しめ縄づくり「お師匠」養成講座	13	15	14	15	21
	厚生部	ウォーキング・ストレッチ	—	—	—	—	—
		ウォーキング・ストレッチ	—	—	—	—	—
JICA 地域実践 講座	全部員	分館活動研修会	84	22	57	74	61
	教養部	分館報づくり	—	—	—	—	—
	家庭部	キバール交流・防災食講座	—	—	—	—	—
受講者数合計			898	765	815	806	773

細事業の実績に関する分析 細事業の目標達成状況は。どのような成果や課題があるか。

- ・公民館主催事業の利用者は例年並みであり、内容、広報の検討が課題となる。
- ・公民館主催事業は特に高齢女性の参加が多い。働いている成人層をいかに取り込むかが課題である。
- ・分館は少子高齢化に伴う事業の参加者不足が課題となっている。
- ・施設管理はホールの音響・照明・舞台機構や館内清掃・休日夜間の管理業務・警備業務等委託している。

目標に対する達成度	事業指標の実績値／目標値 ※指標が複数ある場合は平均値。細事業の指標は算入しない。 S 目標を大きく上回った（105%以上） 【凡例】 S：105%以上 A：90%以上105%未満 B：70%以上90%未満 C：70%未満 —：目標設定なし
-----------	---

◆改善に向けた取り組み◆

事業の意図の達成や課題解決のための改善案

- ・講座については公民館に来たことのない成人層に向けて夜間や休日の講座を企画する。
- ・親子で参加できる講座や、成人男性をターゲットとした講座を企画する。

款	10	教育費	項	6	社会教育費	目	2	公民館費	事業	3
事務事業名		中沢公民館管理運営事業								
主管		社会教育課								
事業の概要		学びを通じた地域づくりを目標に、各種学習事業の開催及び中沢公民館の管理運営を行う。								
対象		市民								
意図 (対象をどのようにしたいか)		・市民の学びの場として、学級・講座・講演会等の事業を実施する。 ・施設を安全に利用できるよう維持管理を行う。								
No.	事業指標		指標の算式	5年度 実績値	6年度 実績値	評価年度（7年度） 目標値 実績値		備考		
1	公民館等施設利用者数			15,435人	18,964人	17,000人 21,274人				
2	主催学級・講座受講生数			464人	482人	470人 416人				
3										
◆事業の構成（細事業）と実績◆										
事業費の合計（千円）と前年度比（％）				7年度予算	7年度決算	6年度決算	決算前年度比			
				2,041	1,953	1,838	6.3			
枝番号	3 力 年 対 象	新規・ 拡充	事務・事業・費用名	事業費（千円）※予算は現額			指標	目標値		
				7年度予算	7年度決算	6年度決算	事務・事業・費用の備考	実績値		
1			公民館運営審議会	117	100	100	開催数 審議委員9名	3回 3回		
2			学級等開催	130	96	64	5学級	43回 49回		
3			講座等開催	321	321	249	15講座	91回 90回		
4			運動会・文化祭企画運営	79	79	79	開催数 補助金	2回 2回		
5			中沢公民館分館交付金	904	899	900	分館数	12分館 11分館		
6			施設管理運営業務	103	102	100				
7			その他公民館管理運営事業	387	356	346				
8										
9										
10										
11										
12										
13										
14										
15										
特定財源の内容			(国) 地域少子化対策重点推進交付金	14	14	14	【特定財源の費目の略称】 (分): 分担金及び負担金 (使): 使用料及び手数料 (国): 国庫支出金 (県): 県支出金 (財): 財産収入 (寄): 寄付金 (繰): 繰入金 (諸): 諸収入 (債): 市債			
			(諸) 文化団体協力費他	55	56	55				
一般財源				1,972	1,883	1,769				

◆評価◆

事業指標の分析と
事業の成果・課題

事業指標の実績値による成果は、また、事業指標の実績値からどのような課題を読み取ることができるか。
※表や図は左ページの空いた部分か、この欄に記載。

・公民館等施設利用者数は、目標値を上回った。これは放課後、子どもクラブ（子ども交流センター事業）の利用者及び行事等への来館者数が多かったことによるものだと考えられる。

・主催学級・講座受講生数は目標値には届かなかった。考えられる要因は以下のとおりである。

・受講者の高齢化により受講が難しくなった。

・夏休み子ども講座のホッケー教室について、夏に屋外及び冷房設備の整っていない体育施設での運動に熱中症を心配する保護者の声があり、申し込みが伸びなかった。

・年2回行っているお楽しみ映画祭について、上伊那視聴覚ライブラリーで放映権を持っている作品の中から選択し上映しているが、放映権を持っている作品数には限りがあり、過去に上映したことがある作品を再上映せざるを得なかった。

再上映の際は、参加者数が伸びにくい傾向があり、2月は再上映作品であったため参加者数がいつもより少なかった。

【事業実績】

・施設利用団体数：1,184

・主催事業（学級・講座）

・学級数：5、講座数：16

・受講者数：416

（団体）中沢公民館利用団体数の推移（延べ）

<

◆改善に向けた取り組み◆

事業の意図の達成や課題解決のための改善案	
・ニーズの把握に努めるとともに、新たな受講者獲得に繋がる講座を検討する。	

款	10	教育費	項	6	社会教育費	目	2	公民館費	事業	4
事務事業名		東伊那公民館管理運営事業								
主管		社会教育課								
事業の概要		学びを通じた地域づくりを目標に、各種学習事業の開催及び東伊那公民館の管理運営を行う。								
対象		市民								
意図 (対象をどのようにしたいか)		・市民の学びの場として、学級・講座・講演会等の事業を実施する。 ・施設を安全に利用できるよう維持管理を行う。								
No.	事業指標		指標の算式	5年度 実績値	6年度 実績値	評価年度（7年度） 目標値 実績値		備考		
1	公民館等施設利用者数			14,025人	14,146人	14,000人 17,233人				
2	主催学級・講座受講生数			478人	589人	520人 515人				
3										
◆事業の構成（細事業）と実績◆										
事業費の合計（千円）と前年度比（％）				7年度予算	7年度決算	6年度決算	決算前年度比			
				1,440	1,298	1,339	△ 3.1			
枝番号	3 力 年 対 象	新規・ 拡充	事務・事業・費用名	事業費（千円）※予算は現額			指標		目標値	
				7年度予算	7年度決算	6年度決算	事務・事業・費用の備考		実績値	
1			公民館運営審議会	117	109	104	開催数 審議委員9名		3回 3回	
2			学級等開催	125	125	109	4学級		47回 49回	
3			講座等開催	277	277	274	11講座		95回 102回	
4			運動会・文化祭企画運営	76	76	76	開催数 補助金		2回 2回	
5			東伊那公民館分館交付金	483	482	482	分館数		5分館 5分館	
6			施設管理運営業務	110	85	113				
7			その他公民館管理運営事業	252	144	181				
8										
9										
10										
11										
12										
13										
14										
15										
特定財源の内容	(国) 地域少子化対策重点推進交付金			73	73	73	【特定財源の費目の略称】 (分): 分担金及び負担金 (使): 使用料及び手数料 (国): 国庫支出金 (県): 県支出金 (財): 財産収入 (寄): 寄付金 (繰): 繰入金 (諸): 諸収入 (償): 市債			
	(諸) 文化団体協力費他			33	33	33				
一般財源				1,334	1,192	1,233				

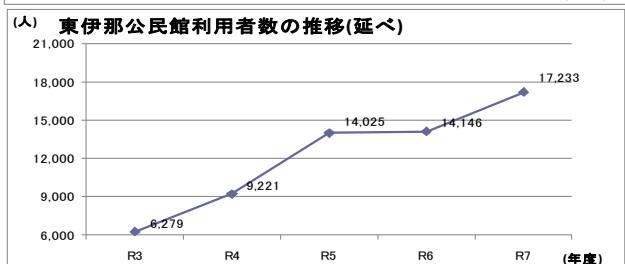
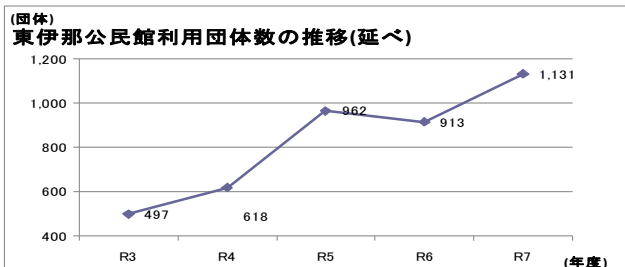
◆評価◆

事業指標の分析と事業の成果・課題	事業実施による成果は、また、事業指標の実績値からどのような課題を読み取ることができるか。 ※表や図は左ページの空いた部分か、この欄に記載。
------------------	--

- ・公民館施設利用者数は目標値を上回った。
- ・要因としては、150周年プロジェクトや区誌など、例年にない行事があったことだと考えられる。
- ・また、子どもクラブ（子ども交流センター事業）に通う児童の数が増加したことも影響している
- ・主催学級・講座受講生数は目標値には届かなかった。
- ・要因としては、児童の減少により、小学生を対象とした講座の参加者数が伸びなかったことが考えられる。

【事業実績】

- ・施設利用団体数：1,131
- ・主催事業（学級・講座）
 - ・学級数：11 講座数：4
 - ・受講者数：515



東伊那公民館主催 学級・講座内容・受講者数の推移 (単位：人)

区分	対象又は分野	名称	R3	R4	R5	R6	R7	備考
学級	幼児・親	親子で楽しむ教室	48	42	52	46	44	
	小学生	わくわく道場	11	11	13	18	10	
	高齢者	ことぶき学級	21	18	18	16	15	
	一般	東伊那盛り上げ隊	15	15	16	18	13	
		新宮川岸ファーマーズ	-	-	5	-	-	
講座	子ども (小・中学生)	少年剣道教室	5	-	-	-	-	
		小学生書道教室	19	19	18	16	17	
		チャレンジホッケー					9	
		囲碁・将棋講座	5	13	8	14	13	
		読書	10	10	10			
	スポーツ	お母さんのエアロビクス	12	文化団体移行				地区からエアロとママヨガ
		ほんわかボッチャ		8	8	11	9	
		モルック同好会		9	21	22	20	
	文化・芸術	陶芸教室	49	46	45	45	45	
		筆ペン入門		18				
		親子でSDGs「竹」				50	35	
	歴史 (郷土・人文)	English Café					12	
		フォト講座				7	13	
		古文書解説	15	文化団体移行				
		令和のカイク教室				35	43	
季節講座	伝統伝承	東伊那再発見講座		37	50	50	52	
		ミニ門松・しめ飾り作り	18	18	18	20	10	
		お楽しみ映画会	24	14	16	15	18	
	健康増進	土素人やさい畑教室	13					
		花・華		9	10			
		お散歩ウォーク	29	24	29	26		
	料理	小学生(夏休み)	178	136	160	150	115	
		小学生(春休み)						
		わくわく食堂		30	31	30	22	
受講者数合計			472	477	528	589	515	

細事業の実績に関する分析 細事業の目標達成状況は、どのような成果や課題があるか。

- ・わくわく道場、ことぶき学級は前年度よりも受講者数が減少した。
- ・わくわく道場については、休日の開催が多いため、習い事との重複を避けるため受講者数が減ってしまった。
- ・ことぶき学級については、長年参加をいただいた受講者が加齢により来館、受講することが難しくなったことが要因と思われる。

目標に対する達成度	事業指標の実績値／目標値	※指標が複数ある場合は平均値。細事業の指標は算入しない。
	S	目標を大きく上回った（105%以上）
	【凡例】 S：105%以上 A：90%以上105%未満 B：70%以上90%未満 C：70%未満 -：目標設定なし	

◆改善に向けた取り組み◆

事業の意図の達成や課題解決のための改善案	「ニーズに沿った講座の開催」を目標に始めた「English Café」の受講者数が多く、中学生から60歳代まで幅広い世代の参加があった。また、課題であった成人層の参加者も多かった。 引き続き、ニーズの把握に努め、講座や地域行事に反映をしていく。
----------------------	---

款	10	教育費	項	6	社会教育費	目	3	図書館費	事業	1
事務事業名		図書館管理運営事業								
主管		社会教育課								
事業の概要		図書・資料を収集して、あらゆる利用者に必要としている知識や資料・情報を提供する。								
対象		市民								
意図 (対象をどのようにしたいか)		読書活動の推進や誰もが利用しやすい図書館づくりを行い、地域の情報の拠点として意識付けをする。								

No.	事業指標	指標の算式	5年度	6年度	評価年度（7年度）		備考
			実績値	実績値	目標値	実績値	
1	貸出利用者数		39,063人	40,164人	39,100人	39,687人	
2	貸出数		196,414冊	194,390冊	194,400冊	191,302冊	
3							

◆事業の構成（細事業）と実績◆			7年度予算	7年度決算	6年度決算	決算前年度比
事業費の合計（千円）と前年度比（％）			18,537	18,331	17,826	2.8

枝番号	3カ年対象	新規・拡充	事務・事業・費用名	事業費（千円）※予算は現額			指標	目標値
				7年度予算	7年度決算	6年度決算		
1	★		図書館・諸資料等の購入	9,615	9,612	9,318	図書購入数	4,000冊 4,143冊
2			図書館協議会	130	52	70	開催数	3回 2回
3	★		ブックスタート・セカンドブック・サードブック事業	820	811	837	ブックスタート等配布数 ブックスタート事業（6ヶ月）、セカンドブック事業（2歳3ヵ月）、サードブック事業（新1年生）	650人 525人
4			図書館システム賃借料・保守委託等	4,183	4,150	4,180	システム稼働率	100% 100%
5			市立図書館指定管理料	3,051	3,011	2,643	指定管理者：駒ヶ根市文化財団	
6			協働電子図書館事業負担金	124	123	123		
7			その他（信毎データベース等）	614	572	655		
8								
9								
10								
11								
12								
13								
特定財源の内容			（財）相川文庫充実基金利子	28	30	5	【特定財源の費目の略称】 （分）：分担金及び負担金 （使）：使用料及び手数料 （国）：国庫支出金（県）：県支出金 （財）：財産収入（寄）：寄付金 （繰）：繰入金（諸）：諸収入 （債）：市債	
			（財）中城文庫充実基金利子	20	22	4		
			（繰）ふるさとづくり基金繰入金	10,000	10,000	10,000		
一般財源				8,489	8,279	7,817		

◆評価◆

事業指標の分析と事業の成果・課題		事業実施による成果は。また、事業指標の実績値からどのような課題を読み取ることができるか。 ※表や図は左ページの空いた部分か、この欄に記載。	
・図書館協議会の回数は、会議内容を図書館で精査し、2回とした。 ・貸出利用者数、貸出冊数とも、目標値にほぼ達している。 ・貸出利用者数、貸出冊数とも、前年度比微減となっているが、R7年度は開館日が2日少なかったことを考慮すると、ほぼ横ばいである。			
(1) 図書購入		単位：冊・千円	
年度	R5	R6	R7
一般図書	1,780	2,081	1,978
児童図書	1,104	1,299	1,108
その他資料	1,147	1,074	1,059
計	4,031	4,454	4,145
図書購入費	9,955	10,155	10,423
(2) 図書館利用実績			
年度	R5	R6	R7
開館日数	286	284	282
蔵書数	180,177	180,930	180,750
貸出利用者数	39,063	40,164	39,687
総貸出冊数	194,390	193,248	191,302
一人当たり貸出数	6.2	6.3	6.3
細事業の実績に関する分析		細事業の目標達成状況は。どのような成果や課題があるか。	
・ブックスタート等配布数は、子どもの数の実数であり、子どもの数に左右される。 ・システム稼働率は、安定的にシステムが稼働しているか指標とし、トラブルなく稼働している。 ・県協働電子図書利用状況は、駒ヶ根市登録者数138人、利用状況242冊であった。			
目標に対する達成度	事業指標の実績値／目標値 ※指標が複数ある場合は平均値。細事業の指標は算入しない。		
	A	目標をおおむね達成できている（90%以上105%未満）	
【凡例】 S：105%以上 A：90%以上105%未満 B：70%以上90%未満 C：70%未満 ー：目標設定なし			
◆改善に向けた取り組み◆			
事業の意図の達成や課題解決のための改善案			
・乳幼児・児童から読書の習慣をつけるため、引き続き、読み聞かせ講座などを実施していく。 ・定着してきた「図書館を使った調べる学習コンクール」を引き続き行い、図書館を利用するきっかけとする。 ・魅力ある図書館として、図書購入数の維持が必要である。			

款	10	教育費	項	6	社会教育費	目	4	博物館費	事業	1
事務事業名		博物館管理運営事業								
主管		社会教育課								
事業の概要		郷土の文化、歴史、自然に関する生涯学習を支援するとともに、文化芸術の振興を図る。								
対象		市民								
意図 (対象をどのようにしたいか)		企画展示などを行うことで、芸術文化や地域の歴史及び、大切に受け継がれてきた文化財の保護・保全の重要性を発信するための活動を行う。								

No.	事業指標	指標の算式	5年度	6年度	評価年度（7年度）		備考
			実績値	実績値	目標値	実績値	
1	博物館展示入場者数		12,567人	13,767人	12,600人	11,525人	
2							
3							

◆事業の構成（細事業）と実績◆			7年度予算	7年度決算	6年度決算	決算前年度比	
事業費の合計（千円）と前年度比（％）			4,252	4,116	2,782	48.0	
枝番号	3 力 年 対 象	新規・拡充	事業費（千円）※予算は現額			指標	目標値
			7年度予算	7年度決算	6年度決算	事務・事業・費用の備考	実績値
1			4,252	4,116	2,782	博物館展示入場者数 指定管理者：駒ヶ根市文化財団・企画展示、博物館収蔵品展の実施・駒展（市内在住長野県美術展出品作品展）、ジュニア駒展の開催	12,600人 11,525人
2							
3							
4							
5							
6							
7							
8							
9							
10							
11							
12							
13							
特定財源の内容	（繰）ふるさとづくり基金繰入金		1,000	1,000		【特定財源の費目の略称】 （分）:分担金及び負担金 （使）:使用料及び手数料 （国）:国庫支出金（県）:県支出金 （財）:財産収入（寄）:寄付金 （繰）:繰入金（諸）:諸収入 （債）:市債	
	（諸）市誌頒布代外		40	61	47		
一般財源			3,212	3,055	2,735		

◆評価◆

事業指標の分析と事業の成果・課題		事業実施による成果は。また、事業指標の実績値からどのような課題を読み取ることができるか。 ※表や図は左ページの空いた部分か、この欄に記載。
・博物館展示入場者数は、目標値に届かなかった。 ・展示内容や貸館事業の規模により、入場者数が変動する。		
・展示事業 ①博物館 - 企画展 5回、入場者 3,277人 ・謎の唐草文土器 5/1～5/31 ・戦後80周年と陸軍登戸研究所の上伊那への疎開 7/1～8/17 ・なつかしの駒ヶ根15mmフィルム上映会 8/23.24 ・第24回駒展・第10回ジュニア駒展 11/7～23 (市内在住長野県美術展出品作家展) ・なつかしの駒ヶ根展 12/20～1/18 ②一般団体展示 8回、入場者 2,608人 ・西駒郷ほっと展、文化団体写真展 ほか ③ロビー展示 入場者 5,640人 - 博物館企画展示 7回、一般団体展示 9回		
細事業の実績に関する分析		細事業の目標達成状況は。どのような成果や課題があるか。
目標に対する達成度	事業指標の実績値／目標値 ※指標が複数ある場合は平均値。細事業の指標は算入しない。	
	A	目標をおおむね達成できている（90%以上105%未満）
【凡例】 S：105%以上 A：90%以上105%未満 B：70%以上90%未満 C：70%未満 ー：目標設定なし		

◆改善に向けた取り組み◆

事業の意図の達成や課題解決のための改善案	
・地域の一般団体・個人展示事業を共催するとともに、収蔵品など企画展示の主催事業を充実させ、地域の宝を再認識してもらう場としていく。 ・R7より開設しているSNS（インスタ）での情報発信を引き続き行う。	

款	10	教育費	項	6	社会教育費	目	5	天竜かっぱ広場費	事業	1
事務事業名		天竜かっぱ広場管理運営事業								
主管		社会教育課								
事業の概要		水辺に親しみ、憩い、ふれあい、学習する場所として、自然体験活動、文化活動の推進を図る。								
対象		市民								
意図 (対象をどのようにしたいか)		ふれあい講座、特別展、かっぱ広場のイベントを通じて、かっぱ館の存在を知り、好きになってもらう。								

No.	事業指標	指標の算式	5年度	6年度	評価年度（7年度）		備考
			実績値	実績値	目標値	実績値	
1	有料入場者数		1,835人	2,157人	1,840人	2,125人	
2	施設利用者総数		6,307人	6,467人	6,300人	3,957人	かっぱ広場含む
3							

◆事業の構成（細事業）と実績◆			7年度予算	7年度決算	6年度決算	決算前年度比	
事業費の合計（千円）と前年度比（％）			2,995	2,452	2,174	12.8	
枝番号	3 力 年 対 象	新規・拡充	事業費（千円）※予算は現額			指標	目標値
			7年度予算	7年度決算	6年度決算	事務・事業・費用の備考	実績値
1			2,225	1,693	2,174	・館収蔵資料・作品の展示、特別展の実施 ・生涯学習を支援し、地域のコミュニティ形成に寄与するための講座の開催 ・竜東地域活性化への協力、かっぱ神社の案内	
2	★	新	770	759		設置数	1台 1台
3							
4							
5							
6							
7							
8							
9							
10							
11							
12							
13							
特定財源の内容	(繰) ふるさとづくり基金繰入金		1,000	1,000		【特定財源の費目の略称】 (分):分担金及び負担金 (使):使用料及び手数料 (国):国庫支出金 (県):県支出金 (財):財産収入 (寄):寄付金 (繰):繰入金 (諸):諸収入 (債):市債	
一般財源			1,995	1,452	2,174		

◆評価◆

事業指標の分析と事業の成果・課題		事業実施による成果は。また、事業指標の実績値からどのような課題を読み取ることができるか。 ※表や図は左ページの空いた部分か、この欄に記載。
・有料入場者数は、目標を達成した。R7年度の特徴としては、8月に多くの来場者があった。観光目的に施設利用されていると推測される。 ・来館アンケートによると、子ども連れの40歳代から50歳代がネットでかっぱ館の存在を知り、初めて来館する方が多い結果となっている。 ・施設利用者総数は、花火大会の利用者カウントの方法を変更したため少なくなっているが、かっぱ広場のイベントなどで多くの来客があった。		
細事業の実績に関する分析		細事業の目標達成状況は。どのような成果や課題があるか。
・空調設備設置を行った。夏季利用環境改善や来客満足向上が期待される。		
目標に対する達成度	事業指標の実績値／目標値 ※指標が複数ある場合は平均値。細事業の指標は算入しない。	
	B	目標をやや達成できなかった（70%以上90%未満）
【凡例】 S：105%以上 A：90%以上105%未満 B：70%以上90%未満 C：70%未満 ー：目標設定なし		

◆改善に向けた取り組み◆

事業の意図の達成や課題解決のための改善案	
・おもしろかっぱ館は「河童伝説の伝承」と「地域活動支援」を主な目的とした施設である。 ・引き続き、収蔵品などの特別展示や地域の活性化と生涯学習を目的とした講座を行い、施設の有効利用に努めていく。 ・また、施設認知向上に向けたイベントなどの情報発信について更に研究していく。	

款	10	教育費	項	6	社会教育費	目	6	総合文化センター費	事業	1
事務事業名		文化センター管理運営事業								
主管		社会教育課								
事業の概要		文化・芸術に親しみ、感性や情操を高めていく場やその機会を提供し、芸術・文化の啓発や意識の向上を図る。								

対象	市民
意図 (対象をどのようにしたいか)	文化芸術の拠点施設として、自主事業を行い、文化芸術に親しんでもらえる環境を整える。

No.	事業指標	指標の算式	5年度	6年度	評価年度(7年度)		備考
			実績値	実績値	目標値	実績値	
1	文化会館自主事業利用者数		7,319人	7,730人	7,300人	5,912人	R7.10~R8.4閉館
2	文化会館自主事業演目数		17件	13件	15件	14件	R7.10~R8.4閉館
3							

◆事業の構成（細事業）と実績◆				7年度予算	7年度決算	6年度決算	決算前年度比	
事業費の合計（千円）と前年度比（％）				229,953	212,458	209,426	1.4	
枝番号	3 力 年 対 象	新規・ 拡充	事務・事業・費用名	事業費（千円）※予算は現額			指標	目標値
				7年度予算	7年度決算	6年度決算	事務・事業・費用の備考	実績値
1	★		文化会館自主事業指定管理料 文化振興基金積立（積立+利子）	10,060	10,060	10,008	入場者数 自主事業決算額 6,486千円 文化振興基金積立（積立+利子） 3,574千円 駒ヶ根市文化振興基金残高 33,724千円（R 7年度末）	7,300人 5,912人
2	★		総合文化センター指定管理料 （施設管理）	54,551	40,622	47,545		
3	★		総合文化センター管理補助金 （人件費）	136,100	134,935	121,602	R6 一般10、嘱託19、臨時5 計34人 ↓ R7 一般12、嘱託15、臨時5 計32人	
4			舞台照明設備リース料・土地賃借料等	29,242	26,841	30,271		
5								
6								
7								
8								
9								
10								
11								
特定財源の内容	(財) 文化振興基金利子			42	61	8	【特定財源の費目の略称】 (分): 分担金及び負担金 (使): 使用料及び手数料 (国): 国庫支出金 (県): 県支出金 (財): 財産収入 (寄): 寄付金 (繰): 繰入金 (諸): 諸収入 (債): 市債	
	(繰) ふるさとづくり基金繰入金			50,000	50,000	40,000		
一般財源				179,911	162,397	169,418		

◆評価◆

事業指標の分析と
事業の成果・課題

事業実施による成果は。また、事業指標の実績値からどのような課題を読み取ることができるか。
※表や図は左ページの空いた部分か、この欄に記載。

文化財団自主事業利用者数、演目数、共に減となっている。
これは、R7.10より半年大ホールが閉館していたことが要因である。
大ホール閉館期間には、地域交流センターホールで事業を行った。

(1) 文化会館自主事業

①支援・参加型事業 4本
郷土芸能まつり、市民音楽祭
伊南子ども劇場、佐野成宏追悼コンサート

②鑑賞型事業 4本
東京スカパラ、夏井いつき、坂本冬美、落語会

③教育育成型事業 6本
小学校音楽鑑賞教室、信毎文化講演会、ジュニア和楽器隊

④総入場者数 5,912人
⑤指定管理料 6,486千円
⑥文化振興基金積立(積立+利子) 3,574千円

(2) 施設利用状況

大ホール

年度	R5	R6	R7
使用日数	124	113	55
実稼働率	46%	42%	20%
利用者数	35,526	32,688	16,818

小ホール

年度	R5	R6	R7
使用日数	84	97	31
実稼働率	28%	33%	10%
利用者数	6,832	6,856	3,336

その他施設利用実績
(軽運動室・音楽室・講習集会室・視聴覚室などの)

年度	R5	R6	R7
実稼働率	39%	39%	32%
利用者数(実数)	16,632	16,606	14,803

細事業の実績に関する分析

細事業の目標達成状況は。どのような成果や課題があるか。

○文化センター管理補助金(人件費補助) 134,934千円

	常勤特別職	正規職員	嘱託職員	臨時職員	計
文化会館・事務局	0	6	2	0	8
図書館	1	5	9	2	17
博物館	1	1	1	0	3
天竜かっぱ広場	1	0	0	3	4
計	3	12	12	5	32

目標に対する
達成度

事業指標の実績値／目標値 ※指標が複数ある場合は平均値。細事業の指標は算入しない。

B 目標をやや達成できなかった(70%以上90%未満)

【凡例】S:105%以上 A:90%以上105%未満 B:70%以上90%未満 C:70%未満 —:目標設定なし

◆改善に向けた取り組み◆

事業の意図の達成や課題解決のための改善案

大ホールの休館が、R8.4で終了したため、年間を通じて利用できるようになる。
市民の代表である評議員の意見、有識者からの提言や、利用者から寄せられた意見などを基に演目を選定し、優れた芸術環境の機会を市民に提供する。

款	10	教育費	項	6	社会教育費	目	6	総合文化センター費	事業	2
事務事業名		文化センター改修事業								
主管		社会教育課								
事業の概要		総合文化センターの長寿命化へ向けた施設の改修を行う。								
対象		市民								
意図 (対象をどのようにしたいか)		市の文化芸術振興を進めていくために、現在の文化センターの機能を維持・継続するため、改修を行う。								

No.	事業指標	指標の算式	5年度	6年度	評価年度（7年度）		備考
			実績値	実績値	目標値	実績値	
1	文化センター改修工事年度計画に対する進捗率				100%	100%	空調工事、屋根外壁工事
2							
3							

◆事業の構成（細事業）と実績◆			7年度予算	7年度決算	6年度決算	決算前年度比		
事業費の合計（千円）と前年度比（％）			938,750	892,778	200,608	345.0		
枝番号	3 力 年 対 象	新規・拡充	事業費（千円）※予算は現額			指標	目標値	
			7年度予算	7年度決算	6年度決算	事務・事業・費用の備考	実績値	
1	★	新	文化センター空調設備改修工事	606,430	574,130	9,900	年度計画に対する進捗率 R6→R7繰越	100% 100%
2		新	文化センター内部タイル改修工事	1,900			年度計画に対する進捗率	100% 0%
3			文化センター屋根・外壁改修工事	330,420	318,648	190,630	年度計画に対する進捗率 R6→R7繰越	100% 100%
4			その他 物品廃棄処分			78		
5								
6								
7								
8								
9								
10								
11								
12								
13								
14								
15								
特定財源の内容			（債）緊急防災・減災事業債	362,700	332,700	9,900	【特定財源の費目の略称】 （分）：分担金及び負担金 （使）：使用料及び手数料 （国）：国庫支出金（県）：県支出金 （財）：財産収入（寄）：寄付金 （繰）：繰入金（諸）：諸収入 （債）：市債	
			（債）【繰越】公共施設等適正管理推進事業債	297,400	286,100	171,400		
			（債）【繰越】緊急防災・減災事業債	240,500	240,500			
一般財源			38,150	33,478	19,308			

◆評価◆

事業指標の分析と 事業の成果・課題	事業実施による成果は。また、事業指標の実績値からどのような課題を読み取ることができるか。 ※表や図は左ページの空いた部分か、この欄に記載。	
	・改修基本計画に基づき、改修工事を実施している。	
細事業の実績に関する分析	細事業の目標達成状況は。どのような成果や課題があるか。	
	・空調設備改修工事は、進捗状況100%である。 ・図書館棟内部タイル改修工事は、ホール棟と同時期に工事をする方が効率が良かったため、R10年度工事予定としている。 よって、進捗状況は0%である。	
目標に対する 達成度	事業指標の実績値／目標値 ※指標が複数ある場合は平均値。細事業の指標は算入しない。	
	A 目標をおおむね達成できている（90%以上105%未満） 【凡例】 S：105%以上 A：90%以上105%未満 B：70%以上90%未満 C：70%未満 ー：目標設定なし	

◆改善に向けた取り組み◆

事業の意図の達成や課題解決のための改善案
・引き続き改修基本計画に基づき改修工事を実施するため、関係団体の意見を聞き、優先順位を予算編成時に決定していく。

款	10	教育費	項	7	保健体育費	目	1	保健体育総務費	事業	2
事務事業名		保健体育総務管理事務								
主管		社会教育課								
事業の概要		スポーツイベント、スポーツ大会、スポーツ教室などを開催し、市民のスポーツ実施機会を提供することで、市民の交流、地域の交流・活性化、市民の心身ともに健康な身体づくりに寄与する。								
対象		市民								
意図 (対象をどのようにしたいか)		市民のスポーツ機会の創出、スポーツ実施率の向上を目指す。								

No.	事業指標	指標の算式	5年度	6年度	評価年度（7年度）		備考
			実績値	実績値	目標値	実績値	
1	市民総体参加者数		1,401人	1,456人	1,500人	1,417人	
2	信州駒ヶ根ハーフマラソン 市民参加者数		910人	916人	1,000人	973人	ハーフマラソンは R8年度～休止予定
3							

◆事業の構成（細事業）と実績◆			7年度予算	7年度決算	6年度決算	決算前年度比
事業費の合計（千円）と前年度比（%）			17,221	14,775	16,928	△ 12.7

枝番号	3 カ 年 対 象	新規・ 拡充	事務・事業・費用名	事業費（千円）※予算は現額			指標	目標値
				7年度予算	7年度決算	6年度決算		
							事務・事業・費用の備考	実績値
1	★		信州駒ヶ根ハーフマラソン事業	9,099	8,717	8,587	市民参加者数	1,000人 973人
2	★		かけっこ教室事業	756	282	437	教室参加者（4年生+市民教室）	350人 284人
3			市民健康づくり推進事業 （運動指導士派遣）	50	50	50	派遣回数	10回 10回
4	★		市民健康づくり推進事業 （幼児運動能力評価）	242	220	220	運動能力評価測定者	150人 140人
5			競技力向上・支援事業 （市町村対抗駅伝支援）	258	247	238	市町村対抗駅伝参加	1回 1回
6			競技力向上・支援事業 （スポーツ団体支援）	1,912	1,911	1,884	支援団体数	2団体 2団体
7			競技力向上・支援事業 （全国大会出場者支援）	483	449	505	全国大会出場者	50人 85人
8	★		競技力向上・支援事業 （トップアスリート交流）	402	254	216	日本体育大学訪問	20人 22人
9			部活動地域移行実施事業	2,710	1,355	3,237	R7年度休日部活移行数	2種目 11種目
10			市民スポーツ活動の推進 （スポーツ推進審議会委員報酬）	70	56	48	審議会開催	2回 2回
11			市民スポーツ活動の推進 （スポーツ推進委員会委員報酬）	384	383	418	スポーツ推進委員会開催	12回 12回
12	★		市民スポーツ活動の推進 （市民総体負担金）	550	550	510	市民総体参加者	1,500人 1,417人
13			市民スポーツ活動の推進 （スポーツ教室の実施）	147	144	120	スポーツ教室参加者	40人 24人
14			その他スポーツ振興に関するもの （ニュースポーツ普及等）	158	157	458		
15								
特定 財源 の 内 容			（諸）スポーツ振興くじ助成金	5,120	6,394	6,400	【特定財源の費目の略称】 （分）：分担金及び負担金 （使）：使用料及び手数料 （国）：国庫支出金（県）：県支出金 （財）：財産収入（寄）：寄付金 （繰）：繰入金（諸）：諸収入 （債）：市債	
			（諸）スポーツ教室参加料	30	30	25		
			（諸）ハーフマラソン大会事務費等	1,400		1,227		
			（県）地域スポーツクラブ活動体制整備助成金	2,710	903			
			（繰）ふるさとづくり基金繰入金	4,000	4,000			
一般財源				3,961	3,448	9,276		

◆評価◆

事業指標の分析と 事業の成果・課題	事業実施による成果は。また、事業指標の実績値からどのような課題を読み取ることができるか。 ※表や図は左ページの空いた部分か、この欄に記載。	
	・市民皆スポーツの推進により、健康の保持増進と体力の向上及び地域間交流の充実を図った。 ・市民総体、信州駒ヶ根ハーフマラソンとも、目標値に近い水準を維持している。 ・これは、各種事業の企画・運営については、関係者による実行委員会の組織運営体制のほか、地域の協力効果も大きく、結果、スポーツを核とした地域間交流の促進につながっていると考えられる。 ・また、関係団体（スポーツ協会、スポーツ少年団、スポーツ推進委員会等）等への継続した支援により、スポーツに参加する機会拡大のほか、中学校の部活動の地域展開の受け皿として、将来を担う子どもたちのスポーツに親しむ機会の維持、拡大につながったと考えられる。 （事業実績） ・第51回市民総合体育大会（18競技） 参加申込：1,417名 ・第12回信州駒ヶ根ハーフマラソン大会 参加申込：4,126名（うち市民：973名） ・中学校の部活動地域展開 運動系11クラブ設立（地域展開）	
	細事業の実績に関する分析 細事業の目標達成状況は。どのような成果や課題があるか。 （第51回市民総合体育大会、第12回信州駒ヶ根ハーフマラソン大会） ・「する、みる、ささえる」の視点から、スポーツイベントを核とした地域間交流の促進には一定の効果があると考えられることから、継続した取組が必要である。 （中学校の部活動の地域展開） ・中学校の部活動の平日の地域展開や地域クラブの持続可能な活動等、将来を担う子どもたちに、スポーツに親しむ機会を提供することは、スポーツ推進計画の推進の点からも、関係団体のさらなる強化と継続した支援が必要であると考えられる。	
目標に対する 達成度	事業指標の実績値／目標値 ※指標が複数ある場合は平均値。細事業の指標は算入しない。	
	A 目標をおおむね達成できている（90%以上105%未満） 【凡例】 S：105%以上 A：90%以上105%未満 B：70%以上90%未満 C：70%未満 ー：目標設定なし	

◆改善に向けた取り組み◆

事業の意図の達成や課題解決のための改善案
・令和10年の国民スポーツ大会に向けた取組を、地域間交流の促進の視点から強力に推進するとともに、さらなる市民のスポーツに対する機運の醸成の契機として、スポーツ推進計画に定める「する、みる、ささえる」の視点から、計画の着実な推進と、次期計画（R10～）に向けた体制強化が必要と考える。

款	10	教育費	項	7	保健体育費	目	1	保健体育総務費	事業	3
事務事業名		国民スポーツ大会運営事業								
主管		社会教育課								
事業の概要		国民スポーツ大会に向け、市および市スポーツ協会、商工会議所などを中心とした組織づくりを行い、大会の成功に向けた組織体制の構築を図る。								
対象		市、市民、市スポーツ協会、商工会議所など								
意図 (対象をどのようにしたいか)		国民スポーツ大会の成功に向けた組織の構築を図る。								

No.	事業指標	指標の算式	5年度	6年度	評価年度（7年度）		備考
			実績値	実績値	目標値	実績値	
1	実行委員会組織化		—	—	1件	1件	
2							
3							

◆事業の構成（細事業）と実績◆			7年度予算	7年度決算	6年度決算	決算前年度比	
事業費の合計（千円）と前年度比（％）			5,100	4,056	1,854	118.8	
枝番号	3 力 年 対 象	新規・ 拡充	事業費（千円）※予算は現額			指標	目標値
			7年度予算	7年度決算	6年度決算	事務・事業・費用の備考	実績値
1		拡	実業団観戦ツアーバス借上げ	330		305	実業団観戦ツアー 50人 0人
2	★	新	国民スポーツ大会実行委員会負担金	4,610	3,941		実行委員会組織化 1件 1件
3			その他事務	160	115	1,549	
4							
5							
6							
7							
8							
9							
10							
11							
12							
13							
14							
15							
特定財源の内容	(県)元気づくり支援金			669	457	【特定財源の費目の略称】 (分):分担金及び負担金 (使):使用料及び手数料 (国):国庫支出金 (県):県支出金 (財):財産収入 (寄):寄付金 (繰):繰入金 (諸):諸収入 (債):市債	
一般財源			4,770	3,387	1,092		

◆評価◆

事業指標の分析と 事業の成果・課題	事業実施による成果は。また、事業指標の実績値からどのような課題を読み取ることができるか。 ※表や図は左ページの空いた部分か、この欄に記載。	
	・令和7年8月26日（火）市民・各種関係団体・行政からなる101名を参集し、第82回国民スポーツ大会駒ヶ根市実行委員会の設立総会および第1回総会を開催した。オープニングセレモニーとして、地元の成年ホッケーチーム「アルピニスタ信州」の選手に決意表明をしてもらい、実行委員会の機運醸成を図ることができた。 ・令和7年12月25日（木）第1回常任委員会および第2回総会を開催した。 ・今後、4つの専門委員会を構成し、それぞれにおける大会運営の基本計画を策定し、詳細な内容を検討したいと考えている。	
細事業の実績に関する分析	細事業の目標達成状況は。どのような成果や課題があるか。	
目標に対する 達成度	事業指標の実績値／目標値 ※指標が複数ある場合は平均値。細事業の指標は算入しない。 A 目標をおおむね達成できている（90%以上105%未満） 【凡例】 S：105%以上 A：90%以上105%未満 B：70%以上90%未満 C：70%未満 ー：目標設定なし	

◆改善に向けた取り組み◆

事業の意図の達成や課題解決のための改善案
・市民総参加の国民スポーツ大会となるよう、早急に市民へのPRが必要と考える。 ・詳細については、来年度の早い時期に専門委員会を開催し各基本計画を策定する。

款	10	教育費	項	7	保健体育費	目	2	体育施設費	事業	1
事務事業名		体育施設整備運営事業								
主管		社会教育課								
事業の概要		体育施設の安全な維持管理を行うとともに、施設の有効的な利用促進・運営を行う。								
対象		市民								
意図 (対象をどのようにしたいか)		市民が安全に利用できるスポーツ施設の維持を行う。								

No.	事業指標	指標の算式	5年度	6年度	評価年度（7年度）		備考
			実績値	実績値	目標値	実績値	
1	施設利用者総数		172,456人	185,060人	171,970人	177,839	人口減少も考慮し利用者維持を目指す
2	施設管理不備による事故案件		0件	0件	0件	0件	
3							

◆事業の構成（細事業）と実績◆

事業費の合計（千円）と前年度比（％）		7年度予算	7年度決算	6年度決算	決算前年度比
		137,577	136,383	127,749	6.8

枝番号	3 力 年 対 象	新規・拡充	事務・事業・費用名	事業費（千円）※予算は現額			指標	目標値
				7年度予算	7年度決算	6年度決算	事務・事業・費用の備考	実績値
1			指定管理者等による体育施設管理運営事業 ①体育館等管理運営	32,193	32,193	31,854	指定管理者による管理業務委託	
2			指定管理者等による体育施設管理運営事業 ②マレットゴルフ場等管理運営	12,922	12,922	13,044	指定管理者による管理業務委託	
3			子育て全力応援関連事業 アルプスドーム開放使用料	350	350	350	開放日数	48日 48日
4			指定管理者等による体育施設管理運営事業 ③高原庭球場等管理運営	437	437	410	指定管理者による管理業務委託	
5			指定管理者等による体育施設管理運営事業 ④中山運動場管理	40	39	39	管理委託	
6			指定管理者等による体育施設管理運営事業 ⑤地区マレットゴルフ場管理運営	91	91	91	管理委託	
7			竜東学校開放施設管理事業 (中沢・東伊那小)	426	426	425	施錠、消灯等確認委託	
8			体育施設修繕及び改修工事等事業 中沢農村グラウンド詳細設計			499		
9			体育施設修繕及び改修工事等事業 社会体育館床面等改修工事			73,871		
10	★		体育施設修繕及び改修工事等事業 農村交流広場LED等改修工事	70,609	70,609		年度計画に対する進捗率 当年度改修工事	100% 100%
11			下平サイクリングロード占用廃止関連事業					
12		新	中山運動場 バックネット撤去工事	2,000	920		年度計画に対する進捗率 廃止に伴う撤去事業	100% 100%
13			その他施設関連事業	18,509	18,396	7,166	危険木伐採、施設修繕、備品購入費 土地賃借料、光熱水費、リース料等	
特定財源の内容			(国) 地域少子化対策重点推進交付金	233	233		【特定財源の費目の略称】 (分): 分担金及び負担金 (使): 使用料及び手数料 (国): 国庫支出金 (県): 県支出金 (財): 財産収入 (寄): 寄付金 (繰): 繰入金 (諸): 諸収入 (債): 市債	
			(債) 公共施設等適正管理推進事業債	25,200	24,600	18,300		
			(債) 脱炭素化推進事業債	23,400	22,300	3,200		
			(財) 下平体育館太陽光屋根貸付	37	38	38		
			(使) 小学校施設使用料	800	1,098	1,129		
			(使) 中学校施設使用料	150	515	486		
			(諸) スポーツ振興くじ助成金	20,000	16,000	47,128		
			(諸) 武道館太陽光売電料	252	239	240		
			(繰) ふるさとづくり基金繰入金	20,000	20,000			
一般財源				47,505	51,360	57,228		

◆評価◆

事業指標の分析と 事業の成果・課題	事業実施による成果は。また、事業指標の実績値からどのような課題を読み取ることができるか。 ※表や図は左ページの空いた部分か、この欄に記載。						
	- 施設利用者総数については、前年度を上回るとともに、事故件数は引き続き0件であった - 指定管理者との連携により、体育施設の有効な活用と安全な維持管理及び運営に取り組んだ結果であるとする。						
細事業の実績に関する分析	細事業の目標達成状況は。どのような成果や課題があるか。 - 施設利用者数については、概ね17万人程度で推移しており、指定管理者との連携や適切な維持管理に努めた結果である。 - 一方で、市内体育施設等については、施設の老朽化（雨漏り、グラウンド雨水排水処理能力低下、照明設備の老朽化等）が進行しており、計画的な整備が必要な状況にある。 - あわせて、利用者が快適に利用できる衛生設備（トイレの洋式化等）の改修、バリアフリー化（手すり等の設置、みんなのトイレ化）も必要であり、利用者からの改修要望（社会体育館、武道館、弓道場等）もある状況である。						
目標に対する 達成度	<table border="1"> <tr> <td data-bbox="379 1447 464 1480"> 事業指標の実績値／目標値 </td><td data-bbox="464 1447 1481 1480"> ※指標が複数ある場合は平均値。細事業の指標は算入しない。 </td></tr> <tr> <td data-bbox="379 1480 464 1547"> A </td><td data-bbox="464 1480 1481 1547"> 目標をおおむね達成できている（90%以上105%未満） </td></tr> <tr> <td colspan="2" data-bbox="379 1547 1481 1576"> 【凡例】 S：105%以上 A：90%以上105%未満 B：70%以上90%未満 C：70%未満 ー：目標設定なし </td></tr> </table>	事業指標の実績値／目標値	※指標が複数ある場合は平均値。細事業の指標は算入しない。	A	目標をおおむね達成できている（90%以上105%未満）	【凡例】 S：105%以上 A：90%以上105%未満 B：70%以上90%未満 C：70%未満 ー：目標設定なし	
事業指標の実績値／目標値	※指標が複数ある場合は平均値。細事業の指標は算入しない。						
A	目標をおおむね達成できている（90%以上105%未満）						
【凡例】 S：105%以上 A：90%以上105%未満 B：70%以上90%未満 C：70%未満 ー：目標設定なし							

◆改善に向けた取り組み◆

事業の意図の達成や課題解決のための改善案
利用者が安全かつ快適に利用できる環境整備が、利用者増加に直結することから、引き続き、財源確保に努めながら、計画的な施設整備を実施する必要がある。

款	10	教育費	項	7	保健体育費	目	2	体育施設費	事業	2
事務事業名		国民スポーツ大会施設整備事業								
主管		社会教育課								
事業の概要		国民スポーツ大会を開催するため、日本ホッケー協会の公認グラウンドとして馬住ヶ原運動場をホッケー競技会場として整備する。								
対象		市民、国民スポーツ大会ホッケー競技参加者								
意図 (対象をどのようにしたいか)		国民スポーツ大会開催のため、日本ホッケー協会の公認取得を目指した施設整備をする。								

No.	事業指標	指標の算式	5年度	6年度	評価年度（7年度）		備考
			実績値	実績値	目標値	実績値	
1	大会会場整備		—	100%	100%	100%	
2							
3							

◆事業の構成（細事業）と実績◆			7年度予算	7年度決算	6年度決算	決算前年度比	
事業費の合計（千円）と前年度比（％）			42,500	39,017	18,238	113.9	
枝番号	3 力 年 対 象	新規・ 拡充	事業費（千円）※予算は現額			指標	目標値
			7年度予算	7年度決算	6年度決算	事務・事業・費用の備考	実績値
1	★	新	馬住ヶ原運動場LED化照明設備工事	42,000	38,962		大会会場整備工事進捗率 100% 100%
2			馬住ヶ原運動場ホッケー場整備 実施設計業務委託			18,238	
3			その他	500	55		
4							
5							
6							
7							
8							
9							
10							
11							
12							
13							
14							
15							
特定財源の内容			（債）脱炭素化推進事業債	37,800	37,800		【特定財源の費目の略称】 （分）：分担金及び負担金 （使）：使用料及び手数料 （国）：国庫支出金（県）：県支出金 （財）：財産収入（寄）：寄付金 （繰）：繰入金（諸）：諸収入 （債）：市債
			（県）市町村競技施設整備費補助金			9,961	
一般財源			4,700	1,217	8,277		

◆評価◆

事業指標の分析と 事業の成果・課題	事業実施による成果は。また、事業指標の実績値からどのような課題を読み取ることができるか。 ※表や図は左ページの空いた部分か、この欄に記載。	
	・工期内に遅延することなく、照明設備をLED化することができた。	
細事業の実績に関する分析	細事業の目標達成状況は。どのような成果や課題があるか。 ・屋外施設で球技を実施するために必要な照度は十分に確保できた。（競技面：400lx以上 その他：250lx～350lx） ・既存の撤去した64基の照明設備の安定器はPCB使用の疑いがあり、処理、保管について県に報告。指導により、市施設内に設置した保管用ドラム缶に保管した。処分については、国の指示が示されるまで市施設内で保管する。	
目標に対する 達成度	事業指標の実績値／目標値 ※指標が複数ある場合は平均値。細事業の指標は算入しない。	
	A 目標をおおむね達成できている（90%以上105%未満） 【凡例】 S：105%以上 A：90%以上105%未満 B：70%以上90%未満 C：70%未満 ー：目標設定なし	

◆改善に向けた取り組み◆

事業の意図の達成や課題解決のための改善案 ・令和8年度に馬住ヶ原運動場人工芝新設等改修工事を予定しており、完成後の令和9年度以降の利活用について、関係団体等と協議し多くの市民が利活用できる仕組みづくりを目指す。	
---	--

款	10	教育費	項	7	保健体育費	目	3	学校給食費	事業	1
事務事業名		学校給食センター管理事務								
主管		子ども課								
事業の概要		学校給食センター共有部分の管理を行う。								
対象		児童・生徒等								
意図 (対象をどのようにしたいか)		学校給食センター共有部分の管理を行う。								
No.	事業指標	指標の算式	5年度 実績値	6年度 実績値	評価年度（7年度） 目標値 実績値		備考			
1	給食提供率		100%	100%	100%	100%				
2	食中毒発生率		0%	0%	0%	0%				
3	給食センター稼働率		100%	100%	100%	100%				
◆事業の構成（細事業）と実績◆										
事業費の合計（千円）と前年度比（％）			7年度予算	7年度決算	6年度決算	決算前年度比				
			209,574	192,482	169,527	13.5				
枝番号	3 力 年 対 象	新規・拡充	事業費（千円）※予算は現額			指標	目標値			
			7年度予算	7年度決算	6年度決算	事務・事業・費用の備考	実績値			
1			6,243	4,905	5,950	事務・栄養士 各1名				
2			8,536	8,536	8,536	コンテナ車運搬				
3			3,867	3,847	2,612	廃棄物運搬				
4			183,308	169,933	145,672					
5			3,961	2,769	3,526					
6			3,659	2,492	3,231					
7										
8										
9										
10										
11										
12										
13										
14										
特定財源の内容						【特定財源の費目の略称】 (分):分担金及び負担金 (使):使用料及び手数料 (国):国庫支出金 (県):県支出金 (財):財産収入 (寄):寄付金 (繰):繰入金 (諸):諸収入 (債):市債				
一般財源			209,574	192,482	169,527					

【特定財源の費目の略称】
(分):分担金及び負担金
(使):使用料及び手数料
(国):国庫支出金 (県):県支出金
(財):財産収入 (寄):寄付金
(繰):繰入金 (諸):諸収入
(債):市債

◆評価◆

事業指標の分析と 事業の成果・課題	事業実施による成果は。また、事業指標の実績値からどのような課題を読み取ることができるか。 ※表や図は左ページの空いた部分か、この欄に記載。	
	・急な食材の変更によりメニューの変更などがあったが、給食提供率、センター稼働率はともに100%を達成できた。 ・食中毒については、発生しなかった。 ・地産地消コーディネーターを雇用することにより地産地消率を維持することができた。 ・給食費については、原年度分は引き続き徴収率100%を維持することができたが、過年度分については徴収率は低く課題が残る。	
	細事業の実績に関する分析 細事業の目標達成状況は。どのような成果や課題があるか。 ・市内3センターの老朽化が課題である。 ・給食費現年度分は、高い徴収率を維持できているため引き続き適正な徴収に努める。 過年度分は、債権管理室等とも連携を取りながら対応を進める。	
目標に対する 達成度	事業指標の実績値／目標値 ※指標が複数ある場合は平均値。細事業の指標は算入しない。 A 目標をおおむね達成できている（90%以上105%未満） 【凡例】 S：105%以上 A：90%以上105%未満 B：70%以上90%未満 C：70%未満 ―：目標設定なし	

◆改善に向けた取り組み◆

事業の意図の達成や課題解決のための改善案	
・給食センター稼働率を引き続き100%にするため、施設および機器類の定期点検、故障箇所の早期発見に努める。	

款	10	教育費	項	7	保健体育費	目	3	学校給食費	事業	2
事務事業名		赤穂南学校給食センター管理運営事業								
主管		子ども課								
事業の概要		赤穂東小・赤穂南小への学校給食の提供のため、物資の調達、施設管理、献立作成、衛生管理等を行う。								

対象	児童・生徒等
意図 (対象をどのようにしたいか)	赤穂東小・赤穂南小への学校給食の提供のため、物資の調達、施設管理、献立作成、衛生管理等を行う。

No.	事業指標	指標の算式	5年度	6年度	評価年度（7年度）		備考
			実績値	実績値	目標値	実績値	
1	給食提供率		100%	100%	100%	100%	
2	食中毒発生率		0%	0%	0%	0%	
3	給食センター稼働率		100%	100%	100%	100%	

◆事業の構成（細事業）と実績◆				7年度予算	7年度決算	6年度決算	決算前年度比	
事業費の合計（千円）と前年度比（％）				79,089	68,871	67,064	2.7	
枝番号	3 力 年 対 象	新規・ 拡充	事務・事業・費用名	事業費（千円）※予算は現額			指標	目標値
				7年度予算	7年度決算	6年度決算	事務・事業・費用の備考	実績値
1			給食食材費	43,301	40,879	42,564		
2		拡	学校給食物価高騰対策事業	7,659	7,435	3,772	前年比保護者負担の増 小学校60円、中学校70円補助	0円 0円
3			施設管理委託料	1,432	1,246	827		
4			光熱水費	17,640	14,239	14,827		
5			LED照明工事	3,600			照明工事 R7→R8線越	
6			その他	5,457	5,072	5,074	管理運営用消耗品費等	
7			【令和7年度→令和8年度線越】 〈事業の内容〉 LE D照明導入事業（赤穂学校給食センター外）				線越額 3,600	
8								
9								
10			〈特定財源の内容〉 （債）脱炭素化推進事業債				3,200	
11								
12								
13								
14								
15								
特定財源の内容	（諸）給食費			43,300	40,879	42,564	【特定財源の費目の略称】 （分）:分担金及び負担金 （使）:使用料及び手数料 （国）:国庫支出金（県）:県支出金 （財）:財産収入（寄）:寄付金 （繰）:繰入金（諸）:諸収入 （債）:市債	
	（国）物価対策重点支援地方創生臨時交付金			5,696	5,513	2,889		
	（債）脱炭素化推進事業債			3,200				
一般財源				26,893	22,479	21,611		

◆評価◆

事業指標の分析と 事業の成果・課題	事業実施による成果は。また、事業指標の実績値からどのような課題を読み取ることができるか。 ※表や図は左ページの空いた部分か、この欄に記載。	
	・急な食材の変更によりメニューの変更などがあったが、給食提供率、センター稼働率はともに100%を達成できた。 ・食中毒については、発生することはなかった。 ・賄い材料費については、当初小学校40円、中学校50円補助。物価高騰により12月～各20円増、1月～米価高騰補助1,798円/10kgの補助金額の増とすることで保護者負担額が増加しないよう対応した。	
細事業の実績に関する分析	細事業の目標達成状況は。どのような成果や課題があるか。 ・給食センターの老朽化が課題である。 ・調理器具類の故障を避けるため、定期的な点検と計画的な更新が必要である。	
目標に対する 達成度	事業指標の実績値／目標値 ※指標が複数ある場合は平均値。細事業の指標は算入しない。 A 目標をおおむね達成できている（90%以上105%未満） 【凡例】 S：105%以上 A：90%以上105%未満 B：70%以上90%未満 C：70%未満 ー：目標設定なし	

◆改善に向けた取り組み◆

事業の意図の達成や課題解決のための改善案	
・給食を安定的に提供するため、施設および機器類の故障を早期発見することが重要である。そのため、定期的な点検などが必要である。	

款	10	教育費	項	7	保健体育費	目	3	学校給食費	事業	3
事務事業名		赤穂学校給食センター管理運営事業								
主管		子ども課								
事業の概要		赤穂小・赤穂中への学校給食の提供のため、物資の調達、施設管理、献立作成、衛生管理等を行う。								
対象		児童・生徒等								
意図 (対象をどのようにしたいか)		赤穂小・赤穂中への学校給食の提供のため、物資の調達、施設管理、献立作成、衛生管理等を行う。								

No.	事業指標	指標の算式	5年度	6年度	評価年度（7年度）		備考
			実績値	実績値	目標値	実績値	
1	給食提供率		100%	100%	100%	100%	
2	食中毒発生率		0%	0%	0%	0%	
3	給食センター稼働率		100%	100%	100%	100%	

◆事業の構成（細事業）と実績◆			7年度予算	7年度決算	6年度決算	決算前年度比
事業費の合計（千円）と前年度比（％）			134,541	120,460	107,156	12.4

枝番号	3 力 年 対 象	新規・ 拡充	事務・事業・費用名	事業費（千円）※予算は現額			指標	目標値	
				7年度予算	7年度決算	6年度決算			事務・事業・費用の備考
1			給食食材費	81,830	75,587	76,582			
2		拡	学校給食物価高騰対策事業	14,904	14,394	6,731	前年比保護者負担の増 小学校60円、中学校70円補助	0円 0円	
3			施設管理委託料	1,681	773	1,163			
4			光熱水費	15,660	12,957	13,443			
5		新	調理設備等の整備等	3,837	3,531		設置箇所 配膳室空調機・冷蔵庫取付	2力所 2力所	
6			LED証明工事	2,600			照明工事 R7→R8繰越		
7			その他	14,029	13,218	9,237	管理運営用消耗品費等		
8			【令和7年度→令和8年度繰越】				繰越額		
9			〈事業の内容〉 LED照明導入事業（赤穂学校給食センター外）					2,600	
10									
11			〈特定財源の内容〉 （債）脱炭素化推進事業債				2,300		
12									
13									
14									
15									
特定財源の内容	（諸）給食費			81,829	75,587	76,582	【特定財源の費目の略称】 （分）:分担金及び負担金 （使）:使用料及び手数料 （国）:国庫支出金（県）:県支出金 （財）:財産収入（寄）:寄付金 （繰）:繰入金（諸）:諸収入 （債）:市債		
	（国）物価対策重点支援地方創生臨時交付金			11,586	11,081	4,995			
	（債）脱炭素化推進事業債			2,300					
一般財源				38,826	33,792	25,579			

◆評価◆

事業指標の分析と 事業の成果・課題	事業実施による成果は。また、事業指標の実績値からどのような課題を読み取ることができるか。 ※表や図は左ページの空いた部分か、この欄に記載。	
	・急な食材の変更によりメニューの変更などがあったが、給食提供率、センター稼働率はともに100%を達成できた。 ・食中毒については、発生することはなかった。 ・賄い材料費については、当初小学校40円、中学校50円補助。物価高騰により12月～各20円増、1月～米価高騰補助1,798円/10kgの補助金額の増とすることで保護者負担額が増加しないよう対応した。	
細事業の実績に関する分析	細事業の目標達成状況は。どのような成果や課題があるか。 ・給食センターの老朽化が課題である。 ・調理器具類の故障を避けるため、定期的な点検と計画的な更新が必要である。	
目標に対する 達成度	事業指標の実績値／目標値 ※指標が複数ある場合は平均値。細事業の指標は算入しない。 A 目標をおおむね達成できている（90%以上105%未満） 【凡例】 S：105%以上 A：90%以上105%未満 B：70%以上90%未満 C：70%未満 ー：目標設定なし	

◆改善に向けた取り組み◆

事業の意図の達成や課題解決のための改善案 ・給食を安定的に提供するため、施設および機器類の故障を早期発見することが重要である。そのため、定期的な点検などが必要である。	
---	--

款	10	教育費	項	7	保健体育費	目	3	学校給食費	事業	4
事務事業名		竜東学校給食センター管理運営事業								
主管		子ども課								
事業の概要		中沢小・東伊那小・東中への学校給食の提供のため、物資の調達、施設管理、献立作成、衛生管理等を行う。								

対象	児童・生徒等
意図 (対象をどのようにしたいか)	中沢小・東伊那小・東中への学校給食の提供のため、物資の調達、施設管理、献立作成、衛生管理等を行う。

No.	事業指標	指標の算式	5年度	6年度	評価年度（7年度）		備考
			実績値	実績値	目標値	実績値	
1	給食提供率		100%	100%	100%	100%	
2	食中毒発生率		0%	0%	0%	0%	
3	給食センター稼働率		100%	100%	100%	100%	

◆事業の構成（細事業）と実績◆				7年度予算	7年度決算	6年度決算	決算前年度比	
事業費の合計（千円）と前年度比（％）				37,336	33,459	32,325	3.5	
枝番号	3 力 年 対 象	新規・ 拡 充	事務・事業・費用名	事業費（千円）※予算は現額			指標	目標値
				7年度予算	7年度決算	6年度決算	事務・事業・費用の備考	実績値
1			給食食材費	25,125	23,320	24,476		
2		拡	学校給食物価高騰対策事業	4,651	4,386	2,166	前年比保護者負担の増 小学校60円、中学校70円補助	0円 0円
3			施設管理委託料	445	222	255		
4			燃料費、光熱水費	4,072	2,965	2,939		
5			その他	3,043	2,566	2,489	管理運営用消耗品費等	
6								
7								
8								
9								
10								
11								
12								
13								
14								
15								
特定財源の内容			（諸）給食費	25,124	23,320	24,476	【特定財源の費目の略称】 （分）：分担金及び負担金 （使）：使用料及び手数料 （国）：国庫支出金（県）：県支出金 （財）：財産収入（寄）：寄付金 （繰）：繰入金（諸）：諸収入 （償）：市債	
			（国）物価対策重点支援地方創生臨時交付金	3,199	3,047	1,467		
一般財源				9,013	7,092	6,382		

◆評価◆

事業指標の分析と 事業の成果・課題	事業実施による成果は。また、事業指標の実績値からどのような課題を読み取ることができるか。 ※表や図は左ページの空いた部分か、この欄に記載。	
	・急な食材の変更によりメニューの変更などがあったが、給食提供率、センター稼働率はともに100%を達成できた。 ・食中毒については、発生することはなかった。 ・賄い材料費については、当初小学校40円、中学校50円補助。物価高騰により12月～各20円増、1月～米価高騰補助1,798円/10kgの補助金額の増とすることで保護者負担額が増加しないよう対応した。	
細事業の実績に関する分析	細事業の目標達成状況は。どのような成果や課題があるか。 ・給食センターの老朽化が課題である。	
目標に対する 達成度	事業指標の実績値／目標値 ※指標が複数ある場合は平均値。細事業の指標は算入しない。 A 目標をおおむね達成できている（90%以上105%未満） 【凡例】 S：105%以上 A：90%以上105%未満 B：70%以上90%未満 C：70%未満 ー：目標設定なし	

◆改善に向けた取り組み◆

事業の意図の達成や課題解決のための改善案 ・給食を安定的に提供するため、施設および機器類の故障を早期発見することが重要である。そのため、定期的な点検などが必要である。 ・竜東学校給食センターについては、建て替えについて検討を進める。	
---	--

款	11	災害復旧費	項	2	公共土木施設災害復旧費	目	2	現年発生公共土木施設災害復旧費	事業	1
事務事業名		現年発生公共土木施設災害復旧事業								
主管		建設課								
事業の概要		豪雨による道路施設の災害復旧								
対象		市道								
意図 (対象をどのようにしたいか)		豪雨により被災した道路施設の復旧を行い、通行を確保する。								

No.	事業指標	指標の算式	5年度	6年度	評価年度（7年度）		備考
			実績値	実績値	目標値	実績値	
1	市道災害復旧					1箇所	
2							
3							

◆事業の構成（細事業）と実績◆			7年度予算	7年度決算	6年度決算	決算前年度比	
事業費の合計（千円）と前年度比（％）			10,300	8,406		皆増	
枝番号	3 力 年 対 象	新規・ 拡充	事業費（千円）※予算は現額			指標	目標値
			7年度予算	7年度決算	6年度決算	事務・事業・費用の備考	実績値
1			7月3日豪雨による災害復旧事業 3-61号線 東伊那	10,300	8,406		災害復旧工事 － 1箇所
2							
3							
4							
5							
6							
7							
8							
9							
10							
11							
12							
13							
14							
15							
特定財源の内容	(国) 現年発生公共土木施設災害復旧費国庫負担金		4,069	4,069		【特定財源の費目の略称】 (分):分担金及び負担金 (使):使用料及び手数料 (国):国庫支出金 (県):県支出金 (財):財産収入 (寄):寄付金 (繰):繰入金 (諸):諸収入 (債):市債	
	(債) 現年発生公共土木施設災害復旧事業債		4,300	3,700			
一般財源			1,931	637			

◆評価◆

事業指標の分析と事業の成果・課題		事業実施による成果は。また、事業指標の実績値からどのような課題を読み取ることができるか。 ※表や図は左ページの空いた部分か、この欄に記載。	
・7月3日の豪雨により発生した市道3-61号線東伊那の法面復旧工事を行った。			
【事業実績】 ○道路災害復旧工事 1路線 ・3-61号線 東伊那 復旧延長L=8m W=3.5m			
細事業の実績に関する分析		細事業の目標達成状況は。どのような成果や課題があるか。	
目標に対する達成度		事業指標の実績値／目標値 ※指標が複数ある場合は平均値。細事業の指標は算入しない。 ー 目標設定なし 【凡例】 S：105%以上 A：90%以上105%未満 B：70%以上90%未満 C：70%未満 ー：目標設定なし	

◆改善に向けた取り組み◆

事業の意図の達成や課題解決のための改善案	

款	12	公債費	項	1	公債費	目	1	元金	事業	1
事務事業名		起債元金償還事務								
主管		財政課								
事業の概要		起債元金の償還を行う。								
対象		市（財政運営）								
意図 (対象をどのようにしたいか)		一般会計の起債残高の削減に向けた抜本的改革を進めることにより、将来負担比率の改善と財政の健全化を図る。								

No.	事業指標	指標の算式	5年度	6年度	評価年度（7年度）		備考
			実績値	実績値	目標値	実績値	
1	一般会計の普通債残高削減額		9.9億円減	8.9億円減	4億円減	3.6億円増	行政財政改革プラン2022による
2							
3							

◆事業の構成（細事業）と実績◆			7年度予算	7年度決算	6年度決算	決算前年度比	
事業費の合計（千円）と前年度比（％）			1,626,045	1,623,768	1,639,042	△ 0.9	
枝番号	3カ年対象	新規・拡充	事業費（千円）※予算は現額			指標	目標値
			7年度予算	7年度決算	6年度決算	事務・事業・費用の備考	実績値
1			元金償還	1,626,045	1,623,768	1,639,042	
2							
3							
4							
5							
6							
7							
8							
9							
10							
11							
12							
13							
14							
15							
特定財源の内容	(他) 都市計画税		41,950	39,213	49,550	【特定財源の費目の略称】 (分):分担金及び負担金 (使):使用料及び手数料 (国):国庫支出金 (県):県支出金 (財):財産収入 (寄):寄付金 (繰):繰入金 (諸):諸収入 (債):市債 (他):その他	
	(繰) 減債基金繰入金		70,000		24,000		
	(諸) 雑入				27,615		
一般財源			1,514,095	1,584,555	1,537,877		

◆評価◆

事業指標の分析と 事業の成果・課題		事業実施による成果は。また、事業指標の実績値からどのような課題を読み取ることができるか。 ※表や図は左ページの空いた部分か、この欄に記載。																																			
・令和7年度予算の起債に加え、6年度から繰り越した大型事業（文化センター改修事業等）の借入れがあり、残高が増加した。																																					
【一般会計起債残高の状況】 （単位：千円） <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">区分</th> <th rowspan="2">令和6年度末 残高 A</th> <th colspan="2">令和7年度中の増減</th> <th rowspan="2">令和7年度末 残高 D=A+B-C</th> <th rowspan="2">前年度比較 D-A</th> </tr> <tr> <th>新規借入 B</th> <th>償還 C</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>建設債等</td> <td>9,209,800</td> <td>1,980,300</td> <td>988,237</td> <td>10,201,863</td> <td>992,063</td> </tr> <tr> <td>3セク債</td> <td>1,640,620</td> <td>0</td> <td>76,562</td> <td>1,564,058</td> <td>▲ 76,562</td> </tr> <tr> <td>臨時財政対策債</td> <td>5,586,343</td> <td>0</td> <td>558,969</td> <td>5,027,374</td> <td>▲ 558,969</td> </tr> <tr> <td>合 計</td> <td>16,436,763</td> <td>1,980,300</td> <td>1,623,768</td> <td>16,793,295</td> <td>356,532</td> </tr> </tbody> </table>						区分	令和6年度末 残高 A	令和7年度中の増減		令和7年度末 残高 D=A+B-C	前年度比較 D-A	新規借入 B	償還 C	建設債等	9,209,800	1,980,300	988,237	10,201,863	992,063	3セク債	1,640,620	0	76,562	1,564,058	▲ 76,562	臨時財政対策債	5,586,343	0	558,969	5,027,374	▲ 558,969	合 計	16,436,763	1,980,300	1,623,768	16,793,295	356,532
区分	令和6年度末 残高 A	令和7年度中の増減		令和7年度末 残高 D=A+B-C	前年度比較 D-A																																
		新規借入 B	償還 C																																		
建設債等	9,209,800	1,980,300	988,237	10,201,863	992,063																																
3セク債	1,640,620	0	76,562	1,564,058	▲ 76,562																																
臨時財政対策債	5,586,343	0	558,969	5,027,374	▲ 558,969																																
合 計	16,436,763	1,980,300	1,623,768	16,793,295	356,532																																
細事業の実績に関する分析		細事業の目標達成状況は。どのような成果や課題があるか。																																			
目標に対する 達成度		事業指標の実績値／目標値 ※指標が複数ある場合は平均値。細事業の指標は算入しない。 C 目標を大きく下回った（70%未満） 【凡例】 S：105%以上 A：90%以上105%未満 B：70%以上90%未満 C：70%未満 ー：目標設定なし																																			
◆改善に向けた取り組み◆																																					
事業の意図の達成や課題解決のための改善案																																					
・事業を実施する中で起債の増加が避けられない局面もあるが、予算執行等の過程で借入を抑制できるよう努める。																																					

款	12	公債費	項	1	公債費	目	2	利子	事業	1
事務事業名		起債利子償還事務								
主管		財政課								
事業の概要		起債利子の償還を行う。								
対象		市（財政運営）								
意図 (対象をどのようにしたいか)		借換にかかる利率の見直しの際は、利息負担の低減に努め財政の健全化に努める。								

No.	事業指標	指標の算式	5年度 実績値	6年度 実績値	評価年度（7年度）		備考
					目標値	実績値	
1							
2							
3							

◆事業の構成（細事業）と実績◆			7年度予算	7年度決算	6年度決算	決算前年度比	
事業費の合計（千円）と前年度比（%）			59,662	51,919	42,745	21.5	
枝 番 号	3 力 年 対 象	新 規 ・ 拡 充	事業費（千円）※予算は現額			指標	目標値
			7年度予算	7年度決算	6年度決算	事務・事業・費用の備考	実績値
1			利子償還	59,662	51,919	42,745	
2							
3							
4							
5							
6							
7							
8							
9							
10							
11							
12							
13							
14							
15							
特定 財源 の 内 容						【特定財源の費目の略称】 (分):分担金及び負担金 (使):使用料及び手数料 (国):国庫支出金 (県):県支出金 (財):財産収入 (寄):寄付金 (繰):繰入金 (諸):諸収入 (債):市債	
一般財源			59,662	51,919	42,745		

◆評価◆

事業指標の分析と 事業の成果・課題	事業実施による成果は。また、事業指標の実績値からどのような課題を読み取ることができるか。 ※表や図は左ページの空いた部分か、この欄に記載。
----------------------	--

・利率上昇が利払いの増加に直結している。

【一般会計起債の利率別残高の状況】 (単位:千円、%)

区分	令和6年度末		令和7年度末		比較 B－A
	残高 A	構成比	残高 B	構成比	
3.5%超	0	0.0%	0	0.0%	0
2.5～3.5%	1,532	0.0%	1,186	0.0%	▲ 346
1.5～2.5%	29,834	0.2%	2,429,064	14.5%	2,399,230
0.5～1.5%	3,529,310	21.5%	3,446,792	20.5%	▲ 82,518
0.5%以下	12,876,087	78.3%	10,916,253	65.0%	▲ 1,959,834
合計	16,436,763	100.0%	16,793,295	100.0%	356,532

細事業の実績に関する分析	細事業の目標達成状況は。どのような成果や課題があるか。
--------------	-----------------------------

目標に対する 達成度	事業指標の実績値／目標値 ※指標が複数ある場合は平均値。細事業の指標は算入しない。	
	—	目標設定なし
	【凡例】 S : 105%以上 A : 90%以上105%未満 B : 70%以上90%未満 C : 70%未満 — : 目標設定なし	

◆改善に向けた取り組み◆

事業の意図の達成や課題解決のための改善案

款	12	公債費	項	1	公債費	目	2	利子	事業	2
事務事業名		一時借入金等利子償還事務								
主管		会計室								
事業の概要		歳計現金不足が生じ一時借入を行った際の利子償還。								
対象		金融機関及び基金会計								
意図 (対象をどのようにしたいか)										

No.	事業指標	指標の算式	5年度	6年度	評価年度（7年度）		備考
			実績値	実績値	目標値	実績値	
1	一時借入件数				—	0件	
2							
3							

◆事業の構成（細事業）と実績◆

事業費の合計（千円）と前年度比（%）			7年度予算	7年度決算	6年度決算	決算前年度比
			429			

枝番号	3力年対象	新規・拡充	事務・事業・費用名	事業費（千円）※予算は現額			指標	目標値
				7年度予算	7年度決算	6年度決算		
1			一時借入金等利子	429				
2								
3								
4								
5								
6								
7								
8								
9								
10								
11								
12								
13								
14								
15								
特定財源の内容								
一般財源				429				

【特定財源の費目の略称】

(分): 分担金及び負担金

(使): 使用料及び手数料

(国): 国庫支出金 (県): 県支出金

(財): 財産収入 (寄): 寄付金

(繰): 繰入金 (諸): 諸収入

(債): 市債

◆評価◆

事業指標の分析と 事業の成果・課題	事業実施による成果は。また、事業指標の実績値からどのような課題を読み取ることができるか。 ※表や図は左ページの空いた部分か、この欄に記載。	
	・歳計現金及び歳入歳出外現金で資金手当てができたため、一時借入や基金からの繰替運用の必要がなかった。	
目標に対する 達成度	事業指標の実績値／目標値 ー	※指標が複数ある場合は平均値。細事業の指標は算入しない。 目標設定なし 【凡例】 S：105%以上 A：90%以上105%未満 B：70%以上90%未満 C：70%未満 ー：目標設定なし

◆改善に向けた取り組み◆

事業の意図の達成や課題解決のための改善案	

款	13	諸支出金	項	1	普通財産取得費	目	1	普通財産取得費	事業	1
事務事業名		普通財産取得事業								
主管		財政課								
事業の概要		用地取得事業特別会計が過去に支出した土地取得費について、年次的に一般会計が分割負担し精算を進める事務。								
対象		用地取得事業特別会計								
意図 (対象をどのようにしたいか)		保有した土地の精算を進め、土地開発基金の復元を図る。								

No.	事業指標	指標の算式	5年度	6年度	評価年度（7年度）		備考
			実績値	実績値	目標値	実績値	
1							
2							
3							

◆事業の構成（細事業）と実績◆

事業費の合計（千円）と前年度比（%）			7年度予算	7年度決算	6年度決算	決算前年度比
			55,000	55,000	25,000	120.0

枝番号	3 力 年 対 象	新 規 ・ 拡 充	事務・事業・費用名	事業費（千円）※予算は現額			指標	目標値
				7年度予算	7年度決算	6年度決算	事務・事業・費用の備考	実績値
1			普通財産取得費	55,000	55,000	25,000		
2								
3								
4								
5								
6								
7								
8								
9								
10								
11								
12								
13								
14								
15								
特定 財源 の 内 容							【特定財源の費目の略称】 (分): 分担金及び負担金 (使): 使用料及び手数料 (国): 国庫支出金 (県): 県支出金 (財): 財産収入 (寄): 寄付金 (繰): 繰入金 (諸): 諸収入 (債): 市債	
一般財源				55,000	55,000	25,000		

◆評価◆

事業指標の分析と事業の成果・課題		事業実施による成果は。また、事業指標の実績値からどのような課題を読み取ることができるか。 ※表や図は左ページの空いた部分か、この欄に記載。
・決算状況を踏まえ、用地特会（土地開発基金）で取得した土地の精算分を増額補正し対応した。 ・土地の精算状況や土地開発基金の状況は、用地取得特別会計のシートを参照。		
細事業の実績に関する分析		
細事業の目標達成状況は。どのような成果や課題があるか。		
目標に対する達成度	事業指標の実績値／目標値	※指標が複数ある場合は平均値。細事業の指標は算入しない。
—	目標設定なし	
【凡例】 S：105%以上 A：90%以上105%未満 B：70%以上90%未満 C：70%未満 —：目標設定なし		

◆改善に向けた取り組み◆

事業の意図の達成や課題解決のための改善案
（ここに改善案の記載スペース）

一般会計 職員人件費集計表

(単位：人、千円)

科 目 ・ 事 業 名				現年度 職員数	前年度 職員数	前年比 増 減	節	決 算 額	前 年 度 決 算 額	前年比 増 減	備考
款	1	議会費	議会職員人件費	3	3	0	給料	13,897	13,414	483	
項	1	議会費					職員手当	8,029	7,382	647	
目	1	議会費					共済費	4,456	4,075	381	
			0051								
款	2	総務費	総務管理職員人件費	特別職 2	2	0	給料	195,335	187,339	7,996	
項	1	総務管理費					職員手当	123,382	115,742	7,640	
目	1	一般管理費					退職手当	89,858	179,011	△ 89,153	
			0052	52	50	2	共済費	65,142	60,114	5,028	
款	2	総務費	徴税職員人件費	18	19	△ 1	給料	66,044	64,742	1,302	
項	2	徴税費					職員手当	37,807	34,777	3,030	
目	1	税務総務費					共済費	20,491	19,427	1,064	
			0053								
款	2	総務費	所得税・住民税所得割 定額減税調整給付事務				給料			0	
項	2	徴税費					職員手当	259	0	259	
目	2	賦課徴収費					共済費			0	
款	2	総務費	戸籍・住民基本 台帳人件費	7	7	0	給料	24,766	24,307	459	
項	3	戸籍・住民基本台帳					職員手当	15,095	12,143	2,952	
目	1	戸籍・住民基本台帳					共済費	7,701	7,169	532	
			0053								
款	2	総務費	選挙職員人件費	1	1	0	給料	4,799	4,500	299	
項	4	選挙費					職員手当	2,466	2,699	△ 233	
目	1	選挙管理委員会費					共済費	1,525	1,412	113	
			0055								
款	2	総務費	統計調査職員人件費	1	1	0	給料	3,519	3,176	343	
項	5	統計調査費					職員手当	1,505	1,325	180	
目	1	統計調査総務費					共済費	983	824	159	
			0056								
款	2	総務費	国勢調査事務				給料				
項	5	統計調査費					職員手当	1,245	24	1,221	
目	2	諸統計費					共済費				
			0211								
款	2	総務費	農林業センサス 事務				給料				
項	5	統計調査費					職員手当	0	212	△ 212	
目	2	諸統計費					共済費				
			0217								
款	2	総務費	衆議院議員 総選挙事務				給料				
項	4	選挙費					職員手当	6,956	7,075	△ 119	
目	3	衆議院議員総選挙費					共済費				
			1103								
款	2	総務費	参議院議員 総選挙事務				給料				
項	4	選挙費					職員手当	7,507	0	7,507	
目	3	参議院議員総選挙費					共済費				
			1104								
款	2	総務費	監査委員職員人件費	1	1	0	給料	5,055	4,910	145	
項	6	監査委員費					職員手当	2,795	2,724	71	
目	1	監査委員費					共済費	1,580	1,546	34	
			0057								
款	3	民生費	社会福祉職員人件費	12	12	0	給料	49,344	47,916	1,428	
項	1	社会福祉費					職員手当	29,279	27,793	1,486	
目	1	社会福祉総費					共済費	15,597	15,555	42	
			0058								
款	3	民生費	児童福祉職員人件費	54	53	1	給料	172,525	162,744	9,781	
項	2	児童福祉費					職員手当	86,752	81,639	5,113	
目	1	児童福祉総務費					共済費	51,380	46,609	4,771	
			0059								
款	3	民生費	物価高子育て応援 手当				給料			0	
項	2	児童福祉費					職員手当	444	0	444	
目	1	児童福祉総務費					共済費			0	
			10408								
款	3	民生費	生活保護職員人件費	5	5	0	給料	18,746	17,791	955	
項	3	生活保護費					職員手当	8,608	7,937	671	
目	1	生活保護総務費					共済費	5,399	4,941	458	
			0060								

(単位：人、千円)

科 目 ・ 事 業 名				現年度 職員数	前年度 職員数	前年比 増 減	節	決 算 額	前 年 度 決 算 額	前年比 増 減	備考
款	4	衛生費	保健衛生職員 人件費 0061	25	26	△ 1	給料	97,647	99,322	△ 1,675	
項	1	保健衛生費					職員手当	53,900	55,461	△ 1,561	
目	1	保健衛生総務費					共済費	29,853	30,096	△ 243	
款	5	労働費	労働職員人件費 0062	1	1	0	給料	3,340	3,939	△ 599	
項	1	労働諸費					職員手当	1,829	2,493	△ 664	
目	1	労働諸費					共済費	959	1,293	△ 334	
款	6	農林水産業費	農業職員人件費 0063	13	13	0	給料	53,549	51,310	2,239	
項	1	農業費					職員手当	30,141	30,366	△ 225	
目	2	農業総務費					共済費	16,804	16,011	793	
款	6	農林水産業費	林業職員人件費 0064	4	4	0	給料	15,731	14,059	1,672	
項	2	林業費					職員手当	10,032	9,096	936	
目	1	林業総務費					共済費	4,930	4,377	553	
款	7	商工費	商工職員人件費 0065	10	11	△ 1	給料	40,759	44,031	△ 3,272	
項	1	商工費					職員手当	27,366	27,462	△ 96	
目	1	商工総務費					共済費	13,153	13,815	△ 662	
款	8	土木費	土木管理職員 人件費 0066	8	8	0	給料	35,612	34,390	1,222	
項	1	土木管理費					職員手当	21,114	19,911	1,203	
目	1	土木総務費					共済費	11,249	10,810	439	
款	8	土木費	道路橋梁職員 人件費 0067	7	7	0	給料	23,738	27,566	△ 3,828	
項	2	道路橋梁費					職員手当	14,606	15,841	△ 1,235	
目	1	道路橋梁総務費					共済費	7,643	8,463	△ 820	
款	8	土木費	都市計画職員 人件費 0068	5	4	1	給料	21,780	16,109	5,671	
項	4	都市計画費					職員手当	13,657	10,292	3,365	
目	1	都市計画総務費					共済費	6,531	5,032	1,499	
款	8	土木費	住宅職員人件費 0069	4	4	0	給料	16,484	15,826	658	
項	5	住宅費					職員手当	10,461	9,681	780	
目	1	住宅管理費					共済費	5,280	4,957	323	
款	9	消防費	消防職員人件費 0070	2	2	0	給料	8,603	8,523	80	
項	1	消防費					職員手当	7,313	6,991	322	
目	1	常備消防費					退職手当			0	
							共済費	3,003	3,015	△ 12	
款	10	教育費					教育総務職員 人件費 0071	特別職 1 一般職 7	1	0	給料
項	1	教育総務費	職員手当	22,482	21,176	1,306					
目	2	事務局費	退職手当			0					
			共済費	11,721	11,050	671					
款	10	教育費	幼稚園職員 人件費 0072	5	6	△ 1	給料	20,333	23,356	△ 3,023	
項	4	幼稚園費					職員手当	11,869	12,773	△ 904	
目	1	幼稚園費					共済費	6,262	6,896	△ 634	
款	10	教育費	社会教育職員 人件費 0073	8	8	0	給料	33,151	33,205	△ 54	
項	6	社会教育費					職員手当	18,492	19,759	△ 1,267	
目	1	社会教育総務費					共済費	10,361	10,192	169	
款	10	教育費	保健体育職員 人件費 0074	7	6	1	給料	27,177	21,440	5,737	
項	7	保健体育費					職員手当	17,456	12,808	4,648	
目	1	保健体育総務費					共済費	8,616	6,426	2,190	
合 計				263	262	1	給料	989,094	959,881	29,213	
							職員手当	592,847	555,582	37,265	
							退職手当	89,858	179,011	△ 89,153	
							共済費	310,619	294,105	16,514	
							人件費合計	1,982,418	1,988,579	△ 6,161	

特定 財源 の 内 容	(国) 重層的支援体制整備事業交付金	10,493	11,315	△ 822
	(県) 重層的支援体制整備事業交付金	2,623	2,828	△ 205
	(県) 電源立地地域対策交付金	4,808	4,818	△ 10

【特定財源の費目の略称】

(分)：分担金及び負担金

(使)：使用料及び手数料

(国)：国庫支出金 (県)：県支出金

(財)：財産収入 (寄)：寄付金

(繰)：繰入金 (諸)：諸収入

(債)：市債

職員人件費集計表

